令　和　７　年　度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　恵泉会

－ 目　　次　　－

① 恵泉会法人本部	1	～	9	ページ
② 障害者支援施設若草園	10	～	16	ページ
③ 障害者支援施設若生園	17	～	23	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	24	～	29	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	30	～	38	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	39	～	44	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	45	～	50	ページ
⑧ 就労継続支援Ｂ型さくらワークス	51	～	54	ページ
⑨ 多機能サポートセンターこじか	55	～	63	ページ
⑩ 南方認定こども園	64	～	68	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	69	～	72	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	73	～	79	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	80	～	86	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	87	～	92	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	93	～	98	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	99	～	103	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	104	～	110	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	111	～	115	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	116	～	121	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	122	～	126	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	127	～	133	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	134	～	139	ページ
㉓ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	140	～	146	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	147	～	152	ページ
㉕ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	153	～	158	ページ
㉖ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	159	～	164	ページ
㉗ 恵泉会ヘルパーステーション	165	～	167	ページ
㉘ 恵泉会介護支援センターいきいき	168	～	172	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターらくらく	173	～	177	ページ
㉚ 恵泉会東和介護支援センター	178	～	182	ページ
㉛ 恵泉会とよま介護支援センター	183	～	187	ページ
㉜ 登米市迫地域包括支援センター	188	～	193	ページ
㉝ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	194	～	196	ページ
【施設整備関係】				
㉞ 旧南方保育所建物解体　事業報告	197	～	198	ページ
【事故報告関係】				
㉟ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告			199	ページ

令和7年度
恵泉会法人本部　事業報告

【　　概　　要　　】

1．基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

2．利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者に選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

（1）各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。

（2）各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、令和6年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。

（3）情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌（1回）を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット（財務諸表等電子開示システム）とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。

（4）サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。

（5）松風園において、利用者へより快適な生活環境を提供するため、交付金を活用して非常用電源設備の新設を行いました（令和7年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金）。また、光風園において、法定耐用年数を超えて建物を使用することを目的として、補助金を活用し、劣化が進んでいる屋根及び外壁の塗装工事を実施しました（令和7年度老人福祉施設大規模改修事業費補助金）。南風園では、業務時間短縮・生産性向上を目的として、補助金を活用してシャワー式入浴装置を導入しました（令和7年度介護ロボット・ICT導入支援事業補助金）

3．経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

（1）令和7年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。

（2）日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。

（3）LPガス、灯油、重油、ガソリン等の燃料価格の高騰に伴い、宮城県の「障害福祉施設原油価格・物価高騰対策事業補助金」、「宮城県高齢者施設エネルギー価格高騰対策事業補助金」を申請し、補助金を財源として経費の負担軽減を図りました。

4．令和7年度資金運用事業報告

恵泉会が持つ資金を有効活用するため国庫債券を購入して資金運用を行い、令和7年度の運用益は157,947円となりました。

＜令和7年度に購入した国庫債券＞
①第466回利付国債(2年)　運用額面：100,000,000円　約定金額：99,996,000円　利率：0．50％
②第176回利付国債(5年)　運用額面：100,000,000円　約定金額：99,575,000円　利率：1．00％
③第180回利付国債(5年)　運用額面：100,000,000円　約定金額：99,700,000円　利率：1．10％

5．職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ12回開催しました。

6．職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

7．地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

1）講師等派遣事業の実施
2）社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
3）オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施

8．恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和7年度は7名が研修を修了しました。

【行事・研修・会議・委員会等】

1．行事

（1）会務

年 月 日	内　　容
R7.04.01	辞令交付式
R7.04.02	南方認定こども園落成披露開園式
	理事長・常務理事・理事4名・監事2名・参事・各施設長・法人本部職員
R7.04.30	恵泉会評議員による南方認定こども園視察
R7.05.21	恵泉会永年勤続者表彰式　30年勤続表彰7名（20年勤続表彰は対象者無し）
R7.06.07	恵泉会介護職員初任者研修開講式（萩風園）受講者7名
R7.06.26	南風園業務用乾燥機納品・検査（南風園）総括主任
R7.07.01	登米市就職ガイダンス（登米総合体育館）主任・事務員
R7.07.03	若葉園軽ワゴン車納車・検査（若葉園）総括主任
R7.08.01	辞令交付式
R7.08.06	各特別養護老人ホーム低床型電動ベッド納品・検査（各特別養護老人ホーム）総括主任
R7.08.28	令和7年度定年退職者再雇用説明会（対象3名）
R7.10.01	辞令交付式
R7.10.13	第32回恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会（光ヶ丘球場・大東球場）8チーム参加
R7.10.15	翠風荘リフトバス納車・検査（翠風荘）総括主任
R7.10.17	さくらワークス送迎車両納車・検査（さくらワークス）総括主任
R7.10.22	福祉のしごと面談会（迫公民館）主任・事務員
R7.10.30	恵泉会フェスティバル（恵泉会体育館）理事長・常務理事・総括主任
R7.11.08	恵泉会介護職員初任者研修修了式（萩風園）修了者7名
R7.11.27	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構による障害者雇用納付金関係業務調査
R7.11.28	南風園シャワー入浴装置納品・検査（南風園）総括主任
R7.12.04	南寿荘給湯設備改修工事完成検査（南寿荘）常務理事・総括主任
R7.12.17	宮城県DWAT説明会（迫公民館）常務理事・参事
R7.12.26	辞令交付式
	仕事納め
R8.01.05	仕事始め
R8.01.27	登米市企業ガイダンス（登米総合体育館）主任・事務員
R8.01.30	辞令交付式
	旧南方保育所建物解体工事完成検査（旧南方保育所建物跡地）
	常務理事・参事・総括主任
R8.02.12	光風園塗装修繕工事完成検査（光風園）常務理事・総括主任
	障害者雇用納付金事務説明会（迫公民館）総括主任
R8.02.12	若草園送迎車両納車・検査（若草園）総括主任
R8.02.16	辞令交付式
R8.02.19	南方認定こども園一年経年検査（南方認定こども園）常務理事・参事・総括主任

R8.02.24	松風園非常用発電設備設置工事完成検査(松風園)常務理事・総括主任
	学生向け職場説明会(アエル)主任・事務員
R8.03.02	辞令交付式
R8.03.09	令和8年4月1日付け採用内定者入職説明会(対象者7名)
R8.03.17	迫桜高校地元企業説明会(迫桜高校)主任・事務員
R8.03.31	辞令交付式

(2)採用関係

年 月 日	内 容
R7.06.30	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.08.01	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.09.01	令和8年4月1日付け職員採用一次試験(看護職員・保育士・介護職員)<書類審査>受験者3名
R7.09.12	令和8年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員・保育士・介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者3名
R7.09.19	令和8年4月1日付け職員採用試験(保育士)<筆記試験・人物審査>受験者1名
	令和8年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者4名
R7.09.29	令和8年4月1日付け職員採用試験(介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.12.01	令和8年4月1日付け職員採用試験(看護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R7.12.24	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R8.02.19	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名
R8.02.26	職員採用試験(随時試験-介護職員)<筆記試験・人物審査>受験者1名

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R7.04.16	施設長会計研修	常務理事	対象職員2名
R7.04.25	人事考課者研修(新任研修)	理事長 常務理事 参事	対象職員11名
R7.07.11	新任職員研修	理事長 常務理事 障害者支援施設統括施設長 南風園施設長	対象職員12名
R7.11.05	第46回恵泉会職員研修大会 ○講演「感謝の心が仕事や人生を好転させる～モチベーションアップ＆元気な職場づくり～」	こころ元気研究所所長 (株)エンパワーコミュニケーション 代表取締役 鎌田 敏 氏	恵泉会役職員等 146名
R8.02.10 R8.02.13	次世代リーダー研修	理事長 職場研修委員	対象職員5名
R8.02.13	職員フォローアップ研修	理事長 職場研修委員	対象職員14名
全11回	ケアマネジャー試験対策講習会	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ48名
全16回	介護福祉士試験対策講習会	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ31名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R7.06.26	社会福祉施設事務担当者職員研修	宮城県・宮城県社会福祉法人経営者協議会・宮城県社会福祉協議会	仙台市	事務員
R7.07.12	宮城県社会福祉法人経営者協議会定期総会・セミナー	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	常務理事
R7.07.23	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	登米市	参事
R7.07.23	年金委員研修会	日本年金機構	オンライン	事務員
R7.07.28	接遇研修会	ソウェルクラブ	オンライン	事務員

R7.09.17	宮城県社会福祉法人経営者協議会 災害対策委員会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	オンライン	常務理事
R7.11.18	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R7.11.19	年金委員研修会	日本年金機構	仙台市	事務員
R7.12.01	宮城県社会福祉法人経営者協議会 災害対策委員会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	オンライン	常務理事
R7.12.04	福祉サービスの苦情解決に関する研 修会(第三者委員対象)	宮城県社会福祉 協議会	ウェブ研修	第三者委員
R8.01.21	宮城県社会福祉法人経営者協議会 災害対策委員会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R8.02.17	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事

3. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 数	参　　加　　者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その 他	12回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・法人本部

(2) 理事会

開 催 日	内　　容
R7.04.21	第1回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名)
	協議事項
	基本財産の処分について審議
	評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
	令和7年度　恵泉会収支補正予算(第1号)について審議
R7.06.10	第2回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	令和6年度　恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議
	監査報告
	定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
	新たな期間の理事、監事候補者の選定について審議
	評議員選任・解任委員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議
	新たな期間の評議員候補者の選定について審議
	恵泉会定款の一部変更について審議
	令和7年度　恵泉会収支補正予算(第2号)について審議
	入札指名業者の選定について審議
	報告事項
	理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
	寄付金の報告について
	社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R7.06.26	第3回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名)
	決議事項
	理事長の互選について審議
	常務理事の互選について審議
	賞罰委員の選任について審議
	社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議
R7.07.14	第4回　(出席者:理事5名/6名　監事1名/2名)
	決議事項
	令和7年度　恵泉会収支補正予算(第3号)について審議
	業績手当の支給について審議
	南方保育所建物解体工事にかかる制限付一般競争入札の公告について審議
	施設長の任免について審議

R7.09.29	第5回　(出席者:理事5名/6名　監事1名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員育児休業等に関する規程の一部改正について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 入札実施に伴う契約の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R7.10.31	第6回　(出席者:理事5名/6名　監事2名/2名) 決議事項 余裕資金の運用について審議 令和7年度　恵泉会収支補正予算(第4号)について審議
R7.12.12	第7回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 業績手当の支給について審議 令和7年度　恵泉会収支補正予算(第5号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員の自家用車の公務使用に関する要綱の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会通勤車両取扱規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の一部改正について審議 施設長の任免について審議 報告事項 中間監査の報告について 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 国債の購入について(報告) 寄付金の報告について
R8.02.06	第8回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について審議 理事候補者の選定について審議 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
R8.03.05	第9回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 令和8年度　恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議 恵泉会各施設・事業所給食業務委託の更新(随意契約)について審議 社会福祉法人恵泉会多機能型事業所若葉園運営規程の一部改正について審議 施設長の任免について審議
R8.03.16	第10回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 業績手当の支給について審議 令和7年度　恵泉会収支補正予算(第6号)について審議 施設長の任免及び配置換えについて審議
R8.03.27	第11回　(出席者:理事6名/6名　監事2名/2名) 決議事項 令和7年度　恵泉会収支補正予算(第7号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員服務規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会資金運用規程の制定について審議 東和高齢者福祉施設デイサービス運営規程の一部改正について審議 役員賠償責任保険契約について審議

(3) 評議員会

開 催 日	内　　容
R7.04.30	第1回評議員会　(出席者:評議員6名/8名　理事6名／6名　監事2名/2名)
	決議事項
	基本財産の処分について審議
R7.06.25	定時評議員会　(出席者:評議員7名/8名　理事6名／6名　監事2名/2名)
	報告事項
	令和6年度恵泉会事業報告について
	令和6年度恵泉会会計決算(計算書類及び財産目録)について
	令和6年度宮城県等指導監査の指摘事項及び改善状況について
	決議事項
	理事の選任について審議
	監事の選任について審議
	社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議
R8.02.13	第3回評議員会　(出席者:評議員7名/8名　理事6名／6名　監事1名/2名)
	決議事項
	社会福祉法人恵泉会役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について審議
	理事の選任について審議

(4) 評議員選任・解任委員会

開 催 日	内　　容
R7.06.23	評議員選任・解任委員会 (出席者:委員3名／3名)
	決議事項
	評議員の選任について審議

(5) 監査会

実 施 日	実　施　施　設　・　事　業　所	監　　査　　員　　等
【令和6年度決算監査】		
R7.05.07	恵はあと 恵泉会ヘルパーステーション 遠山荘 キッズつぼみ	恵泉会監事
R7.05.08	光風園・ゆりの郷	〃
R7.05.12	迫風園・翠風荘	〃
R7.05.13	南風園・南寿荘	〃
R7.05.15	恵泉会介護支援センターいきいき(運営管理・処遇管理) 恵泉会介護支援センターらくらく(運営管理・処遇管理) 恵泉会東和介護支援センター(運営管理・処遇管理) 恵泉会とよま介護支援センター(運営管理・処遇管理) 登米市迫地域包括支援センター(運営管理・処遇管理) こじか・恵泉会地域生活支援センター(運営管理・処遇管理)	〃
R7.05.16	若草園・若葉園・若生園・さくらワークス(運営管理・処遇管理)	〃
R7.05.20	ほたるの郷 東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	〃
R7.05.21	萩風園・菊風荘	〃
R7.05.22	恵泉会グループホーム	〃
R7.05.23	松風園・百楽荘	〃
R7.05.26	パルめぐみ・ほんわか・南方保育所 ほんわか 南方保育所	〃

R7.05.27	若草園・若葉園・若生園・さくらワークス(会計経理) こじか・恵泉会地域生活支援センター(会計経理) 恵泉会介護支援センターいきいき(会計経理) 恵泉会介護支援センターらくらく(会計経理) 恵泉会東和介護支援センター(会計経理) 恵泉会とよま介護支援センター(会計経理) 登米市迫地域包括支援センター(会計経理)	〃
R7.05.28	法人本部・取りまとめ	〃
【令和7年度中間監査】		
R7.11.19 R7.11.21	全施設・事業所(書面監査)	恵泉会監事

(6) 会計監査人監査

開催日	内容	実施拠点区分	会計監査人
R7.09.02	令和7年度監査計画打合せ 令和7年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士2名
R7.10.6～ R7.10.7	令和7年度会計監査人監査(第2回)	〃	あすの監査法人 公認会計士2名
R7.12.2～ R7.12.3	令和7年度会計監査人監査(第3回)	〃	あすの監査法人 公認会計士2名
R8.3.2～ R8.3.3	令和7年度会計監査人監査(第4回)	〃	あすの監査法人 公認会計士2名

(7) 内部監査

開催日	内容	実施拠点区分	内部監査人
無			

(8) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
R7.06.20	恵泉会ネットワークシステムリース	(理 事)
		(監 事)
R7.08.07	旧南方保育所建物解体工事	(理 事)
		(理 事)
		(監 事)
		(評 議 員)
		(設計業者)
		(設計業者)
		(登米市職員)

(9) 各種工事等打合せ

開催日	内容	場所	出席者
【旧南方保育所建物解体工事】			
全6回	工事打合せ	工事現場事務所	常務理事・参事 総括主任
【光風園キュービクル変圧器改修工事】			
R7.10.20	工事打合せ	光風園	常務理事 総括主任
【南寿荘給湯設備改修工事】			
R7.10.29	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任
【松風園非常用発電設備設置工事】			
全2回	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任

(10) その他の会議・打合せ

開催日	内容	場所	出席者
全12回	老人施設長部会	各特別養護老人ホーム	老人施設施設長・参事
全9回	障害事業施設長等会議	在宅サービス支援棟	障害サービス事業施設長・総括主任
R7.12.24	役員待遇検討会議	在宅サービス支援棟	常務理事・理事 理事(施設長理事) 監事・法人本部2名

4. 委員会開催状況

開催日	内容	場所	出席者
R7.04.11	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員4名・法人本部1名
R7.04.30	第3回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R7.05.12	第2回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 委員4名・法人本部1名
R7.06.04	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	光風園施設長・松風園施設長 ほたるの郷施設長 恵泉会介護支援センター施設長
R7.06.05	第1回地震防災対策委員会	ウェブ会議	常務理事・参事 委員19名・法人本部2名
R7.07.18	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 障害者支援施設統括施設長 こじか施設長・南風園施設長 委員14名・法人本部2名
R7.08.20	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 障害者支援施設統括施設長 こじか施設長・南風園施設長 委員13名・法人本部2名
R7.10.01	第3回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 障害者支援施設統括施設長 こじか施設長・南風園施設長 委員12名・法人本部2名
R7.10.03	第2回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名
R7.10.15	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 法人本部2名 委員18名
R7.10.29	第4回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	参事 障害者支援施設統括施設長 こじか施設長・南風園施設長 委員14名・法人本部2名
R7.11.28	第3回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員4名・法人本部1名
R7.12.03	第3回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名
R8.02.26	第4回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部2名

5．各種サービス評価実施状況

実 施 日	実　　施　　施　　設	評　　価　　員　　等
【令和7年度施設サービス評価】		
R7.12.02	松風園・百楽荘	恵泉会第三者委員
R7.12.05	若草園・若葉園	〃
R7.12.09	萩風園・菊風荘	〃
R7.12.15	迫風園・翠風荘	〃
R7.12.22	若生園・さくらワークス	〃
R8.01.07	パルめぐみ・ほたるの郷	〃
R8.01.13	東和・東和デイサービス	〃
R8.01.15	光風園・ゆりの郷	〃
R8.01.16	こじか・グループホーム	〃
R8.01.19	南風園・南寿荘	〃
R8.01.26	ほんわか・南方認定こども園	〃
R8.01.30	キッズつぼみ・遠山荘	〃

令和7年度
障害者支援施設若草園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成23年 4月 1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
生活介護・施設入所	60 名
短期入所	4 名
計	64 名

【　基　本　方　針　】

「心紡ぐ　あなたによりそうけいせんかい」を長期のスローガンに掲げ、「施設入所」と「生活介護」の事業を柱に、利用者の特性に配慮しつつ、その人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。利用者の高齢化や障害の多様化により支援の個別性に配慮し、生活にそれぞれの楽しみや安心感が持てるよう外出支援や介護技術のスキルアップなどに力を入れました。

また、恵泉会内他事業所や関係機関とも連携・協働し、利用者の自立支援を念頭に行事や研修会などの事業を行いました。地域交流も継続、交流活動を促進できるように地域行事への参加や協力で地域の一員としての役割を果たしました。短期入所や日中一時支援などのサービスを継続し地域の障害（児）者や家族の支援に努めるとともに、福祉ニーズの把握と施設機能と専門性を活かし事業を行いました。

【　重　点　項　目　】

1.＜一般原則の遵守＞

運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。

①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づきサービスを提供し、継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより、効果的に障害福祉サービスを提供しました。
②利用者の意思及び人格を尊重して常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めました。
③利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施しました。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞

①非常災害対策→利用者の特性や周辺地域の災害環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）をもとに、定期的に研修や訓練を実施しました。BCP（業務継続計画）の見直しも行い、現状に即した計画としました。
②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→指針やマニュアルをもとに研修や訓練を実施しました。また、BCP（業務継続計画）の見直しを行い有効な対策を講じることができるよう改訂しました。感染症の罹患は利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、福祉施設として医療機関と連携し細心の注意を払い感染対策に努めました。
③権利擁護→身体拘束等の適正化および虐待防止為の指針やマニュアルをもとに、定期的に研修を実施しました。また、権利擁護の研修も同様に実施しました。

3.＜適切な支援・介護＞

①高齢化や疾病の悪化により通院や入院が多くなりました。状態の変化時には丁寧なアセスメントを重視し、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、実施するように努め、介護技術向上にも力を入れました。また、職員の負担軽減から福祉用具や介護ロボット（見守り）を活用しました。

4.＜連携及び協働＞

①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の状況や、事業所ごとに共通認識を図りました。そして、利用者の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）をご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討しました。
②けいせんかいフェスティバルや地域行事支援・清掃活動等、地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域の障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たしました。
③適正な事業運営と利用者の地域移行、開かれた施設を目的に地域連携推進会議を定期的に実施、利用者・家族、地域住民ならびに行政との連携を深める機会を確保しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　21,134 名(施設入所支援)　　15,428 名(生活介護)
2. 年 間 稼 働 率　　96.50 %(施設入所支援)　　95.59 %(生活介護)
   (目 標 稼 働 率　　98.00 %　　95.00 %)
3. 年間平均障害程度区分　　区分 4.88 (施設入所支援)　　区分 4.89 (生活介護)
4. 月 別 利 用 状 況

施設入所支援事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区 分 4	509	512	490	527	525	540	558	525	510	549	476	527	6,248
区 分 5	799	891	821	830	887	814	846	844	874	847	717	818	9,988
区 分 6	381	389	381	353	371	360	372	331	372	361	397	465	4,533
計	1,719	1,823	1,722	1,741	1,814	1,744	1,807	1,730	1,787	1,788	1,618	1,841	21,134

生活介護事業　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	22	28	26	28	28	27	28	26	23	23	20	23	302
区 分 4	365	373	346	377	378	384	399	374	364	397	326	371	4,454
区 分 5	593	663	596	613	663	600	625	612	642	624	502	597	7,330
区 分 6	281	290	281	265	276	264	276	240	276	264	284	345	3,342
計	1,261	1,354	1,249	1,283	1,345	1,275	1,328	1,252	1,305	1,308	1,132	1,336	15,428

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
退 所 者 数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
月末入所者数	60	60	60	59	60	59	60	60	60	60	60	60	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.4.10	お花見	『さくらを見ながら、あるいてGo～』と題して、施設周辺等の桜や梅の花を見ながら散歩し、春の訪れを感じ楽しまれています。	利用者 35名 職員 5名
R7.5.29	若生園若草園交流会	若草園の地域交流スペース会場で若草園と若生園の利用者様・職員が集まり、○×ゲーム・ジャスチャーゲームを楽しみ・交流を深める機会をとなりました。	利用者 56名 職員 14名
R7.6.19	家族交流会	ご家族を招いて、利用者様・ご家族(34名)・職員で曲当てイントロクイズと物当てゲームのレクリェーションを通して、交流を深めています。	利用者 58名 家族 35名 職員 18名
R7.8.21	夏祭り・夕涼み会	日中は、『夏祭り』と題して、食堂・地域交流スペースにて射的・ゼリーすくいゲームや盆踊りや出店(アイスクリーム)のアイスクリームを召し上がり夏祭りの雰囲気を味わっていただきました。また、夜は第二部の夕涼み会として、園庭で夏の風物詩である手持ち花火や打ち上げ花火等で、利用者様楽しまれ皆で過ぎゆく夏を惜しみました。	利用者 61名 職員 14名
R7.10.30	けいせんかいフェスティバル	法人内の障害関係施設事業所合同の行事を体育館で実施。全員参加での行事でステージ発表や出店等もあり、利用者の方々も楽しまれていました。	利用者 52名 職員 15名
R7.12.11	クリスマス忘年会 家族交流会	食堂、地域交流スペースにて、ご家族を招いて、クリスマス忘年会を実施しました。ご家族様と一緒にクリスマスリース作り・1年間の行事等のスライドショー・恵泉会ェスティバルにて踊った輪になって踊ろうを広いし、ご家族と楽しい時間を過ごすことが出来ました。	利用者 57名 家族 28名 職員 18名

R8.1.8	新年会	新年を無事迎えられたことに感謝し、福笑いやカラオケ・書初め大会の表彰式を実施し、楽しまれています。その後、会食しながら楽しく過ごしました。	利用者　57名 職員　7名
R8.2.3	節分・年祝い	邪気を払う豆まきをしました。また、年祝いの方や還暦を迎える方を利用者と職員でお祝いしました。	利用者　58名 職　員　9名

【宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会企画行事】

R7.10.17	わくわくフェスティバル	宮城県内障害系事業所の支援スタッフ部会の職員が、『わくわくフェスティバル』を企画し、利用者・職員が集まり、ゲーム等のイベントへ参加し、交流を深めています。	利用者　2名 職　員　1名
R8.1.30	三択クイズ大会	宮城県内障害系事業所とwebで繋ぎ、利用者様・職員が、『三択クイズ大会』に参加し、楽しいひと時を過ごされています。	利用者　10名 職　員　2名

【短期入所事業サービス、他】

1. 年間延べ利用人員　566 名
2. 年 間 稼 働 率　38.77 %
   （ 目 標 稼 働 率　40.00 % ）　（ 延べ利用者数 ）
3. 年間平均障害程度区分　3.54
4. 月 別 利 用 状 況【短期入所事業】（年間延べ利用人員　566 名 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	2	4	6	11	9	8	8	6	2	4	60
区 分 3	5	2	41	35	52	50	46	13	10	11	14	5	284
区 分 4	3	33	8	8	8	8	18	7	6	8	12	5	124
区 分 5	11	8	19	15	0	0	0	0	0	0	0	0	53
区 分 6	9	11	5	0	0	0	4	0	0	6	5	5	45
計	28	54	75	62	66	69	77	28	24	31	33	19	566

（ 延べ利用者数 ）

5. その他の障害福祉サービス
   月 別 利 用 状 況【日中一時支援事業】（年間延べ利用人員　166 名 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登 米 市	8	10	20	21	17	17	17	8	10	6	11	12	157
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗 原 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
計	9	16	22	21	17	17	17	8	10	6	11	12	166

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.4.1	利用者小遣い管理と処理	サービス管理責任者	職員4名
R7.5.14	自然災害BCP（事業継続計画）机上訓練	主任	職員7名
R7.6.12	コンプライアンス/個人情報保護①	統括施設長	職員24名
R7.6.20	感染症予防研修①「ノロウイルス」流行性胃腸炎二次感染予防について	web研修	職員11名
R7.6.30	身体拘束について	web研修	職員24名
R7.7.17	感染症予防研修②（新型コロナウィルス 『まず立ち止まって考えること』）	web研修	職員19名
R7.7.17	感染症予防研修③『ガウンテクニックについて』	web研修	職員13名
R7.8.21	虐待防止研修「支援者の虐待を防ぐ」	web研修	職員24名
R7.10.16	感染症予防研修④「日常的感染対策について」	web研修	職員14名
R7.11.20	事故防止　リスクマネジメントの考え方	web研修	職員10名
R7.12.18	苦情解決に関する研修	管理者	職員11名
R8.1.15	安全運転/安全衛生	統括施設長	職員8名

R8.1.30	新興感染症BCP（事業継続計画）机上訓練	看護師	職員6名
R8.2月	チームで働くための発信力と傾聴力について	web研修	職員11名
R8.2月	障がい者支援の基礎について	web研修	職員5名
R8.2月	精神障がい者の支援について	web研修	職員8名
R8.3.6	介護基礎研修『オムツ研修』	白十字	職員10名

（2）外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.6.6	令和7年度　登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市役所南方庁舎	生活支援員
R7.6.11	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.8.5	令和7年度　コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員
R7.8.6	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.8.6	交換研修（百楽荘）	恵泉会	登米市	生活支援員
R7.8.7	意思決定支援研修会	恵泉会(ワーキング部会)	登米市(若草園内)	施設長・ｻﾋﾞ管8名
R7.8.8	交換研修（ほたるの郷）	恵泉会	登米市	生活支援員
R7.8.22	令和7年度　登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会『虐待防止研修』	登米市	登米市役所南方庁舎	管理者
R7.8.22	令和7年　度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会『虐待防止研修』	登米市	登米市役所南方庁舎	生活支援員
R7.9.10-11	強度行動障害支援者養成研修 『基礎研修』	一般社団法人りんく	オンライン	生活支援員
R7.9.10	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.9.19	令和7年度　障害者虐待防止研修	県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.10.3	令和7年度　クレーム対応研修	県社会福祉協議会	仙台市	サービス管理責任者
R7.10.8	支援スタッフ部会	県知的障害者福祉協会	仙台市	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.10.22	令和7年度　職場コミニュケーション研修	県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員
R7.11.5	第46回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米市	職員4名参加
R7.11.19	施設見学（わ・は・は大衡・船形の郷）	恵泉会	黒川郡	管理者
R7.11.21-22	令和7年度宮城県サービス管理責任者等実践研修	県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員
R7.11.28	アセスメント・ケア向上研修「日常に活動を＋事業所でできる運動プログラム」	宮城県東部保険福祉事務所	石巻市	生活支援員
R7.12.9-10	令和7年度宮城県サービス管理責任者等専門コース別研修	宮城県	仙台市	サービス管理責任者
R7.12.9	アンガーマネージメント研修	県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.12.12	令和7年度　福祉サービス苦情解決に関する研修会	県社会福祉協議会	オンライン	管理者
R7.12.12	令和7年度　福祉サービス苦情解決に関する研修会	県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.12.17	令和7年度登米市相談支援専門員とｻﾋﾞ管等連携強化事業研修会	登米市	登米市	生活支援員兼ｻﾋﾞ管
R7.12.17	宮城県DWAT（災害派遣福祉チーム）の役割について	宮城県社会福祉法人経営者協議会	登米市	統括施設長
R8.2.13	恵泉会中堅職員フォロアップ研修	恵泉会	法人本部	生活支援員
R8.2.13	恵泉会中堅職員フォロアップ研修	恵泉会	法人本部	生活支援員
R8.2.26	令和7年度障害者就労・生活支援センター研修事業・「ゆい」就労支援セミナー	生活支援センター『ゆい』	迫公民館	管理者

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	年13回	施設長・管理者・事務員・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	年12回	施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	年12回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内　容	場　所	出席者
ケア会議 (年7回)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	ｽﾀｯﾌﾌﾙｰﾑ・相談室	管理者・ｻﾋﾞ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援ワーキング部会	8施設の共有事項について検討 (事業運営部会:年9回) (サービス向上部門:年7回)	若草園	管理者・サービス管理責任者 各担当職員
入所調整会議 (年2回)	次期入所予定者(施設入所者)の実態調査後の入所可否を決定。	若草園	統括施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・看護師・管理栄養士・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	年12回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	ｻｰﾋﾞｽの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・　生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ｾﾞﾛ」の取り組みや検討。	年15回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生のメカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。マニュアルの見直し。	年4回	看護師・管理者・ｻﾋﾞ管・管理栄養士・生活支援員
防災・防犯委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	年11回	管理者・ｻﾋﾞ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内　容	場　所	出席者
年6回	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・管理者・主任
年2回	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
年4回	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
年5回	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
年2回	入所調整委員会	若草園	統括施設長・管理者・ｻﾋﾞ管・看護師・管理栄養士・生活支援員
年1回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	統括施設長・主任

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.6.24	迫支援学校中等部1.2.3年生生徒・父兄・職員	施設見学	41名
R7.6.25	啓佑学園　職員4名	施設見学	5名
R7.8.21	修紅短期大学学生2名	夏祭り行事ボランティア	2名
R7.10.29	(福)岩手社会福祉事業団　障害者支援施設『かたくり』『つつじ』職員4名	施設見学	3名

（2）実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.7.28～R7.8.8	修紅短期大学幼児教育学科2年	保育実習	3名	30名
R7.9.29～R7.10.10	仙台こども専門学校	保育実習	2名	20名
R7.10.28～R7.10.30	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	2名	6名
R7.11.4～R7.11.6	登米総合産業高校福祉科2年生	障害者支援施設実習	3名	9名
R7.11.13～R7.11.27	仙台幼児保育専門学校	保育実習	2名	10名
計			7名	75名

【今後の取り組み】

1.＜法令遵守＞

令和9年度の報酬改定に向け、最終年度は継続目標である障害者支援施設として運営基準を定める条例で定められた下記項目の他、法令の遵守を継続し適切なサービスを提供します。

①利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づきサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し必要な措置を講ずることにより、利用者に対して適正かつ効果的にサービスを提供します。

②利用者の意思及び人格を尊重して常に利用者の立場に立ったサービスを提供します。

③利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員に対し研修を実施する等の措置を講じます。

④地域移行及び施設外の日中サービスの意向確認・意思決定支援は、サービス管理責任者を担当者として選任し、意向確認マニュアルの作成をし、それに基づいて実施するように努めます。

2.＜安心・安全なサービスの提供＞

①非常災害対策→利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた施設防災計画を策定します。定期的に研修や訓練を実施し不測の事態に対応できる人材の育成につとめます。災害発生後においてもBCP（業務継続計画）に従いサービスを継続的に提供できる体制を整備します。

②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止→指針やマニュアルを整備し定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（業務継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症等の感染症に関しては、利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、福祉施設として基本的な感染対策に努め対応します。

③権利擁護→身体拘束等の原則禁止の指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の研修も同様に実施します。さらに「身体拘束」や「虐待」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した支援を実践していきます。

3.＜適切な支援・介護＞

①高齢になっても、重度化しないように自立支援に基づき、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めます。また、職員の負担軽減や、利用者の安全確保の観点から介護ロボット（見守り）を導入します。

②外出やイベントを増やし生活に楽しみや充実感を見いだせるよう支援します。

③利用者の高齢化により筋力低下や転倒のリスクが増加のため、体力維持を目標に支援します。

4．＜連携及び協働＞

①恵泉会障害（児）者支援ワーキング会議を通し事業所・職員間で連携し、利用者支援に関する共通認識を図ります。そして、ご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）とも連携し利用者の状態にあったサービス提供やサービス移行（介護保険等）ができるよう支援します。

②地域に根差した施設運営を目指し、福祉サービスを必要とする方が良質かつ適正なサービス提供を受けられるよう取り組みます。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を継続します。

③利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めます。

④GHPへの入れ替えで停電時も空調稼働や電源の確保が可能となりました。地域災害拠点の役割を担います。

令和7年度
障害者支援施設若生園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字西綱木24番地
若生園居住棟:宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1

2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会

3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会

4）開 設 年 月 日　　平成23年4月1日

5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所	4 名
計	54 名

【　基　本　方　針　】

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援しました。そして、必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めました。また、地域で生活している障がい者（児）や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

【　重　点　項　目　】

1.　〈一般原則の遵守〉
運営基準を定める条例に示された下記、障害者支援施設としての一般原則を遵守しました。
・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画（個別支援計画）を作成し、それに基づき利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施しながら必要な措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に施設障害福祉サービスを提供しました。

2.〈利用者満足度の向上とサービス向上〉
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活が送れるよう支援しました。また、基本的な感染対策に努めながら、ご家族とのふれ合える機会（外泊や外出・面会等）をご本人やご家族の要望に近づけられるよう配慮し、喜びの声が多く聞かれました。
・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケートや意向調査等)を設け、随時日々の生活の中に取り入れて実施し、利用者の満足度の向上やサービス向上に努めました。
・利用者様の日中活動として、外出・レクリエーション・行事やイベント(楽天の野球観戦や小旅行)など、個々の特性や興味に合わせたものを提供し、楽しんでいただきました。機能訓練についても日々の活動に取り入れながら、自立支援向上や残存機能の維持を日々意欲的に取り組めるよう援助しました。
・利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めました。
・選挙への参画や、ご家族の逝去に伴う最後の面会など、利用者のニーズに合わせた対応に努めました。

3.〈安心・安全なサービスの提供〉
・非常災害対策→委員会において、利用者の特性や施設周辺地域の環境等を踏まえ、火災、地震、土砂、風水害等の非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画（施設防災計画）を策定し、研修や訓練を実施しました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。
・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止について、研修や訓練、利用者に対しても意識啓発をおこないました。発生後においてもBCP(事業継続計画)に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備しました。新型コロナウイルス感染症に関しては、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に福祉施設として基本的な感染対策に努めましたが、今年度は2度の集団感染が発生してしまいました。
・権利擁護→委員会において、身体拘束等の適正化の為の指針やマニュアルを確認し、研修を実施しました。また、虐待の防止の為の研修も同様に実施しました。さらに「虐待」や「身体拘束」という「あってはならない姿」を生む構造的な問題（職場環境や働き方等）についての検討や職員アンケートを実施して権利擁護の意識向上を図りました。また、各種外部研修に参加し、利用者の意思及び人格を尊重した「あるべき姿」からの権利擁護について学び、職員へ周知しました。

4. 〈適切な介護の提供〉
・高齢になっても、重度化しないように自立支援介護や科学的介護の理論や実践を学び、根拠に基づいたケアを個別支援計画に沿って、提供するように努めました。また、ワイズマンシステムへの情報を適切に記録し、その記録をデータとして分析・活用できるように、記録の電子化を進めました。また、職員の負担軽減や利用者の安全確保の観点から介護ロボット(見守り)やネットワークカメラを活用しました。
・高齢化(利用者49名中、60歳以上の利用者様が26名)や重度化が進んでいる現状をふまえ、利用者一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)をご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)へ提案し、利用者にとってよりよい福祉サービスを提供出来るよう努めました。

5. 〈連携及び協働〉
・恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通して各事業所職員間で連携し、各事業所の課題などを共有。利用者支援や権利擁護、職員の資質向上を図るため、フェスティバルの開催や権利擁護研修の実施、法人外事業所の見学などに参加しました。。
・地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した施設運営を目指しました。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たしました。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流等の機会を確保するように努めました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員	17,643	名	(施設入所)	12,664	名 (生活介護)
2. 年 間 稼 働 率	96.67	%	(施設入所)	94.16	% (生活介護)
(目 標 稼 働 率	98.00	%	(施設入所)	98.00	% (生活介護)
3. 年間平均障害程度	4.86			4.88	

4. 月 別 利 用 状 況

施 設 入 所 支 援 事 業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	90	93	90	93	93	120	124	120	124	124	112	124	1,307
区 分 4	570	564	554	529	554	480	496	436	378	379	398	432	5,770
区 分 5	450	465	431	403	403	330	341	360	403	402	354	372	4,714
区 分 6	359	347	360	463	472	570	585	540	551	558	504	543	5,852
計	1,469	1,469	1,435	1,488	1,522	1,500	1,546	1,456	1,456	1,463	1,368	1,471	17,643

生 活 介 護 事 業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 3	66	69	66	69	69	72	83	73	81	77	67	76	868
区 分 4	407	403	385	382	402	343	358	300	265	267	265	296	4,073
区 分 5	330	345	309	299	299	242	250	264	298	294	247	276	3,453
区 分 6	259	257	264	340	345	418	424	395	402	413	360	393	4,270
計	1,062	1,074	1,024	1,090	1,115	1,075	1,115	1,032	1,046	1,051	939	1,041	12,664

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事他

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.05.29	若生園・若草園交流会	若草園地域交流スペースを会場に、若草園利用者と職員とクイズを通じて、交流や親睦を深めた。異動された職員との交流もあり、利用者・職員ともに満足されていた。	利用者 36名 職 員 6名
R7.06.19	(ふれあいイベント) 『家族といっしょ』	ボランティアによる手品や腹話術などを、利用者とご家族が一緒に見て体験して楽しまれた。併せて、事業説明会を実施。職員の紹介や事業計画の説明、施設見学もおこなった。	利用者 45名 家 族 11名 職 員 15名

R7.07.03	七夕会	七夕の由来をモチーフにした、彦星様と織姫様をたぐり寄せて引き合わせるゲームを実施。拘縮のある利用者も職員の手伝いを得ながら、彦星様と織姫様を引き合わせることに成功しており、笑顔あふれる行事となった。	利用者　43名 職　員　10名
R7.08.21	夕涼み会	今回は第一部(日中)と第二部(夜間)に分けて実施。第一部では、若葉園のご協力を得て夏の味覚であるかき氷を食べて、味覚を楽しんだ。第二部は夕食後に居住棟正面駐車場にて実施。夏の風物詩である線香花火や手持ち花火を楽しまれた。外に出るのが困難な利用者は棟内リビングから打ち上げ花火を観て楽しまれ、皆で過ぎゆく夏を惜しんだ。	利用者　48名 職　員　11名
R7.9.18	小旅行 (仙台うみの杜水族館)	利用者9名で仙台うみの杜水族館へ出かけている。普段の生活では見ることが出来ない泳いでいる生物たちを、興味深げな表情で見学していた。また、イルカのショーでは、イルカたちのダイナミックなパフォーマンスに、利用者達も大喜びだった。館内では食事や買い物もされており、参加者全員が旅行を楽しまれていた。	利用者　9名 職　員　6名
R7.9.25	お月見会	十五夜・お月見の由来を、クイズを通して楽しみながら学ばれている。天気がすぐれなかったため、夕食後うぐいすユニットにて活動で作成した中秋の名月を模した壁飾りを鑑賞。利用者による炭坑節の歌唱やハロウインパーティーを踊るなどして大盛況であった。	利用者　33名 職　員　4名
R7.10.16	WKE秋の歌謡祭	随所に工夫を凝らしたカラオケ大会を実施。絵が得意な利用者に描いていただいた似顔絵を使って歌唱者の紹介したり、曲のタイトルにちなんだクイズをしたり、コーラスグループNatsu☆P様(ボランティア)による歌唱で会場が大盛り上がりするなど、利用者職員も含めて参加者全員が楽しめる歌謡祭であった。	利用者　48名 職　員　9名
R7.10.30	けいせんかい フェスティバル	法人内障害系サービス事業所の利用者・職員が多数参加。若生園も多数の利用者が参加。ステージ発表では、日中活動で練習された『パプリカ』のダンスを披露した。全体のダンスでは『WAになって踊ろう』を全事業所利用者・職員が踊り、大盛況のうちに終了となった。他事業所の利用者・職員・登米産業高校実習生との交流もあり、利用者・職員ともに楽しめたイベントだった。	利用者　24名 職　員　10名
R7.11.27	食欲の秋＆運動の秋 (ポテトパーティー)	利用者に新型コロナ感染者が発生したため予定を変更し、ゲームはおこなわずに実施している。収穫したサツマイモをスイートポテトにして美味しくいただき、秋の味覚を味わった。	利用者　45名 職　員　10名
R7.12.18	クリスマス忘年会	簡単なゲームをおこない、皆さんでクリスマスの定番フレーズをたくさん発声していただいた。皆さんに腕に鈴を付けていただいていたことで、体を動かしながらクリスマスソングを歌うと、皆さんの歌声と鈴の音色でとてもにぎやかな雰囲気であった。	利用者　43名 職　員　9名
R8.1.15	新年会	甘酒で乾杯し、新年の抱負を利用者から発表していただいた。その後、ペットボトルを使用したゲームをおこなって、今年一年の健康をお祈りした。	利用者　22名 職　員　11名
R8.1.22	ハンドマッサージケア	日本介護美容セラピスト協会の方々をお招きして、希望する女性利用者にハンドマッサージやネイルケアを施術していただいている。ケアを受けた利用者はリラックスした表情を見せたり、きれいになったネイルを職員に見せるなどして大喜びされていた。	利用者　16名 職　員　6名
R8.2.5	節分豆まき	職員扮する鬼へ新聞紙を丸めた「豆」をぶつけて、鬼を外へ追い払った。また、還暦・年男・年女の利用者を皆さんにご紹介し、お祝いした。	利用者　49名 職　員　11名
R8.3.5	ひなまつり会	紙コップで作ったお内裏様とお雛様でトントン相撲をして楽しんだ。手軽に楽しめ勝敗もはっきり分かるゲームだったことから、参加した皆さんも何度も挑戦して一喜一憂していた。	利用者　43名 職　員　14名

【宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会企画行事】

R7.10.17	わくわくドキドキフェスティバル	宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会の企画により、県内の障害系事業所の利用者様や職員が宮城県障害者総合体育館を会場に集まり、スポーツやゲームを通じて、交流や親睦を深めている。(内容は、スタンプラリー、販売ブースでの買い物や食事、スポーツゾーンでの玉入れ・ストラックPKへの参加、ステージイベントの鑑賞、ビンゴ等)やまなかやにて昼食を食べ、景色を眺めながら帰園している。	利用者　2名 職　員　2名
R8.1.30	3択クイズ大会	宮城県知的障害福祉協会・支援スタッフ部会の企画により、県内障害系事業所の利用者様や職員を交えながら、オンラインで宮城県に関するクイズ大会を実施。他事業所との交流を楽しんでいただいた。	利用者　19名 職　員　9名

【短期入所者・日中一時サービス】

1. 年間延べ利用人員　519 名
2. 年間稼働率　35.55 %
（目標稼働率　40.00 %）
3. 年間平均障害程度　5.28
4. 月別利用状況　〈短期入所〉　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
区分3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
区分4	5	18	6	17	17	9	16	20	12	6	3	6	135
区分5	0	6	4	6	8	4	12	6	2	14	11	13	86
区分6	6	17	17	22	31	30	29	30	31	27	25	28	293
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	41	27	47	59	43	57	56	45	47	39	47	519

(1) 短期入所　（年間延べ利用人員）　519 名　（稼働率）　35.55 %
(2) 日中一時支援事業　（年間延べ利用人員）　74 名　（稼働率）　10.14 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
(1) 内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R7. 4.28～8.7	新任・異動職員研修（BCP・権利擁護・小遣い管理と処理・ワイズマン入力の仕方・記録の仕方・服薬管理・ガウンテクニック・急変緊急時の対応他）	管理者・看護師・サビ管	職員　5名
R7.5.19 / 9.16	コンプライアンス研修	統括施設長	職員　23名
R7.7.8	食中毒研修	管理栄養士	利用者　46名　職員　6名
R7.10.14	接遇マナー研修	web研修	職員　23名
R7.11.11	入所施設の役割とあり方について	web研修	職員　23名
R7.12.15	虐待防止・身体拘束等適正化研修①「身体拘束について」	web研修	職員　23名
R8.2.3	虐待防止・身体拘束等適正化研修②「障がい者虐待防止について」	web研修	職員　23名
R8.2.12	新興感染症BCP机上訓練	管理者	職員　5名
R8.2.19	介護基礎研修「排泄ケアについて」	白十字株式会社	職員　6名
R8.3.3	感染症予防とまん延防止研修	看護師	職員　7名
R8.3.10	安全運転研修	管理者	職員　23名
R8.3.10	リスクマネジメント研修	管理者	職員　23名
R8.3.10	苦情解決研修	管理者	職員　23名

＜法人内研修＞

R7.4.25	恵泉会人事考課研修	法人本部	サビ管
R7.7.11	恵泉会新任職員研修	法人本部	生活支援員
R7.8.7	意思決定支援研修会	若草園	管理者・サビ管
R7.11.5	恵泉会職員研修大会	登米市水の里ホール	管理者・生活支援員
R8.2.13	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	准看護師
＜交換研修＞			
R7.8.13	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	パルめぐみ	生活支援員
R7.8.19	他事業所業務体験研修(ワーキング部会主催)	遠山荘	生活支援員

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R7.6.6	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市他	登米市南方庁舎	生活支援員
R7.8.22	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市他	登米市南方庁舎	サビ管/生活支援員
R7.9.1	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員
R7.9.5	「高齢者・障害者虐待防止」についての研修会	宮城県ケアマネージャー協会石巻支部	石巻市	生活支援員兼サビ管
R7.11.7	業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員兼サビ管
R7.11.18	社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員
R7.11.19	「わ・は・わ大衡」「宮城県船形の郷」施設見学	ワーキング部会	大衡村・大和町	サビ管
R7.12.9	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員
R7.12.12	福祉サービス苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	管理者
R7.12.17	登米市相談支援専門員とサビ児管等連携強化事業	登米市福祉事務所	登米市南方庁舎	生活支援員兼サビ管
R8.2.13	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	生活支援員兼サビ管
R8.2.24	登米圏域保健医療福祉支援者研修会	東部保健福祉事務所	登米合同庁舎	生活支援員
R7.2.26	障害者就労・生活支援センター研修事業・ゆい就労支援セミナー	障害者就労・生活支援センター「ゆい」	迫公民館	管理者
R8.3.4	身体障害の理解啓発セミナー	宮城県リハビリテーション支援センター	オンライン	生活支援員

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	施設運営全般に関する協議	13回	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	12回	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	6回	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	12回	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R7.6.5	恵泉会地震防災対策会議	恵泉会法人本部	防火管理者(管理者)
4回	入所検討会議・入所判定会議	若生園	統括施設長・管理者・副主任・主任・サビ管・栄養士・看護師・生活支援員
R7.6.6 R7.11.7	地域連携推進会議	若生園	委嘱委員(利用者代表・利用者家族代表・有識者・区長・登米市福祉事務所保健師) 統括施設長・管理者・サビ管

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上分析・サービス評価の自己評価、集計、報告等	年10回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る	年3回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み・研修等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡予防対策、研修や訓練企画等	年4回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備点検 等	年12回	管理者、サビ管、栄養士、看護師、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
年9回	障害児者支援ワーキング部会(事業運営部会)	若生園	管理者
年7回	障害児者支援ワーキング部会(サービス向上部会)	若草園	サビ管
R7.6.5	恵泉会地震防災対策委員会	オンライン会議	防火管理者
年6回	支援スタッフ部会	宮城県障害者福祉センター	サビ管

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.06.19	社会福祉協議会派遣ボランティア	行事ボランティア(演者として)	8名
R7.06.25	啓友学園職員	施設見学	4名
R7.10.16	社会福祉協議会派遣ボランティア(Natsu☆P)	行事ボランティア(演者として)	8名
R7.10.29	岩手社会福祉事業団 障害者支援施設「かたくり」「つつじ」職員	施設見学	3名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.8.25～9.5	修紅短期大学　幼児教育学部 2年	保育実習	3 名	30 名
R7.10.28～30	登米総合産業高校 福祉科2年生	介護実習	3 名	7 名
R7.11.4～6	登米総合産業高校 福祉科2年生	介護実習	3 名	9 名
		計	9 名	46 名

【今 後 の 取 り 組 み】

1.＜法令遵守＞
運営基準を定める条例に示された下記項目のほか、法令を遵守し適切なサービス提供に努めます。
・利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた計画(個別支援計画)を作成。その計画に基づいて利用者に対して施設障害福祉サービスを提供するとともに、支援後の効果について継続的な評価をおこないながら必要な措置を講ずることにより、利用者が成功体験を獲得して今後の生活が生きがいや楽しみを持てるよう、適正かつ効果的な施設障害福祉サービスを提供します。
・利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
・利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の防止のため、必要な体制の整備をおこなうとともに、職員に対し研修を実施するなどの措置を講じます。
・地域移行及び施設外の日中サービスの利用意向確認及び意思決定支援は、サービス管理責任者を担当者として選任し、意向確認マニュアルに基づいて実施するよう努めます。

2. ＜安心・安全なサービスの提供＞
・非常災害対策→利用者の特性や施設周辺地域の環境などを踏まえ、火災、地震、土砂、風水害などの非常災害が発生した場合における利用者の安全確保体制や、避難方法などを定めた施設防災計画を策定します。定期的に研修や訓練を実施し、不足の事態に対応できる人材の育成につとめます。災害発生後においてもBCP（事業継続計画）に従いサービスを継続的に提供できる体制を整備します。
・感染症及び食中毒の予防・まん延防止→指針やマニュアルを整備し、定期的に研修や訓練を実施します。発生後においてもBCP（事業継続計画）に従い利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。新型コロナウイルス感染症などの感染症に関しては、利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱える方が多いことから、福祉施設として基本的な感染対策に努め対応します。
・権利擁護→身体拘束の原則禁止のための指針やマニュアルを整備し、定期的に研修を実施します。また、虐待防止の研修も同様に実施します。さらに身体拘束や虐待を生む構造的な問題（職場環境や働き方など）について検討するとともに、利用者の意思及び人格を尊重した支援を実践していきます。

3. ＜利用者満足度の向上とサービス向上＞
・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じて安心して暮らせる空間の提供と、その人らしい生活が送れるよう支援します。
・利用者の要望を(自治会・利用者及び家族アンケートや意向調査など)随時確認し、得た意見を事業計画へ反映することで利用者の満足度の向上やサービス向上に努めます。また、ご家族からご意見があった事務所機能の居住棟への集約について、検討を進めます。
・利用者の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練など楽しみながら自立心と自律心の向上や残存機能の維持を図るとともに、ひとりひとりの感性を引き出すことで、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
・利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った施設障害福祉サービス提供に努めます。
・利用者やそのご家族、若生園に関わる全ての方々が不快な思いにならないよう、職員の接遇マナー向上を図ります。

4. ＜適切な介護＞
・高齢になっても重度化しないよう、自立支援を念頭に根拠に基づいたケアを、個別支援計画に沿って支援します。また、職員の負担軽減や利用者の安全確保の観点から、介護ロボット（見守り）とネットワークカメラの導入を推進します。

5. ＜連携及び協働＞
・恵泉会障害（児）者支援ワーキングを通して事業所・職員間で連携し、利用者支援や職員資質向上に関する共通認識を図り、利用者の生活の質の向上へつなげます。そして、ご家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政など）とも連携し、利用者の状態に合ったサービス提供や適切なサービスへの移行(介護保険など)ができるよう支援します。
・地域と連携して福祉サービスを必要とする方が地域住民として良質かつ適正なサービス提供を受けられるよう取り組みます。地域交流や地域貢献を通して、地域に根差した運営を目指します。また、地域で生活している障害者の方々やその家族に対して、セーフティーネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。
・利用者家族との連携を図るとともに、利用者とその家族との交流などの機会を確保するように努めます。

令和7年度
生活介護事業所パルめぐみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成17年4月1日
5．利　用　定　員　　35 名　（契約者数　64名）

令和7年4月は契約者数62名でスタート、年間の動向は、4名が生活介護利用契約、2名が生活介護契約解除となりました。
利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均32.9名の利用となるなど、平均利用人数において昨年度の33.5名を下回った形となりました。加齢および心身の状態の低下によって車いすを利用する方が増えましたが、送迎車の調整や職員間での連携など柔軟に行うことで利用継続できるよう対応しました。
日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み（主に土曜日・祝日）のときに利用するという状況が続いています。1日当たり2.2人の利用と、昨年度の2.3人をわずかに下回った形となりました。
今年度も強度行動障害の利用者に対して、専門的な支援を継続的に提供できるよう新たに1名の職員が強度行動障害支援者養成研修に参加し、修了しました。
日中活動においては、感染症対策をしっかり行った上で外出や行事を実施しました。臨機応変に内容を変更しながら、職員一丸となって「利用者主体」の支援を実現しようと取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1．生活介護
入浴および排泄を必要とされる利用者個々の状況に応じて対応しました。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々の希望に応じて食事をできるようにと提供時間に幅を持たせました。また、感染症対策として、食事人数の調整とパーテーションの設置を継続しました。（強度）行動障害の利用者には、専門的に学習した職員を中心に個別化した支援の強化を行うことで、対象者が過ごしやすい環境作りを行いました。

2．健康管理
ICTによりバイタルの管理を行いました。健康状態に不安がある方については、1ヵ月毎の表やグラフで状態の把握に努めました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図りました。感染症に対しては、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。日中2回以上の検温やサービス提供後の施設内消毒など、マニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

3．機能訓練・療法的活動支援
身体機能低下が懸念される方が多くなってきたことに伴い、1日2回の体操を継続して行ってきました。さらに、足裏マッサージ、ペダル漕ぎなど、希望に応じて対応しました。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、障害の状態に関係なく多くの利用者が音楽を通じて心身のリフレッシュを図ることができました。

4．活動機会の提供
創作活動では、男女関係なく毎月の壁飾り作りを協力して完成させ、月ごとに季節の変遷を感じられる作品を作り上げていました。趣味活動で毎年参加していた障害者による書道・写真コンテストでは、写真部門で金賞、書道部門では初めて審査員特別賞を収めるなどこれまでの成果が現れました。
昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、季節の移り変わりを感じることができました。毎年恒例のお花見以外にも、夏には屋台をイメージした内容の夏祭り、秋には紅葉外出などを実施しました。社会資源の活用として、今年度の社会見学はパルめぐみ設立20周年を記念して南三陸ホテル観洋で盛大なお祝いをしました。
利用者主体の活動を実現するため、活動の際には一人ひとりが選択できるよう複数の内容を準備するようにしました。その人らしい「意思決定」を大事にできる環境作りをしました。

5. その他

今年度は迫支援学校の職場見学や、宮城教育大学からの職場実習の受け入れをしました。

10月には障害福祉サービスに関わる全8拠点合同で「恵泉会フェスティバル」を集合形態にて実施、サービスの種類に関係なく多くの利用者が参加することができました。

地域行事として、パルめぐみ設立20周年を記念した第16回となるトーンチャイム演奏会を登米市役所迫庁舎で実施しました。地域交流に加え、利用者の自己表現の場を作ることができました。

公益的事業の一環として清掃活動を行いました。参加希望の利用者とともに、社会資源となる地域の清掃活動を行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　10,152 名
2. 年 間 稼 働 日 数　309 日
3. 年 間 稼 働 率　93.9% %　(生活介護)
4. 年間平均障害支援区分　4.25
5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分2	5	8	9	9	9	8	9	8	8	8	8	8	97
区分3	127	130	126	128	128	128	131	124	130	128	116	138	1,534
区分4	453	460	430	433	399	411	434	399	408	399	389	448	5,063
区分5	227	231	216	226	213	219	239	202	211	206	198	225	2,613
区分6	59	62	61	69	71	71	71	65	73	82	76	85	845
合　計	871	891	842	865	820	837	884	798	830	823	787	904	10,152

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
月末契約者数	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	62	64	+ 3

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行事名	内　容	参加者数
R7.4.11,15 ～17,21	お花見	江合公園、平筒沼ふれあい公園、長沼フートピア公園の3カ所に分かれてお花見をしました。春の風情を感じながら登米市内の桜の名所を訪れました。	利用者　50名 職　員　9名
R7.05.28	ミニ運動会＆バーベキュー	応援合戦、障害物競走、ダンシング玉入れの運動会にバーベキューを合わせてイベント化しました。	利用者　41名 職　員　9名
R7.06.11	パルめぐみ20周年記念旅行	パルめぐみ設立20周年を記念したイベントで、南三陸ホテル観洋でカラオケ大会や食事、買い物をして節目の年を祝いました。	利用者　46名 職　員　16名
R7.06.25	学習外出①	佐沼警察署にて警察車両の見学や交通ルールについて学んできました。	利用者　11名 職　員　3名
R7.7.3,8	学習外出②, ③	登米市防災センターを見学し、イオン佐沼店フードコートで昼食・買い物を。地震体験や煙体験などを通じ、防災の意識が高まりました。	利用者　18名 職　員　6名
R7.07.23	アート体験	オリジナル風鈴を作りました。物作りの楽しさを実感してもらい、表現することを自身と達成感にもつながりました。	利用者　40名 職　員　11名
R7.08.06	夏祭り	4種類の屋台縁日（千本引き、輪投げ、射的、食べ物やタイ）を行い、夏特有のイベントを体感。季節を感じる感性を大事にしました。	利用者　42名 職　員　13名

R7.09.03	フラダンスボランティア慰問	ボランティア団体「フラ・ハウオリ」様を招き、フラダンスの魅力を伝えてもらいました。実際に踊り、体験することも出来ました。	利用者　39名 職　員　11名
R7.9.17,22,26	学習外出④,⑤,⑥	くりでんミュージアムを見学し、イオンフードコートで昼食・買い物を。くりはら田園鉄道を通じ、当時の歴史を肌で感じることができました。	利用者　40名 職　員　10名
R7.10.01	障害者による書道・写真コンテスト	写真部門では1名が金賞、1名が銅賞ととなった他、書道部門では審査員特別賞を1名が受賞。日中活動の成果が身を結んだ結果となりました。	利用者　10名 職　員
R7.10.08	交流会	南方認定こども園を招待しての交流会。園児のダンス披露後、ゲームを通じて触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じることができました。	利用者　40名 職　員　9名
R7.10.30	恵泉会フェスティバル	障害福祉サービス事業所・施設による合同イベント。恵泉会体育館にて、12名の利用者が代表でステージ発表し、会場一体となって盛り上がりました。	利用者　37名 職　員　12名
R7.11.17,18,20	テイクアウトランチ①	ラーメン武蔵、Cocos、すし海道の3店舗から昼食を注文。食べ慣れた環境の中で選ぶ楽しみを味わいました。	利用者　37名 職　員　12名
R7.12.10	テイクアウトランチ②	ラーメン武蔵、氏金寿司の2店舗から昼食を注文。食べ慣れた環境の中で選ぶ楽しみを味わいました。	利用者　37名 職　員　12名
R7.12.10	トーンチャイム演奏会	第16回となる演奏会はパルめぐみ開所20周年を記念した内容で、登米市役所迫庁舎で行いました。アンコール曲を含む全8曲を1階ラウンジで披露してきました。	利用者　16名 職　員　6名
R7.12.17	クリスマス会	釣った魚をもみの木に飾り付け完成度を競うゲーム「釣りでツリーを飾り付けゲーム」で盛り上がった後、サンタクロースからのプレゼントがありました。	利用者　40名 職　員　12名
R8.01.08	二十歳を祝う会・新年会	1名の利用者が二十歳を迎え、人生の節目の年をお祝いしました。また、新しい年が始まり、乾杯を含め盛り上がりました。	利用者　41名 職　員　12名
R8.02.03	節分行事	鬼のカップケーキ作り、年男年女による豆まきで日本の伝統行事に触れることができました。	利用者　40名 職　員　13名
R8.03.03	ひなまつり会	ボードシアターとレクリエーション（ひな壇コンプリート）で春の訪れをいち早く感じていただきました。	利用者　40名 職　員　10名

【その他の利用者サービス】　　日中一時支援事業

1. 年間延べ利用人員　　681 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	53	56	53	60	56	54	55	54	46	46	56	52	641
	栗原市	2	2	2	2	3	1	2	2	3	2	2	2	25
	南三陸町	2	2	0	2	1	1	1	1	2	1	0	2	15
	計	57	60	55	64	60	56	58	57	51	49	58	56	681
稼働日数		26	27	25	27	26	26	27	25	25	24	24	26	308
利用者/日		2.2	2.2	2.2	2.4	2.3	2.2	2.1	2.3	2.0	2.0	2.4	2.2	2.2

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内　容	講師（講演者）	参加者
R7.04.25	介護の課題と2040年のシステム構築への展望	生活支援員	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.05.07	コンプライアンス研修	管理者	全職員
R7.06.09	意思決定支援研修	管理者	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.06.26	食中毒対策研修	栄養士	全職員(及び利用者)
R7.07.02	制度について	管理者	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.07.15	熱中症予防について	准看護師	全職員(及び利用者)
R7.07.23	腰痛予防研修	管理者	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.08.25	強度行動障害研修	生活支援員	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.09.03	虐待防止研修①	管理者	全職員
R7.09.26	虐待防止伝達研修	生活支援員	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.10.23	意思決定支援伝達研修	サービス管理責任者	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.10.24	リスクマネジメント研修（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等
R7.11.25	感染症予防研修	准看護師	全職員(及び利用者)
R7.12.25	流行性胃腸炎二次感染予防（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等
R8.01.08	権利擁護研修	管理者	全職員
R8.01.27	ストレスマネジメント研修（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等
R8.02.03	虐待防止研修②	管理者	全職員
R8.02.17	障害者総合福祉法と障害支援区分（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等
R8.03.03	BCP感染症研修（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等
R8.03.10	BCP研修（机上訓練）	管理者	サビ管、事務員、生活支援員等
R8.03.12	安全衛生教育研修（WEB）	サポーターズ・カレッジ	サビ管、事務員、生活支援員等

（2）外部研修

年月日	内　容	開催地	参加者
R7.04.25	人事考課者研修	在宅サービス支援棟2階	サビ管兼生活支援員
R7.05.14	強度行動障害支援者養成研修（基礎課程）	オンライン	生活支援員
R7.05.15	強度行動障害支援者養成研修（基礎課程）	オンライン	生活支援員
R7.05.20	強度行動障害支援者養成研修（基礎課程）	オンライン	生活支援員
R7.05.21	強度行動障害支援者養成研修（実践課程）	オンライン	生活支援員
R7.05.22	強度行動障害支援者養成研修（実践課程）	オンライン	生活支援員
R7.07.15	他事業所業務体験研修	こじか	栄養士兼生活支援員
R7.08.07	意思決定支援研修会	若草園活動棟	管理者、サビ管
R7.08.22	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市役所南方庁舎	生活支援員
R7.09.16	他事業所業務体験研修	若葉園	生活支援員
R7.11.19	障害福祉施設・事業所見学	わ・は・わ大衡、宮城県船形の里	サビ管、生活支援員
R8.02.26	「ゆい」就労支援セミナー	迫公民館2階大会議室	栄養士兼生活支援員

2．会 議 開 催 状 況

（1）定例会議

会議名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月1回	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	週1回	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	栄養士
恵泉会種別部会	事務部会、ワーキング部会、施設長等会議	毎月1回	管理者、サビ管、事務員

(2) その他の会議

開催日	内　容	場　所	出席者
R7.05.13	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、恵泉会グループホーム
R7.05.27	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.06.18	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.06.23	障害児者支援ワーキング(サービス向上)	若草園	パルめぐみ、若草園等
R7.06.24	担当者会議	ほっとさわべ	パルめぐみ、ほっとさわべ、ひだまりぼっけ等
R7.07.15	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.07.17	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、恵泉会グループホーム
R7.07.18	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター
R7.07.29	障害児者支援ワーキング(サービス向上)	若草園	パルめぐみ、若草園等
R7.08.20	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.08.25	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、恵泉会グループホーム
R7.08.27	障害児者支援ワーキング(サービス向上)	若草園	パルめぐみ、若草園等
R7.08.28	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、地域生活支援センター等
R7.09.17	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.09.25	障害児者支援ワーキング(サービス向上)	若草園	パルめぐみ、若草園等
R7.10.14	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R7.10.22	担当者会議	若草園	パルめぐみ、地域生活支援センター、若草園
R7.10.23	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター
R7.11.28	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター
R7.12.16	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター
R7.12.19	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R8.01.21	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R8.01.26	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター
R8.01.29	障害児者支援ワーキング(サービス向上)	若草園	パルめぐみ、若草園等
R8.02.18	障害児者支援ワーキング(事業運営)	若生園	パルめぐみ、若草園、若生園等
R8.02.20	担当者会議	パルめぐみ	パルめぐみ、家族、地域生活支援センター

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
虐待防止・身体拘束廃止対策検討委員会	虐待防止および身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	年12回	管理者・サビ管・生活支援員
感染症・食中毒予防対策検討委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	年12回	栄養士・看護師
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	年12回	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	年12回	サビ管・生活支援員
防災対策委員会	防災訓練・避難訓練の計画実施	年12回	サビ管・生活支援員・事務員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	1回	管理者・サビ管・生活支援員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内　容	来訪者数
R7.07.01	在宅利用者様	見学	3名
R7.09.03	迫支援学校様	見学	17名
R7.12.05	在宅利用者様	見学	3名
R8.01.27	S.O様	見学	3名
R8.02.26	H.S様	見学	3名
R8.03.05	K.H様	見学	3名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.8.4,5,6,7	宮城教育大学	職場実習	1名	4名
計				

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者それぞれに適した支援方法を模索しながら、環境作りやサービス提供を行い、地域の社会資源としてより多くの方々に利用してもらえるよう努めていきます。

また、サービス提供を通して基本的生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。ICTによるデータ管理を行うことによって、利用者個々のデータ抽出が容易になったため、より素早いアプローチを目指していきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

3. 意思決定支援

自ら意思を決定することに困難を抱える利用者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援していきます。

4. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室を令和8年度も継続します。
また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士等に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

5. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動、園芸活動など以外にも、タブレットを使った楽しみ方を学ぶことで楽しみ方のバリエーションを増やしていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、利用者一人ひとりがその人にあった楽しみ方ができるよう自己決定を支援していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

6. 生産性向上

ICT機器等を積極的に活用し、業務改善や生産性向上の取り組みを通した職員の負担軽減を図り、それによって生まれた時間を利用者との「対話」という最も大切な支援に充てる取り組みを進めます。

7. その他

良質なサービス提供を維持するため、アンケート調査やサービス評価の内容を重視していきます。関係機関や地域、家族との連携を大切にし、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子を「パルめぐみブログ」や定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

令和7年度
恵泉会グループホーム ・ はせやま相談支援事業所 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　登米市中田町浅水字長谷山352－2
2. 設 置 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成18年10月1日（障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定）
5. 利 用 定 員　　106 名　（※R7．4．1現在，内、2名は体験利用枠）

（ホーム数）19ホーム:26住居

ホーム名	定員	住　　所	住居区分	物件形態	夜間支援有無
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有	あり
やまびこホームⅠ	4名	登米市迫町佐沼字小金丁	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字南佐沼	アパート	賃貸借	
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字南佐沼	アパート	賃貸借	
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字小金丁	一戸建て	賃貸借	
かりんホームⅡ（サテライト型）	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字錦	一戸建て	賃貸借	
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借	
石森ホームⅠ	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
石森ホームⅡ	2名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
すみれホームⅠ	2名	登米市中田町石森字加賀野	アパート	賃貸借	
すみれホームⅡ	2名	登米市中田町石森字加賀野	アパート	賃貸借	
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅡ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	
くりの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借	
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰﾎｰﾑⅢ(ｻﾃﾗｲﾄ型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	

令和7年度事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令および恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の方々が共同で暮らす地域において、一人ひとりが主体となって日常生活・社会生活を営むことができるよう、心と身体の状態ならびにその環境に応じて、不都合なく健やかな暮らしが送れるように支援しました。職員と世話人は相談・余暇・入浴・排泄・食事、その他の日常生活上必要となる介護・支援を安全に留意しながら協力して効果的に実践しました。

利用者の高齢化や重度化に対する取り組みとして、フレイル予防に向けた法人内介護保険事業所との連携強化を今年度も継続しています。更に住みやすく年齢や特性に合った住環境の整備として、すみれホーム、石森ホーム、ももの木ホーム、はさまホーム、かりんホームⅡの移転を実施しました。

職員はサービス管理責任者が中心となり個々のアセスメントを丁寧に実施し、一人ひとりに合ったサービスや生活の場の提供を目指すと共に、虐待防止・身体拘束の適正化・権利擁護や意思決定支援といった利用者様の想いや夢を叶えるためのサービスを追求しましたが、石森ホームで世話人による虐待案件が発生したため、充実と改善に向けた取り組みを更に強化し事業所全体で推進しました。

法人内障害児者のワーキンググループについては、次世代のリーダー育成を目的として施設見学の実施や意思決定支援研修会を開催しました。更に若手職員の経験の場を設定し、恵泉会フェスティバルの開催や職員間の交換研修を実施することで、事業課題の解決や職員としての資質向上のための取り組みを推進しました。

【 重 点 項 目 】

1．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

(1) 利用者様一人ひとりを豊かにするため、頼られる存在であり続けるよう努めました。
(2) 利用者様一人ひとりを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を心掛けました。
(3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であるよう努めました。
(4) 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えられるよう努めました。
(5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者様の年齢や特性に合った住環境を整備しました。

2．恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取り組み

(1) 利用者様の重度高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化を図りました。
①夜間支援体制の強化やフレイル予防対策として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図りました。
②感染症対策については、県内及び法人内での感染状況をモニタリングしながら、その状況に応じた支援や利用者への行動協力を要請しました。

(2) 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化を図りましたが不十分でした。
①指導監督職とサービス管理責任者から構成する虐待防止・権利擁護委員会の活動を継続強化し、全ての利用者様が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供するように努めましたが、石森ホームで世話人による虐待案件が発生したため、更なる強化を図りました。

(3) 利用者様の特性および年齢に合った住環境の移転整備を行い、新規利用者の獲得に務めました。
①老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業・他法人との連携強化を図りました。

(4) 利用者様やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先、就労先との連携を図りました。
①利用者様の心身の状況・状態をご家族と共に確認・見極めながら、安心した生活生活が提供できるよう、ケアカンファレンスやサポート会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討しました。
②恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携強化を図りました。

※ 介護保険サービスの利用者
菊風荘（デイサービス）利用　6名
東和高齢者福祉施設（デイサービス）利用　5名
迫風園（ショートステイ）および翠風荘（デイサービス）利用1名
南寿荘（デイサービス）利用　4名
萩風園（ショートステイ）利用　2名
ほたるの郷（ショートステイ）利用　1名
他法人ショートステイ利用　2名
福祉用具貸与サービス利用　7名（※他サービスとの重複あり）

※ 利用サービス等の変更・見直し
一般就労から福祉就労へサービス変更（0名）　一般就労から生活介護へサービス変更（1名）
福祉就労から生活介護へサービス変更（3名）　介護保険サービスへの新規移行及び併用開始（3名）
他法人から法人内サービスへの移行者（0名）

※ はせやま相談支援事業所への契約変更者（2名）

(5) IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進を図りました。
①パソコンまたはタブレット端末を活用し、業務日誌の入力や加算算定、医療提供状況の記録を作成しました。

(6) 相談支援事業の目標予算を達成し、法人内拠点事業所との連携強化を図りました。
①マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談支援体制の関係強化に努め、収入基盤の安定に努めました。
②施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有を強化しました。

(7) 利用者様の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案しました。
①趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者一人ひとりの想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践しました。
②ユニファイドスポーツ(障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム)を通じた心身の健全育成を推進しました。

(8) 経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けて取り組みました。
①収支目標達成のため、空床整理に取り組みました。
②重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数　　36,382 名
2. 年間稼働日数　　365 日
3. 年間稼働率　　94.0 %
4. 年間平均障害支援区分　　3.60
5. 月別利用状況

(1)共同生活援助　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	0	0	0	0	244
区分2	390	396	390	401	385	385	402	390	424	427	397	492	4,879
区分3	889	890	852	905	890	870	903	900	911	903	843	960	10,716
区分4	1,350	1,178	1,392	1,407	1,348	1,345	1,357	1,284	1,278	1,303	1,198	1,299	15,739
区分5	380	396	356	331	329	328	334	324	298	300	275	307	3,958
区分6	30	31	32	62	62	60	62	85	102	119	106	95	846
計	3,069	2,922	3,052	3,137	3,045	3,018	3,089	3,013	3,013	3,052	2,819	3,153	36,382
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
稼働率	96.5%	88.9%	96.0%	95.5%	92.7%	94.9%	94.0%	94.7%	91.7%	92.9%	91.7%	96.0%	93.8 %

(2)計画相談支援(※サービス提供時モニタリング加算を含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	16	4	7	11	7	5	6	3	7	4	11	8	89
モニタリング	18	25	17	23	30	45	19	26	24	19	27	43	316
ｻｰﾋﾞｽ提供時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ加算ほか	71	85	66	75	79	100	61	65	72	64	93	106	937
合　計	105	114	90	109	116	150	86	94	103	87	131	157	1,342

6. 契 約 の 状 況

(1)共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
契約終了者数	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	5
月末契約者数	104	103	103	103	103	103	101	102	101	101	101	101	－3

(2)計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	4
契約終了者数	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	6
月末契約者数	181	181	181	181	181	180	182	182	181	181	181	180	－2

【利用者サービスの状況】

1. 入 居 者 支 援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
来 所	13	15	14	15	12	14	11	10	11	14	15	13	157
電 話	135	130	142	124	150	154	146	158	155	162	183	179	1,818
訪 問	62	65	57	55	68	71	55	48	58	64	88	81	772
計	210	210	213	194	230	239	212	216	224	240	286	273	2,747

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
精神)佐藤医院	7	6	6	9	9	6	2	10	14	9	8	8	94
精神)三峰病院	11	11	7	8	2	4	6	10	7	0	2	3	71
精神)石越病院	4	4	5	4	3	3	5	3	4	3	4	3	45
登米市民病院	15	8	8	3	7	12	4	6	5	5	5	3	81
登米市立米谷病院	1	0	3	9	6	2	7	3	3	3	1	3	41
上杉皮膚科医院	17	12	10	16	10	21	4	2	15	12	11	18	148
その他(大崎市民病院他)	84	80	84	76	72	87	99	111	93	62	80	82	1,010
計	139	121	123	125	109	135	127	145	141	94	111	120	1,490

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市 内	115	95	98	104	90	112	106	121	114	77	93	98	1,223
市 外	24	26	25	21	19	23	21	24	27	17	18	22	267
計	139	121	123	125	109	135	127	145	141	94	111	120	1,490

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	55	56	55	57	66	64	58	51	49	42	65	80	698

(4) 余暇支援

実施月	行事名	内容	参加者数
4月	外出支援	東北風土マラソン2025	回数 1回 参加 10名
	ホーム行事	外出支援(買物、外食など)	回数 1回 参加 1名
5月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 1回 参加 1名
	運動支援	障スポ参加	回数 2回 参加 8名
6月	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(大会込み)	回数 2回 参加 19名
	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 1回 参加 4名
7月	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(写真、書道コンテスト参加)	回数 1回 参加 3名
	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 4回 参加 10名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 8名
8月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 4回 参加 17名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 8名
9月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 5回 参加 12名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 4名
10月	希望旅行	個別希望一泊旅行(ディズニーシー)	回数 1回 参加 3名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 8名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 5回 参加 28名
11月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 1回 参加 4名
12月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 1回 参加 4名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 8名
1月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 3回 参加 6名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(食事会など)	回数 2回 参加 11名
2月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数 2回 参加 6名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援	回数 1回 参加 7名

3月	希望外出	個別の外出支援(買物、外食など)	回数　1回 参加　1名
	運動支援	サッカークラブとしての活動支援(福島での南東北大会出場)	回数　1回 参加　7名
実施回数	45 回	延べ参加者数	198 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	2	3	3	6	5	6	7	1	2	5	3	2	45

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.04.01	新任・転入職員OJT	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員3名
R7.04.02	新任・転入職員OJT	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員3名
R7.04.03	新任・転入職員OJT	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員2名
R7.05.15	ミニ研修　電話対応について	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員15名
R7.05.30	BCP研修(防災、感染症)	防災委員	職員17名
R7.06.03	ミニ研修　成人期の暮らし　将来の収支について	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員14名
R7.06.03	ミニ研修　成年後見制度について	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員14名
R7.06.19	県集団指導　本部	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員1名
R7.07.03	ミニ研修　熱中症について	施設長	職員15名
R7.08.21	交換研修	さくらワークス	職員1名
R7.08.22	交換研修	若葉園	職員1名
R7.09.03	コンプライアンス研修	施設長	職員15名
R7.09.03	伝達研修　子どものメディアとの正しい付き合い方	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員14名
R7.09.03	伝達研修　発達障害ってなんだろう	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員14名
R7.10.08	伝達研修　宮城県仙台市障害者ピアサポート研修・基礎研修	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員15名
R7.11.12	伝達研修　強度行動障害支援者養成基礎研修	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員	職員11名
R7.12.03	ミニ研修　介護保険をわかりやすく	施設長	職員12名
R8.01.19	サポーターズカレッジweb研修　知的障害と認知症の違い	web	職員8名
R8.01.21	サポーターズカレッジweb研修　認知症の症状と似ている疾病	web	職員11名
R8.02.13	フォローアップ研修	恵泉会	職員1名
R8.02.26	「ゆい」就労支援セミナー	恵泉会	職員2名
R8.03.25	宮城県障害福祉サービス集団指導	本部	職員1名

【内部研修　実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	3	2	3	1	2	3	1	1	1	2	2	1	22

(2) 外部研修

年月日	内　容	主催者	開催地	参加者
R7.06.04	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.06.06	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方支所	職員2名
R7.07.03	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.07.15	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	フォレスト仙台	職員1名
R7.07.16	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	フォレスト仙台	職員1名
R7.07.19	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	宮城県庁	職員1名

R7.07.20	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	宮城県庁	職員1名
R7.07.23	安全運転管理者講習	宮城県安全運転管理者協会	祝祭劇場	職員1名
R7.08.07	意思決定支援	恵泉会	若草園	職員5名
R7.08.21	子どものメディアとの正しい付き合い方	宮城県保健福祉部精神保健推進室	web	職員1名
R7.08.25	発達障害ってなんだろう	宮城県発達障害者支援センター	登米合同庁舎	職員2名
R7.08.30	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修・基礎研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R7.08.31	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修・基礎研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R7.09.02	サービス管理責任者基礎研修	県社協	みやぎハートフルセンター	職員2名
R7.09.04	サービス管理責任者基礎研修	県社協	みやぎハートフルセンター	職員1名
R6.09.05	強度行動障害支援者養成基礎研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.09.08	障がい福祉支援者サポート事業	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R7.09.12	強度行動障害支援者養成基礎・実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.09.14	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	フォレスト仙台	職員1名
R7.09.15	障害者相談支援従事者初任者研修	仙台障害者相談支援従事者協会	フォレスト仙台	職員1名
R7.09.15	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.09.16	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.10.04	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R7.10.05	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R7.10.18	障害者相談支援従事者初任者研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R7.10.29	後見後見に関する市町村長申し立て研修	宮城県保健福祉部長寿社会政策課企画推進班	南方庁舎	職員1名
R7.12.11	強度行動障害支援者養成基礎・実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R7.12.17	D-WAT研修	宮城県	迫体育館	職員2名
R7.12.18	強度行動障害支援者養成基礎・実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R8.01.12	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R8.01.16	強度行動障害支援者養成実践研修	教育・研修センターようき	web	職員1名
R8.02.24	登米圏域保健医療福祉支援者研修	石巻保健所登米支所	南方庁舎	職員1名
R8.03.21	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修フォローアップ研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R8.03.22	宮城県仙台市障害者ピアサポート研修フォローアップ研修	宮城県	宮城県庁	職員1名

2.　会議開催状況

(1)定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事計画、支援課題、事務連絡、ミニ研修　等	毎月1回	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画、モニタリング、支援方針　等	毎月1回	利用者、担当職員 他
世話人会議	情報共有、事業方針、業務連絡、ミニ研修　等	隔月1回	各ホーム世話人、担当職員

(2)その他の会議・委員会

会議名	内容	開催日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	全42回	担当職員、関係者、本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	全424回	担当職員 他
介護保険連携	モニタリング・担当者会議	全133回	担当職員、本人、関係者
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	全26件	担当職員、関係機関、本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	全10回	担当職員、関係機関
障害児者施設長等会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全9回	施設長
障害児者支援ワーキング(事業運営部門)	支援技術の向上と事業所間の連携	全9回	施設長、担当職員
障害児者支援ワーキング(サービス向上部門)	支援技術の向上と事業所間の連携	全9回	施設長、担当職員
恵泉会地震防災対策委員会	災害に備えた防災体制の確立	全1回	防災委員
恵泉会ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実行委員会	障害系の事業所での合同フェス実施検討	全4回	フェスティバル実行委員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・準備・調整・打合せ	全4回	施設長、担当職員
地域連携推進会議	地域を交えた運営評価会議	全2回	施設長、本人、有識者、地域関係者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
虐待防止・権利擁護委員会	事故や虐待、権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー、関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順、余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー、関係職員
防災安全委員会	災害や非常時に備えた計画の整備、訓練実施。	毎月1回	委員会メンバー、関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備、研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー、関係職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.06.04	迫支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(かごだん、やまびこ、かきの実)	29 名
R7.07.08	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(梨の木ホーム)	3 名
R7.09.09	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(こだま・石森ホーム)	3 名
R7.10.06	新規入居希望者、相談支援事業所	見学(こだま・石森ホーム)	1 名
R7.11.17	新規物件地域住民・入居者家族	見学(こだまホーム)	2 名
R7.11.17	新規物件地域住民・入居者家族	見学(はさま・かきの実ホーム)	3 名
R8.01.14	新規物件地域住民・入居者家族	見学(とよま・わかばホーム)	3 名
R8.01.21	新規物件地域住民・入居者家族	見学(とよま・わかば・くりの実ホーム)	4 名
R8.01.22	新規物件地域住民・入居者家族	見学(わかばホーム)	2 名
R8.02.16	新規物件地域住民・入居者家族	見学(とよまホーム)	5 名
R8.03.23	新規物件地域住民・入居者家族	見学(わかばホーム)	2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回数	0	0	1	1	0	1	1	2	0	3	1	1	11

（2）体験ステイ，体験入居（介護給付費対応）

年月日	対象者・期間	内容	人数
R7.07.22	新規入居希望者（～7/25）	体験入居（梨の木ホーム）	1 名
R7.07.29	新規入居希望者（～8/1）	体験入居（梨の木ホーム）	1 名
R7.08.04	新規入居希望者（～8/7）	体験入居（梨の木ホーム）	1 名
R7.10.27	新規入居希望者（～10/31）	体験入居（くりの実ホーム）	1 名
R8.02.12	新規入居希望者（～2/13）	体験入居（わかばホーム）	1 名
R8.02.20	新規入居希望者（～2/22）	体験入居（くりの実ホーム）	1 名
R8.02.24	新規入居希望者（～2/27）	体験入居（わかばホーム）	1 名
R8.02.27	新規入居希望者（～3/1）	体験入居（かきの実ホーム）	1 名
R8.03.18	新規入居希望者（～3/24）	体験入居（くりの実ホーム）	1 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
回数	0	0	0	7	5	0	5	0	0	0	11	7	35

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン

心紡ぐ　～ あなたに よりそう けいせんかい ～

こころ つむぐ

2.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

① 利用者一人ひとりの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること。
② 利用者一人ひとりを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること。
③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること。
④ 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること。
⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者の方々の年齢や特性に合った住環境を整備すること。

3.恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点的取組み

① 利用者の重度化・高齢化への対策と感染症予防に関する取り組みの継続・強化
→夜間支援体制の強化とフレイル予防として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図る。
→感染症対策については、県内および法人内での感染状況をモニタリングしながら、その状況に応じた支援や利用者への行動協力を要請していく。

② 虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束適正化に関する取り組みの継続・強化
→指導監督職とサービス管理責任者から構成する権利擁護・虐待防止委員会の活動を継続し、全ての利用者が幸せを感じ、自らの力を自分らしく安心して発揮できる暮らしの場を提供する。

③ 利用者の特性および年齢に合った住環境の提供を目指す，新規利用者の獲得に向けた営業強化
→少人数物件や老朽化物件の移転・集約、新規利用者獲得のための営業と他法人との連携強化。

④ 利用者やご家族のニーズに合ったサービス内容の調整および通所先・就労先等との連携
→利用者の心身の状況・状態をご家族と共に確認・見極めながら、安心した生活が提供できるよう、ケアカンファレンスやサポート会議を通じてサービス内容を丁寧に評価・検討していく。
→恵泉会内の障害福祉サービスまたは介護保険サービス事業所との情報共有と連携強化を図る。

⑤ IoT機器やICTの活用による業務効率化の推進
→パソコンまたはタブレット端末の活用を推進し、加算算定や医療提供状況の記録を作成する。

⑥ 相談支援事業の目標予算の達成と法人内および関係機関との連携強化
→マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な情報共有、相談援助体制の関係強化に努め、収入基盤を安定させる。
→施設入所支援や共同生活援助の新規利用希望者を獲得できるよう、関係事業所との連携や市町村の担当保健師等との情報共有をさらに強化していく。

⑦　利用者の趣味活動やクラブ活動を応援し、余暇時間の充実や休日の過ごし方を提案
→趣味や興味・関心、好きなこと、挑戦したいことなど、利用者一人ひとりの想いや自己実現のための機会を最大限尊重した余暇支援を実践していく。
→ユニファイドスポーツ（障害のある方もない方も競技ルールの上で公平・平等に一緒に楽しむことを目的としたスペシャルオリンピックスのプログラム）を通じた心身の健全育成を推進する。

⑧　経常収支の目標達成と事業収入合計2億円に向けた取り組み
→収支目標達成のため、空床整理と業務委託費支出の見直しを図る。
→重度障害者および強度行動障害認定者の受け入れに合わせ、職員配置体制と加算体制のバランスを意識した経営を実践する。

4.共同生活支援事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

＊＊＊　共同生活援助事業の役割について　＊＊＊

サービスを提供する上で、職員と世話人は次の役割を理解して業務にあたります。

◇グループホームの役割は、利用者のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。
職員と世話人は利用者と一緒に、『その人の想いや夢の実現』を目指して業務にあたります。

◇グループホームは、利用者一人ひとりの『家』であり、生活する住まいの場です。
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではないことを理解します。

◇利用者は「困った人」ではなく「困っている人」という認識を持ち、構造化された環境で、医療と連携し、日常生活や精神状態に支障を来すような不安や刺激を与えないよう、個に応じた支援を追求します。

◇利用者の権利擁護や虐待防止の視点から、本人の「意思決定」のための支援を常に大切にします。意思決定の支援にあたっては、「意思表出支援」と「意思形成支援」を中心プロセスとしてアプローチします。

令和7年度
恵泉会地域生活支援センター　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設 置 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成18年10月1日
5. 利 用 定 員　　なし （利用者の障害種別は問わない）

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　5,320 名
   ○登米市障害者相談支援事業
   ○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業　　1,950 名
   ○宮城県障害児等療育支援事業
   ○指定特定相談支援事業(計画相談支　　2,051 名
   ○障害者就業・生活支援　　1,319 名

2. 年 間 稼 働 日 数　　293 日

3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援事業	146	194	167	202	178	142	178	127	157	141	144	174	1,950
指定特定相談支援事業	128	164	218	235	127	153	178	140	185	209	148	166	2,051
障害者就業・生活支援事業	90	92	141	111	144	110	125	84	101	92	100	129	1,319
計	364	450	526	548	449	405	481	351	443	442	392	469	5,320

4. 登 録 の 状 況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	2	0	1	4	1	3	3	4	3	3	4	9	37
月末登録者数	479	479	480	484	485	488	491	495	498	502	506	515	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	2	3	0	2	6	2	1	1	2	4	4	27
登録抹消者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末登録者数	355	357	360	359	361	367	369	370	371	373	377	381	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業/宮城県障害児等療育支援事業

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他
97	134	23	318	56	77	1,245

指定特定相談支援事業(計画相談支援)

訪問相談	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他
560	74	32	1,087	44	219	35

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業　　宮城県障害児等療育支援事業

相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等	相談	問い合わせ	連絡・調整	経過確認等
196	11	49	65	119	3	8	9

障害者就業・生活支援事業

職場実習	就職者	定着支援
20	20	318

【利用者サービスの状況】

1. 日 常 サ ー ビ ス

(1) 療育相談・家族への支援

実 施 日	項　　目	内　　容		参加者数
R7.04.20	はあとタイム	理学療法士等による療育相談		17 名
R7.05.18	〃	〃		13 名
R7.06.15	〃	〃		17 名
R7.07.20	〃	〃		18 名
R7.08.24	〃	〃		13 名
R7.09.21	〃	〃		13 名
R7.10.19	〃	〃		17 名
R7.11.16	〃	〃		15 名
R7.12.21	〃	〃		18 名
R8.01.18	〃	〃		16 名
R8.02.15	〃	〃		15 名
R8.03.15	〃	〃		16 名
実　施　回　数		12 回	延　べ　参　加　者　数	188 名

実 施 日	項　　目	内　　容		参加者数
R7.09.11	ペアレント・プログラム	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム①		7 名
R7.09.25	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム②		7 名
R7.10.09	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム③		11 名
R7.10.23	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム④		9 名
R7.11.06	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム⑤		9 名
R7.11.20	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラム⑥		7 名
R8.02.05	〃	多機能サポートセンターこじかペアレント・プログラムフォローアップ		4 名
実　施　回　数		7 回	延　べ　参　加　者　数	54 名

(2) 療育行事・余暇活動支援・在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実 施 日	項　　目	内　　容		参加者数
R7.06.27	オープンはあとアクション・たいあっぷ	自然とふれあう★森林セラピー体験ツアー／森林浴セラピーで心も体もリフレッシュ！		12 名
R7.09.28	たいあっぷ	自分の強みを増やそう！パソコン講習会★		7 名
R7.11.02	オープンはあとアクション・たいあっぷ	楽しくスポーツ★卓球交流会／運動で気軽にリフレッシュ！～卓球の健康効果について学ぼう！～		15 名
R8.01.25	オープンはあとアクション	みんなで歌おう★新年カラオケ交流会2026		11 名
R7.11.11	ピアサポート活動	就職準備段階において必要なこと		12 名
実　施　回　数		5 回	延　べ　参　加　者　数	57 名

(3) 技術支援・ネットワーク形成・研修会開催等(事業別・主な事業)

実 施 日	項　　目	内　　容	参加者数
R7.06.06	相談支援事業	障がい福祉サービス事業所職員等研修(初任者向け研修)	26 名
R7.07.19	相談支援事業	相談支援従事者初任者研修 指導者協力	7 名
R7.08.22	相談支援事業	障がい福祉サービス事業所職員等研修(虐待防止研修)	38 名
R7.09.08	相談支援事業	障がい者福祉支援サポート事業「動機付け面接を深める」	9 名
R7.10.01	相談支援事業	障がい者福祉支援サポート事業「アルコールの依存症の基本」	8 名
R7.11.17	相談支援事業	障がい者家族セミナー	13 名
R7.12.17	相談支援事業	相談支援専門員とサビ児管等連携強化事業	31 名
R7.07.22	マネジャー配置事業・療育支援事業	支援者研修会(えくぼTEACCHプログラム研修会)	15 名
R7.08.25	マネジャー配置事業・療育支援事業	市民公開講座「発達障害って何だろう？」in登米・栗原	68 名
R7.09.02	マネジャー配置事業・療育支援事業	みんなの勉強会「安心して年をとるには何が必要か？」	17 名
R7.10.06	マネジャー配置事業・療育支援事業	令和7年度 親子支援研修会～子どもが主役の支援のあり方～前期	23 名
R7.11.26	マネジャー配置事業・療育支援事業	令和7年度 親子支援研修会～子どもが主役の支援のあり方～後期	24 名

R7.09.03	マネジャー配置事業	教育と福祉の連携による発達障害支援者研修会(9/3,9/19)	108 名
R7.10.21	マネジャー配置事業	令和7年度保育担当者及び児童館等指導員研修会	29 名
R7.10.24	マネジャー配置事業	アセスメント技術を高める研修会ファシリテーター協力	22 名
R8.01.09	マネジャー配置事業	令和7年度 宮城県発達障害者支援者研修圏域別研修(栗原圏域)	30 名
R8.01.26	マネジャー配置事業	発達障害者支援実践報告会(1/26,2/3)	23 名
R7.04.21	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会ワーキング	5 名
R7.05.22	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会①	13 名
R7.09.17	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会②	11 名
R7.12.16	就業支援事業	宮城就業支援ネットワーク ナカポツ部会③	13 名
R7.06.12	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会①	19 名
R7.09.18	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会②	16 名
R7.12.05	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会③	14 名
R8.03.10	就業支援ネットワーク形成	就労関係事業所連絡会④	19 名
R7.09.12	就業支援事業	迫支援学校高等部授業協力「ゆい」事業説明会	20 名
R7.11.05	就業支援事業	女川高等学園授業協力「ゆい」事業説明会	87 名
R8.03.13	就業支援事業	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会	54 名
R8.02.26	「ゆい」研修事業	「自分らしくはたらくために」	43 名
実施回数		延べ参加者数	805 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	説明者・進行役・講師	参加者
R7.05.28	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	地域生活支援センター職員	相談業務担当職員
R7.06.18	個人情報管理、メール誤送信の防止等について	〃	〃
R7.07.18	登米市障害者虐待防止ネットワークの理解	〃	〃
R7.08.20	意思決定支援研修(8/7)の伝達研修	〃	〃
R7.10.01	引きこもり支援について	〃	〃
R7.10.15	障害者虐待防止研修(伝達研修)	〃	〃
R7.10.22	法令遵守に関する研修「職員としての心構え」(10/22,10/24)	〃	〃
R7.12.03	アルコール依存症の基本(伝達研修)	〃	〃
R8.01.28	自治体保健師について知ろう。	〃	〃

(2) 外部研修(事業別・主な事業)

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.05.13	発達障害支援基礎講座(6/3,7/1)	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.05.19	発達障害支援者基礎研修	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員1名
R7.05.26	援護寮見学会(事業説明会)	援護寮	大崎市	職員1名
R7.06.02	Vineland-Ⅱ研修会	宮城県発達障害者支援センター	石巻市	職員2名
R7.06.06	母子保健体制強化事業(母子分野)研修会	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員1名
R7.06.13	発達障害地域支援体制づくり研修	宮城県子ども総合センター	名取市	職員2名
R7.06.23	特別支援学校専門性向上研修会	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.07.24	母子保健体制強化事業(発達障害児支援分野)研修会	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員1名
R7.08.06	アセスメント技術を高める研修会(9/3,10/24)	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.09.19	教育と福祉の連携による発達障害支援者研修会	宮城県子ども総合センター他	石巻市	職員2名
R7.09.29	発達障害支援力向上研修Ⅱ	宮城県発達障害者支援センター	大崎市	職員2名

R7.10.07	発達障害支援基礎講座(後編1/15)	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.10.08	子どもの心のケア研修事業保育所等関係者研修会	宮城県子ども総合センター	石巻市	職員2名
R7.10.29	発達障害者就労支援セミナー	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.11.11	発達障害支援力向上研修Ⅲ	宮城県発達障害者支援センター	オンライン	職員1名
R7.11.17	アセスメント・ケア向上研修会“気になる子”の理解と支援の在り方	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員2名
R7.12.01	宮城県ペアレント・プログラムアドバンストワークショップ	宮城県子ども総合センター	名取市	職員1名
R8.02.03	発達障害者支援実践報告会	宮城県発達障害者支援センター	仙台市	職員1名
R8.02.16	宮城県ペアレント・プログラムスキルアップ研修会及び取り組み報告会	宮城県子ども総合センター	オンライン	職員1名
R7.07.15	障害者就業・生活支援センター連絡会議	宮城労働局	仙台市	職員1名
R7.09.10	ナカポツ主任就業支援担当者研修～9/12	障害者職業総合センター	オンライン	職員1名
R7.10.14	就労と定着に関する意見交換会	障害者就労連携構築支援事業	大崎市	職員2名
R7.10.17	WORK！DIVERSITYinみやぎ 地域ネットワーク会議	NPO法人 わたげの会	登米市	職員1名
R7.10.22	栗原市障がい者就労セミナー	栗原市	栗原市若柳	職員2名
R7.11.27	気仙沼地域障がい者就労セミナー	気仙沼市自立協就労支援部会	気仙沼市	職員2名
R7.11.27	障害者雇用促進セミナー	迫公共職業安定所	登米市	職員2名
R8.02.24	登米圏域保健医療福祉支援者研修会	宮城県精神保健福祉センター	登米市	職員2名
R7.05.21	障害者相談支援従事者研修市町村向け説明会	宮城県	仙台市	職員1名
R7.06.18	チーム・ビルディング研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.07.11	障害者相談支援における中核人材養成研修	宮城県	仙台市	職員1名
R7.07.15	宮城県障害者相談支援従事者初任者研修(7/15･16･19･20,9/14･15,10/18)	宮城県、MSK35	仙台市	職員1名
R7.08.07	意思決定支援研修会	恵泉会障害児者支援ワーキング	登米市	職員4名
R7.08.30	障害者ピアサポート研修基礎研修(8/30,31)	ｱｰﾄ･ｸﾙｰｼﾞｮﾝ	仙台市	職員1名
R7.10.04	障害者ピアサポート研修専門研修(10/4,5)	ｱｰﾄ･ｸﾙｰｼﾞｮﾝ	仙台市	職員1名
R7.11.01	障害者相談支援従事者主任研修(11/1,2,8,9)	東北福祉カレッジ	オンライン	職員2名
R7.11.25	宮城県サービス管理責任者等実践研修(11/25,26)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R8.03.27	アメニティーフォーラム29	全国地域生活支援ネットワーク	埼玉県秩父市	職員3名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 月	参　加　職　員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	年11回	相談支援事業担当職員
登米GSV(相談支援部会)	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	年10回	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月	施設長、相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	毎月2回(隔週)	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月(4.2.3月除く)	相談業務担当職員
地域支援ﾏﾈｼﾞｬｰ・療育支援事業 新規ｹｰｽ支援検討会	子ども総合センターとの新規ケース検討(登米・栗原圏域別)	2か月に1回	地域支援マネジャー、療育担当職員
地域支援マネジャー・療育支援事業 定期連絡会	子ども総合ｾﾝﾀｰとの定期連絡会(登米・栗原)	2か月に1回	地域支援マネジャー、療育担当職員
地域支援マネジャー・療育支援事業 情報交換会	子ども総合ｾﾝﾀｰとえくぼとの情報交換	2か月に1回	地域支援マネジャー、療育担当職員

(2) その他の会議(主な会議)

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
R7.06.11	宮城県立迫支援学校評議委員会	宮城県立迫支援学校	職員1名
R7.07.07	登米市自立支援協議会こども部会	登米市南方庁舎	職員1名
R7.07.25	宮城県自立支援協議会精神障がい部会	登米市南方庁舎	職員1名
R7.08.28	登米市自立支援協議会精神障がい部会	登米市南方庁舎	職員1名
R7.08.29	宮城県自立支援協議会こども部会	登米市南方庁舎	職員1名
R7.10.20	登米市自立支援協議会こども部会	登米市南方庁舎	職員1名
R7.11.25	宮城県自立支援協議会	フォレスト仙台	職員1名
R7.12.09	登米市自立支援協議会地域生活部会	登米市南方庁舎	職員2名
R7.12.10	登米市自立支援協議会精神障がい部会	登米市南方庁舎	職員1名
R8.01.23	宮城県自立支援協議会地域生活部会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R8.02.04	登米市自立支援協議会精神障がい部会	登米市南方庁舎	職員1名
R8.02.25	宮城県立迫支援学校評議委員会	宮城県立迫支援学校	職員1名
R8.03.23	登米市自立支援協議会	登米市南方庁舎	職員2名

【 事 業 に 伴 う 成 果 】

(1) 登米市障害者相談支援事業

・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっています。
・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通した関わりも可能となっています。
・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっています。

(2) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして、令和元年度から事業化された取り組みについて、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置しています。
・保健師からは「家族が子どもとの関わりに悩んでいる、具体的な関わりを提案してほしい。(未就学)」、学校からは「家族と一緒に子どもを支援できる体制を作りたい。」など、家族支援の相談が多くなっています。支援者の中で“家族支援”の視点が広がり、その重要性の理解が深まっています。
・宮城県や登米市と協力し、「こどもが主役の支援のあり方」をテーマに、保護者との関係作りや連携に焦点をあてた支援者研修会を開催しています。研修会での事例発表をきっかけに、事業が周知され、小学校からの相談が増えるなど、教育との連携が強くなっています。
・登米エリアだけでなく、栗原エリアの発達障害支援体制も補完し、保健所や療育関係事業所と地域作りを進めています。また、県の要請に応え、栗原人材育成プログラムを実施し、支援者養成にも取り組み、10月には栗原エリアに地域支援マネジャーが新たに配置されています。
・ペアレント・プログラムが、各圏域でも取り組めるよう、養成研修講師として協力しています。成果は市内からの評価にとどまらず、県内外の発達障害支援機関に広く認知されています。

（3） 宮城県障害児等療育支援事業

・理学療法士を療育支援担当として配置し、身近な地域で専門的な療育相談を受けられる体制を確保しています。また、地域支援マネジャーと連携し、情報共有しながら、発達の状況に合わせた適切な助言を行っています。
・はあとタイムを毎月開催しています。はあとタイムは、様々な障害（未診断を含む。）特性に合わせて、専門職による個別対応を図る療育相談です。家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっています。
・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、本人や家族に寄り添った支援を心がけ、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげています。ペアレント・プログラム（支援者向け、家族向け）にも継続して取り組んでいます。
・事業が地域に認知され、未就学児だけでなく、教育機関からの相談も多くなり、小学校・中学校・高等学校への訪問機会が増えています。

（4） 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

・「ゆい」登録者のうち、今年度は20名（実人数）が就職に結びついています。
・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっています。
・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年4回開催し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っています。
・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っています。また、労働局の指針により、卒業年次在学時からの利用登録が可能になり（令和3年度以降）、就職をめざす学生との関わりが深まり、卒業後の切れ目のない支援につながっています。
・ハローワーク主催の障害者雇用促進セミナーに参加協力し、障害者雇用の実績のない企業や未達成の事業主に対して、「ゆい」の取り組みを紹介し、障害者の就労を地域全体で支える体制作りの一助になっています。

令和7年度
多機能型事業所若葉園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所	在 地	宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16
2. 設	置 主 体	社会福祉法人　恵泉会
3. 経	営 主 体	社会福祉法人　恵泉会
4. 開	設 年 月 日	平成21年　4月　1日
5. 利	用 定 員	40 名（就労移行支援6名、就労継続支援B型34名）

【基本方針の実施状況】

1. 就労移行支援
一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指しながら支援を行いました。令和7年度は就職に結びついた利用者はいませんでしたが、次年度就職に結びつくよう支援を継続していきます。

2. 就労継続支援B型
個別性を重視した個々の支援計画に基づき、実習や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しました。工賃向上計画に準拠し、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携し生産体制の確立を図った結果、目標額を超えることができました。

3. 就労定着支援
就労定着支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指すよう支援し、離職者が0名という定着率100％の実績となりました。

【重点項目に対する評価、成果】

1. 個別支援の充実
サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施いたしました。定期的にモニタリングを行いながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

2. 工賃の向上
各作業班ごとにコスト軽減や生産・販売の効率化に努め、費用対効果への意識を高めながら事業展開を行いました。特にグリーン工房においては新商品の開発や販路拡大を図りました。その結果、月々の工賃は順調に支払われ、一時金も大幅に増え、工賃向上計画の目標額の32,300円を達成し、最終年間の平均工賃は33,427円となりました。

3. 就労支援体制のさらなる充実
ハローワークや障害者就業・生活支援センターゆい等関係機関と連携しながら就労支援体制の充実を図っています。令和7年度は、就職者を出すことはできませんでしたが、令和8年度は利用者一人ひとりのニーズの充足を目指し、就職者を1人でも多く輩出できるよう支援を進めていきます。

4. 就労定着に向けた専門的な支援
平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業ですが、令和7年度においても1名も離職者を出すことがありませんでした。その結果定着率が100％となっています。今後も各企業や関係機関と連携を密にし、就職者の定着に向けて支援していきます。

5. 虐待防止等
打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢を繰り返し確認しました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業　定員　34名

1. 年間延べ利用人員　8,263 名
2. 年 間 稼 働 日 数　242 日
3. 年 間 稼 働 率　100.4 %　（ 目標稼働率 ： 106% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	63	58	84	88	78	80	88	73	81	77	73	83	926
区 分 3	214	209	201	197	185	192	233	189	217	207	195	207	2,446
区 分 4	263	253	288	303	262	274	277	233	258	244	215	250	3,120
区 分 5	30	26	21	19	17	20	22	18	20	19	18	21	251
未 申 請	167	156	139	135	115	124	126	109	130	110	97	112	1,520
合 計	737	702	733	742	657	690	746	622	706	657	598	673	8,263

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
契約解除者数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
月末契約者数	40	39	38	38	37	37	37	38	38	38	37	37	－1

就労移行支援事業　定員　6名

1. 年間延べ利用人員　977 名
2. 年 間 稼 働 日 数　242 日
3. 年 間 稼 働 率　67.3 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	20	17	21	20	17	18	21	13	20	18	18	16	219
区 分 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
未 申 請	42	43	60	53	75	68	73	65	70	63	58	84	754
合 計	62	60	81	73	92	86	98	78	90	81	76	100	977

5. 契 約 状 況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	9
契約解除者数	2	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	8
月末契約者数	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	6	＋1

若 葉 園(全事業合計)　定員　40名

1. 年間延べ利用人員　9,240 名
2. 年 間 稼 働 日 数　242 日
3. 年 間 稼 働 率　95.45 %　（ 目標稼働率 ： 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 2	83	75	105	108	95	98	109	86	101	95	91	99	1,145
区 分 3	214	209	201	197	185	192	233	189	217	207	195	207	2,446
区 分 4	263	253	288	303	262	274	277	233	258	244	215	250	3,120
区 分 5	30	26	21	19	17	20	26	18	20	19	18	21	255
区 分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未 申 請	209	199	199	188	190	192	199	174	200	173	155	196	2,274
合計	799	762	814	815	749	776	844	700	796	738	674	773	9,240

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	1	10
契約解除者数	3	1	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	10
月末契約者数	44	43	42	42	42	42	42	43	43	43	42	43	± 0

就労定着支援事業

1. 年間延べ利用人員　　48 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　12 日以上
3. 年 間 稼 働 率　　100 %　（ 目標稼働率 : 100% ）
4. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午前	午後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午前	午後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月 別 合 計	745,470	712,360	739,750	745,580	648,080	675,620	740,960	611,490	698,830	646,580	570,240	709,940	5,460,152	13,705,052
1人平均月額	19,115	17,809	19,467	19,621	17,055	17,324	18,999	15,679	18,887	16,165	14,256	18,204	133,174	33,427

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月 別 合 計	66,110	63,470	85,140	78,870	89,870	87,230	102,080	80,630	93,280	85,140	75,020	100,760	413,271	1,420,871
1人平均月額	8,264	7,934	10,643	8,763	9,986	10,904	12,760	10,079	11,660	12,163	10,717	14,394	59,039	14,408

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年　月　日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.04.24	内部研修(リスクマネジメント)	Web(サポーターズカレッジ)	18名
R8.08.07	意思決定支援研修		3名
R7.08.25	内部研修(コンプライアンス)	Web(サポーターズカレッジ)	18名
R7.11.26	内部研修(虐待防止)	Web(サポーターズカレッジ)	18名
R8.01.27	内部研修(BCP)	Web(サポーターズカレッジ)	19名

(2) 外部研修

年　月　日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.06.19	県集団指導	県障害福祉課	仙台市(Web)	職員1名
R7.11.18	社会福祉中堅・監督職員研修	県社協	仙台市	職員1名
R7.11.27	防火管理者講習(～28)	(一財)日本防火・防災協会	登米市	職員1名
R7.12.11	サービス管理責任者専門別研修(就労コース)(～12)	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	県社協	Web	職員1名
R8.02.20	食品衛生管理者講習	県公衆衛生協会	登米市	職員1名
R8.02.26	ゆい就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員2名
R8.03.10	食品衛生研修会	県公衆衛生協会	登米市	職員2名
R8.03.10	就労関係事業所連絡会	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
R8.03.10	みやぎ就業ネットワークセミナー	みやぎ就業ネットワーク	Web	職員2名
R8.03.25	県集団指導	県障害福祉課	仙台市(Web)	職員1名

2．会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	12回	全職員

(2) その他の会議

開催回数	内容	場所	出席者
12回	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3．委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催回数	参加職員
リスクマネジメント委員会	ﾋﾔﾘﾊｯﾄの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	2回	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	25回	若葉園職員5名
事業所ｻｰﾋﾞｽ評価委員会	ｻｰﾋﾞｽ評価に関することを検討	5回	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	4回	若葉園職員6名
防災委員会	消防計画に基づき防災にについて検討	2回	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.07.18	こじか実習生他	事業所見学	2名
R7.07.28	迫支援学校教員	事業所見学	23名
R7.08.22	利用希望者家族	事業所見学	1名
R7.09.03	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R7.09.12	利用希望者ほか	事業所見学	4名
R7.09.18	こじか実習生他	事業所見学	2名
R7.11.04	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R7.11.12	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R7.12.04	利用希望者ほか	事業所見学	4名
R7.12.15	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R8.01.20	小牛田高等学園生徒・家族・担任	事業所見学	3名
R8.03.25	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	2名
計			49名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.6.16～ R7.06.20	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
R7.6.16～ R7.06.27	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	1名	10名
R7.10.14～ R7.10.17	迫支援学校高等部(4日間)	産業現場実習	1名	4名
R7.10.14～ R7.10.24	迫支援学校高等部(9日間) ※1日欠席	産業現場実習	1名	9名
R7.10.28	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	3名	3名
R7.10.29	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	4名	4名
R7.10.30	登米総合産業高校福祉科	障害者支援施設実習	4名	4名
R7.11.4～ R7.11.06	登米総合産業高校福祉科(3日間)	障害者支援施設実習	4名	12名
計			19名	51名

【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実

・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。

2. 工賃の向上

・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。

3. 就労支援体制のさらなる充実

・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。

4. 虐待防止等

・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている内容を理解して利用者支援を行います。

・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認をくり返します。

5. 新規事業の検討

・障害のある人が自らの希望や適性に基づき、その働き方を主体的に選択できるよう新規事業（就労選択支援）を開始 します。その中で本人の意思決定に対する支援や就労に関連する方向性の検討を関係機関を含めて検討します。

令和7年度
就労継続支援B型さくらワークス　事業報告

【 施　設　概　要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 　開設年月日　　平成19年1月1日
5. 　利用定員　　30 名

【 基　本　方　針 】

事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令及び恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指しました。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力してまいりました。
①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えること で、希望する日中活動を保障するよう努めています。
②利用者の社会的自立を目指しましたが、就労移行、雇用に向けた支援については対象者がありませんでした。
③グループホームの支援と連携しています。

【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）。
生活支援（健康管理、相談支援、余暇支援）を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援しています。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めています。
○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高めています。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めています。

①自　立　支　援　…　生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつなげられるよう努力しています。
②主体性の尊重　…　利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しています。
③就　労　支　援　…　利用者の雇用及び就労移行事業へのステップアップに向けた支援を行っています。
④地域生活の充実 …　地域企業との連携を強めた作業を展開しています。
⑤家　族　支　援　…　利用者自身はもとより、総合的な支援体制を整えるには、家族の協力が大切です。家族の安定が利用者の生活を支える基盤となる事から支援に対する理解を深めてもらうため、状況報告や情報提供を細やかに行っています。

1. 受託加工
・（有）ミヤギトップ　グッズ製作作業(梱包等)　・リサイクル回収　解体分別作業
・（株）梅ノ木商店　検品、梱包作業　・（株）スタンレー宮城製作所　コンテナ洗浄作業

2. 受託事業
軽作業（除草・草刈・農作業等）　74件

3. 法人内受託作業
・法人本部　周辺花壇・駐車場除草（4回）　・パルめぐみ　園庭・駐車所除草（4回）
窓清掃（1回）
・光風園　周辺草刈(3回)　・ゆりの郷　周辺草刈(3回)
・萩風園　周辺草刈（3回）、芝刈り（4回）　・こじか　園庭除草、周囲草刈り（3回）
・恵泉会体育館　草刈り（3回）、剪定（1回）　・南方認定こども園　周辺草刈（3回）、ネット設置（1回）、運搬作業（1回）
・若草園　洗濯、周辺草刈り（3回）、芝刈り（4回）、窓清掃（1回）、ハウス内撤去（1回）
・若生園　洗濯、周辺草刈り、除草（2回）庭木の剪定(2回)、園庭側溝清掃（1回）、窓清掃（1回）
・エルダー　窓清掃（3回）　・地域生活支援センター　引越作業（3回）

◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行きます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　6,047 名
2. 年間稼働日数　242 日
3. 年間稼働率　83.29 %
4. 年間平均区分　3.11
5. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	85	98	105	107	97	100	108	95	100	101	108	126	1,230
区分 3	246	236	245	230	225	234	255	211	232	218	209	223	2,764
区分 4	166	160	166	171	144	154	173	144	159	152	144	167	1,900
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	497	494	516	508	466	488	536	450	491	471	461	516	5,894
非該当	15	13	11	7	9	19	17	15	11	10	11	15	153
計	15	13	11	7	9	19	17	15	11	10	11	15	153
合　計	512	507	527	515	475	507	553	465	502	481	472	531	6,047

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
月末契約者数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	± 0

【 利用者サービスの状況 】

1. 週　間　予　定

曜日	午前	午後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	414,700	412,310	412,250	408,895	377,670	405,220	446,120	369,150	389,780	386,430	384,795	433,560	2,250,323	7,091,203
1人平均月額	16,588	17,180	16,490	17,037	15,736	16,209	17,845	14,766	15,591	15,457	15,392	17,342	90,013	285,646
												平均工賃月額		23,637

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.5/7.15	虐待防止	サポーターズカレッジ	職員2名
R7.06.20	熱中症予防研修	管理者	職員6名
R7./6/24.26	コンプライアンス研修	サポーターズカレッジ	職員7名
R7.03.24	意思決定支援研修	障害WG	職員2名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7/7/3.4	就労支援基礎的研修	障害者職業総合センター	多賀城市	職員1名
R7.08.22	登米市福祉サービス事業所職員研修(虐待防止研修)	登米市	南方庁舎	職員1名
R8.02.26	就労支援セミナー	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	迫公民館	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	月1回	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会議名	内容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ職員・相談支援担当・サービス管理責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
権利擁護委員会	利用者様の権利擁護と、身体拘束や虐待防止について検討	年2回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	年2回	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	年1回	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	年1回	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	年1回	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1)見学・実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.06.24	迫支援学校(中等部1、2、3年生)	見学	41 名	41 名
R7.07.28	迫支援学校(職員)	見学	23 名	23 名
R7.10.28～30	登米総合産業高校福祉科	介護実習	3 名	9 名
R7.11.4～6	登米総合産業高校福祉科	介護実習	3 名	9 名
R8.1.20	小牛田高等学園(生徒、保護者、職員)	見学	3 名 3 名	3 名 3 名
計			76 名	88 名

【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）・生活支援（健康・相談援助・職場規律）を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループーホームとの連携、家族との相互理解を深めていきます。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行きます。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付けて行きます。

○作業について

1. 受託加工事業について、梅ノ木商店様、ミヤギトップ様から商品の検品・梱包作業を受託しています。今後は年間を通して作業が継続していけるよう企業との調整を図っていきます。また、作業を通して利用者様の雇用及び就労移行へ繋がって行けるための支援を継続していきます。

2. 受託事業について、軽作業（一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等）の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、岩手県アーク牧場の作業委託を受け（除草・運搬等）1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していきます。

3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組んでいきます。

令和7年度
多機能サポートセンターこじか　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　在　地	登米市中田町上沼字大柳117番地2	
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵 泉 会	
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵 泉 会	
4. 開 設 年 月 日	平成23年 4月 1日 （指定管理開始）	
5. 利 用 定 員	指定障害児通所支援事業	
	・児童発達支援（未就学児）	10名
	・放課後等デイサービス（就学児）	10名
	・保育所等訪問支援	定員区分なし
	指定障害者生活介護事業「レポス」	
	・指定生活介護	10名
	指定障害児相談支援事業（児童サポートセンター「バンビ」）	
	・指定障害児相談支援	定員区分なし
	・指定特定相談支援（計画相談）	定員区分なし
	登米市地域生活支援事業	
	・障害児日中一時支援事業	20名（障害児通所支援契約者を主とする）

平成23年度から指定管理施設「登米市こじか園」（児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業）として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってきました。その後、平成27年度より新たに保育所等訪問支援事業と障害児・者相談支援事業「バンビ」を開設し、「登米市児童発達支援センターこじか園」として再スタートし、着実に実績を積み重ねながら、信頼に応えられるよう真摯に取り組んできました。

令和3年度からは運営主体が恵泉会に移行し、新たに生活介護事業所「レポス」を開設して「多機能サポートセンターこじか」と名称改めてリニューアルしました。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、積極的な地域貢献に努めております。

また、一人ひとりの特性や心身の状態等に配慮しながら、強みや興味関心を引き出し、生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練や生活介護の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、事業所内外での体験療育（交流会等々）の機会も増やしています。併せて、令和7年度も家族支援の一環として「恵泉会地域生活支援センター」との合同企画として、家族・支援者向けセミナー（通称：ペアレントプログラム）を実施しました。

【 重 点 項 目 】

1. ㋒ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。
子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

◇モニタリング件数　・・・ 児童発達支援 46件 ， 放課後等デイサービス 67件
(継続障害児・者支援利用援助) 保育所等訪問 54件 ， 障害児相談支援　63件
生活介護 31件
◇個別支援計画作成数 ・・・ 児童発達支援 41件 ， 放課後等デイサービス 61件
(障害児・者支援利用計画)　保育所等訪問 51件 ， 障害児相談支援　63件
生活介護 32件
◇サポート検討(会議) ・・・ 児童発達支援 52件 ， 放課後等デイサービス 67件
（ケアカンファレンス)　保育所等訪問 65件 ， 障害児相談支援　65件
◇担当者会議　・・・ 生活介護　32件
◇職員向けアンケート(運営・ｻｰﾋﾞｽ・行事分野)・・・達成度評価(11月実施)

2. (じ) 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

◇個別活動　・・・ 生活訓練，学習補習，作業訓練，機能訓練
◇小集団活動 ・・・ 粗大運動，音楽療法，園芸活動，からだづくり(運動訓練)
◇全体活動　・・・ はじまりの会，かえりの会，リズム活動，各種行事
◇社会体験　・・・ 実施回数 2回，参加児童 5名
◇親子遠足　・・・ 実施回数 1回，参加児童 6名

3. (か) 家族の「想い」、家族と一緒の「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー(ペアプロ、就学に向けて)の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。

◇参加交流行事 ・・・ 療育参観，親子遠足，こじかまつり、恵泉会フェスティバル
実施回数…5回(家族等参加延べ人数 130名)
◇家族・訪問先アンケート(運営・ｻｰﾋﾞｽ・行事分野)・・・12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

≪ 多機能型事業，障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　6,924 名　(多機能型事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ＋生活介護
2. 年間稼働日数　242 日　(児童発達支援)
255 日　(放課後等デイサービス)
242 日　(保育所等訪問支援)
242 日　(障害児相談支援／バンビ)
307 日　(生活介護／レポス)
3. 年間稼働率　94.87 %　(障害児通所支援事業)※児童発達支援＋放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ
(88.35) %　(児童発達支援)　定員 10 名
(101.06) %　(放課後等デイサービス)　定員 10 名
15.9 件　(保育所等訪問支援　月平均訪問件数)
9.0 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
1.0 件　(障害児相談支援／バンビ　月平均提出件数)
(71.95) %　(生活介護／レポス)　定員 10 名

4. 月別利用状況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
児童発達支援	199	170	180	179	152	167	193	163	177	184	167	207	2,138
放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	241	223	210	250	202	217	215	187	212	207	193	220	2,577
保育所等訪問支援	4	22	22	16	7	19	20	7	20	19	16	19	191
障害児相談支援	9	9	9	10	12	8	9	12	7	5	4	14	108
障害者相談支援	1	3	2	1	0	1	2	0	0	0	1	1	12
生活介護	170	184	189	204	185	196	199	171	167	175	171	198	2,209
計	624	611	612	660	558	608	638	540	583	590	552	659	7,235

5. 契 約 の 状 況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
契約者数（児童発達支援）	19	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	1	0	25
契約者数（放課後等デイ）	37	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	39
契約者数（保育所等訪問）	28	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	33
契約者数（レポス）	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	19
契約者数（相談支援）	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	58
契約終了者数（児童発達支援）		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	11
契約終了者数（放課後等デイ）		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	6
契約終了者数（保育所等訪問）		0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	4	9
契約終了者数（レポス）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約終了者数（相談支援）		0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	2	5	12
月末契約者数	157	159	158	158	156	156	155	158	158	155	155	155	136	136

【 サ ー ビ ス の 状 況 】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.04.15	療育説明会 保護者向け研修会	今年度の児童発達支援事業について療育・サービスの説明を行って共通理解を図り、保護者が就学に向けて見通しを持ち、準備を進められるようにしました。	児童 家族 15名 職 員 14名
R7.04.23	お花見外出	米山方面へ行き、平筒沼で散策や遊具遊びを通して春の季節を感じました。	児 童 9名 職 員 9名
R7.06.19	引き渡し訓練	震度5以上の地震発生を想定して、家族に引き渡し訓練を実施しました。	児 童 10名 家 族 9名 職 員 7名
R7.07.03	療育参観	利用児童のご家族にこじかでの児童の様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図り、こじかでの療育について理解を深めてもらいました。	児 童 15名 家 族 19名 職 員 8名
R7.07.07	七夕会	七夕会についてのお話やゲームを通して七夕の雰囲気を味わいながら楽しく行事に参加しました。	児 童 10名 職 員 7名
R7.09.09	こじかまつり	飲食ブースやゲームコーナーを設けて、児発・放デイ・レポス合同の「こじかまつり」を実施しました。	家 族 34名 児 童 14名 職 員 19名
R7.10.02	親子遠足	岩手サファリパークにていろいろな体験をしながら、保護者と職員での交流を図り、共に外出時の療育や支援について考えることで、様々な社会体験へのきっかけ作りになりました。	家 族 12名 児 童 7名 職 員 4名
R7.10.30	第6回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同の、恵泉会体育館で開催した「恵泉会フェスティバル」に参加し、他施設の利用者さんとの交流を図り、ステージでポケダンス・ペコソナイトを披露してフェスティバルを盛り上げました。	家 族 18名 児 童 11名 職 員 12名
R7.12.18	クリスマス会	クリスマスのお話を聞いたり、サンタからプレゼントをもらってクリスマスの雰囲気を味わいました。	児 童 11名 職 員 6名

R8.02.03	豆まき会	節分のお話を聞いたり、各自製作した鬼のお面をかぶって鬼に向かって豆を投げ、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児 童 8名 職 員 6名
R8.02.17	まろにえの会	社会福祉協議会主催の独居老人「まろにえの会」の皆さんと「ダイナム」さんとの交流会で、着ぐるみｷｬﾗｸﾀｰとの触れ合いを楽しんだり、プレゼント交換を通して交流を図りました。	児 童 10名 職 員 8名
R8.03.03	ひなまつり会	ひなまつりのお話を聞いたりゲームを通して、楽しみながらひなまつりの雰囲気を味わいました。	児 童 10名 職 員 5名
R8.03.07	卒園セレモニー	1年間の集大成となる行事として。こじかを終了する親子のみ参加していただき、証書や記念品の授与，思い出スライドショーの上映等行い、児童の成長を振り返りました。	児 童 4名 家 族 9名 職 員 8名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.11.17	りんご狩り・紅葉見学（千葉りんご農園、上沼八幡神社）	仲間と共に季節の果物を収穫する喜びを体験し、友達と一緒に喜びを共有しました。	児 童 10名 職 員 3名
R7.12.19	買い物体験（ウジエスーパー）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 3名 職 員 2名
R7.12.25	クリスマス会	レポス利用者と合同で、クリスマスツリーの飾り付けや、スライドショーにて1年間の振り返りを行いました。	児 童 9名 職 員 6名
R8.01.29	買い物体験（ヨークベニマル）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児 童 2名 職 員 2名
R8.03.26	卒園生を送る会	記念品の贈呈，在園児からの発表、思い出スライドショーの上映等の催し物を実施しました。	児 童 9名 職 員 9名
R7.03.27	卒園生を送る会	記念品の贈呈，在園児からの発表、思い出スライドショーの上映等の催し物を実施しました。	児 童 10名 職 員 7名

③ レポス

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.4/9、21	お花見外出	登米市内をドライブし、平筒沼内の公園を散策等しながら春の季節を楽しみました。その後「イオン佐沼店」に移動し、以前配布されていたサーティワンの無料券でアイスを食べリフレッシュしました。	利用者 10名 職 員 4名
R7.05.26	社会研修（陸前高田市東日本震災津波伝承館、他）	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。昼食は「道の駅高田松原」にて、海鮮丼や麺類など各自食べたい物を飲食しました。	利用者 9名 職 員 5名
R7.06.25	あじさい見学	南方町大嶽山にて、散策等をしながら初夏の季節を楽しみました。	利用者 9名 職 員 5名
R7.07.07	七夕会	七夕にちなんだ飾り付けやクッキングを行い、会を楽しみました。	利用者 9名 職 員 5名
R7.08.01	蓮の花見学	豊里町方面へドライブし、平筒沼内の公園を散策等しながら真夏の季節を楽しみました。	利用者 9名 職 員 5名
R7.10.10	バーベキュー	「レポス」テラスにおいてBBQを実施、焼き立てのお肉を皆さんで堪能しています。	利用者 8名 職 員 5名
R7.10.30	第6回恵泉会フェスティバル	米川の「恵泉会体育館」を会場に、障害者施設合同で実施した「恵泉会フェスティバル」に参加して、飲食ブースやステージ発表など楽しみました。	利用者 4名 職 員 2名
R7.11.17	りんご狩り・紅葉見学（千葉りんご農園、上沼八幡神社）	放ﾃﾞｲ児童と合同でりんご狩りを実施、その後は「八幡神社」に移動し紅葉を楽しみました。	利用者 10名 職 員 6名
R7.12.25	クリスマス会	創作活動ではクリスマスリースや松ぼっくりでサンタの飾り物を制作、会では放デイの利用児と一緒に、大型スクリーンでのDVD鑑賞やレクリエーションを楽しみました。	利用者 9名 職 員 4名
R8.01.06	初詣外出	中田町上沼「八幡神社」へ行き、境内周辺を散策しながら、1年の無病息災などを願い、初詣しました。	利用者 10名 職 員 4名
R8.02.03	豆まき会	児童発達支援と合同で節分豆まきを行い、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	利用者 10名 職 員 4名

R8.03.02	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、今年度はクッキングも行って「ひなまつりパフェ」を作り、おやつとして皆さんと一緒に食べました。	利用者　8名 職　員　3名

【その他の児童サービス】

≪ 登米市日中一時支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員　　2,036 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　307 日
3. 年 間 稼 働 率　　33.16 %
4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日中一時	4時間未満	214	113	102	188	264	136	111	97	113	153	92	202	1,785
	4～6時間	2	0	1	2	0	10	2	5	0	7	2	20	51
	6～8時間	20	17	17	16	22	18	17	17	10	15	18	12	199
	8時間以上	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	送 迎	167	89	78	131	189	111	92	74	87	115	77	139	1,349
合 計(送迎含まず)		236	130	120	206	286	164	130	120	123	175	112	234	2,036

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか主催・実施関係)

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.04.15	療育説明会・保護者向け研修会	O氏	保護者 15名
R7.06.04	特別支援研修	こじか 職員	南方認定こども園職員 10名
R7.07.03	保護者向け研修(リズム運動の効果について)	〃	保護者 11名
R7.09.11	こじかペアレント・プログラム①	地域生活支援C 職員	保護者3名、障害児支援者等4名
R7.09.25	こじかペアレント・プログラム②	〃	保護者4名、障害児支援者等3名
R7.10.09	こじかペアレント・プログラム③	〃	保護者4名、障害児支援者等7名
R7.10.23	こじかペアレント・プログラム④	〃	保護者2名、障害児支援者等7名
R7.11.06	こじかペアレント・プログラム⑤	〃	保護者3名、障害児支援者等7名
R7.11.20	こじかペアレント・プログラム⑥	〃	保護者2名、障害児支援者等5名
R8.02.05	こじかペアレント・プログラムフォローアップセッション	〃	保護者3名、障害児支援者等1名
R7.06.09	肢体不自由児の移乗やオムツ交換に関する研修	こじか 職員	こじか職員 3名
R7.07.25	虐待防止・身体拘束について	〃	こじか職員 11名
R7.10.17	コンプライアンス研修	〃	こじか職員 15名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.07.11	恵泉会新任職員研修	理事長、他	職員1名
R7.07.17	障害児者支援ワーキング交換研修(さくらワークス)	統括施設長、他	職員1名
R7.07.22	障害児者支援ワーキング交換研修(若生園)	〃	職員1名
R7.07.22	障害児者支援ワーキング交換研修(若葉園)	〃	職員1名
R7.08.07	意思決定支援研修(若草園)	〃	職員6名
R7.11.05	第45回 恵泉会職員研修大会		職員5名
R8.02.10	次世代リーダー研修①(会場＝本部)	統括施設長、他	職員2名
R8.02.13	次世代リーダー研修①(会場＝こじか)	〃	職員2名

(3) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.06.06	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R7.07.08	移動教育相談		東松島氏	職員2名
R7.07.10	幼児教育指導者研修会	登米市教育委員会	登米市	職員1名
R7.07.11	宮城県社会福祉法人経営者協議会	宮城県	仙台市	職員1名
R7.7/19,9/14,10/18	宮城県障碍者相談支援従事者初任者研修	宮城県	仙台市	職員1名
R7.07.23	安全運転管理者研修	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R7.07.29	特別支援学校専門性向上研修会	迫支援学校	登米市	職員2名
R7.10.01	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R7.10/6,11/26	親子支援研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R7.12.01	宮城県ペアレントプログラムアドバンスト研修	宮城県子ども総合センター	名取市	職員1名
R7.12.17	DWATの役割について		登米市	職員1名
R6.10/17,24,31	宮城県ペアレントトレーニング実施者養成研修	宮城県子ども総合センター	WEB	職員1名
R7.12.22	登米市相談支援専門員とサビ児管等連携強化事業	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R8.03.12	現場で役立つ！食品衛生研修会	東部保健所	登米市	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
スタッフ会議	月間予定，事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	〃	全職員対象

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R7.04.10	米谷こども園事業説明・情報共有会議	米谷こども園	訪問支援員、児発管
R7.04.11	石越にじいろこども園事業説明・情報共有会議	石越にじいろこども園	〃
R7.04.11	利用児童担当者会議	おもちゃ箱	〃
R7.04.14	石越小学校事業説明・情報共有会議	石越小学校	施設長、訪問支援員、児発管
R7.04.14	さくら幼稚園事業説明・情報共有会議	さくら幼稚園	訪問支援員、児発管
R7.04.16	豊里こども園事業説明・情報共有会議	豊里こども園	〃
R7.04.21	森のくまさん事業説明・情報共有会議	森のくまさん	理学療法士、児発管、保育士
R7.04.22	東和小学校事業説明・情報共有会議	東和小学校	施設長、訪問支援員、児発管
R7.04.23	石越にじいろこども園事業説明・情報共有会議	石越にじいろこども園	訪問支援員、児発管
R7.04.23	南方小学校事業説明・情報共有会議	南方小学校	〃
R7.05.02	東郷小学校事業説明・情報共有会議	東郷小学校	〃
R7.05.07	北方幼稚園事業説明・情報共有会議	北方小学校	〃
R7.05.08	豊里こども園事業説明・情報共有会議	豊里こども園	〃
R7.05.16	利用児童情報共有会議	北方幼稚園	訪問支援員
R7.06.04	利用児童担当者会議	おもちゃ箱	〃
R7.06.11	利用児童担当者会議	こじか	児発管、保育士
R7.06.16	利用児童情報共有会議	みどりご園	児発管
R7.06.19	利用児童担当者会議	こじか	児発管、相談支援専門員
R7.06.20	利用児童担当者会議	こじか	児発管、保育士
R7.06.23	利用児童担当者会議	おもちゃ箱	児発管、相談支援専門員
R7.06.25	利用児童就学相談会	中田生涯学習センター	看護師、保育士
R7.06.26	利用児童就学相談会	中田生涯学習センター	児発管
R7.07.02	利用児童就学相談会	中田生涯学習センター	保育士
R7.07.08	利用児童視覚相談会	矢本保健センター	児発管、訪問支援員
R7.07.24	利用児童ケース会議	迫支援学校	児発管、相談支援専門員
R7.07.24	利用児童ケース会議	南方庁舎	児発管、相談支援専門員

R7.07.28	利用児童連携会議	迫支援学校	保育士、相談支援専門員
R7.07.28	利用児童連携会議	迫支援学校	保育士
R7.07.31	利用児童連携会議	迫支援学校	児発管
R7.08.04	利用児童連携会議	迫支援学校	児発管、相談支援専門員
R7.08.14	利用児童担当者会議	ひだまりポッケ北方	児発管、相談支援専門員
R7.08.20	利用児童ケース会議	南方庁舎	児発管、相談支援専門員
R7.08.21	利用児童担当者会議	こじか	児発管、相談支援専門員
R7.08.26	利用児童担当者会議	にこまーる	児発管、相談支援専門員
R7.09.24	利用児童連携会議	こじか	児発管、保育士
R7.09.30	利用児童連携会議	南方認定こども園	児発管、訪問支援員
R7.10.08	利用児童連携会議	こじか	児発管、保育士
R7.10.22	利用児童ケース会議	石越にじいろこども園	児発管、保育士
R7.11.21	利用児童ケース会議	迫支援学校	児発管、相談支援専門員
R7.11.27	利用児童担当者会議	こじか	児発管、保育士
R7.12.15	レポス利用者支援者会議	こじか	生活支援員、サビ管
R8.01.20	利用児童ケース会議	迫支援学校	児発管、相談支援専門員
R8.01.26	利用児童通院同行	東北大学病院	理学療法士
R8.01.26	利用児童担当者会議	こじか	児発管、保育士
R8.02.06	利用者移行支援会議	迫支援学校	生活支援員、サビ管
R8.02.24	利用児童引継ぎ会議	豊郷小学校	看護師、保育士

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催数	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, ｻｰﾋﾞｽ提供時におけるﾘｽｸの評価・検討	年8回	施設長,管理者,委員,関係職員
サービス向上・研修委員会	施設ｻｰﾋﾞｽ向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	年7回	施設長,管理者,委員,関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年6回	施設長,管理者,委員,関係職員
虐待防止委員会	身体拘束に関する廃止の取り組み、人権侵害や虐待等の予防対策の検討、検証	年3回	施設長,管理者,委員,関係職員

(2) その他の委員会

○ 障害児者支援ワーキング部会
○ リハ部会
○ 看護師部会
○ 栄養士部会
○ 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.04.03	迫支援学校教諭	学校運営説明	1名
R7.04.08	相談支援サービスあゆみ(木村氏)	レポス利用者モニタリング	1名
R7.04.10	レポス利用希望者、希望者の両親、ポレポレ相談員	レポス施設見学	4名
R7.04.18	相談支援サービスあゆみ(高橋氏)	レポス利用者モニタリング	1名
R7.04.22	リツワ	施設見学	2名
R7.04.22	森くま職員	児童発達利用児童様子観察、見学	2名
R7.04.23	迫支援学校教諭(安藤氏)	レポス実習打合せ	1名
R7.04.24	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	4名
R7.05.02	仙台青葉学院短期大学　学生	実習オリエンテーション	1名
R7.05.08	リツワ	施設見学	2名

R7.06.02	仙台青葉学院短期大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.06.04	迫支援学校松澤先生、佐藤咲月さん母	レポス実習打合せ	2 名
R7.06.06	東北福祉大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.06.12	リツワ	施設見学	2 名
R7.06.16	迫支援学校教諭(松澤氏)	レポス実習生巡回指導	1 名
R7.06.19	迫支援学校松澤先生、佐藤咲月さん母	レポス実習生巡回指導	2 名
R7.06.20	迫支援学校教諭(後藤氏)	レポス実習生巡回指導	1 名
R7.06.23	迫支援学校教諭(松澤氏)	レポス実習生巡回指導	1 名
R7.06.24	仙台医療秘書福祉&IT専門学校　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.06.27	迫支援学校松澤先生、佐藤咲月さん母	レポス実習反省会	2 名
R7.06.27	東北福祉大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.06.30	さくらワークス	園庭除草作業	
R7.06.30	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	1 名
R7.07.11	仙台医療秘書福祉&IT専門学校　学生	実習生巡回指導	1 名
R7.07.15	パルめぐみ職員(鈴木氏)	職員交換研修	1 名
R7.07.16	パレットルーム職員	利用者様子観察	3 名
R7.07.22	相談支援サービスあゆみ(木村氏)	放デイ児童アセスメント	1 名
R7.07.28	宮城学院女子大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.07.29	東部　児童相談所(小松氏)	施設見学	1 名
R7.07.30	さくらワークス	園庭除草作業	
R7.07.31	Jボラ体験(学生、社会福祉協議会職員)	体験学習ボランティア	5 名
R7.08.01	迫支援学校教諭(大場氏)	レポス施設見学(卒業生見学)	1 名
R7.08.01	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	2 名
R7.08.13	聖和学園短期大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.08.19	レポし利用希望者、センター相談員	レポス施設見学	2 名
R7.08.27	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	1 名
R7.08.27	宮城学院女子大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.09.04	聖和短期大学教授	実習生巡回指導	1 名
R7.09.05	宮城誠真短期大学　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.09.08	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	1 名
R7.09.10	宮城誠真短期大学　学生、教授	施設見学	21 名
R7.09.13	仙台子ども専門学校　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.09.16	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	1 名
R7.09.16	一関市自立支援協議会　子ども部会	施設見学	19 名
R7.09.24	宮城誠真短期大学　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.09.25	放課後等デイサービス事業見学希望者、ご家族	見学・相談	3 名
R7.09.26	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	1 名
R7.10.02	児童発達支援担当中島保健師(中田町)	利用児童調査	1 名
R7.10.03	迫支援学校教諭(安藤氏)	レポス実習打合せ	1 名
R7.10.15	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	5 名
R7.10.17	迫支援学校教諭(渡邊氏)	レポス巡回指導	1 名
R7.10.23	迫支援学校小野寺先生、佐藤凛太郎さん母	レポス実習反省会	2 名
R7.10.24	仙台幼児保育専門学校　学生	実習オリエンテーション	1 名
R7.10.29	放課後等デイサービス事業見学希望者、ご家族	見学・相談	3 名
R7.11.11	仙台幼児保育専門学校　教授	実習生巡回指導	1 名
R7.11.25	迫支援学校教諭(安藤氏、後藤氏)	今後の実習調整、挨拶	2 名
R7.11.26	児童発達事業見学(保健師)	施設見学	1 名
R7.11.27	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	1 名
R7.12.03	放課後等デイサービス事業見学希望者、ご家族	見学・相談	3 名
R7.12.05	児童発達希望家族	体験	1 名
R7.12.11	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	3 名
R7.12.15	ひだまりポッケ職員、相談支援サービスあゆみ(木村氏)、えくぼ(白石氏)	レポス利用者支援会議	5 名

R7.12.16	放課後等デイサービス事業見学希望者、ご家族	見学・相談	1 名
R7.12.18	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	1 名
R8.01.08	迫支援学校教諭(安藤氏)	卒業生のレポス契約等に向けて	2 名
2026/18/2	児童発達支援担当山口保健師(中田町)	利用児童調査	1 名
R8.01.28	J商事(パーラJ遊ボランティア事業)	お菓子等贈呈	1 名
R8.02.05	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	3 名
R8.02.19	イオンカーブス佐沼店(店舗受け取り)	フードドライブ贈呈	
R8.03.17	児童発達事業見学希望家族	見学・相談	1 名
R8.03.19	東郷小学校(佐々木氏、工藤氏)	施設見学・放デイ利用児の様子観察	2 名
計			149 名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.05.26	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.06.16	迫支援学校(高等部2年生)	レポス実習(10日間) 生活介護体験	1 名	10 名
R7.06.23	東北福祉大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.07.07	仙台医療秘書福祉&IT専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.08.18	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.09.01	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.09.16	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.10.02	仙台医療秘書福祉&IT専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
R7.10.14	迫支援学校(高等部3年生)	レポス実習(9日間) 生活介護体験	1 名	9 名
R7.11.04	仙台幼児保育専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1 名	10 名
計			10 名	99 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 【令和8年度に向けて】
①児童発達支援センターとして、障害の特性や発達の段階に応じた適切な障害児通所支援サービスの提供と医療ケア児童への対応を強化し、幅広い高度な専門性に基づく発達支援の提供を目指し、職員研修の充実を図ります。
また、身近な障害児支援拠点として、見学や相談の受け入れ、契約前体験利用の実施、地域の保育施設、通所事業所等への援助や連携をより一層広げ、地域全体の障害への理解を深めることにより、併用利用や居住地域の施設への移行(インクルージョン)を推進します。
②生活介護事業所「レポス」では、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の思いを受け止めながら一人ひとりの特性や心身の状態等に配慮し、個別支援計画に基づいて、活き活きとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会参加・地域交流の機会や社会生活のための経験を多く取り入れ、利用者が主体的に生きる力がつくための支援により生活の質の向上を目指します。

以上をふまえ、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う、多機能サポートセンターとして更なる発展を目指していきます。

2. 【児童発達支援センターとしての役割】
児童発達支援センターの役割
◇ 障害種別にかかわらない適切な障害児通所支援サービスの提供と医療的ケア児童への対応強化
◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援と契約前プレ利用(体験利用)の機会拡充
② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言と連携の推進
◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の確立

3. 【施設機能の解放】
・保育士養成に係る現場実習の受入
・学生の職場体験やキャリア教育, ボランティア受け入れに関する協力
・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育の随時開催
・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナーの実施
・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続実施

令和7年度
南方認定こども園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市南方町新高石浦155-1
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　令和7年　4月　1日
5. 利　用　定　員　　70名

令和7年4月1日より「南方認定こども園」が開園しました。令和7年3月31日まで南方保育所で79名のお友だちを保育し、令和7年4月1日に78名の元気一杯の子ども達を迎え入れられた事は私たちにとって大きな喜びでした。「こども園」になった事で「教育」の部分にもしっかりと力を入れ、「幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿」を職員間で共通理解するように努め、教育・保育を行いました。保育所・幼稚園・こども園・小学校との連携（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）にも力を入れ、来年度より小学校と幼稚園で行っている会議に参加させていただけるようになった事は一歩前進だと感じています。

子育て支援も行っていますが、視点を地域の子育て家庭に対する支援とこども園を利用しているご家庭にも目を向け、共に「子育て」について考える場となるようにしました。絵本の貸出も定着し、親子での触れ合いの時間になっている様です。来年度より地域のお子さんにも絵本の貸出をスタートさせます。「こども園」の機能を広く地域の方に還元していきたいと考えています。

【　重　点　項　目　】

1. 子どもの発達段階をしっかりと理解し、職員同士が共通理解のもと教育・保育をするように努めました。個々の目標を期ごとに立て、クラス担任だけなく、職員全員で目標達成に向け取り組むようにしました。
2. 朝の受け入れ時、しっかりと視診し、健康状態や様子観察するように努めました。また、降園時はお子さんの状態を保護者様にお伝えをし、共通理解するように努めました。
3. こども園の子ども達に絵本の貸出を開始し、子ども達のお楽しみのひとつになりました。来年度より地域の子育て家庭の方にも絵本の貸出を開始する計画をしています。
4. 外部研修や内部研修に積極的に参加し、そこで学んだ情報や知識を職員間で共有するようにしました。また、来年度は宮城県保育研究の担当園なのでその土台作りに努めました。
5. 感染対策に対しては、早期発見・早期治療を呼びかける様にしました。また、感染症が拡大傾向時には、消毒等の感染対策を強化し、感染が拡大しないように努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　18,258　名

2. 月別利用状況（名）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	88	113	95	107	99	110	117	99	120	107	96	112	1,263
1歳児	226	219	245	255	219	248	254	208	246	224	207	246	2,797
2歳児	227	216	238	243	189	235	243	195	225	195	187	223	2,616
3歳児	283	267	278	276	225	275	284	236	293	255	239	282	3,193
4歳児	351	344	361	369	272	344	369	270	355	330	277	336	3,978
5歳児	385	377	403	393	319	379	400	274	390	353	339	399	4,411
計	1,560	1,536	1,620	1,643	1,323	1,591	1,667	1,282	1,629	1,464	1,345	1,598	18,258

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	78	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	80
退所者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
月末入所者数	78	79	79	79	78	78	79	79	79	79	79	79	79

【利用者サービスの状況】

1．保　　育

（1）行事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R7.04.02	南方認定こども園落成披露開園式	こども園オープンセレモニーとして関係する方々をお招きし開園式を行った	利用者	15名
			職員	6名
R7.04.05	入園式	新入園児と保護者様の参加で入園式を実施する 在園児のお迎えの言葉と歌で和やかな式となった	利用者	25名
			職員	16名
R7.06.05	南方幼稚園交流会	南方幼稚園に行き、幼稚園児との交流を楽しむ	利用者	19名
			職員	3名
R7.06.10	あやめ園交流会	自己紹介をしたり、あやめ園の作業体験をし交流を楽しむ	利用者	16名
			職員	3名
R7.06.17	食育指導（食事マナー，食物の栄養について）	栄養士による食育指導をして食への関心を深めた	利用者	17名
			職員	2名
R7. 06.19～06.20	クラス別保育参観	クラス別に保育参観を実施し、普段のこども園の様子を保護者様に見ていただいた	利用者	77名
			職員	17名
R7.06.23	翔裕園交流会	歌やダンスを披露したり、利用者さんと一緒に玉入れをして交流を楽しむ	利用者	17名
			職員	3名
R7.06.24	食育指導（箸の使い方，野菜の種類,栄養について）	栄養士による食育指導をして食への関心を深めた	利用者	13名
			職員	2名
R7.07.03	花火教室	3歳以上の子ども達が消防職員による安全な花火の使い方のお話を聞いた	利用者	49名
			職員	9名
R7.07.10	南風園交流会	利用者の方々との交流を楽しみ、楽しいひと時を過ごす	利用者	18名
			職員	3名
R7.07.11	事業所内交流（キッズつぼみ）	南方認定こども園にてキッズつぼみとの2歳児交流を楽しむ	利用者	10名
			職員	4名
R7.07.16	南寿荘交流会	利用者の方々との交流を楽しみ、楽しいひと時を過ごす	利用者	10名
			職員	3名
R7.07.25	夕涼み会	テーマに沿いながら、手作りの屋台巡りをしたり年長児による太鼓演奏を披露したり楽しい時間を過ごす	利用者	78名
			職員	18名
R7.08.27	人権教室	人権擁護委員による演劇を鑑賞し、お友達との関わり方を学んだ	利用者	42名
			職員	5名
R7.08.28	こじか交流会	南方認定こども園にてこじかの利用児との交流を楽しむ	利用者	18名
			職員	4名
R7.09.05	食育について（塩分について）	栄養士による食育指導をして食への関心を深めた	利用者	17名
			職員	2名
R7.09.20	運動会	迫体育館にて全クラス合同で運動会を行った 体を動かす事を楽しみ、年齢毎に成長を感じる事ができた	利用者	74名
			職員	14名
R7.10.08	パルめぐみ交流会	利用者の方々との交流を楽しみ、楽しいひと時を過ごす	利用者	12名
			職員	3名
R7.10.09	南方幼稚園交流会	南方認定こども園にてリズム遊び等をして一緒に楽しむ	利用者	15名
			職員	4名
R7.10.20	クッキング（三色丼）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	18名
			職員	3名
R7.10.21	クッキング（カップケーキのトッピング）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	13名
			職員	2名
R7.10.22	幼年消防クラブの集い	登米市消防署主催の幼年防火の集いに参加し、正しい火の使い方を学び、防火の誓いを行う	利用者	19名
			職員	6名
R7.10.28	クッキング（おにぎり）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	16名
			職員	2名
R7.10.28	事業所内交流（キッズつぼみ）	キッズつぼみにて2歳児交流を楽しむ	利用者	11名
			職員	4名
R7.11.07	南風園との交流会	利用者の方々との交流を楽しみ、楽しいひと時を過ごす	利用者	16名
			職員	3名
R7.11.04	幼保小交流会（西郷小学校）	小学校への期待を持ち、楽しんで交流を行う事ができた	利用者	4名
			職員	2名

R7.11.06	幼保小交流会 （東郷小学校）	小学校への期待を持ち、楽しんで交流を行う事ができた	利用者	5名
			職　員	2名
R7.12.06	お遊戯会	クラス毎に日頃の表現活動の様子をご家族様に発表した	利用者	78名
			職　員	20名
R8. 01.22～ 01.23	クラス別保育参観	クラス別に保育参観を実施し、1年間の成長ぶり保護者様に見ていただいた また、アウトリーチ事業を保育参観に取り入れ、音楽鑑賞を行った	利用者	77名
			職　員	20名
R8.01.28	クッキング（クレープ）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	17名
			職　員	2名
R8.01.28	クッキング（パフェ）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	19名
			職　員	2名
R8.02.04	クッキング （ウィンナーパン）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	17名
			職　員	2名
R8.02.09	クッキング （ラップおにぎり）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	13名
			職　員	2名
R8.02.10	食育指導 （箸の使い方）	栄養士に箸の使い方を指導していただき、箸に興味・関心を持てるようにした	利用者	9名
			職　員	2名
R8.02.12	光風園よりバレンタインプレゼントをいただく	光風園職員が来園し、ゆき組の子ども達へプレゼントをいただく また、こども園からも手作りプレゼントをお渡しする	利用者	2名
			職　員	2名
R8.02.27	クッキング （カップケーキ）	楽しい雰囲気の中でクッキングを行い、自分で作って食べる楽しさを味わった	利用者	26名
			職　員	4名
R8.03.10	お別れ会	卒園児のお祝いをしながら、子ども達の発表や職員による発表を見て楽しい時間を過ごした	利用者	77名
			職　員	18名
R8.03.21	卒園式	令和7年度卒園児のお祝い会を行った	利用者	19名
			職　員	19名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年　月　日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.04.28	令和7年度新人研修	施設長 副主任	保育教諭2名　介助員2名
R7.05.07	実習生指導者研修	保育教諭	保育教諭5名
R7.05.13	エピペンの使い方研修	薬剤師	施設長1名　保育教諭他17名
R7.06.04	特別支援研修	こじか職員	施設長1名　保育教諭他8名
R7.06.13	コンプライアンス研修	施設長	保育教諭他15名
R7.06.27	プール遊びについて	保育教諭	保育教諭他7名
R7.07.08	電話応対の仕方　日々の困りごとについて	保育教諭	保育教諭他5名
R7.07.10	AEDの使い方について	登米市消防署職員	施設長1名　保育教諭他17名
R7.07.11	令和7年度恵泉会新任職員研修	理事長他	保育教諭2名
R7.10.31	恵泉会研修大会内部研修	保育教諭	施設長1名　保育教諭他8名
R7.11.04	恵泉会研修大会内部研修	保育教諭	保育教諭他10名
R7.11.05	第46回恵泉会職員研修大会	こころ元気研究所所長 鎌田　敏　氏	施設長1名　保育教諭1名
R7.12.16	感染症対策について	看護師	保育教諭他9名
R8.02.10	人権擁護、虐待予防研修	仙台法務局	保育教諭他10名
R8.02.20	人権擁護のためのセルフチェックリスト		全職員

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R7.04.17	令和7年度保育士養成校保育実習協議会	宮城県保育士養成校連絡協議会	大崎市	職員1名
R7.05.08	令和7年度登米地方保育所協議会総会	登米地方保育所協議会	登米市	職員2名
R7.05.12	宮城県保育協議会総会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R7.05.16	第1回こ幼小連絡会(西郷小学校)	登米市	登米市	職員1名
R7.05.28	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.05.30	第1回こ幼小連絡会(南方小学校)	登米市	登米市	職員1名
R7.06.03	宮城県保育研究大会	宮城県保育協議会	仙台市	職員1名
R7.06.05	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.06.10	特別支援教育コーディネーター連絡協議会	登米市	登米市	職員1名
R7.06.18	保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R7.06.24	安全運転管理者等法定講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R7.07.04	令和7年度特別支援教育研修会	登米市	登米市	職員1名
R7.07.08	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.07.18	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.08.05	登米市保育所児童館等中堅職員研修会	登米市	登米市	職員1名
R7.08.06	ワンダーサマースクール2025	世界文化社	仙台市	職員1名
R7.08.28	登米地方保育所協議会1.2歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.09.05	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.09.24	特別支援教育コーディネーター連絡協議会	登米市	登米市	職員1名
R7.10.03	第2回こ幼小連絡会(南方小学校)	登米市	登米市	職員1名
R7.10.06	令和7年度宮城県発達障害支援者圏域別研修	登米市	登米市	職員1名
R7.10.21	保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R7.10.28	第1回登米市子ども・子育て会議	登米市	登米市	職員1名
R7.10.29	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.10.30	保・幼・小学校等関連研修会	登米市	登米市	職員1名
R7.11.06	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.11.13	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.11.27	令和7年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R7.12.08	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R7.12.17	宮城県災害派遣福祉チームの役割について	宮城県社会福祉法人経営者協議会	登米市	職員1名
R7.12.20	登米地方保育所協議会全体研修会	登米地方保育所協議会	登米市	職員2名
R8.01.13	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.01.14	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.01.21	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.01.22	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.01.23	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.01.28	こ幼小連絡会(南方小学校)	登米市	登米市	職員1名
R8.02.18	登米地方保育所協議会役員会	登米地方保育所協議会	登米市	職員1名
R8.02.12	特別支援教育コーディネーター連絡協議会	登米市	登米市	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、保育士、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
年12回	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
年2回	地域交流委員会	事務室	委員他
年14回	研修委員会	事務室	委員他
年3回	サービス向上委員会	事務室	委員他
年2回	事業計画検討委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.05.14～15	登米市立南方中学校	職場体験	2名
R7.08.07	Jボラ体験隊	職場体験	2名
R7.11.04～06	宮城県登米総合産業高等学校	職場体験	1名

2. 実習受入状況

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.05.12～05.23	石巻専修大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R7.05.26～06.06	仙台こども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R7.06.23～07.04	仙台こども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			3名	30名

【今後の取り組み】

(1)保護者と地域の子育て家庭に対する支援

子育てに対して不安を感じている保護者の方もいるので、傾聴の姿勢を大切にし子育ての楽しさを一緒に考えていきます。未入園児のご家庭に対しては、園庭開放日、子育て相談、絵本の貸出などを実施し、こども園の機能を広く利用できるようにします。また、未入園児のお子さんのこども園体験日を設け、集団遊びの楽しさや異年齢児との触れ合いを通して遊びを広げられるように、環境を整え伝えていきます。

(2)ICTを活用した業務改善

今年度よりICTを導入し、業務改善を図る事ができていますが、更なる業務改善(ペーパーレス化等)を目指していきます。

(3)職員の専門性の向上

計画的に研修会に参加し、職員の資質向上に努めます。キャリアアップ研修に積極的に参加し、各保育分野のリーダー育成に努めます。園児、保護者の方との関わりについて全職員が同じ意識、方向性をもって取り組む事ができるように定期的に職員間で確認し合い、温かな教育・保育を充実させていきます。

令和7年度
事業所内保育所キッズつぼみ　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成28年 4月 1日
5. 利　用　定　員　　12名

基 本 方 針

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

重 点 項 目

（１）子育ち、子育ての拠点として:保護者が参加する行事を計画・開催し、保護者同士の交流の場を提供出来る様に努めると共に、子育てに対し悩みを抱えている保護者からの相談を受け、随時面談を行い保護者にも寄り添えるよう努めました。卒園される際、申送書を希望された保護者には面談を行い内容を一緒に確認していただきながら作成しました。

（２）地域ニーズ:登米中学校区特別支援教育連絡会より参加要請を受け、登米町内の教育機関と連携が図れるようになりました。また、登米秋祭りへの参加や登米警察署訪問を行い、地域行事に参加しました。

（３）保護者との連携:個々に応じた保育を行いながら、連絡帳や登所・降所時に保育所での様子や家庭での様子を相互に共有しながら、信頼関係の構築に努めました。

（４）社会的使命感:事業所内保育所として法人で働く職員が安心して子どもを預け、働くことができるように努めました。また、地域の方々には、当保育所をご利用していただけるように今後もPRを継続して行っていきます。

（５）研修:職員の勤続年数や職種に応じた研修会に参加し、知識の向上に努めました。

（６）連携:登米市子育て支援課、石巻市子ども保育課・石巻保健所登米支所、嘱託医、隣接する各事業所との連携を図り、子どもが安心・安全に保育所を利用出来るように努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　2,492 名
2. 年 間 稼 働 率　　75.79 %
3. 月 別 利 用 状 況（名）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	31	13	30	55	38	48	61	43	80	85	74	91	649
1歳児	36	32	38	41	32	44	49	31	40	29	31	46	449
2歳児	127	114	110	130	101	112	137	95	128	103	105	132	1,394
計	194	159	178	226	171	204	247	169	248	217	210	269	2,492

4. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	10	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	14
退 所 者 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
月末入所者数	9	9	11	11	11	11	11	11	13	13	13	12	12

【利用者サービスの状況】

1．保　　育

（1）行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.04.18	クッキング（おにぎり）	「ニギニギ」「ギュッギュッ」など分かりやすい言葉で伝えながら楽しく作ることが出来ました。	子ども 7名 職員 5名
R7.05.14	クッキング（クレープ）	自分で好きな具材を選び、自分で作ったクレープを喜んで食べていました。	子ども 7名 職員 5名
R7.05.23	はじめましての会	保護者の方においでいただき、懇談会を開催し保育内容をお伝えしました。その後、子ども・職員の紹介を行い親子でリトミックを行いました。	子ども 9名 職員 8名 保護者 11名
R7.06.04	お楽しみ会（歯磨き教室）	シアターや手作りの歯磨きセットを通して、みんなで楽しみながら歯磨きの大切さについて伝えました。	子ども 10名 職員 9名
R7.06.05	事業所内交流会（こじか）	キッズつぼみの園庭でシャボン玉遊びを通して、こじかの子ども達と楽しく交流することが出来ました。	子ども 6名 職員 3名
R7.06.24	クッキング（ビビンバ）	野菜が苦手な子も、自分で調理することで苦手な食材も嫌がることなく食べていました。	子ども 7名 職員 3名
R7.07.07	七夕会 七夕交流会	午前中は、保育室にて七夕についての話を聞いたりゲームを楽しみました。午後は、遠山荘にてお遊戯を披露しました。	子ども 10名 職員 7名
R7.07.17 ～R7.07.18	フレンズウィーク	月齢に合った活動を行い、楽しく過ごすことができました。（一般参加者：1家族参加・こじか利用者：5名参加）	子ども 8名 職員 6名
R7.07.23	クッキング（とうもろこしの皮むき）	とうもろこしの感触やツブツブを観察したりと、季節の食材に触れました。	子ども 7名 職員 3名
R7.08.05	夏祭り	遠山荘の芝生にて御神輿を担いで行進する姿や、お遊戯を披露したり、保護者と一緒に屋台めぐりをしてお祭りの雰囲気を味わいました。	子ども 7名 職員 8名 保護者 12名
R7.08.20	絵本クッキング（カレーライス）	絵本「カレーライスだいすき」の読み聞かせを行いながら、実際に目の前で野菜を切り、何の野菜なのか、どんな音がするか話しながら一緒に調理しました。	子ども 10名 職員 4名
R7.09.12	保育参観	保護者と一緒に、運動会へ向けての制作を行ったり、普段の子ども達の給食の様子も見ていただきました。	子ども 11名 職員 8名 保護者 9名
R7.09.21	登米秋祭り	お祭りの雰囲気を味わいながら、子ども達も保護者もみんなで御神輿を担いで歩き、地域の行事に参加しました。	子ども 7名 職員 3名 保護者 9名
R7.10.10	運動会	天気に恵まれ、園庭でのびのびと行うことができました。遠山荘のご利用者の応援を受けながら、保護者対職員の競技もありとても盛り上がりました。	子ども 11名 職員 8名 保護者 16名
R7.10.24	クッキング（ビビンバ）	登米市産の牛肉を提供していただき、調理することを楽しみながら地元の食材を味わったり、食に対しての興味引き出すことができました。	子ども 6名 職員 5名
R7.10.28	事業所内交流会（南方認定こども園）	南方認定こども園の2歳児11名が来所し、体操やカルタ遊びを通して交流を深めました。	子ども 5名 職員 3名
R7.10.31	お楽しみ会（ハロウィン）	登米市バルーンアートボランティアと一緒にバルーンアートを楽しんだ後、いろいろなキャラクターに仮装し遠山荘を訪問し交流をしました。	子ども 10名 職員 7名
R7.12.05	お遊戯会	緊張する様子も見られましたが、保護者に温かく見守られながらお遊戯を披露することができました。親子ふれあい遊びでは、遊びを通して楽しくふれあう様子が見られました。	子ども 12名 職員 8名 保護者 21名
R7.12.09	絵本クッキング（ホットケーキ）	絵本「しろくまちゃんのホットケーキ」を読み聞かせ、同じ手順でホットケーキを作りました。実際に調理器具に触れ楽しそうな表情が見られました。	子ども 7名 職員 3名
R7.12.19	事業所内交流会（三施設交流会）	遠山荘にて、「手のひらを太陽に」と「にじ」の手話を披露したり、遠山荘職員のハンドベルに合わせ一緒に楽器演奏をし、遠山荘と恵はあとのご利用者との交流会を実施しました。	子ども 11名 職員 6名

R7.12.24	お楽しみ会 （クリスマス会）	クリスマスの歌をうたい、ゲームやクイズを行いました。サンタクロースにプレゼントをいただき、楽しいクリスマス会になりました。	子ども 13 名 職　員 8 名
R8.01.08	お楽しみ会 （お正月）	登米図書館からご紹介された読み聞かせボランティアにきていただき、絵本の読み聞かせ・手遊び・餅つき等盛り沢山の内容でした。	子ども 12名 職　員 4名
R8.02.03	お楽しみ会 （節分会）	鬼の登場に驚いてしまう様子もありましたが、みんなで鬼を退治し、節分という行事を充分に楽しむことができました。	子ども 11名 職　員 8名
R8.02.03	クッキング （恵方巻きロール）	食材を塗ったり巻いたりする行程を楽しみながら、恵方巻きロール作りを楽しみました。	子ども 10名 職　員 6名
R8.03.03	ひなまつり会 ひなまつり交流会	ひな祭りの歌やパネルシアターを行い、交流会では遠山荘と恵はあとのご利用者と一緒に歌をうたったり、ゲームを行い楽しみました。	子ども 13名 職　員 6名
R8.03.06	大きくなったね会	親子でフォトフレーム制作を行ったり、成長をまとめたDVDを鑑賞したりしながら一年間を振り返り、成長の喜びを保護者と分かち合うことができました。	子ども 13名 職　員 8名 保護者 17名

＊この他、該当月にお誕生会を実施しました。

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R7.04.28	感染症発生時の方法・手段について	保育士	管理者・保育士 5名・事務員
R7.05.27	食中毒予防について	保育士兼栄養士 兼調理員	保育士 4名・事務員
R7.06.10	水遊びの安全性と危険性について	保育士	保育士 4名・事務員
R7.06.10 ～R7.06.11	手指衛生研修	保育士	管理者・保育士 7名・事務員・子ども 6名
R7.06.30 ～R7.07.01	虐待防止について	管理者	保育士 6名・事務員
R7.07.28 ～R7.07.29	コンプライアンス・保育所保育指針について	管理者	保育士 6名・事務員
R7.11.18	感染症対策について	遠山荘看護師	管理者・保育士 6名・事務員
R8.03.24	年間事故報告研修について	保育士	保育士 4名

（2）外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.07.10	令和7年度　登米市幼児教育指導者研修	登米市教育支援センター	登米市中田生涯学習センター	職員1名
R7.09.12	令和7年度　第2回　登米中学校区特別支援教育連絡会	登米教育委員会	登米市立 登米小学校	職員1名
R7.09.24	令和7年度　宮城県保育施設給食担当職員研修	宮城県・一般社団法人宮城県保育協議会・社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.10.06	令和7年度 親子支援研修会	宮城県石巻保健所登米支所・登米市・社会福祉法人恵泉会恵泉会地域生活支援センター・宮城県子ども総合センター（発達障害者支援センター）	登米市南方庁舎	職員1名
R7.10.21	令和7年度　第2回　保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名

R7.10.27	令和7年度 中堅保育士研修	宮城県保育士・保育所支援センター一般社団法人宮城県保育協議会	オンライン	職員1名
R7.11.26	令和7年度 親子支援研修会	宮城県石巻保健所登米支所・登米市・社会福祉法人恵泉会恵泉会地域生活支援センター・宮城県子ども総合センター（発達障害者支援センター）	登米市南方庁舎	職員1名
R7.11.27	令和7年度　保育施設長会議	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名
R8.01.20	令和7年度　第3回　保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所子育て支援課	登米市南方庁舎	職員1名
R8.01.28	令和7年度　第3回　登米中学校区特別支援教育連絡会	登米教育委員会	登米市立登米小学校	職員1名
R8.02.13	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会法人本部	職員1名

2．会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内容	開催日	参　加　職　員
職　員　会　議	次月の行事予定、各部署からの連絡	年間14回開催	全職員（保育状況を考慮）
保　育　会　議	子どもの状況について	年間12回開催	保育士全員（保育状況を考慮）
給　食　会　議	前月の給食の状況、改善点等	年間12回開催	栄養士、保育士全員（保育状況を考慮）

(2) その他の会議

開催日	内容	場　所	出　席　者
年間12回開催	防災委員会	保育室	管理者・委員
年間13回開催	安全管理対策委員会	保育室	管理者・委員
年間12回開催	感染予防対策委員会	保育室	管理者・委員
年間7回開催	研修委員会	保育室	管理者・委員
年間6回開催	マニュアル検討委員会	保育室	管理者・委員
年間2回開催	入所判定委員会	保育室	参事・管理者・事務員・委員
年間5回開催	サービス評価委員会	保育室	管理者・委員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年　月　日	団　体　名	内　容	来　訪　者　数
R7.10.31	登米市社会福祉協議会	バルーンアート	6名
R8.01.08	登米市立登米図書館	読み聞かせ：手遊び	3名

2．実習受入状況

年　月　日	団　体　名	内　容	来　訪　者　数
	無		

【 今後の取り組み 】

年齢や月齢に応じた保育を実施しながら、園内の整理整頓、子どもが遊ぶ環境の整理、子どもが安全過ごせる場所の確保に努めます。また、他事業所、地域との交流会、実習生、ボランティアの受け入れ行っていきたいと思います。各感染症の感染防止の観点から引き続き感染予防対策を行い、子どもの健を守りつつ様々な経験を重ね、のびのびと活動を行い心身共に健やかに成長出来る様に努めてまいりま

さらに、当事業所の特徴を多くの方々に知っていただき、利用人数が少しでも増えるよう必要な広報活動を積極的に行っています。

令和7年度
特別養護老人ホーム光風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－3
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和51年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

「認知症ケア」「生活環境への配慮」「活動と心身機能維持」を重点課題としてサービスの質の向上に努めて参りました。久しぶりの認知症カフェ開催により、認知症の理解を深め、専門的ケアの実践につながる知識と技術を学び合いました。一日のプログラム内容の周知をはじめ、ラジオ体操やBGMの活用により、生活環境への配慮や活動に対しての意識を高め、取り組みを進めることができました。経営状況については安定経営を目的とし、特に空床期間を短縮することで確実な収益を上げることが出来ました。看取り介護の実践が次への対応準備にもつながり、看護部や給食部・介護部・相談部が機能的役割を果たすことにより、安定経営に結び付きました。

【重点項目】
1．地域包括ケアシステムの深化・推進
1）支援体制（地域包括ケア）の構築は、長期入所においては嘱託医や協力医療機関との医療連携体制会議、短期入所においては地域包括支援センターや居宅介護事業所の専門職とのネットワーク会議により情報共有や連携により支援体制構築を進めました。嘱託医との会議（協力医療機関連携会議）毎月1回回診時実施。医療連携体制会議（米谷病院）実施（R7.5.19）。地域ネットワーク会議、認知症カフェで地域住民、区長、老人会会長、地域包括を巻き込み開催できました。
2）医療機関との連携は、嘱託医・協力医療機関と定期的に入所者の状況を共有し、夜間休日の相談、受診、緊急時の入院ができる等、入所者急変時の対応がスムーズに進められるよう取り組みました。施設での看取り介護においては、嘱託医、協力医療機関と連携し、看取り期におけるケアの質の向上を看取り委員会で進めました。看取り介護は4件。看取りケア研修を2回実施（5/22・7/24）。看取り介護委員会会議録により職員共有しました。協力医療機関（米谷病院）による感染症対策研修会に7件／7名参加し、感染対策の知識技術の習得を得ました。
3）認知症への対応力強化として、無資格の介護職員は認知症介護基礎研修の受講し、また専門性を高めるため認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講し対応力強化とその人員配置及び加算取得に向けた取り組みました。今年度においては認知症介護実践者研修1名修了し、現在まで実践リーダー研修1名、実践者研修6名が修了しました。

2．自立支援・重度化の防止に向けた対応
1）科学的介護（口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練）における一体的取組として、評価分析、LIFEのフィードバック情報を定期的にサービス向上委員会や個別援助計画会議において検討、ADL評価・口腔機能評価・興味関心チェックシートと合わせ個別援助計画に反映した統一介護と個別ケアの実践を進めました。ケア会議においてLIFEフィードバック情報データを基にケアプランに反映し、定期的にADL評価・口腔機能評価し個別ケアを検討、ケアの質を高める取り組みを行いました。
2）重度化防止のため、口腔衛生について嘱託医ならびに歯科衛生士の指導のもと、口腔ケア研修からの学びにより介護職員の知識や技術の習得を図り、口腔ケア実践を進めました。今年度は歯科衛生士による口腔ケア研修を年2回助言指導を受けました。
3）配慮された接し方や言葉遣いの徹底を目的とした取組として、コミュニケーションの実践記録と活動メニューやプログラム（day・week・month）周知、利用者のご意見を伺い、検討する仕組みをサービス向上委員会で進めました。虐待防止に向けた標語コンクール、復唱実践。一日の予定をアナウンス。利用者アンケートを実施し、サービスや行事活動に反映、サービス向上委員会で取り組みを進めました。
4）認知症の状態に配慮したケアの実践のため、実践者研修や内部研修での学びと認知機能の低下防止の活動プログラムの効果測定をサービス向上委員会及びグループ活動において進めました。毎日のラジオ体操、機能訓練指導員による個別機能訓練、グループ活動における脳トレ、機能訓練活動等により、心身機能維持を図りました。さらに年2回ADL評価分析を行いました。

3．良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
1）インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、iPad活用による記録の簡素化、介護情報データの活用により業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を進めました。見守り介護ロボット導入により安心安全な生活確保、職員の業務負担軽減を図りました。
2）生産性向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討しました。活動等の充実を図る目的で、AMおむつ交換の時間を短縮することで、機能訓練や活動時間を設ける取り組みを進めました。

3）マニュアル検討委員会において、既存のマニュアルの見直しを進め、7つ改定しました。
4）苦情・リスクマネジメント委員会は月1回開催し、介護事故防止のため、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析、適切な対応対策を検討しました。
5）利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行いました。利用者満足度調査、家族アンケート、行事活動における利用者意見を参考に反省、改善等をサービス向上委員会で検討しました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　17,501 名
2. 年 間 稼 働 率　95.90 %
（目 標 稼 働 率　98.00 %）
3. 年間平均介護度　4.21
4. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	210	217	180	160	176	150	155	150	125	124	112	102	1,861
要介護 4	795	783	842	840	837	839	864	826	910	855	801	937	10,129
要介護 5	465	482	422	447	469	469	483	468	430	451	448	477	5,511
計	1,470	1,482	1,444	1,447	1,482	1,458	1,502	1,444	1,465	1,430	1,361	1,516	17,501

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	1	1	1	1	0	2	1	3	2	1	13
退 所 者 数	0	1	1	1	0	1	1	1	3	3	0	2	14
月末入所者数	50	49	49	49	50	50	49	50	48	48	50	49	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
（1）行事　延べ参加者数 498名　年間実施回数 8 回

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.04.17	春まつり	外出の機会が少ない為、ボランティアを依頼し踊りを披露して頂き楽しい時間を過ごした。又園庭を散策し気分転換と春の空気を味わって頂く事で、生活意欲の向上に繋げる事が出来た。	利用者 51名 職 員 16名
R7.06.26	キッツつぼみとの交流会	キッツつぼみの2歳児の子供達の踊りを鑑賞し、満面の笑みで手拍子をされていた。短い時間であったが子供達から元気をもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。	利用者 52名 職 員 7名
R7.07.17	納涼会	ボランティアによるアトラクションを依頼。日根牛太鼓の方々の太鼓の迫力に感動し、大変好評であった。又くじ引きやゲームを行い、納涼会の雰囲気を味わい楽しい時間を過ごすことが出来た。	利用者 50名 職 員 16名
R7.08.06	盆供養	利用者と職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。	利用者 47名 職 員 10名
R7.09.18	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝うと共に長年の労に感謝し、健康を祈ることが出来た。又式典後には、熊谷流による演舞の披露や職員との合同での踊りで、和やかな雰囲気で長寿のお祝いを行うことが出来た。	利用者 53名 職 員 15名
R7.10.23	キッツつぼみとの交流会	キッツつぼみの2歳児6名、1歳児2名の子供達の踊りを鑑賞し、満面の笑みで手拍子をされていた。短い時間であったが子供達から元気をもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。	利用者 50名 職 員 16名
R8.01.08	新年会	新年を迎えるための準備を行い季節感を味わって頂いた。会では1年間健やかに過ごせるように利用者と職員で新年をお祝いすることが出来た。	利用者 41名 職 員 14名

R8.02.03	節分・豆まき	今年の年男・年女の方々に袴を身につけてもらい、豆まきを行ってもらっている。豆まきを行い邪気を払い、無病息災を願うことが出来た。	利用者　51名 職　員　9名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　1,476 名
2. 年 間 稼 働 率　80.88 %
   (目 標 稼 働 率　90.00 %)
3. 年間平均介護度　3.10
4. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	7	6	3	2	4	9	9	4	0	0	4	5	53
要介護 2	44	42	48	42	53	45	53	52	56	53	50	61	599
要介護 3	9	29	27	15	12	28	23	28	31	23	12	19	256
要介護 4	22	24	29	27	19	32	21	13	35	22	26	18	288
要介護 5	37	32	23	23	38	15	21	9	23	13	20	26	280
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	119	133	130	109	126	129	127	106	145	111	112	129	1,476

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.04.10	施設設備・防災・安全運転講習	光風園職員	職員3名
R7.04.24	利用者急変時対応研修	光風園職員	職員11名
R7.04.24	法令順守研修	施設長	職員11名
R7.05.01	法令順守研修	施設長	職員9名
R7.05.12	法令順守研修	施設長	職員2名
R7.05.14	法令順守研修	施設長	職員2名
R7.05.22	看取り研修(ターミナルケア・介護者の精神的ケア)	光風園職員	職員9名
R7.05.29	感染症予防研修	光風園職員	職員11名
R7.06.05	身体拘束廃止研修	光風園職員	職員5名
R7.06.12	不審者対応研修	登米警察署員	職員16名
R7.06.18	口腔ケア研修	中江歯科歯科衛生士	職員6名
R8.06.24	バーセルインデックス研修	恵泉会作業療法士	職員1名
R7.06.26	食中毒予防研修	光風園職員	職員8名
R7.07.10	介護予防(脱水・水分補給)研修	光風園職員	職員11名
R7.07.24	看取り研修(急変対応)	光風園職員	職員10名
R7.07.31	接遇研修	光風園職員	職員11名
R7.08.01	新任職員研修	施設長	職員1名
R7.08.06	さすまた使用・特殊詐欺防止研修	登米警察署員	職員11名
R7.08.14	虐待防止研修	光風園職員	職員10名
R7.08.21	オムツの当て方研修	白十字㈱	職員7名
R7.08.28	褥瘡予防研修	光風園職員	職員9名
R7.09.25	安全運転研修	施設長	職員8名
R7.10.02	介護事故予防研修	光風園職員	職員11名
R7.10.30	感染症BCP訓練研修	光風園職員	職員6名
R7.11.13	看取り研修(オンコール・医療に対する緊急対応等)	光風園職員	職員8名
R7.11.27	身体拘束廃止・虐待防止研修	光風園職員	職員9名
R7.11.30	介護予防研修	光風園職員	職員6名
R7.12.11	口腔ケア研修	中江歯科歯科衛生士	職員6名
R8.01.15	認知症研修	光風園職員	職員6名
R8.01.29	感染症予防研修	光風園職員	職員8名

R8.02.12	身体拘束廃止事例検討研修	光風園職員	職員6名
R8.02.19	介護事故防止研修「ヒヤリハット」	光風園職員	職員6名
R8.02.26	感染症予防研修及び訓練（BCP訓練研修）	光風園職員	職員10名
R8.03.05	プライバシー保護研修	光風園職員	職員9名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.06.13	感染症セミナー2025	東北大学病院	web	職員1名
R7.06.18	チーム・ビルディング研修	日本女子大学	web	職員1名
R7.7.1	「第1回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.7.1	「第1回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.7.1	「第1回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.7.11	令和7年度ファシリテーション研修	みやぎハートフルセンター	仙台市	職員1名
R7.07.23	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R7.07.24	「第1回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.07.24	「第1回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.7.28	生産性向上ビギナーセミナー	厚生労働省	web	職員1名
R7.08.07	生産性向上フォローアップセミナー	厚生労働省	web	職員1名
R7.08.22	令和7年度管内栄養士等研修会	宮城県	石巻市	職員1名
R7.08.27	看取りケア研修	華足寺	登米市	職員1名
R7.08.27	看取りケア研修	華足寺	登米市	職員1名
R7.9.12	令和7年度高齢者施設・施設の協力医療機関向け感染症セミナー	東北大学病院	web	職員1名
R7.9.26	登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県	登米市	職員1名
R7.10.8	令和7年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大和町	職員1名
R7.10.9	令和7年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大和町	職員1名
R7.10.10	高齢者肺炎予防研修会	石巻地域肺炎ネットワーク	石巻市	職員2名
R7.10.14	高齢者権利擁護研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	web	職員1名
R7.10.15	生産性向上フォローアップセミナー	厚生労働省	web	職員1名
R7.10.18	日本褥瘡学会在宅褥瘡セミナー宮城	日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会	石巻市	職員1名
R7.10.21	令和7年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大和町	職員1名
R7.10.22	令和7年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大和町	職員1名
R7.10.23	褥瘡予防研修	登米市立米谷病院	登米市	職員1名
R7.11.11	令和7年度地域課題情報交換会	登米市	登米市	職員1名
R7.11.28	令和7年度アセスメント・ケア向上研修会	宮城県	石巻市	職員1名
R7.12.9	令和7年度アンガーマネジメント研修	みやぎハートフルセンター	web	職員1名
R7.12.12	令和7年度在宅医療・介護連携研修会	登米市民病院	登米市	職員1名
R7.12.17	令和7年度登米地域連絡協議会合同研修会	宮城県老人福祉施設協議会	登米市	職員2名
R7.12.17	宮城県DWAT説明会	宮城県老人福祉施設経営者協議会	登米市	職員2名
R7.12.19	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県	大和町	職員1名
R7.12.25	「第2回感染対策」研修会	登米市立米谷病院	登米市	職員3名
R8.01.23	令和7年度高齢者虐待防止研修会	登米市	登米市	職員1名
R8.02.28	登米市医療局市民講座	登米市	登米市	職員1名
R8.03.08	シンポジウム（病院と地域をつなぐNPの役割り）	登米市	web	職員2名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	延べ回数	参　加　職　員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	13回	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	12回	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	32回	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	13回	介護・看護・相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	12回	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	12回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	9回	各セクションの代表者
事務部会	予算・決算他会計処理の留意事項、情報共有	3回	事務担当者
給食部会	給食提供状況、情報共有	6回	管理栄養士兼事務員
生活相談員部会	入退所状況、加算状況の確認、情報共有	6回	各施設の生活相談員
看護師部会	各種健診の反省、感染対策における協議	4回	各施設の看護師
介護部会	介護備品や日用品等の共同購入の検討	6回	各施設の介護職員

3. 委 員 会 開 催 状 況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	延べ回数	参　加　職　員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	4回	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員のスキルアップのため内部研修を開催しました	4回	委員
マニュアル検討委員会	マニュアルを見直し、必要に応じデータ更新しました		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討と業務内容の見直し	11回	施設長と委員
生産性向上委員会	働きやすい職場づくりについての課題の抽出と環境改善	12回	施設長と委員
看取り対応検討委員会	看取りケアの質の向上と対応や記録の整備、振り返りの実施	7回	施設長と委員
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討と事故後の事故検証	12回	施設長と委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	見守りセンサー等の活用と、負担軽減・事故防止の検証	5回	施設長と委員
虐待防止委員会	虐待に関する正しい知識を持って適切な防止策を検討する	11回	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討	13回	施設長と委員
防災委員会	消防計画に沿った訓練を実施、検証しました	4回	施設長と委員
摂食嚥下リハビリテーション推進委員会	安全かつ楽しく食事できるよう摂食嚥下に関する取り組みを検討	4回	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	4回	施設長と委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R.7.4.17	熊谷流	春まつりでの演芸披露	3名
R.7.7.17	とよま日根牛太鼓	納涼会での太鼓の披露	4名
R.7.9.18	熊谷流	長寿を祝う会での演舞披露	3名
計			10名

(2) 実習

年月日	実習	実習内容	実人数	延人数
R.7.6.16 ～20	令和7年度教員免許法の特例に 「介護等の体験」	利用者の状況に応じたコミュニケ 体験や移動等のお手伝い	1名	5名
計				5名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
   1) 支援体制(地域包括ケア)の構築のため、嘱託医や協力医療機関との医療連携体制会議、地域包括支援センター・介護事業所・福祉関係団体・地域住民・行政組織との地域ネットワーク会議参加により情報共有や連携により支援体制構築を進めます。
   2) 医療機関との連携は、主に嘱託医・協力医療機関と定期的に入所者の状況を共有し、夜間休日の相談、受診、緊急時の入院、急変時の対応がスムーズに進められるよう取り組みます。
   特に看取り介護においては、嘱託医、協力医療機関と連携し、看取り期におけるケアの質の向上のため外部研修、内部研修により質的向上を図り、ターミナル検討委員会においてケア内容、課題の共有、利用者の尊厳に配慮した接し方等の協議、検討を進めます。

2. 自立支援・重度化の防止に向けた対応
   1)科学的介護(口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練)における一体的取組として、評価分析、LIFEのフィードバック情報を定期的に生産性向上委員会、サービス向上委員会、定期カンファレンスにおいて検討します。ADL評価・口腔機能評価・興味関心チェックシートと合わせ、個別ケアに反映、さらに統一した介護の実践と加算取得に向けた取り組みを進めます。
   2) 認知症の状態に配慮したケアの実践を進めるために、認知症介護実践者研修や内部研修の中での理解と学びを進め、適切な言葉遣い、配慮された接し方等の対応力を身に付け進めていきます。認知機能に関するグループ活動により活動プログラムやメニューに反映していく等、実践的に進めます。
   3)余暇時間の充実、文化的で心身ともにゆとりある生活のためサービス向上委員会において検討します。特に定期的に外出や外食の機会をもつことができる企画により利用者満足度の向上を目指します。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
   1) スマートホンを活用したコールシステムや見守り介護ロボットを活用することによる精神的負担の軽減、ipad活用による記録の簡素化やオトノート活用による記録等の業務負担軽減、介護情報データの活用による業務効率、敏速な状況判断を図ります。今年度においては見守り介護ロボットを増設の計画をし、更なる精神的負担軽減、業務効率を図ります。
   2) プライバシー保護のため工夫や配慮されたサービスについて、サービス向上委員会にて快適な生活空間やトイレや居室の環境について検討、また接遇対応の協議検討を定期的に行っていきます。
   3) 生産性向上委員会及びサービス向上委員会において、業務内容の見える化、役割分担、業務手順を見直し、改善、工夫と効率的な業務、利用者視点でサービス提供を進めていきます。
   4)安心安全なサービス提供のため、苦情・リスクマネジメント委員会において介護事故防止のため、ヒヤリハット事例の推進を図るための取組を進めます。また手順書の作成、見直しを行い、マニュアルに基づいた実践研修を取り入れ、介護事故ゼロを目指して取り組みます。
   5) 年次有給休暇5日以上の確実な取得と労災事故ゼロの取組(安全衛生研修・腰痛予防体操、危険個所の把握と改善)を進めます。
   6) コンプライアンスガイドラインのセルフチェック項目により、自己分析する。感情のコントロールを意識し、意思疎通を図り、チーム組織として関わり合いができる組織づくり、職場環境の維持改善に努めます。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
   1）外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。OJT研修を計画的に実施し、ケア統一を図りサービスの質の向上と効率、負担の軽減を図ります。
   2）認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざしケア実践力を高めます。
   3）日々実施している基本理念の復唱継続、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
   4）人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

5. 地域貢献
   地域との交流を活性化するとともに、清掃活動など新たな活動を行い、施設も地域社会の一員として協働に向け取り組みます。

6. 経営安定化
   利用者の重度化による在籍日数の短期化と入院の増加に対し、短期入所での利用など効率的な空床管理を実施、目標稼働率の達成につなげます。また、節電等経費削減に努めます。経営の安定化―経費増大が課題です。空床のコントロールを適正に行い、目標の稼働率を達成するとともに、適正な支出となるよう経費削減に努めます。

7. 法人内連携
   ゆりの郷はもとより、登米・豊里地区の事業所と連携を図りスムーズな運営に努めます。

令和7年度
特別養護老人ホーム松風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市豊里町笑沢153－62
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　昭和58年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を迎え、今後、徐々に高齢者人口の減少に向かっていく中で2040年を見通した中長期的な地域の人口動態や、介護ニーズの見込みを踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた取り組み」「良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続性の確保」に引き続き取り組みました。また、新興感染症や自然災害の発生が心配される中で、その対策を行いながら、利用者お一人おひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら住み慣れた地域でいつまでも暮らしていける、その人らしい日常生活、地域での生活が継続出来る様、個別ケアに対応したサービス提供に取り組みました。この地域の受け皿、介護拠点づくりとして取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）
- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加により、その人らしい生活が送れる様に支援しました。
- 利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、評価・見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化防止に取り組みました。

2　サービス向上に向けた取り組み
- タブレット・介護ロボット、ICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進め、職員の業務負担の軽減を図るとともに、業務の改善や効率化により介護サービスの質の向上に取り組みました。
- 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関や診療看護師（NP）、関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に取り組みました。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員の認知症介護基礎研修の受講について、今年度は該当ありませんでした。
- 安全対策委員会において、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析し適切な対応と対策を検討し、介護事故防止に取り組みました。
- 科学的介護における一体的取組として、LIFEのフィードバック情報を基にサービス向上委員会で定期的に検討し統一した介護と個別ケアの実践を進めました。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み
- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めました。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行いました。
- 介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げました。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み
- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたりました。
- 地域貢献事業、地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催予定でしたが、新興感染症の感染懸念から見送りました。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- 新興感染症対策として、感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築できるよう取り組みました。
- 新興感染症対策として、感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練を実施しました。
- 新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、協力医療機関との連携を強化し、感染症対応力向上に取り組みました。
- 家族との面会や関係者との交流については、対面での面会を基本とし感染状況等を踏まえ、可能な限り安全に面会（窓越し・オンライン方式）が実施できるようにしました。
- 自然災害に対応する業務継続計画(BCP)において、必要な計画の見直しや研修及び訓練を実施し、非常災害時の継続的なサービス提供ができるよう取り組みました。
- 地域（庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、既に災害協定を締結している他施設（迫風園拠点、南風園拠点）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応について、訓練等に参加してもらい、協力体制の構築に努めました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

- 業務継続に向けた取り組みとして、策定した計画書(BCP)を適宜に検証し、研修・訓練を実施し対応力強化を図りました。
- 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを行いました。
- 中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業に取り組みました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　17,000　名
2. 年　間　稼　働　率　　93.15　％
（目　標　稼　働　率　　98.00　％）
3. 年間平均介護度　　4.28

4. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	90	76	76	84	124	120	124	120	124	124	112	124	1298
要介護 4	821	797	775	830	804	701	772	802	873	868	798	837	9678
要介護 5	510	482	531	517	520	545	550	508	490	443	417	511	6024
計	1,421	1,355	1,382	1,431	1,448	1,366	1,446	1,430	1,487	1,435	1,327	1,472	17000

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	2	3	1	2	1	1	1	1	2	3	18
退所者数	2	1	2	1	2	2	2	0	0	2	2	2	18
月末入所者数	49	48	48	50	49	49	48	49	50	49	49	50	0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.04.10	百寿祝い会	百寿をめでたく元気に迎えられたことを、ご家族や施設でお祝いしました。	利用者　1名 職　員　6名
R7.04.15	ドライブ	北上川河川歴史公園と平筒沼へドライブし気分転換を図りました。	利用者　3名 職　員　2名
R7.04.18	春祭り	転勤した職員の紹介をするとともに余興を鑑賞して気分転換を図りました。	利用者 34名 職　員 16名
R7.05.05～07	菖蒲湯	菖蒲の香りを楽しんで頂きながら心身のリフレッシュをして頂きました。	利用者 40名 職　員 15名
R7.05.11	母の日祝い	母親への感謝の気持ちを伝える。	利用者 36名 職　員　3名

R7.05.28	園芸	利用者様と一緒に花壇の手入れを行いました。	利用者　4名 職　員　3名
R7.06.13	父の日祝い	父親への敬意と感謝の気持ちを表す。	利用者　8名 職　員　3名
R7.06.22	ゲーム大会	利用者の方々にゲームを楽しんで頂き、親睦を深めました。	利用者　9名 職　員　2名
R7.06.25	野外食	屋外での食事を楽しんで頂き、季節感を味わって頂きました。	利用者　5名 職　員　1名
R7.07.07	七夕会	七夕の由来を知り、七夕飾りを眺めながら歌を歌い、短冊に書いた願い事を発表しあいながら楽しい時を過ごして頂きました。	利用者 13名 職　員　2名
R7.07.08	ドライブ	米山道の駅、平筒沼へドライブし、気分転換を図りました。	利用者　3名 職　員　2名
R7.07.25	夏祭り	夏の風物詩である夏祭りを通して、いつもと違った雰囲気を楽しんでいただき、意欲の向上を図りました。	利用者 50名 職　員 13名
R7.08.08	おうちで花火	夏の風物詩である花火を味わっていただき、季節感と気分転換を図りました。	利用者　8名 職　員　6名
R7.08.14	ドライブ	平筒沼へ蓮の花見学のためドライブし、気分転換を図りました。	利用者　3名 職　員　2名
R7.08.18	盆供養	香林寺住職を招き、お亡くなりになったご利用者の方々の供養と冥福を祈りました。	利用者　9名 職　員　2名
R7.09.21	長寿を祝う会	長年にわたり社会貢献されてきた利用者の皆様に、尊敬と敬意を表すると共に、より一層の長寿と健康を祈念しました。	利用者 47名 職　員 21名
R7.10.06	お月見会	秋の七草のススキ等を飾ると共に、月に見立てたお団子や果物の収穫物をお供えする事で、収穫を喜び感謝し翌年の豊作を願った。	利用者 20名 職　員　6名
R7.10.07	芋煮会（野外食）	野外にて秋の訪れを感じながら芋煮を召し上がって頂き、利用者間での交流を図りました。	利用者　6名 職　員　3名
R7.10.23	レクリエーション	園庭を散歩しながら思い思いに体を動かして頂きました。	利用者　6名 職　員　3名
R7.11.01	紅葉散策	紅葉を見にドライブし、気分転換を図りました。	利用者　3名 職　員　2名
R7.11.18	焼き芋会	季節行事である焼き芋会を楽しんで頂きました。	利用者 18名 職　員　3名
R7.11.24	ゲーム大会	脳トレゲームを行い、脳の活性化を図りました。	利用者 10名 職　員　2名
R7.12.22～24	ゆず湯	ゆず湯に浸かり、ゆずの香りでリラックスして頂き、また邪気を払うと共に風邪をひかずに冬を越して頂きました。	利用者 53名 職　員　7名
R7.12.25	クリスマス会	クリスマスの雰囲気を感じて頂き、利用者の皆様との交流を図りました。	利用者 34名 職　員 10名
R7.12.26	正月飾り	新年を迎える準備として餅つきを行い、利用者の皆様と交流を図りながら季節感を味わって頂きました。	利用者　4名 職　員　2名
R8.01.01	お屠蘇配り	正月の雰囲気を味わって頂きました。	利用者 50名 職　員　5名
R8.01.02	正月遊び	お正月遊びを通して季節感を感じて頂くと共に、利用者様同士の親睦を深めて頂きました。	利用者 17名 職　員　3名
R8.01.15	新年会	新年のお祝いと本年も良い日々を送られるよう新年会を通して皆様に新しい年の始まりを楽しんで頂きました。	利用者 26名 職　員 10名
R8.01.15	百寿祝い	百寿をめでたく迎えられたことを、ご家族や施設でお祝いしました。	利用者　1名 職　員　6名
R8.02.03	節分	年男、年女の利用者・職員により邪気を払い、無病息災を願いました。	利用者 48名 職　員　5名
R8.02.15	レクリエーション	リハビリ体操をして頂き、気分転換を図りました。	利用者 13名 職　員　2名
R8.03.03	ひな祭り	無病息災と健康、幸せを祈り利用者の皆様でお祝いをしました。	利用者 26名 職　員　7名
R8.03.19	彼岸供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者 17名 職　員　7名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　1,114 名
2. 年 間 稼 働 率　76.30 %
   （目 標 稼 働 率）　94.00 %
3. 年間平均介護度　2.82
4. 月 別 利 用 状 況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	7	7	6	8	4	4	10	12	9	15	18	16	116
要介護 2	35	33	27	33	33	30	25	33	27	22	12	13	323
要介護 3	26	54	39	43	45	37	37	22	24	18	34	43	422
要介護 4	0	3	2	3	6	6	41	10	26	24	14	14	149
要介護 5	0	14	15	17	18	9	0	2	11	4	8	6	104
計	68	111	89	104	106	86	113	79	97	83	86	92	1,114

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.04.07	防災機器操作と対応手順について	相談員	職員7名
R7.04.14	入浴機器の取り扱いについて	介護福祉士	職員4名
R7.04.28	災害・感染症BCP研修（新任研修）	施設長	職員1名
R7.04.28	感染症・BCP研修	看護師	職員5名
R7.05.02	公用車操作方法と実技	介護福祉士	職員7名
R7.5.12・6.9・6.30・7.24	法令遵守・ハラスメント研修	施設長	職員36名
R7.06.11	事故発生防止について（新任研修）	施設長	職員1名
R7.06.11	感染症及び食中毒予防及びまん延防止研修（新任研修）	施設長	職員1名
R7.06.11	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について（新任研修）	施設長	職員1名
R7.06.16	食中毒について	管理栄養士	職員11名
R7.06.25	オムツ交換研修	白十字	職員9名
R7.07.07	介護機器アームスの基本操作について	（株）バイオシルバー	職員7名
R7.07.23	口腔ケアブラッシング指導について	さとう歯科	職員9名
R7.7.30・8.25・9.10	バーセルインデックスについて	作業療法士	職員19名
R7.7.31・8.5	手指衛生の基本について	看護師	職員10名
R7.08.05	安全運転講習について	施設長	職員8名
R7.08.15	高齢者虐待防止研修	施設長	職員9名
R7.08.15	身体拘束廃止研修	施設長	職員9名
R7.08.21	救急対応研修	看護師	職員9名
R7.09.03	個人情報保護に関する研修	施設長	職員11名
R7.09.03	事故防止研修	施設長	職員11名
R7.09.09	移乗介助	介護福祉士	職員6名
R7.09.25	メンタルヘルス研修	施設長	職員7名
R7.10.17	記録方法について	介護福祉士	職員6名
R7.11.10	体位交換について	介護福祉士	職員5名
R7.11.19	接遇研修	施設長	職員7名
R7.11.26	感染症対策（シュミレーション）研修	看護師	職員5名
R7.12.12	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	介護福祉士	職員5名
R7.12.13	認知症について	介護福祉士	職員6名
R8.01.19	着脱について	介護福祉士	職員5名
R8.02.06	アームス研修について	（株）バイオシルバー	職員9名
R8.02.25	口腔ケア研修について	さとう歯科	職員12名
R8.03.09	排泄介助について	介護福祉士	職員6名
R8.03.13	介護事故の原因と対応について	介護福祉士	職員6名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.04.21・22	安全衛生推進者等養成講習	宮城労働基準協会瀬峰支部	瀬峰労基会館	職員1名
R7.07.11	令和7年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R7.07.14・24	感染症対策研修	登米市立豊里病院	登米市立豊里病院	職員6名
R7.07.24	安全運転管理者等法定講習	宮城県安全運転管理者協会	登米祝祭劇場水の里ホール	職員1名
R7.07.29	令和7年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県保健福祉部	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R7.08.27・28	令和7年度社会福祉施設新任研修　2班	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.08.22	令和7年度管内栄養士等研修会	宮城県石巻保健所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R7.09.12	身体拘束最小化への取り組み研修	宮城県看護協会	登米市立登米市民病院	職員1名
R7.10.16	企業視察研修	平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会	仙台塩釜港高砂コンテナターミナル他	職員1名
R7.10.18	安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン研修	職員1名
R7.10.23	褥瘡ケア研修「褥瘡発生・悪化を予防しよう」	登米市立登米市民病院	登米市立登米市民病院	職員1名
R7.11.28	甲種防火管理新規講習	宮城県消防設備協会	豊里公民館	職員1名
R7.11.04	第1回地域福祉コーディネート力向上研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.11.12	宮城県高齢者権利擁護推進研修③	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン研修	職員1名
R7.11.28	感染症対策研修	登米市立豊里病院	登米市立豊里病院	職員3名
R7.12.04	令和7年度成年後見制度に関する普及啓発研修	宮城県保健福祉部	オンライン研修	職員1名
R7.12.09	令和7年度アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R7.12.12	令和7年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名
R7.12.17	宮城県DWAT（災害派遣福祉チーム）の役割について	宮城県社会福祉協議会	迫公民館	職員1名
R7.12.17	令和7年度登米地区連絡協議会合同研修	登米地区連絡協議会	迫風園	職員2名
R8.01.16	令和7年度第2回登米栄養士会病院・福祉部研修会	登米栄養士会	登米市迫公民館	職員1名
R8.02.13	令和7年度福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン研修	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	実施回数	参　加　職　員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び諸課題の検討	13回	職員
ケア会議	利用者のサービス内容及びケア内容の検討	12回	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
サービス担当者会議	サービス計画計画に基づき、適切なサービスが実施されるよう検討	28回	施設長、生活相談員、看護・介護職員、管理栄養士
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	12回	施設長、管理栄養士、給食係、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R7.08.04	登米市豊里地域ネットワーク会議	豊里健康管理センター	職員1名
R8.01.26	登米市豊里地域ネットワーク会議	豊里公民館	職員1名
R8.03.17	豊里・津山地域貢献活動企画・運営会議	豊里公民館	職員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実施回数	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	13回	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	12回	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	12回	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	11回	施設長、各委員
安全対策検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	16回	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	11回	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討・高齢者虐待防止に向けての取り組み	12回	施設長、各委員
生産性向上委員会	介護の価値を高めるため業務改善へ向けての取り組み	12回	施設長、各委員

(2) その他の委員会

開催日	内容	場所	出席者
R7.06.12	令和7年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R7.09.18	令和7年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R7.12.08	令和7年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R8.03.09	令和7年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.07.25	おじゃまーず	舞踊を披露する	7名
R7.08.09	北海道大学	よさこい踊りを披露する	20名
R7.09.21	衣川会	民謡・舞踊を披露する	7名
計			34名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.06.03	東北医科薬科大学医学部	地域包括医療実習	3名	3名
R7.5.7 ～R7.9.3	登米総合産業高等学校福祉課	介護実習	1名	17名
R7.11.04	東北医科薬科大学医学部	地域介護サービス体験学習	2名	2名
計			6名	22名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

・利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加により、その人らしい生活が送れる様に支援します。

・利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、評価・見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化防止を効果的に行います。

2　サービス向上に向けた取り組み

・タブレット・介護ロボット、ICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進め、職員の業務負担の軽減を図るとともに、業務の改善や効率化により介護サービスの質の向上に努めます。

・中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。

・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症利用者に対する対応力を身につけさせます。

・安全対策委員会において、介護事故防止に向け、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析し適切な対応と対策を検討します。

・科学的介護における一体的取組として、LIFEのフィードバック情報を基にサービス向上委員会で定期的に検討し統一した介護と個別ケアの実践を進めます。

3　介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努めます。

・法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

・研修計画、研修実施要領に基づく施設内研修を行い、変化するケア技術に対応できるよう研修を通じて介護職員のスキルを向上し専門的知識を習得します。

・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げます。

4　地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

・住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。

・地域貢献事業(認知症カフェ)として、豊里デイサービスセンター百楽荘と合同で開催し、地域への介護情報の発信を進めます。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

・感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。

・感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。

・感染症発生時における対応の取り決め等、協力医療機関との連携を強化し、感染症対応力を向上させます。

・家族との面会や関係者との交流については、対面での面会を基本とし感染状況等を踏まえ、可能な限り安全に面会（窓越し・オンライン方式）が実施できるようにします。

・自然災害に対応する業務継続計画(BCP)において、必要な計画の見直しや研修及び訓練を実施し、非常災害時の継続的なサービス提供体制を目指します。

・地域（庚申地区、平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、既に災害協定を締結している他施設（迫風園拠点、南風園拠点）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応を行います。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

・業務継続に向けた取り組みとして、策定した計画書(BCP)を適宜に検証し、研修・訓練を実施し対応力強化を図ります。

・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。

・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和7年度
豊里デイサービスセンター百楽荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市豊里町笑沢153－78
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年4月1日
5. 利　用　定　員　　30名

【　基　本　方　針　】

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を迎えました。今後、徐々に高齢者人口の減少に向かっていく中で2040年を見通した中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた取り組み」「良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続性の確保」に引き続き取り組みました。

また、新興感染症や自然災害の発生が心配される中で、その対策を行いながら利用者お一人おひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら住み慣れた地域でいつまでも暮らしていける、その人らしい日常生活、地域での生活が継続出来る様、個別ケアに対応したサービス提供に取り組みました。この地域の介護の拠点としての役割を担い、受け皿として取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の 「自信と誇り、望み」 を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援しました。
- 利用者個々に、リハビリテーション・機能訓練、口腔管理、栄養管理等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行いました。

2　サービス向上に向けた取り組み

- タブレット・ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、生産性向上を通じた働きやすい環境づくりを進めるため、生産性向上委員会を設置し取り組みました。
- 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Ⅰイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図りました。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにしました。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めました。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上を図りました。

3　介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修参加を促し基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めました。
- 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行いました。

4　地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営にあたりました。
- 地域貢献事業・地域交流事業を豊里・津山地域の介護事業所合同での開催は、感染症の懸念から見送りました。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えていました。

5　感染者や災害への対応力強化に向けた取組

- 新興感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施しました。
- 新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、高齢者施設と医療機関の連携を強化し、感染症対応力を向上させます。また、感染症や災害に際して、継続的にサービスを提供出来るための体制づくりや介護現場における安全性の確保に取り組みました。
- 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援体制を構築しています。

・地域(庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会)との災害時協力体制を維持するとともに、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の訓練等を地域の方々と連携して行いました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

・業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BPC)に基づいた研修、訓練の実施を進めました。

・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めました。

・中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備等について全職員が共有しながら事業の展開を行いました

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　7,749 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　83.6 %　(通所介護＋総合事業)
　　80.9 %　(通所介護)
　　2.7 %　(総合事業)

4. 年間平均介護度　　2.53 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	83	88	83	81	82	85	92	94	108	113	110	109	1128
要介護 2	239	241	207	264	258	275	271	246	262	239	210	233	2945
要介護 3	183	200	166	173	171	151	184	161	165	131	158	180	2023
要介護 4	79	85	108	112	104	104	90	85	81	92	82	101	1123
要介護 5	13	16	15	19	21	17	16	30	24	37	33	39	280
計	597	630	579	649	636	632	653	616	640	612	593	662	7499
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8
要支援1	4	7	9	9	4	4	5	3	4	4	4	4	61
要支援2	19	27	17	18	13	14	15	15	18	8	8	9	181
計	23	34	26	27	17	18	20	18	22	12	16	17	250
合 計	620	664	605	676	653	650	673	634	662	624	609	679	7749

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	3	3	2	0	1	1	1	1	4	0	1	19
契約終了者数	6	1	1	2	2	2	1	1	1	6	1	1	25
月末契約者数	61	63	65	65	63	62	62	62	62	60	59	59	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行 事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参加者数	
R7.04.15～17	お花見ドライブ	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する。	利用者	30名
			職　員	9名
R7.04.21～25	チューリップ見学	十五貫千葉とし子様宅、米山町道の駅へチューリップ見学へ外出する。	利用者	41名
			職　員	12名
R7.05.05～06	菖蒲湯	端午の節句に菖蒲湯に入り、季節感を感じていただきながら、厄除けと健康を祈願する。	利用者	52名
			職　員	14名
R7.05.05～07	ミニ運動会	風船プッシュゲームや玉入れを行い、身体を動かす。	利用者	72名
			職　員	24名
R7.05.24～30	新緑ドライブ	初夏の季節感を新緑観賞で味わっていただく。	利用者	27名
			職　員	9名
R7.06.05～07	公共施設見学	平筒沼農村文化自然学習館を見学し、昔の暮らしを振り返っていただく。	利用者	20名
			職　員	6名
R7.6.23～30	買い物ドライブ	豊里町内のドラッグストアで、個々に欲しい物を買い物購入していただき気分転換を図る。	利用者	28名
			職　員	14名

R7.07.07	七夕会	七夕飾りを飾り、季節感を感じながらゲームを楽しんでいただく。	利用者	27名
			職　員	8名
R7.07.14～17	紫陽花見学	梅雨の時期の紫陽花を見学し季節を感じていただく。	利用者	24名
			職　員	7名
R7.8.04～14	買い物ドライブ	豊里町内のドラッグストアや中田町のみやぎ生協で、個々に欲しい物を買い物購入していただき気分転換を図る。	利用者	26名
			職　員	16名
R7.08.20	夏祭り	屋台を楽しみながら季節感を味わっていただく。	利用者	31名
			職　員	8名
R7.09.15～16	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする。	利用者	56名
			職　員	22名
R7.10.23～28	登米市歴史博物館	公共施設を見学しながら昔の農村の暮らしを振り返る。	利用者	21名
			職　員	6名
R7.11.01	登米市豊里地区市民文化祭見学	豊里地区文化祭へ作品を出展し、他事業所、個人の作品を見学する。	利用者	19名
			職　員	4名
R7.11.03～04	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める。	利用者	51名
			職　員	13名
R7.11.22～29	買い物ドライブ	中田町の愛菜館で、個々に欲しい物を買い物購入していただき気分転換を図る。	利用者	32名
			職　員	13名
R7.12.20、25	クリスマス忘年会	ボランティアによる余興を観たり、くじ引きによるプレゼント配り楽しむ。	利用者	56名
			職　員	16名
R7.12.22～23	ゆず湯	冬至にゆず湯に入り、季節感を感じていただきながら、厄除けと健康を祈願する。	利用者	56名
			職　員	17名
R7.12.26	正月準備会	餅つき機械で餅つき、みずの木に飾り付けを行い正月の準備を行う。	利用者	27名
			職　員	8名
R8.01.09	新年会	外部ボランティアによる余興を楽しまれる。	利用者	29名
			職　員	9名
R8.01.13～15	初詣ドライブ	神社に行き参拝し、一年の無病息災を祈願する。	利用者	20名
			職　員	8名
R8.02.02～04	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て豆まきを行い、厄払い福を招く。	利用者	74名
			職　員	24名
R8.02.11～14.17	買い物ドライブ	豊里町内のドラッグストアで、個々に欲しい物を買い物購入していただき気分転換を図る。	利用者	29名
			職　員	15名
R8.03.02、03	ひな祭り会	ゲームを行ったり、雛饅頭や甘酒を召し上がって頂きながらひな祭りを祝う。	利用者	51名
			職　員	16名
実　施　回　数		71回	延べ参加者数	1197名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参 加 者 数
R7.04.11	安全運転講習	管理者兼生活相談員	1名
R7.04.29	法令遵守、ハラスメント研修	施設長	2名
R7.05.12	公用車リフト操作手順	介護福祉士	5名
R7.05.23	実習受け入れについて	介護福祉士	2名
R7.05.28	体位交換について	作業療法士	4名
R7.06.09	法令遵守、ハラスメント研修	施設長	4名
R7.06.16	食中毒について	管理栄養士	3名
R7.06.21	口腔ケアについて	准看護師	5名
R7.06.30	法令遵守、ハラスメント研修	施設長	1名
R7.07.02	接遇コンテストについて	施設長	6名
R7.07.07	高齢者虐待防止の推進について	管理者兼生活相談員	4名
R7.07.29	法令遵守、ハラスメント研修	施設長	3名
R7.07.31	記録について	介護福祉士	4名
R7.07.31	認知症高齢者との関わりについて	介護福祉士	3名
R7.08.13	法令遵守、ハラスメント研修	施設長	1名
R7.08.22	ポジショニング・体位交換について（褥瘡予防）	作業療法士	4名
R7.08.30	感染症対策について	准看護師	4名

R7.09.09	身体拘束について	介護福祉士	4名
R7.10.30	高齢者と薬の効能について	准看護師	4名
R7.10.30	着脱について	介護福祉士	4名
R7.10.30	個人情報の取扱いについて	介護福祉士	3名
R7.12.15	入浴介助について	介護福祉士	4名
R7.12.17	マナー・接遇について	介護福祉士	3名
R7.12.18	安全運転講習について	施設長	6名
R7.12.19	自然災害発生時における業務継続計画研修について(新任研修)	管理者兼生活相談員	1名
R7.12.22	事故発生防止について	管理者兼生活相談員	1名
R7.12.22	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修について(新任研修)	管理者兼生活相談員	1名
R7.12.22	感染症及び食中毒予防及びまん延防止研修について(新任研修)	准看護師	1名
R8.01.31	オムツ交換について	介護福祉士	4名
R8.02.25	利用者への口腔指導の説明の仕方について	佐藤歯科医院院長	2名
R8.02.26	自然災害発生時における業務継続計画(BCP)の周知および机上シミュレーション研修について	管理者兼生活相談員	5名
R8.03.05	入浴介助について	介護福祉士	3名
R8.03.05	排泄介助について	介護員	3名
実施回数	27 回	延べ参加者数	95名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.06.06	介護保険の制度について	宮城県介護研修センター	Web	職員1名
R7.07.08	介護職対応オンラインセミナー「窒息時の対応」	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.07.04～19	介護福祉士養成施設実習指導者講習	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R7.07.10	感染症について	東北大学総合感染症科	Web	職員1名
R7.08.05	利用者理解とコミュニケーションについて	宮城県キャリアパス	仙台市	職員1名
R7.08.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R7.08.21	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台市	職員1名
R7.10.28	転倒後の観察と評価	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.12.10	痙攣が起きた時の対処方法	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研究会	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
R8.01.13	要介護者口腔ケア支援者研修	宮城県歯科医師会	Web	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催回数	参加者
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	12回	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	12回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	13回	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	8回	生活相談員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	参加者
R7.08.04	登米市豊里地域ネットワーク会議	豊里健康管理センター	職員1名
R8.01.26	登米市豊里地域ネットワーク会議	豊里公民館	職員1名
R8.03.17	豊里・津山地域貢献活動企画・運営会議	豊里公民館	職員2名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催回数	参加者
サービス向上検討委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	10回	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	12回	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	4回	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	4回	施設長、各委員
安全対策検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	12回	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会	人権の擁護、身体拘束や虐待防止に関する対策等の検討	12回	施設長、各委員
生産性向上委員会	処遇改善や、生産性向上に向けた職場環境の改善を図る	12回	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.09.15	喜楽楽会	長寿を祝う会(民謡ボランティア)	7名
R7.09.16	こらぼ座	長寿を祝う会(舞踊ボランティア)	15名
R7.12.20	おじゃま～ず	クリスマス忘年会(舞踊ボランティア)	9名
R7.12.25	おじゃま～ず	クリスマス忘年会(舞踊ボランティア)	9名
R8.01.09	衣川会	新年会(舞踊ボランティア)	8名
R8.03.28	ひまわり会	舞踊ボランティア	4名
		延べボランティア数	52名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れるように支援します。
- 利用者個々に、リハビリテーション・機能訓練、口腔管理、栄養管理等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

2 サービス向上に向けた取り組み

- タブレット・ICT等のテクノロジーを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、生産性向上を通じた働きやすい環境づくりを進めるため、生産性向上委員会をを設置し取り組みます。
- 個別機能訓練を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけられるようにします。
- 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- 介護サービス評価と科学的介護情報システムの利用により、適切な処遇を確保しつつ、介護サービスの質の向上を図ります。

3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修参加を促し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めます。
- 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- 社会福祉法人の使命の一つとして、食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくします。
- 地域貢献事業(認知症カフェ)を特別養護老人ホーム松風園と合同で開催し、地域への介護情報の発信を進めます。
- 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- 新興感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- 高齢者施設と医療機関の連携を強化し、感染症対応力を向上させます。また、感染症や災害に際して、継続的にサービスを提供出来るための体制づくりや介護現場における安全性の確保に取り組みます。
- 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。
- 地域（庚申地区、平林・笑沢事業所等連絡協議会）との災害時協力体制を維持するとともに、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行います。

6　制度の安定性・持続可能性の確保

- 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画BCPに基づいた研修、訓練の実施を進めます。
- 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- 中長期計画を作成し、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

令和7年度
特別養護老人ホーム萩風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－4
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成2年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

【　基　本　方　針　】

今年度は福祉車両を1台購入し、看取りの体制を整え協力医療機関との連携により、利用者、家族の皆様が最期まで安心して利用していただくことが出来ました。研修等も実施し、認知症や重度の方でも自分らしく過ごせるよう職員の知識、技術の向上を図りました。利用者の皆様の健康状態安定に努め、感染症もみられませんでしたが、入院や退所が重なり空床期間を短縮することが出来ませんでした。感染対策を継続しながら、面会、行事へのボランティア依頼、外出等実施し、利用者の皆様に喜んでいただき、次年度には更に、地域交流を増やす足掛かりとなりました。また、ICT機器や眠りスキャン利用に際し、職員の共通理解を図り、生産性向上委員会を中心として業務改善や効率化を進め、利用者のコミュニケーションの充実と職員の働きやすさに繋げました。

【　重　点　項　目　】

① 地域包括ケアシステムの深化・推進

・虐待防止委員会で、虐待の芽チェックリストを作成し、職員の振り返りの機会を確保することで適切な介護にあたることができました。
・認知症対応力向上については、研修等を行い知識と理解を深め、職員の対応力向上に努めました。
・感染症予防委員会で、BCPに沿った訓練を行うなど発生に備えました。また、協力医療機関との会議や研修への参加も行い、体制づくりを強化することができました。
・災害対策に関しては、訓練の実施や事前準備のシミュレーション、救命講習など行いました。
・協力医療機関との連携会議や情報共有の体制を確立し、体制強化を図ることができました。結果、円滑な入退院や看取りの対応につなげることができました。
・身体拘束廃止委員会で、身体拘束ゼロを継続することができました。

② 自立支援・重度化防止の取組の推進

・コミュニケーションを図りながら、利用者個々の残存機能の把握、意向を汲み取り、その人らしく生活出来るよう支援しました。
・褥瘡予防委員会を定期的に開催し、ケア方法を検討実践することで改善がみられました。
・利用者の状態に合わせ、多職種で適時に意見を出し合い食形態等整え、体調面をサポートし、食事前には嚥下体操にて機能の維持に努め、食事後には口腔ケアの実施。必要時には、協力病院の歯科医師に口腔を診ていただき、改善を図りました。

③ 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・ICT機器や眠りスキャンの取り扱い等職員への周知を行い業務の効率化を図るとともに、生産性向上委員会を中心に検討し、業務改善に努めました。
・職員間でのコミュニケーションを大事にし、ハラスメントの無い職場づくりに努めました。
・宮城県登米総合産業高校から2名の学生の実習を受け入れました。
・障がい雇用を2名継続し、能力にあった役割の提供を行うことができました。

④ 地域交流や連携、地域貢献の充実

・面会を通年で実施し、利用者と家族との交流機会を提供することができました。敬老会では家族との写真撮影の機会を設け、少しずつ機会を増やすことができています。
・行事へのボランティア参加を実施し、利用者に行事を楽しんでもらうことができました。
・救命救急講習を企画し、地域の3名の方に参加していただきました。
・地域の環境整備活動に地域の一員として参加することができました。
・消防の立会いのもとで総合防災訓練を実施することができました。

⑤ 安全・安心なサービスの提供

・事故防止検討委員会を中心に事故検証を速やかに行い、対策と職員への周知を徹底し、事故の再発防止に努めました。

・ハイエース車両を新規購入し、交通ルールを守り、送迎、外出を安全に行われました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,134 名
2. 年 間 稼 働 率　93.88 %
   (目 標 稼 働 率　98.00 %)
3. 年間平均介護度　4.07
4. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	377	434	414	403	403	417	434	410	404	365	345	422	4,828
要介護 4	510	516	480	529	510	510	484	480	534	531	531	591	6,206
要介護 5	481	515	526	538	577	545	558	539	499	484	409	429	6,100
計	1,368	1,465	1,420	1,470	1,490	1,472	1,476	1,429	1,437	1,380	1,285	1,442	17,134

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	3	2	3	1	1	2	0	2	1	4	3	25
退 所 者 数	3	1	4	1	1	2	0	2	1	4	3	2	24
月末入所者数	49	51	49	51	51	50	52	50	51	48	49	50	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.04.17	桜まつり	コロナウイルス感染予防対策としてご家族不参加で開催しています。職員による余興のソーラン節を見て楽しまれていました。	利用者 52名 職 員 12名
R7.5.5～7	菖蒲湯	菖蒲の香りで季節を感じて頂き、無病息災を祈願して入浴されました。	利用者 41名 職 員 5名
R7.08.06	夏祭り	アトラクションでザリガニ釣りとスイカ割りし、おやつにスイカとアイスを召し上がり楽しまれていました。	利用者 53名 職 員 11名
R7.08.13	盆供養	感染対策の為、数名ずつの参加で、それぞれ真剣な顔で手を合わせたり、焼香を行い、亡くなった方のご冥福をお祈りいたしました。その後、供物を頂いている。	利用者 14名 職 員 5名
R7.09.14	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加で開催、敬老祝い金授与者と100歳を超えた利用者計7名のみご家族と写真撮影しています。登米町ボランティア友の会演芸部による踊りを披露して頂きました。	利用者 53名 職 員 19名
R7.10.22	買い物イベント	外部業者に依頼し買い物イベントを行いました。予めご家族に予算等確認し、その中で思い思いに買い物を楽しまれていました。	利用者 34名 職 員 9名
R7.12.17	クリスマス忘年会	職員による余興やジェスチャーゲームをし、おやつにクリスマスケーキを提供してクリスマスの雰囲気を楽しまれていました。	利用者 49名 職 員 9名
R7.12.22 ～24	ゆず湯	特別浴と普通・中間浴の利用者全員が行えるよう3日間実施しました。ゆず湯にゆっくり入り体を温め、リラックスしていました。	利用者 62名 職 員 14名
R8.01.07	100歳を祝う会	市職員2名、御家族2名来園し開催している。市、県、総理大臣からの記念品の贈呈を行い、御本人・御家族からの挨拶を頂き、最後に写真撮影をしている。	利用者 1名 職 員 5名
R8.01.14	新年会	新年を迎えられた事をお祝いし、今年1年の無病息災を皆で祈願しました。内容は利用者参加の福笑いと職員による獅子舞の披露。	利用者 43名 職 員 12名
R8.02.03	節分	施設長、年男、年女が袴を着て写真撮影し利用者皆様で豆まきを行いました。今年度はほとんどの利用者様が参加することができ、無病息災を願いました。	利用者 54名 職 員 9名
R8.3.18 ～23	彼岸供養	それぞれ真剣な顔で手を合わせたり、焼香を行い亡くなった方の冥福をお祈りしました。その後、供物を頂いています。	利用者 40名 職 員 10名
実施回数		12 回	延 べ 参 加 者 数　548 名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,538 名
2. 年 間 稼 働 率　　84.27 %
   （目 標 稼 働 率　　90.00 %）
3. 年間平均介護度　　2.85
4. 月別利用状況

（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	5	4	10	10	15	10	6	7	11	7	7	94
要介護 2	55	36	36	30	37	37	42	46	42	46	54	35	496
要介護 3	43	52	54	50	63	57	57	46	45	47	42	47	603
要介護 4	29	16	17	13	13	18	21	20	18	19	19	33	236
要介護 5	5	8	6	23	11	13	7	8	13	4	7	4	109
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	134	117	117	126	134	140	137	126	125	127	129	126	1,538

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.04.23	終末期ケア・関わる職員の心のケアについての研修	准看護師	8 名
R7.05/7～R8.2/17	コンプライアンス研修	施設長	26 名
R7.05.15	急変時の対応に関する研修	看護師	6 名
R7.06.05	食中毒予防及び蔓延防止のための研修①	管理栄養士	9 名
R7.06.11	車輌リフト操作研修	介護福祉士	9 名
R7.06.19	虐待防止研修①	介護福祉士	9 名
R7.06.19	AED操作に関する研修	(株)サニクリーン	14 名
R7.07.09	褥瘡対策に関する研修	介護福祉士	8 名
R7.07.31	介護技術勉強会①（オムツ交換の方法等）	白十字株式会社	6 名
R7.08.21	事故発生防止のための研修	介護福祉士	8 名
R7.08.27	個人情報保護に関する研修	施設長	6 名
R7.09.04	身体拘束等の適正化のための研修①	介護福祉士	6 名
R7.09.10	利用者のADL状況に関する研修	管理者	7 名
R7.10.09	認知症に関する研修	看護師	9 名
R7.10.15	プライバシー保護に関する研修	介護福祉士	9 名
R7.10.16	サービス提供に関わる研修（記録の書き方）	相談員	6 名
R7.10.30	新任職員研修	施設長、副主任、准看護師	1 名
R7.11.13	虐待防止研修②及び身体拘束適正化のための研修②	介護福祉士	8 名
R7.11.19	感染症予防に関する研修②	介護福祉士	6 名
R7.11.20	車輌研修	介護福祉士	8 名
R7.12.04	ハラスメントに関する研修	施設長	9 名
R7.12.25	介護技術勉強会②（体位交換の方法等）	（株）モルテン	6 名
R8.03.05	事故発生防止のための研修	介護福祉士	7 名
R8.03.24	新任職員研修	施設長、副主任、准看護師	1 名
R8.03.26	介護ロボット活用に関する研修	パラマウントベッド(株)	7 名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.4.21.22	安全衛生推進者養成講習	宮城県労働基準協会	栗原市瀬峰	職員1名
R7.06.10	第1回マネジメント研修	中田・石越地域包括支援センター	登米市中田町	職員1名
R7.06.13	高齢者施設の協力医療機関向け感染セミナー第1回	東北大学病院総合感染科	オンライン	職員1名
R7.06.13	登米栄養士会福祉部会研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田町	職員1名
R7.07.01	米谷病院感染研修　第1回	登米市米谷病院	登米市東和町	職員1名
R7.07.09	安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R7.07.24	米谷病院感染研修　第1回	登米市米谷病院	登米市東和町	職員1名
R7.07.29	令和7年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R7.08.22	管内栄養士会研修会	石巻保健所	石巻市	職員1名
R7.08.27	看取り研修	ほたるの郷	登米市東和町	職員1名
R7.09.05	登米市中田・石越地域高齢者ネットワーク会議	中田・石越地域包括支援センター	登米市中田町	職員1名
R7.09.12	高齢者施設の協力医療機関向け感染セミナー第2回	東北大学病院総合感染科	オンライン	職員1名
R7.10.14	高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R7.10.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田町	職員1名
R7.10.23	褥瘡ケア研修会	登米市市民病院	登米市迫町	職員2名
R7.11.04	登米市東和地区地域高齢者ネットワーク会議	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和町	職員1名
R7.11.11	ハラスメント防止講習会	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R7.11.11	地域課題情報交換会	登米市地域包括支援センター	登米市南方町	職員1名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田町	職員1名
R7.12.09	アンガーマネジメント研修	みやぎハートフルセンター	オンライン	職員1名
R7.12.12	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市迫町	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.12.12	宮城県DWATの役割についての説明会	宮城県災害福祉広域支援ネットワーク	登米市迫町	職員1名
R7.12.17	登米市地区連絡協議会合同研修会	宮城県老人福祉施設協議会登米地区連絡協議会	登米市迫町	職員2名
R7.12.25	登米市米谷病院感染研修　第2回	登米市米谷病院	登米市東和町	職員1名
R8.01.22	登米市米谷病院感染研修　第2回	登米市米谷病院	登米市東和町	職員1名
R8.01.23	令和7年度高齢者虐待防止研修	登米市	登米市南方町	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R8.02.04	登米栄養士会全体研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R8.02.13	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市中田町	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	登米市迫町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日数	参加職員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び、諸懸案の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	利用者の介護全般にかかる諸懸案の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
給食会議	利用者や各セクション、委託業者と給食についての評価、検討等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	各セクションの代表が、施設運営に関わる事項の協議検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	具体的なサービス内容の検討と、専門職の意見を求め調整を図りました。	41回	施設長、生活相談員他
栄養ケアマネジメント会議	栄養ケアマネジメントに関わる関連職種間の情報交換、栄養ケアの評価と検証を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
介護部ミーティング	業務改善や利用者介護の対応の統一等を検討しました。	6回	介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日数	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定を行いました。	7回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	サービス評価、サービス情報公表の実施と評価、定期的な各種マニュアルの見直し等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、安全運転の啓蒙等を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
感染症予防対策委員会	感染症の予防及び蔓延防止、衛生管理態勢の検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防計画及び対策の検討を行いました。	4回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策及び虐待廃止対策の検討を行いました。	4回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討を行いました。	12回	施設長、生活相談員他
生産性向上委員会	現場における課題の分析を行い、利用者の安全・職員の負担軽減を介護ロボットや ICT 等のテクノロジーの活用も含めた検討を行いました。	4回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.09.14	登米町ボランティア友の会演芸部	長寿を祝う会のアトラクションとして踊りを披露していただきました。	7 名
計			7 名

(2) 実習

年月日	団体名	実習・見学内容	実人数	延人数
R7.7.8～11.15	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(2学年/18日間)	2 名	36 名
計			2 名	36 名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

①地域包括ケアシステムの深化・推進

・認知症理解を深める場として、オレンジカフェを年1回以上実施します。
・医療機関の協力を得ながら、感染対応力の向上を図り、利用者の快適な生活を実現します。
・利用者の皆様が面会や催しを通じ、ご家族や地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。
・職員が地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話など行っていきます。
・ネットワーク会議等地域の協働会議に参加し、顔のみえる関係づくりを行い、連携を図れるようにします。

②自立支援・重度化防止の取組の推進

・利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを図る中で、その人らしい生活が実現できるケアを目指します。
・褥瘡ゼロを実現するため、日ごろからの観察や対策など介護医療連携で取り組みます。
・活動、栄養、口腔機能など多職種で維持、予防に取り組みます。
・科学的介護情報システム（LIFE）を活用してPDCAサイクルを回しながら、エビデンスに基づいた質の高い介護を行います。また、LIFEに蓄積されたデータに基づくフィードバック情報を計画書などの改善に活かし、自立支援や重度化防止に取り組みます。

③効果的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・生産性向上委員会の充実及びICTの活用により業務改善を図り、職員の働きやすさと介護サービスの質の両立を実現します。
・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い、職員が意欲的に働ける職場作りを行います。
・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。
・障がいのあるなしに関わらず、だれもがその能力と適正に応じた働き方ができる職場づくりを行います。

④制度の安定性・持続可能性の確保

・毎月事業収支、光熱水費を確認し、無駄を省き節約に向け取り組みます。
・新規利用者の受け入れを空床発生時は早期に進め、稼働の安定を図ります。

⑤安全・安心なサービスの提供

・同様の事故を繰り返さないよう、事故検証や対策の徹底、職員のケア力向上を図ります。
・送迎に関してのルールを徹底し、安全な送迎や外出を行います。
・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うとともに、研修の実施、訓練（シュミレーション）を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築します。

⑥医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み

・協力医療機関との連携強化のため、緊急時の対応や情報の共有を適宜行い、看取りを含めた、できる限り施設での生活を継続できる体制づくりと必要時の円滑な入院と早期退院を実現することで、空床期間を少なくします。

⑦虐待防止・身体拘束廃止に関する取り組み

・虐待の防止、身体拘束ゼロの防止を推進するため、定期的に該当事例の有無の確認を実施、防止策の検討、研修にて全職員への理解を働きかけます。

⑧職員のスキルアップに関する取り組み

・認知症を抱える利用者が増える中で、認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、外部研修等への参加や内部研修を企画し、より良いサービスにつなげ、居心地の良い場所を提供します。

令和7年度
中田デイサービスセンター菊風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市中田町浅水字長谷山352－2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開 設 年 月 日　　平成2年3月15日
5．利　用　定　員　　28 名　※令和7年9月1日に25名から28名に変更しています

【基本方針の実施内容について】

今年度は、「地域包括ケアシステムの深化・推進」として、地域包括支援センター主催の認知症カフェや地域ネットワーク会議へ積極的に参加したり、地域で行われるミニデイに参加し介護教室を行いました。関係機関や地域住民との関わりを深めることで、地域の中での顔のみえる関係づくりの強化に繋がりました。「自立支援・重度化防止の取組」では、個々に合わせた個別機能訓練を実施し、いつまでも自分らしく過ごせるよう取り組みました。また、家族や関係機関への連絡を密に行い、利用者の情報共有を行うことで、細かい変化へや急変時にも迅速かつ適切に対応することができ、重度化防止に繋がりました。「効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり」としては、生産性向上を意識し、これまでの業務の見直しや改善を行ったり、ICT機器活用により、作業スピードの向上、業務の効率化に繋がりました。また、個々の職員の生活スタイルに合わせた柔軟な働き方、職場の雰囲気づくりを行い、人材確保に努めました。さらには法人内研修に参加することで、2名の職員が介護福祉士国家資格を取得することができ、サービスの質の向上、稼働率上昇に繋がり、9月から利用定員を25名から28名に増員しました。物的資源としては、日本財団より助成を受け、1台の福祉車両を取得することができ、利用者送迎の効率化に繋がりました。

【　重　点　項　目　】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進
・認知症に関する内部研修を実施し、知識、理解を深め、対応力の向上を図りました。
・人権擁護について、委員会を中心に検討し、虐待や身体拘束などの権利侵害を発生させることはありませんでした。
・感染症予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの研修、訓練（シュミレーション）を実施し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を整えました。実際にBCPを発動する事態はありませんでした。

2．自立支援・重度化防止の取組の推進
・個別及び集団での機能訓練を実施し、利用者の満足度向上、心身機能の維持向上に繋げることができました。
・口腔ケアを適切に行い、口腔機能維持や誤嚥性肺炎等の予防に努めました。
・利用者一人一人の心身状態を把握し、支援方法の共有、統一した支援の実施に繋げることができました。

3．効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり
・生産性向上委員会を設置し、業務の見直し、改善や効率化を図りました。
・ワイズマン(介護支援システム)の導入により、記録書類作成、請求業務の簡略化に繋がりました。
・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメント等無く職員が意欲的に働ける職場作りを行いました。
・実習受け入れを積極的に行い、メニューも段階的に設定することで、実習生からも満足をいただくことができました。

4．地域交流や連携、地域貢献の充実
・行事へのボランティア参加を実施し、利用者に喜んでいただけました。
・地域のミニデイにおいて介護教室、レクリエーション等の提供や地域住民との関わりを通して地域福祉の向上を図りました。
・災害時における地域との連携を近隣の区長にお話しし、顔の見える関係作りを行いました。
・地域のミニデイサービスでの様子をSNSを活用し、事業所の魅力を発信しました。

5．安全・安心なサービスの提供
・事故防止検討委員会で、事故検証を重ね改善に繋げ、職員のケアの向上を図りました。
・ルールを徹底し安全運転を職員に周知し、無事故無違反での送迎を行えました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　7,293 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　88.30 %　(通所介護＋総合事業)
4. 年間平均介護度　　2.62 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	66	86	77	80	76	84	71	88	101	74	79	101	983
要介護 2	141	160	158	202	176	214	222	193	181	182	176	170	2,175
要介護 3	181	194	169	171	180	185	200	204	188	173	181	181	2,207
要介護 4	51	54	69	74	69	68	77	79	82	73	75	89	860
要介護 5	57	33	33	27	58	54	36	18	23	17	18	18	392
計	496	527	506	554	559	605	606	582	575	519	529	559	6,617
事業対象者	10	4	4	4	3	4	5	0	0	0	0	0	34
要支援1	5	4	4	5	2	4	5	3	3	4	4	4	47
要支援2	30	40	35	40	47	55	58	53	59	60	59	59	595
計	45	48	43	49	52	63	68	56	62	64	63	63	676
合計	541	575	549	603	611	668	674	638	637	583	592	622	7,293

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	3	4	4	4	4	3	1	3	1	0	3	33
契約終了者数	2	2	0	1	3	0	1	3	2	3	0	6	23
月末契約者数	54	55	59	62	63	67	69	67	68	66	66	63	+ 10

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.05.05	菖蒲湯	端午の節句に菖蒲湯につかることで無病息災を願い心身ともにリラックスしました。季節の風物詩を体験し、生活意欲の向上に繋げました。	利用者 22名 職 員 3名
R7.05.28	ミニ運動会	春の運動会を開催しました。2組に分かれて紅白玉入れ、筒通しを競い合いました。身体を動かし利用者同士の交流を深めて楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 22名 職 員 4名
R7.07.09	合同七夕会	東和高齢者福祉施設デイサービスと合同で七夕会を行いました。筒通しゲーム等を行い交流を深め、楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 20名 職 員 5名
R7.08.08・09	夏祭り	ボランティアによる余興や、スイカ割ゲームを行い、綿あめを提供し季節の行事として楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者 47名 職員 16名
R7.09.16	長寿を祝う会	長寿のお祝いとして、長年の労を感謝し、これからの健康を祈りました。アトラクションを鑑賞し、楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者 28名 職員 8名
R7.10.16	ミニ運動会	秋の運動会を開催しました。競技を紅組と白組に分けて競い、優勝旗授与、記念品を配布しました。	利用者 23名 職員 3名
R7.12.22 R7.12.23	ゆず湯	柚子を浴槽に浮かべ、香りや季節感を感じて頂くとともに気持ちをリフレッシュする機会となりました。	利用者 48名 職員 8名
R7.12.25	クリスマス忘年会	ビンゴ大会などを行い、クリスマス忘年会を行いました。	利用者 25名 職員 7名
R7.12.26	餅つき	正月に向けた準備として餅つき会を開催しました。水の木に杵と臼でついた餅(綿)、舞玉、正月飾りを飾り、無病息災を願いました。	利用者 24名 職員 3名
R8.02.03 R8.02.04	節分ゲーム 節分豆まき会	豆まきを行い、一年間の無病息災を願いました。	利用者 42名 職員 10名
実施回数	11回	延べ参加者数	368 名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1)内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R7.04.28～30	緊急時対応に関する研修	准看護師	8 名
R7.05.07	コンプライアンス研修	施設長	10 名
R7.05.08	安全運転研修	介護福祉士兼生活相談員	8 名
R7.05.21～24	認知症に関する研修	介護福祉士	8 名
R7.06.16～18	食中毒予防及び蔓延防止のための研修	准看護師	8 名
R7.06.19	AED操作に関する研修	株式会社サニクリーン	1 名
R7.06.26～30	BCPにおける対応訓練研修	准看護師	8 名
R7.07.14～16	入浴介助についての研修	介護福祉士兼生活相談員	6 名
R7.08.21	事故発生防止のための研修	介護福祉士	1 名
R7.10.27～31	接遇に関する研修	介護福祉士	8 名
R7.10.27～31	虐待防止に関する研修	介護福祉士	8 名
R7.11.12～15	プライバシー保護に関する研修	介護福祉士兼生活相談員	9 名
R7.11.26～29	事故発生防止に関する研修	介護福祉士	9 名
R7.12.04	ハラスメントに関する研修	施設長	10 名
R7.12.8～10	入浴介助に関する研修(介護実践)	介護福祉士兼生活相談員	9 名
R8.1.12～14	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	管理者	9 名
R8.2.23～25	身体拘束・虐待防止に関する研修	介護福祉士	8 名
R8.3.11～14	事故発生防止に関する研修	介護福祉士兼生活相談員	8 名

(2)外部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参　加　者
R7.12.09	アンガーマネジメント研修	立教大学大学院教授	1 名
R8.01.23	高齢者虐待防止研修会	宮城県社会福祉士会	1 名

2．会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	年度内開催回数	参　加　職　員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関しての検討	12回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	11回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	12回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1)定例委員会

委員会名	内容	年度内開催回数	参加職員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	12回	施設長他係2名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	12回	施設長他係3名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	12回	施設長他係3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策及び虐待廃止対策の検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他
感染症予防対策委員会	感染症の予防及び蔓延防止、衛生管理態勢の検討を行います。	12回	施設長、生活相談員他
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防計画及び対策の検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他
生産性向上委員会	現場における課題の分析を行い、利用者の安全・職員の負担軽減を介護ロボットやICT 等のテクノロジーの活用も含めた検討を行います。	4回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.08.08	宮舞正二郎	舞踊	2名
R7.09.16	チーム盛り上げ隊	ダンス、歌、舞踊など	6名

(2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
4月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
5月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
6月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
7月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
8月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
9月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
10月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
11月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
12月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
1月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
2月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名
3月	ボランティア友の会　他	活動ボランティア	0名

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延べ人数
R7.10.14～24	迫支援学校　高等部3年	産業現場実習	1	9名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

・認知症理解を深める場として、オレンジカフェを年1回以上実施します。

・利用者の皆様がご家族、地域の方と交流が持てる機会を提供していきます。

・職員が地域の一員であることを認識し、地域活動への参加協力や出前講話などを行っていきます。

・ネットワーク会議等地域の協働会議に参加し、顔のみえる関係づくりを行い、連携を図れるようにします。

2. 自立支援・重度化防止の取組の推進

・個別及び集団での機能訓練を実施し、利用者の意向にそった生活がいつまでも送れるように支援します。

・口腔ケアを適切に行い、口腔機能維持や誤嚥性肺炎等の予防に努めます。

・利用者一人一人に応じたコミュニケーションを図りながら状況把握を確実に行い、状態にあったケアが行えるように研修を実施し、自立、重度化防止を図ります。

・科学的介護情報システム（LIFE）を活用してPCDAサイクルを回しながら、エビデンスに基づいた質の高い介護を行います。また、LIFEに蓄積されたデータに基づくフィードバック情報を計画書などの改善に活かし、自立支援や重度化防止に取り組みます。

3. 効率的なサービス提供に向けた働きやすい職場づくり

・生産性向上委員会の充実及びICTの活用により業務改善を図り、職員の働きやすさと介護サービスの質の両立を実現します。

・職員間の意見交換ができる場を作り、ハラスメントの無い職員が意欲的に働ける職場作りを行います。

・実習の受け入れを積極的に行い、次世代を担う人材の確保に努めます。

・障がいのあるなしに関わらず、誰もがその能力と適正に応じた働き方ができる職場づくりを行います。

4. 制度の安定性・持続可能性の確保

・毎月事業収入、光熱水費を確認し、無駄を省き節約に向け取り組みます。

・認知症、中重度、障害の利用者等を積極的に受け入れ、頼られ、信頼される事業を目指します。

5. 安全・安心なサービスの提供

・事故発生防止に努め、同様の事故を繰り返さないよう、事故検証や対策の徹底、職員のケア力向上を図ります。

・送迎に関してのルールを徹底し、車両事故0を目指します。

6. 虐待防止・身体拘束廃止に関する取り組み

・虐待の防止、身体拘束ゼロを推進するため、定期的に該当事例の有無の確認を実施、防止策の研修にて全職員への理解を働きかけます。

7. 職員のスキルアップに関する取り組み

・認知症を抱える利用者が増える中で、認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、研修等への参加や企画を行い、よりよいサービスにつなげ、居心地のよい場所を提供します。

・感染予防委員会、防災対策委員会を中心として、BCPの見直しを行うとともに、研修の実施、訓練（シュミレーション）を実施し、必要なサービスが継続手に提供できる体制を構築します。

令和7年度
特別養護老人ホーム迫風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
2）設　置　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
3）経　営　主　体　　社会福祉法人「恵泉会」
4）開　設　年　月　日　　平成5年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

【　基　本　方　針　】

2025年は、日本の社会保障上における重要な分岐点となる年であり、2040年問題に向けて更なる体制の強化を始めていかなければならない年となります。生産年齢人口の減少や物価上昇など困難な社会情勢が続いており、今後も厳しい施設運営が予測される中で、福祉事業を継続、発展させていくためには職員が皆同じ方向を向き、ワンチームとして効率的な事業運営を展開していかなければなりません。

私たちは常に事業運営の方向性やあるべき姿を求めるとともに、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を基本とした質の高いサービスを提供することで、利用者の自立した生活の実現を目指します。並びに利用者の満足度を高め、高い稼働率を維持することで経営の安定化も図っていきます。

また効率的な事業運営を展開すべく、施設の生産性向上を図ることで、職員が働きやすい職場環境を作っていきます。

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症発生については、利用者の生命を脅かし、利用者家族の大きな心配にもつながってしまうことから、引き続き感染予防対策を入念に行っていきます。災害対策や事故防止対応についても定期的に検討し、利用者にとって安全・安心な施設づくりに取り組んでいきます。

【　重　点　項　目　】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
〇登米総合産業高等学校、迫桜高等学校、小牛田高等学園高等部からの実習の受け入れやインターンシップ、ハローワークからの見学や説明会の実施など積極かつ丁寧に受け入れを行いマンパワーの養成と確保に努めました。
〇認知症カフェ（通称：RUI Café)を定例で2回開催した他、公務員退職者の方々と交流会を開き、合計年3回の認知症カフェを開催し、施設を知ってもらう機会を増やし、地域との連携強化に取り組みました。
〇平日の午後2回に分けて、ご家族との面会を設け、ご利用者との関係性を保つための取り組みを行いました。
〇登米市社会福祉事務所、登米市地域包括支援センター職員との虐待が疑いわれるケースについて、相談の上、入所申し込みを受ける等、関係機関と綿密に連携し対処しています。
〇長寿を祝う会や春祭りでボランティアを積極的に受け入れ、地域住民と一緒に利用者の方々が楽しんで時間を過ごしていただけるよう協力をいただきました。

2．自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
〇利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、介護について見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化の防止のため機能訓練を行いました。
〇一人一人の利用者に応じた栄養管理をアセスメントし計画を作成して、栄養状態の維持改善に努めました。
〇利用者の生活に楽しみやメリハリ感が持てるよう各種行事やアクティビティ等の取り組みを行い、利用者の充足感や満足感 を高められるよう努めました。
〇利用者の尊厳と人権を守るため、虐待防止に関する内部研修を行うとともに施設にて人権擁護の研修会を開催し、全ての職員が高い人権意識を持って利用者の支援を行うことができるように努めています。
〇ご利用者やご家族へのアンケートによって意見や生活に関する満足度を吸い上げ、利用者の満足度をさらに高められるよう、サービスの質の向上に努めました。
〇軽微や事故、ヒヤリハット等の原因を委員会にて究明し、具体的な再発防止策を講じることで利用者の安全な生活の確保に努めました。

3. 生産性の向上に取り組み介護サービスの効率的な提供と働きやすい職場づくり
○見守り機器の適切な活用など、介護現場における生産性の向上を図ることで、利用者の安全な生活を確保するとともに、職員にとっても働きやすい職場づくりに取り組みました。
○委員会で打ち合わせ時間の短縮など業務の無駄について検討し、利用者に対して質の高いサービスを効率的に提供できるよう努めました。
○オンラインを活用した外部研修の受講や、職員による内部研修の開催により、職員個々の知識とスキルの向上を図っております。
○内部研修を行い職員が新しい知識や工夫力を養えるようにしていきます。また、法人で実施する初任者研修や国家試験対策の講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップを行っています。
○チームワークによる業務の取り組みや労働災害やハラスメントに関する研修を行い、安全、安心な職場作りに励んでいます。

4. 安定した経営と持続可能な運営の取り組み
○長期入所については、速やかな実態調査の実施と入所判定会を行い空床数の発生をできる限り少なくするように努めました。また短期入所では、緊急時の受け入れや居宅介護支援事業所へこまめな空床の情報提供等、稼働率の向上を目指し、収入の安定化に努めました。
○こまめに気温そ確認し、適切な空調のON、OFFを行い燃料光熱費のコストダウンに努めました。今後も、電氣や水等の節約を継続的に取り組んでいきます。
○老施協への参加によって全国や県単位での高齢者福祉に関する現状を把握し、併設する通所事業所など法人内の他施設とも情報を共有しながら法人全体での経営改善に取り組んでおります。

5. 感染症や災害への対応力強化の取り組み
○令和6年度の反省を活かし、職員の健康管理と換気の徹底を行ったり、外部からの実地指導を受け感染症への対策を強化しました。施設内で新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染はありませんでした。
○自然災害の発生リスクに対しては、避難訓練の実施と業務継続計画（BCP）の周知により、有事の際には利用者の安全を最
優先で確保するための体制構築を行っております。
○災害時における関係機関や近隣との連携について、地区の防災委員の方々と相談し、夜間想定総合防災訓練の様子を見学していただきました。令和8年度に向けて、更なる地域との取り組みを話し合い今後の連携体制の構築を進めていきます。

6. 医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み
○協力医療機関である上沼診療所定期的な訪問診療を受け、必要時には緊急診療も受けられることで、ご利用者へ万全な医療ケアを提供できています。また、緊急時の入院対応についても、もうひとつの協力医療機関である登米市民病院が受け入れることになっており、利用者の様々な医療ニーズへの対応ができております。
○嘱託の歯科医と連携しており、利用者の口腔衛生管理を通じた健康状態の維持に努めております。
○利用者と家族の意思を尊重し、利用者が最後まで住み慣れた環境で生活できるよう看取り介護を実践しております。施設で看取りされた多くの利用者家族より施設職員に対する感謝の言葉をいただきました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　17,896 名
2. 年 間 稼 働 率　98.06 %
（ 目 標 稼 働 率　98.00 % ）
3. 年間平均介護度　4.22
4. 月 別 利 用 状 況　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	240	248	240	248	279	300	310	300	310	279	252	279	3,285
要介護 4	648	701	672	703	633	600	620	610	615	561	476	465	7,304
要介護 5	600	587	516	586	620	600	593	571	604	670	640	720	7,307
計	1,488	1,536	1,428	1,537	1,532	1,500	1,523	1,481	1,529	1,510	1,368	1,464	17,896

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	2	1	0	2	2	1	3	2	2	17
退 所 者 数	2	1	2	1	0	0	1	2	2	2	2	3	18
月末入所者数	49	48	48	49	50	50	49	49	48	49	49	48	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
4月24日	春まつり	外部アトラクション(フラ・ハウオリ)を招き春まつりを実施している。ハワイの曲とともに、馴染みのある曲に合わせたフラダンスを披露していただき楽しい雰囲気で季節を感じていただいている。	利用者 46名 職員 13名
7月6日	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節を感じていただいている。	利用者 30名 職員 11名
7月17日	夕涼み会	夏らしい装飾をした会場の中で、千本引きや射的といったゲームを楽しみ、かき氷を食べて夏の季節と夏祭りの気分を感じていただく。	利用者 32名 職員 11名
8月19日	盆供養	心性寺の住職様を迎え盆供養が実施された。お経を唱えていただき焼香し手を合わせ物故者の冥福をお祈りしている。	利用者 20名 職員 4名
9月11日	長寿を祝う会	外部アトラクション(風の鼓郷)を招き利用者様と職員で式典を実施。創作太鼓の演奏には、迫力があり利用者様も感動されたいた。お祝い膳で長寿を祝っている。	利用者 56名 職員 10名
10月12日	お月見会	季節の果物やすすき、桜紙で作った団子を飾り、秋の風物詩であるお月見会を行い利用者に季節を感じていただいている。	利用者 10名 職員 2名
12月24日	クリスマス会	サンタクロースとトナカイがソリに乗り登場し利用者様にプレゼントをわ渡し、食堂にはクリスマス装飾を飾り、クリスマス気分を感じていただく。	利用者 47名 職員 7名
12月26日	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者様で実施。お供え餅を丸め、水の木に飾りつけを行っている。	利用者 20名 職員 5名
1月8日	新年会	獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節を感じていただく。	利用者 40名 職員 8名
2月1日	節分・豆まき	年男・年女の利用者様に袴を着せ記念写真を撮影している.食堂にて鬼に見立てたボードを使い豆まきが行われる。昼食には豆料理食を提供し季節を感じていただいている。	利用者 14名 職員 4名
3月1日	ひなまつり	お雛様リースの周りに桃の花を職員と一緒に飾り付けている。和菓子とジュースを召し上がり茶話会を楽しんでいただいている。	利用者 31名 職員 4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　3,298 名
2. 年間稼働率　90.36 %
(目標稼働率　94.00 %)
3. 年間平均介護度　3.10

4．月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	6	10	8	10	8	8	8	6	10	8	8	8	98
要介護 1	18	22	19	27	33	1	2	0	3	7	4	6	142
要介護 2	120	111	113	108	113	83	85	94	76	68	57	50	1,078
要介護 3	49	72	30	40	39	68	70	62	81	96	95	105	807
要介護 4	43	41	44	35	41	66	65	45	74	83	59	77	673
要介護 5	45	43	35	28	23	29	47	58	58	55	45	34	500
計	281	299	249	248	257	255	277	265	302	317	268	280	3,298

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
5月14日	コンプライアンス研修	施設長	27 名
5月14日	接遇研修	副主任	6 名
5月20日	新任職員研修	施設長　他4名	2 名
5月22日	総合防災訓練図上訓練	副主任	8 名
5月25日	感染症対策BCP研修・訓練	副主任	6 名
6月4日	口腔衛生の管理に係る技術的助言及び指導	松尾歯科	15 名
6月29日	事故防止（リスクマネジメント）研修	副主任	14 名
8月20日	安全運転研修	施設長	7 名
8月21日	感染症の予防及び蔓延の防止のための研修	看護師	8 名
8月24日	高齢者虐待・身体拘束禁止研修	介護福祉士・介護福祉士	24 名
8月24日	食中毒・衛生管理者研修	管理栄養士	6 名
9月14日	看取り介護研修・口腔ケア指導研修	副主任	18 名
9月21日	見守り機器活用研修	介護福祉士	7 名
10月29日	ハラスメント研修	施設長	10 名
11月6日	感染症対策実地指導	登米市民病院認定看護師	15 名
11月7日	介護技術研修	副主任	15 名
11月23日	感染症対策BCP研修・訓練・メンタルヘルス研修	看護師	8 名
11月30日	医療・褥瘡対策研修	看護師	8 名
1月22日	認知症ケア研修	副主任	7 名
2月7日	事故防止（リスクマネジメント）研修	副主任	6 名
2月11日	高齢者虐待・身体拘束禁止研修	介護福祉士	11 名
3月24日	救命救急研修	副主任	7 名
3月26日	個人情報・プライバシー保護研修	副主任	7 名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
4月25日	令和7年度恵泉会人事考課者研修	恵泉会本部	本部支援棟	職員1名
4月28日	令和7年度主任介護支援専門員更新研修（全8回）	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員1名
6月16日	令和7年度登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
6月18日	令和7年度チーム・ビルディング研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
7月8日	東北大学クリニカル・スキルスラボ介護職対象セミナー（窒息対応）	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
7月10日	令和7年度高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	宮城県老人福祉施設協議会	Web	職員1名
7月11日	令和7年度恵泉会新任職員研修	恵泉会本部	本部支援棟	職員1名
8月5日	令和7年度コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
8月8日	2025年度第2回登米圏域感染対策連携カンファレンス・合同訓練	登米市立登米市民病院	登米市民病院	職員2名

8月18日	令和7年度介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Web	職員1名
8月22日	令和7年度管内栄養士研修会(栄養評価編)	宮城県石巻保健所	石巻合同庁舎	職員1名
8月29日	令和7年度管内栄養士研修会(給食管理編)	宮城県石巻保健所	石巻合同庁舎	職員1名
9月22日	介護事業者向け事故事例から学ぶ再発防止策(認知症事故対策・虐待事故・転倒、骨折事故)	あいおいニッセイ同和損保	Web	職員1名
9月26日	令和7年度石巻・登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県石巻保健所	登米合同庁舎	職員1名
9月30日	東北大学クリニカル・スキルスラボ介護職対象セミナー(一次救命処置)	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
10月8日	令和7年度認知症介護実践者研修(全5回)	宮城県	宮城県介護研修センター	職員1名
10月23日	褥瘡ケア研修会	登米市立登米市民病院	登米市民病院	職員1名
10月28日	東北大学クリニカル・スキルスラボ介護職対象セミナー(転倒頭部打撲)	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
11月11日	令和7年度地域課題情報交換会	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
11月12日	令和7年度宮城県高齢者権利擁護推進研修③	宮城県オンブズネット「エール」	Web	職員1名
12月9日	令和7年度アンガーマネジメント研修(一般職員向け)	宮城県社会福祉協議会	Web	職員1名
12月10日	東北大学クリニカル・スキルスラボ介護職対象セミナー(痙攣対応)	東北大学クリニカル・スキルスラボ	Web	職員1名
12月17日	令和7年度登米地区連絡協議会合同研修会	宮城県老施協登米地区連絡協議会	迫風園	職員1名
12月17日	令和7年度宮城県DWATの役割について	宮城県経営者協議会	迫公民館	職員1名
1月23日	令和7年度高齢者虐待防止研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
1月30日	宮城県看護協会登米支部看護管理者ネットワーク会議	宮城県看護協会登米支部	登米市民病院	職員1名
2月10日	令和7年度恵泉会次世代リーター研修(全2回)	恵泉会本部	本部支援棟	職員1名
2月13日	令和7年度職員フォローアップ研修	恵泉会本部	こじか園	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催回数	参加職員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	1回	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	12回	施設長、管理栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	12回	全職員
給食会議	各職種職員及び受託業者との相互理解と調整、食事内容の評価検討、食環境の整備の実施	12回	施設長・管理栄養士・受託業者 介護職員(施設・通所)・看護職員

(2) その他の会議

開催回数	内容	場所	出席者
12回	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	会議室	相談部、介護部、給食部、看護部
12回	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	相談部、介護部、給食部、看護部

3. 会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催回数	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止等、リスクマネジメントの検討	11回	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策・看取り委員会	感染症・褥瘡予防、看取り対応に関する検討	11回	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践の検討	12回	施設長、各委員
生産性向上委員会	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化を検討し、生産性の向上を図る。	12回	施設長、各委員
防災委員会	防災、防犯、BCPの研修・訓練に関する検討	12回	施設長、各委員
入所検討委員会	第三者委員を交えて入所申込者の入所順番を決定する。	随時	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	無		

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
2025/4/21～ 2025/8/8	迫桜高等学校	介護実習	1名	25名
2025/5/7～ 2025/10/11	登米総合産業高等学校	介護実習	3名	48名
2025/5/21～ 2025/6/10	小牛田高等学園	現場実習	1名	15名
2025/7/8～ 2025/10/21	登米総合産業高等学校	介護実習	3名	54名
2025/10/2～ 2025/10/23	小牛田高等学園	現場実習	1名	15名
計			8名	142名

【今後の取り組み】

1 地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み

・実習やインターンシップ、見学、ボランティアを積極かつ丁寧に受け入れマンパワーの養成と確保に努めます。
・認知症カフェ(RUI Café)等を年2回以上開催し、地域の皆様に施設を知っていただける機会を設け地域とのつながりを強く持てるよう取り組んでいきます。
・家族参加型の行事や面会機会を増やし、家族とのつながりを大切にしていきます。
・地域課題について、地域包括支援センター等の関係機関と綿密に連携し対処します。
・ボランティアの積極的な受け入れや防災訓練における地域住民との協力など施設と関わりをとおして、地域住民の理解と協力体制を築けるよう取り組んでいきます。

2 自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み

・利用者が自分らしく生活を送れるよう機能訓練、口腔ケア、栄養管理について多職種で連携し、介護について見直しを行い自立した生活機能の維持と重度化の防止を推進します。
・利用者の状態に応じた栄養管理を計画的に行い栄養状態の維持及び改善を図ります。
・利用者が生活のメリハリや充足感を持ちながら生活できるよう、音楽療法や各種行事、簡単にできるアクティビティ等を実施していきます。
・職員は利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を定期的に研修等で学び、具体的に人権擁護の意識を持って利用者支援を行います。
・利用者が相談や意見しやすい環境の整備と、生活に高い満足度を得られるようにサービスの質向上を推進します。
・事故防止のため問題の原因究明と確実に再発防止対策を実施することで、安全・安心なサービスを提供します。

3 介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み

・委員会にて業務を見直し、細分化や集約化を図りながら、利用者に対して適切なサービスを効率的に提供できるようにします。また、生産性の向上に取り組み、働きやすい職場環境を作ります。
・見守り機器を増設し、活用することで介護の生産性向上を図り、利用者にとって安全・安心な介護を行います。
・オンラインを含めた外部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図ります。
・内部研修を行い職員が新しい知識や工夫力を養えるようにしていきます。また、法人で実施する初任者研修や国家試験対策の講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとっても安全・安心な職場環境を維持していきます。

4 安定した経営と持続可能な運営の取り組み

・毎月の事業収支の確認と、光熱水費等の節約に向けた取り組みを進めます。
・空床が発生した場合、ベッドコントロールを効果的に行い稼働率の維持向上に取り組みます。
・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との連携により、現在の社会情勢とニーズを把握し、事業の安定経営に取り組んでいきます。

5 感染症や災害への対応力強化の取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症を持ち込まないよう利用者と職員の健康管理を徹底するとともに年に1回、協力医療機関から講師を招き実地指導を受けて感染症対応の強化を行います。
・十分な感染対策のもと行事や面会の実施を推進します。感染症の発生状況によって行事や面会の実施が難しい場合は、利用者の状況を書面や連絡等で家族へ的確に伝え、家族にも安心していただけるようにします。
・災害対策や感染症対応について、各委員会で検討し、BCPの研修及び訓練等の結果をもとに、より実践的な内容となるよう計画の見直しを行います。
・自然災害の発生や感染症が蔓延した場合であっても、業務継続計画（BCP）に従い必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校、及び地域住民の方々と連携し、災害時対応の協力体制を構築できるよう努めます。
・宮城県DWAT（宮城県災害派遣福祉チーム）へ協力し、災害発生時、地域を越えた福祉ニーズへの対応力の強化を目指します。

6 医療機関との連携強化と看取り介護の取り組み

・月に1回、協力医療機関である上沼診療所と登米市民病院へ緊急時の対応を確認する等、医療機関との連携体制の強化と入退院の対応について、協力医療機関と綿密に連携を行います。
・マイナンバーカードによる健康保険証といった新たな施策について柔軟に対応していきます。
・歯科医と連携し、口腔衛生管理体制の整備を行い入所者ごとの状態に応じた口腔衛生の管理を行います。
・利用者と家族の意思を最大限尊重し、協力医療機関との連携対応のもと看取り介護を丁寧に行っていきます。

令和7年度
迫デイサービスセンター翠風荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町北方字大洞45－3
2．設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成3年4月1日
5．利　用　定　員　　40 名

令和6年度には報酬改定を含む大きな制度改正が実施され、今年度は効果検証をしつつ時期報酬改定への準備を整えるため、地域のニーズを把握し、利用者の皆様の支援をとおしてサービスや活動の充実を図り、職員全員がワンチームとして効率的に事業運営を展開していけるよう努めてまいりました。
利用者の皆様へより良い介護サービスを提供するために、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を基本とし、利用者の自立した生活を実現するため、利用者のニーズを把握し、機能訓練やプログラムメニューを提供することで生活機能の向上を目指すと共に、ドライブやカラオケ、来訪慰問を実施し、利用者の皆様に楽しんでいただきました。また、地域に根ざした施設を目指し、認知症カフェ（RUIカフェ）を再開し、開かれた施設としての取り組みも行われました。
経営を安定させるべく常に稼働率の向上を目指してきましたが、初夏から熱中症を原因とする体調不良にて入院し施設入所する方が多く、そのまま年度末まで稼働率を回復させることができませんでした。業務改善や効率化については、委員会を中心に検討し、仕事の仕分けやICT記述の活用により、全職員が働きやすさを実感できる施設作りに取り組みました。
新型コロナウイルス等の感染症については、利用者と職員数名に罹患者が出ましたが、施設内感染はゼロに抑えました。今後も引き続き感染症対策に努め、安心安全なサービス提供ができるよう取り組んでいきます。

【　重　点　項　目　】

①地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めました。
・認知症カフェ（RUI Café）を開催し、介護相談も併せて行い、地域とのつながりが出来ました。
・家族が気軽に相談や来所できる体制を整え、ケアマネジャーとも情報を共有しながら、行うことが出来ました。
・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換を行い、現在の社会的ニーズを適確に把握し、今後の運営に向け対応しました。
・利用者の主治医や医療機関と連携し、利用者が地域で元気に暮らしていけるよう支援しました。

②自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図り、自分らしく自立した生活の実現に努めました。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識して援助しました。
・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、楽しく取り組めるアクティビティを実施しました。
・LIFEのフィードバックデータを活用し、適切な利用者支援を行いました。

③良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりの取り組み
・介護ソフトやタブレット等のICTを活用し、業務の効率化を図りました。
・委員会や会議にて定期的に業務の見直しを行い、業務の集約化や効率化を図り、職員の業務負担の軽減に努めました。
・事故防止のため、事故の原因究明と再発防止策の検討を行い安心安全な介護の仕方を職員に周知徹底しました。
・労働災害の防止策を検討し、研修にてハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって働きやすい職場環境を作りました。
・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、国家試験の受験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるように役割を担いました。

④安定した経営と持続可能な運営の取り組み
・各種研修による、職員の知識、技術の向上や習得に加え、月毎の接遇の振り返りを実施。利用者の要望等も丁寧に伺い、利用者の満足度を高める取り組みを行いました。
・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進め、効果の検証を行いながら改善に努めました。
・各関係機関や居宅ケアマネジャーとの連携を深めたり、地域の方々との交流機会を作り、地域情勢や利用者のニーズを把握し、自施設でできることを行いながら、地域に根ざした信頼の構築に努めました。

⑤感染症や災害への対応力強化の取り組み
・利用者と職員の健康状態を把握し、感染予防及び、感染拡大の抑制に努めました。
・BCP(業務継続計画)により、感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても、大規模な自然災害発生時においても、必要なサービス提供が継続できる体制を構築しました。
・BCP(業務継続計画)の研修、訓練、見直し等を実施し、感染症や自然災害発生時には利用者に必要なサービス提供が出来るよう委員会にて検討し、体制を整えています。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会と連携し、災害時対応時に協力体制ができるよう努めました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　9,540 名
2. 年 間 稼 働 日 数　309 日
3. 年 間 稼 働 率　77.18 %　(通所介護＋総合事業)
　(70.89) %　(通所介護)
　(6.29) %　(総合事業)
4. 年間平均介護度　2.69 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	73	99	100	99	116	123	126	102	123	113	128	141	1,343
要介護 2	251	258	224	223	220	211	249	229	233	197	174	196	2,665
要介護 3	250	248	226	222	220	215	214	186	188	184	196	242	2,591
要介護 4	163	147	139	154	149	144	137	178	156	124	106	121	1,718
要介護 5	19	39	40	35	40	28	48	44	38	34	37	43	445
計	756	791	729	733	745	721	774	739	738	652	641	743	8,762
事業対象者	8	9	9	8	9	8	9	8	9	8	7	7	99
要支援 1	23	21	9	18	19	22	18	15	12	16	16	16	205
要支援 2	47	49	38	43	30	32	37	35	36	41	46	40	474
計	78	79	56	69	58	62	64	58	57	65	69	63	778
合　計	834	870	785	802	803	783	838	797	795	717	710	806	9,540

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	5	1	3	2	3	5	3	0	3	0	7	3	35
契約終了者数	1	3	1	2	2	2	4	1	0	4	2	1	23
月末契約者数	84	82	84	84	85	88	87	86	89	85	90	92	1,036

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R7.07.07 ～07.09	七夕会	七夕にちなんだゲームを通して季節感を味わって頂く。	利用者 92名 職　員 38名
R7.09.13 ～09.16	長寿を祝う会	長年の労を労い、お互いの健康と長寿を祝う。	利用者 106名 職　員 28名
R7.10.20 ～10.22	ミニ運動会	身体を動かし、楽しみながら心身のリフレッシュを図る	利用者 94名 職　員 33名
R7.11.21	焼き芋会	焼き芋会を実施する事で、季節感を味わう。	利用者 31名 職　員 8名
R7.12.24 ～12.26	クリスマス会	季節感を感じられるよう、ゲームをしたり余興を披露しながら、クリスマスの楽しい一時を過ごす。	利用者 99名 職　員 29名
R8.01.09 ～1.13	新年会	新しい年を迎え、今年一年を健康で過ごせるよう無病息災を祈願し、ボランティア団体等の舞踏等を観覧しながら楽しい時間を過ごす。	利用者 127名 職　員 33名
R8.02.03 ～02.05	節分会	立春を迎え、春の喜びを感じながら節分行事を楽しむ。	利用者 83名 職　員 23名
R8.03.03 ～03.05	ひな祭り会	持ち帰りできるひな飾りの作成やひなあられゲーム、職員余興を通してひな祭りを楽しんで頂く。	利用者 91名 職　員 30名
		延べ参加者数	利用者 723名 職　員 222名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.05.14 ～06.6	コンプライアンス研修	施設長	14名
R7.05.26	安全運転講習	介護福祉士	3名
R7.05.29	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	4名
R7.05.30	防犯対策研修	管理者兼生活相談員	3名
R7.06.26	食中毒予防研修	管理栄養士	3名
R7.07.22	緊急時の対応（救命救急）研修	看護師	4名
R7.07.25	リスクマネジメント研修	管理者兼生活相談員	2名
R7.08.19	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	3名
R7.08.29	BCP研修	管理者兼生活相談員	3名
R7.09.26	入浴介助研修	介護福祉士兼生活相談員 介護福祉士	2名
R7.10.07	個人情報保護研修	管理者兼生活相談員	3名
R7.10.28	身体拘束廃止研修	介護福祉士兼生活相談員 介護福祉士	2名
R7.10.29 ．30	ハラスメント研修	施設長	2名
R7.11.27	メンタルヘルス研修	作業療法士	2名
R7.12.04	冬道の安全運転研修	介護福祉士	3名
R7.12.22	感染症予防（吐物処理）研修	看護師	2名
R8.01.15	高齢者虐待防止研修	介護福祉士兼生活相談員 介護福祉士	2名
R8.01.29	プライバシー保護研修	介護福祉士	2名
R8.03.19	記録の取り方についての研修	管理者兼生活相談員	3名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.06.16	令和7年度登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方庁舎	職員1名
R7.07.08	東北大学スキルスラボオンラインセミナー ①窒息が起きた時の対応	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.09.30	東北大学スキルスラボオンラインセミナー ②なるほど！一時的救命処置	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.10.28	東北大学スキルスラボオンラインセミナー ③転んで頭を打った人の観察方法	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.12.10	東北大学スキルスラボオンラインセミナー ④痙攣が起きた時の対応方法	東北大学クリニカル・スキルラボ	Web	職員1名
R7.12.16	迫地域高齢者ネットワーク会議	迫地域包括支援センター	登米市迫保健センター	職員1名
R8.01.16	令和7年度介護福祉士養成施設実習指導者講習会 （1月中4回）	宮城県介護福祉士会	戦災復興祈念会館	職員1名

(3) 認知症カフェ

年 月 日	項　　目	内　　容	参加者数
R7.10.23	RUIカフェ	認知症セミナー・キーホルダー作り・施設紹介	6名
R8.02.26	RUIカフェ	認知症セミナー・福祉用具紹介・施設紹介	6名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議(迫風園と合同)	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員　1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他　16名
デイサービス部会(各施設合同)	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	管理者兼生活相談員 1名
給食会議(迫風園と合同)	給食に関する事項等	月1回	給食係 1名

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
無			

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	5名
リスクマネジメント・身体拘束廃止虐待防止検討委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	4名
アクティビティケア・自立支援重度化防止検討委員会	地域交流、重度化防止、利用者ケアの充実について	月1回	5名
感染症・褥瘡対策委員会	新型コロナ、感染症、褥瘡の対応について	月1回	5名
防災委員会	利用者、職員の安全対策、BCPについて	月1回	2名

(2) その他の委員会

開 催 日	内　　容	場　　所	出　席　者
無			

【施 設 機 能 の 開 放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団　　体　　名	内　　容	来訪者数
R7.06.07	藤流夢一座(風)様	舞踊慰問	6名
R7.08.08	佐藤碧様(仙台医療センター付属仙台看護助産学校)	利用者支援補助	1名
R7.08.12	佐藤碧様(仙台医療センター付属仙台看護助産学校)	利用者支援補助	1名
R7.08.29	下り坂M.T. B様(夏祭り)	舞踊慰問	8名
R7.09.13	藤流夢一座(風)様(長寿を祝う会)	舞踊慰問	5名
R7.09.15	米山丸山太鼓様(長寿を祝う会)	和太鼓の演奏慰問	5名
R7.09.16	三日月舞踊一座様(長寿を祝う会)	舞踊慰問	9名
R7.12.25	下り坂M.T. B様(クリスマス会)	舞踊慰問	8名
R8.01.09	舞川会様(新年会)	舞踊慰問	6名
R8.01.10	熊谷流様(新年会)	舞踊慰問	10名

R8.01.12	貴智栄会様(新年会)	舞踊慰問	16 名
R8.01.13	佐藤智鶴様(新年会)	津軽三味線演奏慰問	1 名
計			76 名

(2) 実習

年 月 日	団　　体　　名	実　習　内　容	実 人 数	延 人 数
R7.06.04	東北医科薬科大学	地域包括医療実習	1 名	1 名
R7.11.05	東北医科薬科大学	介護在宅医療体験学習	2 名	2 名
R7.07.11 ～11.07	登米総合産業高等学校	通所介護実習Ⅰ	4 名	68 名
計			7 名	71 名

【今後の取り組み】

①地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み
・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
・認知症カフェ(RUI Café)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持っていきます。
・家族が気軽に相談や来園できる体制を構築し、連携を強化することで適切な支援ができるよう取り組みます。
・利用者、家族アンケートを実施してニーズを把握し、そのニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できる支援体制を構築します。
・地域課題について地域包括支援センター等の関係機関と連携し、適切に対処します。
・利用者の主治医や医療機関と連携し、利用者が地域で元気に暮らしていけるよう支援します。

②自立支援・重度化防止及び尊厳の保持に向けた取り組み
・利用者の自立した生活の実現に向け、機能訓練による身体機能の維持向上を図っていきます。
・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止に関する研修を行い、職員全員が人権擁護に対する高い意識を持って支援にあたれるようにします。
・利用者が生活のメリハリや充実感を保てるよう、各種行事のほか、楽しく取り組めるアクティビティを提供します。
・LIFEのフィードバックデータを活用し、適切な利用者支援に活用します。

③質の高いサービスの効率的な提供と働きやすい職場づくりへの取り組み
・介護ソフトやタブレット等のICTを活用し、業務の効率化を図ることで職員の業務負担軽減を図ります。
・委員会において定期的に業務内容を見直し、業務の効率化と生産性の向上を図っていきます。
・事故防止のため、事故の原因究明と再発防止策を検討し、利用者へ安心・安全なサービスを提供します。
・労働災害やハラスメントの防止対策を実施し、職員にとって働きやすい職場環境をつくります。
・外部研修及び内部研修の受講を奨励し、職員個々のスキルアップを図るとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験の対策講師として職員を派遣し、人材育成に関するスキルアップも図っていきます。

④安定した経営と持続可能な運営の取り組み
・質の高いサービスを提供し、利用者の満足度を高めることで稼働率の向上につなげます。
・毎月の事業収支状況を分析し、稼働率確保と電気光熱水費の節約に向けた取り組みを行っていきます。
・各関係機関と連携し、現在の社会情勢や地域のニーズを把握し、自施設の強みである専門性の高さや複雑なニーズへの対応力を発信、個別のケアを実現することで信頼を高め、安定した事業運営に努めます。

⑤感染症や災害への対応力強化の取り組み
・利用者と職員の健康状態を把握し、感染予防に取組み、感染症の発生時には感染拡大の抑制に努めます。
・感染症や自然災害発生時についてはBCP(業務継続計画)に従って対応し、利用者に対して必要なサービスが提供できる体制を構築します。
・感染症や自然災害への対策について各委員会で検討し、BCPの研修や訓練の結果をもとに、BCPの内容がより実践的なものとなるよう随時見直しをかけていきます。
・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校との連携を深め、災害時に迅速な協力対応がとれるよう体制を構築します。
・宮城県DWAT(宮城県災害派遣福祉チーム)へ協力し、災害発生時、地域を越えた福祉ニーズへの対応力の強化を目指します。

令和7年度
特別養護老人ホーム南風園　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6番地43
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開 設 年 月 日　　平成6年5月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

令和7年度は、長期入所・短期入所ともに目標稼働まであと一歩でしたが、前年度比で入所までの空床日数を約半分に、入院日数を約3分の1にすることが出来ました。各職種の役割の自覚と職種間の連携、状態にそったケアの提供によるものと感じていますので継続して取り組んで行きます。感染症対策については、2月に新型コロナウイルス感染症が発生し、幸いにも重症化するケースはありませんでしたが、医療機関からの感染対応における訪問指導も受けるなど改めて感染対策を見直し強化しました。

地域貢献活動として、Caféみなみかたを計画通りに実施。地域の方々へ認知症の理解や介護予防への支援など、地域で課題とされる分野にそった内容を中心に行う事が出来ました。また、交通安全教室や防犯対策なども住民参加を促し、ともに学ぶことが出来ました。利用者の地域交流も徐々に再開し、外出機会を定期的につくり、ドライブ、地域の催しへの参加、作品の出展など数年行えていなかった活動にも力を入れました。

職員の働き方については、11月にシャワー浴槽を購入設置。入浴介助にかかる時間の削減に取り組み、身体介護による職員負担の軽減と他業務への転換を進める事が出来ました。また、購入にあたっては、県補助金を活用し費用負担の軽減にも努めました。今後も検討を続け働きやすさとサービスの向上を目指します。研修も外部研修、内部研修、OJT研修と計画的に実施。職員の知識技術向上に努めました。介護人材確保においては、介護実習や施設見学など積極的に受け入れ、職業としての介護の魅力を感じてもらうことが出来ました。

【　重　点　項　目　】

1. 南風園および南寿荘の職員が取り組むべき業務への姿勢

①利用者一人ひとりへのコミュニケーションについて、内部研修等も活用し進めましたが、個々へのアプローチ特に認知症への理解や対応力についてはさらなる向上が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思います。

②「チームワークと協力」について、職員一人ひとりが立場を尊重し、多職種間でもそれぞれの職務を理解し一体となった支援を行うことが出来ました。

③内部研修やOJT研修を充実させ、介護知識、介護技術の向上に努め、研修については動画配信など工夫を凝らし実施しました。

2. 南風園が実施する重点的取り組み

①利用者との信頼関係の構築

利用者の会議出席やサービス担当者会議を充実させて、利用者の声を支援へ反映させる取り組みを実施しました。

②家庭とのコミュニケーション力の向上

状態変化時の連絡やサービス担当者会議の適宜開催など、利用者の状態や生活の様子、支援の方法など共有に心がけました。また、面会も対面、リモートを継続し、多くのご家族に面会の機会を提供できました。

③地域との連携を高める取り組み

Caféみなみかぜを計画通り年2回実施。認知症への理解、介護予防についての啓発を行いました。また、交通安全教室も住民参加を募り地域の一員としての取り組みを行いました。また、趣味活動ボランティア協力も通年いただき、利用者の楽しみとすることが出来ました。

④医療機関との連携体制の強化

協力医療機関との連携会議、感染対応のための外部研修への参加、施設への感染対策訪問指導を受け、連携体制を強化するとともに協力医療機関連携加算及び高齢者施設等感染対策向上加算Ⅰ・Ⅱを取得しました。

⑤虐待防止および権利擁護ならびに身体拘束廃止に関する取り組みの継続・強化

権利擁護・リスクマネジメント委員会を中心に虐待・身体拘束ゼロを実現しました。法令、規則に違反することなく運営を行いました。

⑥科学的介護の推進・業務効率や生産性の改善・認知症介護に関する技術力の向上

シャワー浴槽を導入し、入浴介助にかかる時間の短縮を行い、他支援への転換を図りました。また、シャワー浴槽の導入にあたっては事前の機器体験会への職員参加や補助金を活用しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　17,832 名
2. 年 間 稼 働 率　　97.71 %
   （ 目 標 稼 働 率　　98.00 % ）
3. 年間平均介護度　　4.15
4. 月 別 利 用 状 況　　（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	225	242	237	238	248	240	248	240	248	217	168	212	2,763
要介護 4	720	731	769	801	824	810	859	836	858	853	733	762	9,556
要介護 5	537	521	473	465	465	444	424	420	434	446	404	480	5,513
計	1,482	1,494	1,479	1,504	1,537	1,494	1,531	1,496	1,540	1,516	1,305	1,454	17,832

5. 入 退 所 状 況　　（ 令和8年3月31日現在 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	2	1	1	0	0	1	0	0	2	0	3	10
退 所 者 数	2	0	1	1	0	0	1	0	1	1	4	0	11
月末入所者数	48	50	50	50	50	50	50	50	49	50	46	49	－1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
   (1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.04.30	春まつり	余興では田植え歌踊り保存会による歌や踊りを披露していただきました。	利用者 39名 職 員 12名
R7.07.10	七夕交流会	南方認定こども園の園児による歌や踊りを見た後、園児と一緒に釣りゲームをし交流を図りました。	利用者 38名 職 員 12名
R7.08.01	夕涼み会	余興では貴智栄会による舞踊が披露されている。その後スイカ割りをし終始盛り上がった会となりました。	利用者 46名 職 員 13名
R7.08.18	盆供養	住職を迎え読経、焼香を行い物故者の冥福を祈りました。	利用者 9名 職 員 5名
R7.09.16	長寿を祝う会	永年の労に感謝し、ボランティアみなみかたレクリエーション部会による踊りを鑑賞しながら共に祝いました。	利用者 49名 職 員 22名
R7.11.07	ワクワクDAY	南方認定こども園の園児による踊りを見た後、園児と一緒に風船バレーをし交流を図りました。	利用者 29名 職 員 7名
R7.12.26	クリスマス忘年会	クリスマスの雰囲気を感じていただきながら職員による余興披露、思い出ムービーを上映し、一年を振り返っていただきました。	利用者 39名 職 員 12名
R8.01.06	新年会	新しい年の雰囲気を感じお祝いする。今年一年の健康を願いながら余興を楽しみ、新しい一年を和やかに迎えることができました。	利用者 40名 職 員 10名
R8.02.03	節分	年男・年女の利用者様写真撮影後、職員扮する鬼が登場し豆まきを行いました。各居室へも鬼が周り記念撮影を行いました。	利用者 49名 職 員 10名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　3,190 名
2. 年間稼働率　　87.40 %
   （目標稼働率）　　90.00 %
3. 年間平均介護度　　3.22

4. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	6
要介護 1	45	52	44	50	42	32	21	5	10	6	26	35	368
要介護 2	44	30	10	21	20	33	44	49	58	69	20	58	456
要介護 3	43	56	90	119	120	106	123	132	85	97	113	110	1,194
要介護 4	66	58	43	36	30	21	22	29	17	29	9	21	381
要介護 5	50	83	73	71	76	68	74	60	74	68	50	29	776
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	248	279	260	297	288	260	284	277	246	278	218	255	3,190

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参加者
R7 4.26　5.22	業務体制管理研修(コンプライアンス)	施設長	26名
R7.05.28	身体拘束廃止推進・高齢者虐待防止推進研修(前期)	副主任	18名
R7.06.26	感染症蔓延予防研修	管理栄養士	13名
R7.07.30	普通救命講習	登米市消防署西出張所	6名
R7.07.31	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	15名
R7 8.18～8.27	新入職員研修	施設長	2名
R7.08.29	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	10名
R7.09.25	自然災害BCP研修	介護福祉士	9名
R7.10.29	ハラスメント研修	看護師	14名
R7.10.30	感染症発生時のBCP研修	施設長　看護師	14名
R7.11.27	交通安全教室・不審者対応講習会	佐沼警察署　南方高石駐在所	15名
R7.12.25	褥瘡予防研修	介護福祉士	10名
R8 2.3～2.20	新入職員研修	施設長	1名
R8 3.3～3.24	新入職員研修	施設長	2名
R8.03.04	安全衛生管理研修	施設長	10名
R8.03.11	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修(後期)	施設長	7名
R8.03.18	介護事故防止研修(後期)	介護福祉士	8名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開催地	参加者
R7.04.25	令和7年度人事考課研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R7.06.18	令和7年度チームビルディング研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.06.04	令和7年度第1回ケアマネジメント研修	登米市	登米市	職員1名
R7.07.27	令和7年度看護職員認知症対応力向上研修	宮城看護協会	オンライン	職員1名
R7.07.28	令和7年度生産性向上ビギナーセミナー	宮城県	オンライン	職員2名
R7.07.29	令和7年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
R7.08.08	登米圏域感染症対策連携カンファランス合同訓練	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
R7.08.22	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	登米市	職員1名
R7.08.26	令和7年度第1回宮城県地域共生社会推進会議	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.09.10	令和7年度介護生産性向上セミナー	宮城県	オンライン	職員1名
R7.09.12	令和7年度高齢者施設／施設の協力医療機関向け感染症セミナー	東北大学病院	オンライン	職員1名
R7.09.22	認知症介護基礎研修eラーニング	宮城県	オンライン	職員1名
R7.10.03	令和7年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R7.10.23	褥瘡ケア研修	登米市民病院	登米市	職員2名
R7.11.05	令和7年度てんかん研修	東北大学病院	オンライン	職員1名

R7.11.14	登米圏域感染症対策連携カンファレンス	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
R7.12.11	令和7年度ケアマネジメント研修	登米市	登米市	職員1名
R7.12.12	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市民病院	登米市	職員1名
R7.12.17	宮城県DWAT(災害派遣福祉チーム)の役割について	宮城県	迫風園	職員2名
R7.12.17	令和7年度登米地域連携協議会合同研修会	宮城県	迫風園	職員2名
R8.02.15	令和7年度障害者差別解消法・合理的配慮基本研修	宮城県	オンライン	職員1名
R8.02.17	令和7年度介護現場における生産性向上フォローアップセミナー成果報告会	厚生労働省	オンライン	職員1名
R8.02.20	登米圏域感染対策連携カンファレンス	登米市民病院	オンライン	職員1名
R8.02.26	「ゆい」就労支援セミナー	恵泉会	登米市	職員1名
R8.03.02	令和7年度介護現場における生産性向上推進フォーラム	厚生労働省	オンライン	職員1名
R8.03.16	科学的介護情報システム(LIFE)令和7年度第回説明会	厚生労働省	オンライン	職員1名
R8.03.25	令和7年度指定障害福祉サービス事業者集団指導について	宮城県	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	12回	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	11回	施設長・栄養士・相談員・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・相談員・相談員・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	25回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	11回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 日	参加職員
権利擁護(虐待・身体拘束)・リスクマネジメント委員会	予防・対策の検討を行い虐待・身体拘束廃止・事故防止に努めている。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
生産性向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、機器を使用しながら業務改善に取り組んでいる。	11回	施設長・事務員・相談員・介護職員
職員研修・サービス評価委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行っている。サービス評価実施。	11回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備している。	11回	施設長・事務員・介護職員
感染症対策・褥瘡予防委員会	各種感染症及び褥瘡の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努めている。	11回	施設長・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来訪者数
R7.04.03	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.04.24	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.04.30	田植歌おどり保存会	春まつりでのアトラクション	7 名
R7.05.01	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.05.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.05.22	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.06.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.06.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.06.24	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.07.22	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.08.01	若泉流貴智栄会	夕涼み会アトラクション	7 名
R7.08.07	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.08.13	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.08.28	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.09.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.09.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.09.16	社会福祉協議会	長寿を祝う会でのアトラクション	3 名
R7.09.25	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.10.02	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.10.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.10.23	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.11.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.12.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.12.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R7.12.25	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.01.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.01.15	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.01.22	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.02.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.03.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.03.18	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名
R8.03.26	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1 名

(2) 実習

年 月 日	団体名	実 習 内 容	実 人 数	延人数
5/7.14.21.28 6/4.11.25. 7/2.8.9.15.16.22. 23.24.25.26.29 30.31 8/1.4.5.8.12.1 3.14.15.26.27 9/2.3.9.16 10/7.14.21	宮城県登米総合産業高等学校	介護技術の見学・実践。利用者様とコミュニケーションを図り、施設で生活する高齢者について理解する内用で実施しました。	4名	66 名

(3)地域貢献事業

年 月 日	名 称	内 容	来訪者数
R7.08.28	Caféみなみかぜ	いきいき口腔ケア美容教室・認知症予防について (資生堂ジャパン株式会社)	17 名
R8.03.08	Caféみなみかぜ	軽スポーツ体験(スポーツクラブみなみかた) モルック・ラダーゲッター	17 名

【今後の取り組み】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
   ① 認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、認知症に関する資格の取得を計画的に進め、個別ケアの体制づくりを行います。
   ② 医療機関との連携体制を整え、平時からの感染対策及び感染症発生時の対応について強化するとともに、継続的な加算取得を目指します。
   ③ 虐待防止、身体拘束ゼロを推進するための体制づくりや接遇の向上を委員会中心に推進し、利用者の尊厳を守ります。

2. 自立支援・重度化防止の取組の推進
   ① 利用者に多く見られる疾患（肺炎、尿路感染等）への予防の取組を充実させ、入院予防に繋げます。
   ② 栄養状態を把握し、食への楽しみを含めた栄養マネジメントの充実を図ります。
   ③ 褥瘡ゼロを実現するため、多職種が協働したマネジメントを実施します。

3. 働きやすい職場づくり.
   ① 特浴槽導入による業務の見直しを行い、利用者ケアの質向上につなげます。
   ② ICT機器の効果的な活用に向け、通信環境整備（Wi-Fi）を進めます。
   ③ 老朽化設備、備品について計画的に整備を行います。
   ④ 実習生の積極的な受け入れ、体制整備を行い、介護の魅力を感じてもらうことで人材確保につなげます。また、計画的に介護実習指導者資格取得を進めます。
   ⑤ 多様な働き方を理解し、誰もが笑顔で働ける職場環境づくりを行います。

4. 地域交流や連携の充実.
   ① 外出や催し、面会などの機会を増やし、地域の方々や家族との交流機会を提供します。
   ② 認知症カフェの開催や出前講話、介護予防の取組等を企画し、地域への貢献活動を行います。開催にあたっては、関係機関と連携をとり進めます。

令和7年度
南方デイサービスセンター南寿荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市南方町高石6－8
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成6年5月1日
5. 利　用　定　員　　35 名

ここ数年見られる感染症については、通所事業所ということもあり感染リスクは高く、年度を通して数回の新型コロナウイルス感染症の発生がみられました。感染拡大はなく、感染症に対する職員の意識、備えが強化されていることを感じました。稼働に関しては、昨年度と比べると低下がみられました。新規獲得に向け居宅介護支援事業所や地域関係機関へのPRも継続的に行いましたが、入所等での契約終了も多く、回復までには至りませんでした。体験利用からそのまま利用に繋がる割合はほぼ全件であったため、今後の新規獲得にいかしていきます。
また、今年度は過去の請求過誤が判明し、利用者・ご家族・保険者等にご負担をおかけすることとなりました。運営基準、介護報酬への理解を高めます。車輌事故も数件見られており、コンプライアンス意識を高め信頼を損なわないよう再発防止に取り組みます。
利用者へのケアについては、認知症ケアや個別機能訓練など個々にあった支援を検討、実施、評価、見直しのサイクルでよりよいものを提供することが出来ました。地域交流もCafeみなみかぜの開催、学校、幼稚園との交流会など計画通りに実施し、地域住民や利用者に楽しく参加いただきました。
職員の働き方については、離職者も数名おり、勤務体制に苦慮した1年でした。子育て世代が多くなる事業所であることを理解し、協力しながら働ける環境づくりを行い、離職の防止に取り組むとともに実習の受け入れや地域との交流を続け人材の確保につなげます。

【　重　点　項　目　】

1. 南風園および南寿荘の職員が取り組むべき業務への姿勢
   ①利用者一人ひとりに丁寧なコミュニケーションをとり、個々への理解に繋げることが出来ました。
   ②各職種が役割を自覚し、与えられた業務にしかっりと向き合いサービスの提供を行いました。
   ③外部研修への参加は、数回にとどまり、内部研修での知識・技術向上が中心となりました。会議等で積極的に発言し工夫する姿勢思いは多く見られたため、継続して取り組みたい。
2. 南寿荘が実施する重点的取り組み
   ①利用者一人ひとりの特徴をつかみ、その方にあった支援方法を継続的に行いました。また認知症ケアについても個別に計画し支援の検討、実施、評価、見直しのサイクルを実施しました。
   ②事業所のPRや体験利用を活用し、様々な町域からの希望に応え、サービスを提供することが出来ました。
   ③Caféみなみかぜを計画通り開催。認知症の理解や介護予防の向上など地域の課題にそった内容で多くの方に参加いただきました。また、ボランティア協力も継続的にいただき、学校、幼稚園との交流会も実施出来ました。介護実習については、4名を受け入れ介護の楽しさを感じてもらいました。
   ④委員会、係の見直しや委員会、会議の持ち方を工夫し、利用者へのサービス提供へと転換しました。
   ⑤権利擁護・リスクマネジメント委員会を中心に取り組み、虐待・身体拘束ゼロを継続しました。
   ⑥入力作業については、パッドを活用するなどし、記録などにかかる時間の削減に繋げました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員	8,526	名	
2. 年 間 稼 働 日 数	309	日	
3. 年　間　稼　働　率	78.84	%	（通所介護＋総合事業）
	(75.86)	%	（通所介護）
	(2.99)	%	（総合事業）
4. 年間平均介護度	2.36	（通所介護）	

5. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	135	138	139	117	109	111	104	79	79	60	66	89	1,226
要介護 2	344	364	328	340	310	312	333	280	298	275	284	294	3,762
要介護 3	167	138	139	178	150	190	195	202	230	183	183	187	2,142
要介護 4	75	102	76	82	68	64	73	55	53	60	65	58	831
要介護 5	10	11	1	7	14	19	22	20	32	35	36	36	243
計	731	753	683	724	651	696	727	636	692	613	634	664	8,204
事業対象者	5	4	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	52
要支援1	5	4	3	4	4	4	4	0	0	0	0	0	28
要支援2	27	23	21	27	26	16	16	15	17	13	16	26	243
計	37	31	28	36	34	24	25	19	22	17	20	30	323
合　計	768	784	711	760	685	720	752	655	714	630	654	694	8,527

(4) 契約解除理由

理　由	長期入院	施設入所	死亡	その他	計
男	0	4	2	4	10
女	2	6	4	6	18
計	2	10	6	10	28

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実 施 日	行　事　名	内　　容	参 加 者 数
R7.9.17～18	長寿を祝う会	敬老の日に合わせて、社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いした。	利用者　56名 職　員　18名
R7.12.24～2	クリスマス会	職員による余興を披露し、一緒に身体を動かしながら楽しい雰囲気を味わってもらいました。	利用者　17名 職　員　19名
R8.1.8～9	新年会	新年のお祝いとして、お屠蘇や獅子舞の披露を楽しんでいただき、新しい年を元気に過ごしていただけるように、皆で祈念している。	利用者　53名 職　員　16名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　104 名
2. 年間稼働日数　　242 日
3. 年間稼働率　　1.23 %
4. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
基準該当生活介護	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	11	11	7	5	2	9	11	11	8	8	8	13	104
	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	11	11	7	5	2	9	11	11	8	8	8	13	104
	合　計	11	11	7	5	2	9	11	11	8	8	8	13	104

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.4.24	業務体制管理研修	施設長	1名（南風園1名、南寿荘0名）
R7.4.23・25	入浴介助に関する基礎的な知識・技術を学ぶ	介護福祉士	9名（南風園0名、南寿荘9名）
R7.5.22	業務体制管理研修	施設長	36名（南風園27名、南寿荘9名）
R7.5.28	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修（前期）	副主任生活相談員兼介護支援専門員	26名（南風園18名、南寿荘8名）
R7.6.26	感染症蔓延予防研修（前期）	管理栄養士	19名（南風園13名、南寿荘6名）
R7.7.30	普通救命講習	登米市消防署西出張所　救命士（外部講師）	8名（南風園6名、南寿荘2名）
R7.7.31	介護予防研修（前期）	安全対策担当者	14名（南風園11名、南寿荘3名）
R7.8.29	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	15名（南風園10名、南寿荘5名）
R7.8.18. 19. 20. 22. 23. 26. 27	新任職員研修	施設長他6名	2名（南風園2名、南寿荘0名）
R7.9.25	自然災害BCP研修	介護支援専門員	15名（南風園11名、南寿荘4名）
R710. 20. 21	送迎事故防止対策	管理者兼生活相談員	7名（南風園0名、南寿荘7名）
R7.10.28	口腔ケア研修	看護師	5名（南風園0名、南寿荘5名）
R7.10.29	ハラスメント研修	ハラスメント相談窓口	18名（南風園14名、南寿荘4名）
R7.11.27	交通安全教室	登米市佐沼警察所　交通課（外部講師）	18名（南風園15名、南寿荘3名）
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修（オンライン開催）	社会福祉法人白石陽光園常務理事兼本部事務局長	1名（南風園0名、南寿荘1名）
R7.12.25	褥瘡予防研修	介護福祉士	11名（南風園10名、南寿荘1名）
R8.2. 3. 6. 7. 10	新入職員研修	施設長他6名	2名（南風園1名、南寿荘1名）
R8.2. 10. 12	車両操作と車両誘導・移乗介助・オムと交換	作業療法士他3名	1名（南風園0名、南寿荘1名）
R8.3.4	安全衛生管理研修	施設長	13名（南風園10名、南寿荘3名）
R8.3.11	身体拘束廃止推進・高齢者虐待廃止推進研修（後期）	南風園副主任介護支援専門員兼生活相談員	13名（南風園10名、南寿荘3名）
R8.3.18	介護事故防止研修（後期）	安全対策担当者	13名（南風園13名、南寿荘0名）
R8.3. 3. 4. 6. 10. 16. 24	新任職員研修	施設長他7名	4名（南風園3名、南寿荘1名）
実　施　回　数　22 回		延べ参加者数	251名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.8.26	令和7年度第1回宮城県地域共生社会推進会議	宮城県社会福祉協議会	オンライン	1名
R7.8.22	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市	登米市南方庁舎	1名
R7.12.12	令和7年度福祉サービスの苦情に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	1名
R8.3.6	認知症介護基礎研修eラーニング	社会福祉法人　東北福祉会	オンライン	1名
R8.3.25	令和7年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県障害福祉課	オンライン（恵泉会本部）	1名
実　施　回　数　5 回		延 べ 参 加 者 数		5名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
サービス調整会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3火曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員・栄養士
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　容	開催日	参加職員
防災委員会	災害等に備えた訓練や対応方法の研修及び施設環境の点検整備	毎月第1金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	苦情や意見に対する検討及び介護事故等の予防と対策の検討	毎月第3金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
サービス評価委員会	サービス評価と利用者サービスの質の向上を検討・企画する	毎月第3金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	身体拘束ゼロと虐待の未然防止について検討・評価	毎月第3木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
研修委員会	施設内研修の企画及び外部研修の受講調整	毎月第4木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
褥瘡予防・予防衛生対策委員会	褥瘡改善及び予防に向けたマネジメント評価と対策の実施	毎月第3木曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員
マニュアル作成委員会	施設内で使用する各種マニュアルの整備・見直し	毎月第1金曜	施設長・管理者・相談員・看護師・OT・介護職員

【施設機能の開放】

1. 地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内　容	来訪者数
R7.4.9	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R7.5.13	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R7.5.14・15	南方中学校	第1学年職場体験学習	2名
R7.6.10・24	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R7.7.8・22	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R7.7.16	南方こども園	交流企画(園児たちの余興見学)	11名
R7.8.26	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R7.9.9	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R7.9.15	登米市地域包括支援センター	アルツハイマーデイ啓発活動(実習生4名)	5名
R7.9.17	貴智栄会	長寿を祝う会余興	11名
R7.9.18	こらぼ座	長寿を祝う会余興	15名
R7.9.29	東郷小学校	交流企画(伝統芸能鑑賞やゲーム等を通しふれあい)	25名
R7.10.3	南方幼稚園	交流企画(園児たちの余興見学)	11名
R7.10.14・28	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	4名
R7.11.11・25	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	3名
R7.11.25	社会福祉協議会	ハンドマッサージ	5名
R7.12.23	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2名
R8.1.8	ボランティア歌踊団さわやか	新年会	6名
R8.1.9	貴智栄会	新年会	10名
R8.1.13	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	1名

R8.2.10・24	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2 名
R8.2.11	ひまわりの会	交流企画(踊り歌等の余興見学)	5 名
R8.3.10・24	社会福祉協議会	利用者整容・コミュニケーション等	2 名
	合　　計		135 名

(2) 実習

年 月 日	団体名	実習内容	実人数	延べ人数
R7,7/11,22,23,24,25	登米総合産業高等学校　福祉科	介護技術見学、利用者との交流、 バイタルチェック、整容 入浴介助、配膳、トイレ誘導	4名	68名
29,30,31				
R7,8/22,30				
R7,9/5,12,19				
R7,10/3,17,31				
R7,11/7				

(3)地域貢献事業

年 月 日	名　　称	内　　容	来訪者数
R7.09.19	アルツハイマーデイ啓発運動	みなみかた道の駅・南方庁舎Ｉ階ホールにて活動	－
R7.08.27	カフェ「みなみかぜ」	地域の方を招き認知症カフェの実施	20名
R8.03.08	カフェ「みなみかぜ」	地域の方を招き認知症カフェの実施	18名

【今後の取り組み】

１．地域包括ケアシステムの深化・推進

① 認知症に関する知識、理解、対応力を向上させるため、研修等への参加や企画を行い、居心地よく過ごせる場所を提供します。

② 虐待防止、身体拘束ゼロを推進するための体制づくりや接遇の向上を委員会中心に推進し、利用者の尊厳を守ります。

③ 関係機関と関わる機会を多く持ち、地域課題や資源の把握に努めます。

２．自立支援・重度化防止の取組の推進

① 高齢者の健康管理や病気、薬に関する知識を高めるための研修参加、内部研修の企画を行い、体調変化時の迅速な対応に繋げます。

② 口腔ケアに関する研修参加、内部研修の企画を行い、口腔機能維持や誤嚥性肺炎の予防に努めます。

③ 個別及び集団での機能訓練を実施し、利用者が望む生活がいつまでも送れるよう支援します。

３．働きやすい職場づくり

① 老朽化設備、備品について計画的に整備を行います。

② 実習生の積極的な受け入れ、体制整備を行い

③ 多様な働き方を理解し、ハラスメントの無い、職員が笑顔で働ける職場作りを行います。

４．地域交流や連携の充実

① 外出や催しなどの機会を増やし、地域の方々や家族との交流機会を提供します。

② 認知症カフェの開催や出前講話、介護予防等の取組等を企画し、地域への貢献活動を行います。開催にあたっては、関係機関と連携をとり進めます。

５．安全安心なサービス提供

① 送迎に関してのルールを徹底し、車輌事故０を目指します。

② 同様の事故を繰り返さないように、事故原因・対策の検証を徹底し、安心な利用を提供します。

６．選ばれる事業所作り

① 中重度者の受け入れ体制を整えるとともにニーズにそったサービス提供を行います。

② 居宅介護支援事業所との連携、広報誌、SNS等で魅力を発信し、利用者獲得を目指します。

令和7年度
地域密着型特別養護老人ホーム東和　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2）設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成21年4月1日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	20 名
短期入所生活介護	空床型
計	20 名

恵泉会の基本理念でもある「生活の質の向上」に向けた取り組みとして、利用者懇談会を実施し利用者様一人一人の声に耳を傾け、ユニット行事に反映し生活の質の向上に向け取り組むことが出来ました。利用者様からの声を大切にし取り組むことで職員のやりがいに繋がっています。今年度は内部・外部研修を充実させ、職員一人一人のスキルアップに努めています。また、利用者お一人お一人の尿量を測定し、その人にあった介護用品を使用する事で利用者様の満足度や、オムツにかかる経費削減に繋げています。ご家族には定期的に利用者様の状況を電話やエルダー通信を作成し郵送でお知らせし、日常のご様子を載せる事によりご家族及び利用者様に大変好評いただいています。利用者様の健康状態を多職種で観察を継続し、今年度に関しては11件の退所があり稼働率アップに繋げる事が困難な状況ではありましたが、年間稼働率を97.8%で維持する事が出来ました。今後も入所されている利用者様の体調維持に努めていき、空床が生じた際は在宅介護の負担軽減のため短期入所サービスの提供、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指します。

【　重　点　項　目　】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防に努めています。そのことによりインフルエンザの感染も予防出来ています。また、嘔吐、下痢の処理及び消毒方法を内部研修で行い、感染を拡大させない知識を身に付け実施出来ています。
・施設内で感染者が発生した場合に、感染者の対応を行う医療機関との連携の上で施設内で感染者の療養を行うことや、他の入所者への感染拡大を防止するため、対応する職員を限定し感染拡大防止に努めています。
・個々の利用者について、心身の状態をアセスメントし、身体拘束を必要としない状態を追及しています。身体拘束廃止推進委員会では、身体拘束廃止自己点検シートを用い、自分自身を客観的にみることで、自分自身を振り返り身体拘束を必要としない環境を整えています。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めています。
・防災計画やBCPに基づいた各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めています。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えられるよう整備していきます。
・災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時（水害等）の対応について実際に訓練を実施しています。
・施設設備の開放や地域活動への参加を通して、地域との交流を深めています。また、米谷小学校前の除草作業を実施し、積極的な地域貢献活動を進めています。
・全職員が利用者の個別性を十分に理解し24時間シートを活用することで個別ケアの実践を行っています。内部研修で利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスの徹底に努めています。
・安全対策虐待防止委員会を中心に、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めています。今年度は誤薬の事故が1件が発生しています。原因を究明し、今後このような事故が二度と起こらないよう研修を実施し、職員一人一人に周知徹底しています。利用者様の安心安全に繋げる事が出来ています。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避できるように努めています。

2. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくりへの取り組み

・生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めています。
・利用者及び家族へのアンケートを10月に実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っています。
・介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。今年度の有給休暇取得率が全職員5日以上取得出来ており、モチベーションアップに繋がっています。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。
・利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防に努めています。
・各種研修の受講を通して、職員の業種や階層別における専門知識とスキル習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めています。
・介護現場における業務改善に資する取組の促進を図る観点から、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくりのため、生産性向上委員会にて常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進や産休育休、病休制度等、職員の働きやすい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げています。また、業務改善を継続的に行い、生産性向上推進体制加算の取得にも繋げて全職員で経営意識を持ちながら取り組んでいます。

3. 自立支援・重度化防止に向けた対応

・職員による適切な口腔管理等の実施と、歯科専門職による適切な口腔管理につなげる観点から、利用者の入所時及び定期的な口腔衛生状態及び口腔機能の評価の実施することで誤嚥の予防に努めています。

・ユニットケア施設の機能を活かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めています。

・ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めています。

4. 事業の安定性と持続性確保に向けた取り組み

・職員全員が経営意識を持ち、稼働率の向上や省エネに取り組み事業の安定化を図ることで良質なサービスの提供を継続出来ています。年間稼働率も97.8%で推移し、入退院も年間16件と前年度と比較すると多い状況でしたが、早期に発見し協力医療機関と連携し対応する事で早期退院へ繋げています。多職種連携によるユニットケアならではの細やかなケアと、栄養士による栄養管理を行うことで健康状態の維持に繋がっています。

・登米登米産業高校から2名の実習生と、東北学院大学の学生1名の介護等体験実習を受け入れ、次世代の福祉人材育成に取り組むと共に、地域の学校教育へ協力しています。

・登米市との関連性もあるため、中長期計画は作成は出来ず経過しております。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　7,137　名　　（短期含む）
2. 年　間　稼　働　率　　97.8 %　　（　〃　）
（目　標　稼　働　率　　98.0 %）
3. 年間平均介護度　　4.34　　（長期のみ）
4. 月別利用状況（短期含む）　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	90	93	90	93	91	30	31	30	31	31	28	31	669
要介護 4	210	212	206	248	248	283	317	312	341	366	308	332	3,383
要介護 5	300	310	293	272	268	270	239	228	234	217	224	230	3,085
計	600	615	589	613	607	583	587	570	606	614	560	593	7,137

5. 入　退　所　状　況（長期のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	2	0	1	1	1	3	0	1	0	0	9
退　所　者　数	0	1	1	1	1	0	4	0	1	0	2	0	11
月末入所者数	20	19	20	19	19	20	17	20	19	20	18	18	－2

【利用者サービスの状況】

1．生きがいサービス

（1）行事

○合同行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.04.16	さくら見学	桜のお花見のため浅水の白山神社へドライブしている。	利用者　5名 職　員　3名
R7.05.03　～ R7.05.06	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者　20名 職　員　6名
R7.08.10	夕涼み会	お祭りにちなんだゲームやおやつを準備行い、縁日気分を味わって頂き、また夕方に花火を行い季節感を感じて頂く。	利用者　19名 職　員　7名
R7.09.14	長寿を祝う会	入居者様の長寿をお祝いし記念品を贈呈し、とよま日根牛太鼓御一行様による和太鼓を披露していただいている。	利用者　17名 職　員　8名
R7.12.19 R7.12.21～22	ゆず湯	冬至の伝統行事であるゆず湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者 20名 職　員　6名
R8.02.08	節分	節分にちなんで新聞紙で作ったボールを使用し的あてゲームを行っている。	利用者　13名 職　員　6名

○ユニット行事（1丁目）

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.05.31	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植え行っている。	利用者　5名 職　員　2名
R7.07.08	買い物ドライブ	登米町遠山之里までドライブしながら季節を感じて頂き食堂でソフトクリームを召し上がっている。	利用者　2名 職　員　2名
R7.11.09	懇談会喫茶	手づくりおやつを食べながら、利用者様と懇談会を開催。一人ずつ意向の聞き取り行っている。	利用者　7名 職　員　3名
R8.01.11	新年会	一年の抱負を書いた絵馬をユニット内に用意した鳥居の壁面に飾る。おみくじを引いたり新年をお祝いしている。	利用者　9名 職　員　3名
R8.02.06	出前	誕生日が近い利用者様の希望もあり出前を注文し普段と違った雰囲気で食事を楽しんで頂いた。	利用者　8名 職　員　3名
R8.03.01	ひな祭り喫茶	フェルトで作成したお雛様で福笑いを行う。おやつにわたあめや甘酒を用意しひな祭りを楽しんで頂いた。	利用者　9名 職員　3名

○ユニット行事（2丁目）

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.05.27	園芸	ユニットのプランターに季節の草花の寄せ植えを行っている。	利用者　6名 職　員　3名
R7.06.20	外出（カフェ）	近隣のカフェに出かけクリームソーダを注文し召し上がったり、店内で買い物を行っている。	利用者　3名 職　員　2名
R7.07.20	七夕短冊作り 懇談会	短冊に願い事を書いて頂きながら、利用者様と懇談会を開催し意向の聞き取りを行っている。	利用者　6名 職　員　3名
R7.10.16	ドライブ外出	季節の移り変わりを感じて頂きながら、町内へドライブし「道の駅林林館」でコーヒーやデザートを召し上がっている。	利用者　2名 職　員　2名
R7.12.14	クリスマス会	ロールケーキにホイップクリームやトチョコを一人ずつデコレーションしクリスマスケーキ作りを行った後、召し上がって頂いている。	利用者　6名 職　員　3名
R8.02.01	足湯 フットマッサージ	入浴剤を使用し寒い季節に足浴を行いフットマッサージ行いながら入居者様とコミュニケーションを図っている。	利用者　7名 職　員　5名
R8.03.08	園芸	ユニットのプランターに春になったら咲くようチューリップの球根や季節の草花を植えて頂き利用者様同士でコミュニケーションを図って頂いている。	利用者　6名 職　員　3名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.4.7、5.1、5.2	法令遵守研修	施設長	職員15名
R7.4.15、4.18、4.23	施設設備研修	東和職員	職員14名
R7.5.22	介護事故防止研修（夜間緊急時対応）	東和職員	職員14名
R7.5.18	感染症BCP机上訓練	東和職員	職員6名
R7.5.23	感染予防研修①・BCP（災害時）研修①	東和職員	職員6名
R7.6.1	公用車運転操作研修	東和職員	職員3名
R7.6.21	医療研修・口腔ケア研修	東和職員	職員4名
R7.7.8	食中毒予防研修	東和職員	職員4名
R7.7.10	バーセルインデックス研修	百楽荘職員	職員12名
R7.7.15～.8.15	熱中症対策研修	厚生労働省　教育動画	職員15名
R7.9.1	防災教育	㈱　迫防災	職員5名
R7.9.3	オムツ研修	㈱　光洋	職員5名
R7.9.21、10.11	身体拘束廃止推進研修①及び高齢者虐待防止研修①	東和職員	職員14名
R7.9.24	メンタルヘルス研修（精神的ケアに関する研修）	施設長	職員4名
R7.9.27、10.18	身体拘束廃止推進研修②及び高齢者虐待防止研修②	東和職員	職員14名
R7.10.25	ターミナルケア研修	東和職員	職員3名
R7.10.29、11.16、12.7,12.9	誤投薬予防研修	東和職員	職員12名
R7.11.5	恵泉会職員研修大会	エンパワーコミュニケーション　鎌田敏氏	職員7名
R7.12.17	介護事故防止研修	東和職員	職員4名
R7.12.26	認知症高齢者基本研修	東和職員	職員3名
R7.12.27	感染予防研修②・褥瘡予防研修	東和職員	職員4名
R8.2.21	BCP（災害時）防災研修②	東和職員	職員4名
R8.3.3	プライバシー研修	東和職員	職員4名
R8.2.27、3.2、3.3	ハラスメント研修	東和職員	職員14名
R8.3.8	BCP感染予防実施研修	東和職員	職員4名

（2）外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.06.18	チームビルディング研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	オンライン
R7.07.08	介護職員オンラインセミナー	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R7.06.26	社会福祉施設事務担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.07.01	第1回感染対策研修会	登米市立米谷病院	登米市立米谷病院	職員2名
R7.07.29	指定介護サービス事業者集団指導	宮城県保健福祉部	県石巻合庁	職員1名
R7.08.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会	南方庁舎	職員1名
R7.08.18	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老施協	オンライン	職員1名
R7.08.20	生産性向上フォローアップセミナー	厚生労働省	オンライン	職員2名
R7.08.22	レジリエンス研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.08.22	令和7年度管内栄養士研修会	県石巻保健所	石巻合同庁舎	職員1名
R7.08.27	社会福祉施設新任職員研修2班	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.08.28	社会福祉施設新任職員研修2班	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.09.02	登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	南方庁舎	職員1名

R7.09.26	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会	南方庁舎	職員1名
R7.09.30	介護職対象オンラインセミナー	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R7.10.07	登米市認知症対応研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R7.10.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	中田農村環境改善センター	職員1名
R7.10.22	生産性向上フォローアップセミナーフォローアップセミナー	厚生労働省	オンライン	職員2名
R7.10.24	院内感染対策講習会	宮城県石巻保健所	オンライン	職員1名
R7.10.28	介護職対象オンラインセミナー	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R7.11.04	東和地域ネットワーク会議	東和・登米包括支援センター	東和総合支所	職員2名
R7.11.06	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター	オンライン	職員1名
R7.11.11	地域課題情報交換会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員2名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田町農村環境改善センター	職員1名
R7.12.09	アンガーマネジメント研修	宮城ハートフルセンター	オンライン	職員1名
R7.12.10	現場で遭遇しそうなトラブル対応セミナー ～五感で探る状態観察～「痙攣が起きた時の対応方法」	東北大学クリニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修	宮城ハートフルセンター	オンライン	職員1名
R7.12.17	宮城県DWAT説明会	県社会福祉法人経営者協議会	迫公民館	職員2名
R7.12.17	登米地区連絡協議会合同研修	登米地区連絡協議会	迫風園	職員2名
R7.12.25	第2回感染対策研修会	登米市立米谷病院	米谷病院	職員2名
R8.01.22	医療従事者のためのオンライン講座	東北大学テクニカル・スキルラボ	オンライン	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	県ケアマネ社協登米市部	オンライン	職員1名
R8.03.13	東北ブロック感染対策研修会	般社団法人日本環境感染学会　地域セミナー委員会	オンライン	職員1名

2．会議開催状況

（1）定例会議

会議名	内　　容	実施回数	参加職員
職員会議(毎月第3木曜日)	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	12回	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議(毎月第3金曜日)	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	12回	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議(2か月に1回)	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	6回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議(毎月 日曜日)	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	各ユニット毎12回	ユニットリーダー・介護職員・看護師
リーダー会議(毎月1回)	各セクションの調整、業務の効率を図る。	12回	相談員・看護師・介護職員
入所判定会議(必要時開催)	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	11回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内　　容	実施回数	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	12回	施設長・相談員・介護職員
安全対策・苦情処理委員会	事故報告書の振り返り、事故防止の検討を行う。	13回	施設長・相談員・看護師・介護職員
虐待防止・権利擁護委員会	虐待の有無の確認、虐待防止に向けた取り組みを行う。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	12回	施設長・相談員・介護職員
生産性向上・マニュアル検討委員会	会報作成、サービス評価、環境整備、マニュアル見直し等を行う。	12回	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	4回	施設長・相談員・管理栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	17回	施設長・相談員・管理栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての取り組みについて検討する。	4回	施設長・相談員・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	11回	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	6回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
生産性向上委員会(特養部)	業務改善等、生産性向上に向けた取り組みについて検討する。	5回	施設長・相談員・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団　体　名	内　　容	来訪者数
R7.09.14	とよま日根牛太鼓	和太鼓(長寿を祝う会での余興)	4名

(2) 実習

年月日	団　体　名	実　習　内　容	実人数	延人数
R7.05.07	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.05.14	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.05.28	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.06.04	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.06.11	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.06.25	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「前期」	2名	2名
R7.07.02	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	2名
R7.07.09	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	2名
2025/7/22～25	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	8名
R7.08.27	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	2名
R7.09.03	登米産業高等学校福祉科2年	介護実習「後期」	2名	2名
計			24名	32名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1．地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

・新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防を行います。
・施設内で感染者が発生した場合に、感染者の対応を行う医療機関との連携の上で施設内で感染者の療養を行うことや、他の入所者への感染拡大を防止するよう努めます。
・個々の利用者について、心身の状態をアセスメントし、身体拘束を必要としない状態を追及します。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。
・防災計画やBCPに基づいた各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
・災害協定を締結している協力施設（萩風園）と連携し、災害時（水害等）の対応を行います。
・施設設備の開放や地域活動への参加を通して、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献活動を進めます。
・全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコプライアンスを徹底します。
・安全対策苦情処理委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。昨年度誤薬による事故が発生しています。定期的な研修を実施し、事故が二度と起こる事のないよう対策・検討を重ねていきます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避できるように努めます。

2．良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくりへの取り組み

・生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。
・利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。
・介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。
・利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防に努めます。
・各種研修の受講を通して、職員の業種や階層別における専門知識とスキル習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。
・常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働きやい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。
・介護現場における業務改善に資する取組の促進を図る観点から利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境作りに努めます。

3．自立支援・重度化防止に向けた対応

・職員による適切な口腔管理等の実施と、歯科専門職による適切な口腔管理につなげる観点から、利用者の入所時及び定期的な口腔衛生状態及び口腔機能の評価の実施に努めます。
・ユニットケア施設の機能を活かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、常に利用者と寄り添えるケアの充実に努めます。
・ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。

4．事業の安定性と持続性確保に向けた取り組み

・職員全員が経営意識を持ち、稼働率の向上や省エネに取り組み事業の安定化を図ることで良質なサービスの提供を継続します。

令和7年度
東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成14年10月15日
5. 利　用　定　員　　35 名

利用者の皆様の尊厳を重視し、自立支援を目指すと共に、心身の状態を確認しながら通所介護サービス計画書を基に、安心・安全に過ごしていただけるよう努めて参りました。
今年度は、状態低下に伴う入院や施設入所等での解除者が多く、稼働率の減少が著しい状況でありましたが、地域のネットワーク会議への参加を通して、多職種の方や東和地区の地域の方々との顔の見える関係性、自事業所をアピールする機会を頂くと共に職員間でも稼働率アップに繋がるよう柔軟なスポット利用の受け入れの促しやご家族への丁寧な状態報告等の情報提供やアピールに努めています。
また、施設の機能を最大限に活かせるよう、環境整備や業務改善に取り組むと共に、職員一人ひとりのスキルアップ向上に向けた定期的な研修の強化を実施しながら、より良いご利用をして頂けるよう努めて参ります。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の自立支援と重度化防止

① ・在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、季節毎の行事やレクリェーション等活動をとおして通所介護サービス計画書を元に、個々の心身状態の機能維持、改善に努めています。

② ・サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った通所介護サービス計画書の作成に努めています。
・看護師による機能訓練や、日々の全身体操を実施して機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げています。

2. 利用者の尊厳の尊重

① ・体調の確認や、既往をよく理解し、その人らしく生活して頂けるよう意向を汲み取りながら、行事活動、社会資源等も活用しながら支援させていただいております。

② ・契約時には利用者、家族に個人情報の保護について説明し、文書にて取り交わし、データの管理を徹底し、個人情報の保護に努めています。

3. サービス向上に向けた取り組み

① 生産性向上委員会が掲げたスローガン「言葉遣いに気をつけて」に基づき、サービスの質の向上に努めました。

② 利用者及び家族へのアンケートを10月に実施しました。アンケート結果をもとにサービスの改善を図っています。

③ 利用者の安心安全を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防止に努めています。

④ 施設内の研修を実施し介護サービスの質の向上及び利用者の安全に努めています。

4. 職員の資質向上・働きやすい環境づくりへの取り組み

① ・施設内の研修では、研修の時間帯を工夫し、多くの職員が研修に参加することで職員の、知識・技術の向上を図りました。また、外部への研修にもオンライン等も活用し、積極的に参加し自己研鑽に努めています。

② ・業務の見直し、効率化を図ってきました。また、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、産休育休等制度を活用し、働きやすい職場環境になるよう配慮しております。人材の確保、離職防止に努めています。

③ ・マニュアルの整備や研修、面談等を行いハラスメント対策を実施しました。メンタルヘルス等の研修も実施し働き易い環境を整えています。

④ 職員の負担軽減を考えて、業務改善等を通じた働きやすい職場作りに努めています。

5. 地域包括システムの運営・推進

① 事業所内の消毒と換気を徹底し、利用者や職員の健康観察を適宜に行うことで感染予防に努めました。

② 感染症BCP(業務継続計画)が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいて研修と訓練を行いました。

③ 協力医療機関との連携を図れるように、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組みが実施出来るよう環境を整えています。

④ 認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れました。医療機関・各関係機関と連携を図りながら、家族の身体的及び精神的負担の軽減に繋げています。

⑤ 高齢者虐待防止委員会を通じて検討、改善を図り高齢者虐待防止に努めました。利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進するため、内部で研修も実施しながら職員全員で虐待防止や利用者の権利擁護に努めています。

⑥ 感染症や災害の発生に備え、定期的に防災設備や感染予防対策セットを点検整備しております。業務継続計画(BCP)に則り、研修等も行い職員への周知を図りました。利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めています。

⑦ 災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害等)の対応について実際に訓練を実施しています。

⑧ 10月に防災炊き出し訓練として、芋煮会時に防災窯の使用を行い開催しています。
芋煮会での食材の準備等はご利用者にも参加して頂き行いました。

⑨ 利用者の個別性について、ミーティングやデイサービス調整会議等で検討を行い理解に努めました。利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスについての研修を、内部で実施しながら職員への徹底を図りました。

⑩ ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングやリスクマネジメント委員会で改善策を更に検討し、職員に周知徹底を図り事故の再発防止に努めています。メント委員会で改善策を更に検討し、職員に周知徹底を図り事故の再発防止に努めています。

6. 事業運営の安定化と持続性の確保

利用状況(稼働率)については数値化し会議等にて職員に報告、全職員が経営意識を持ち、事業の安定化を図ってます。しかしながら、契約者よりも解除者の方が多く経営の安定には工夫等が必要な状況です。省エネについての意識も高めていく必要があります。 今年度、認知症カフェを初開催しています。ご利用者ご家族や以前支援ハウスをご利用頂いていたご利用者へお声がけしご参加頂きました。その後、2名の方がご利用契約に繋がっています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　6,952 名
2. 年 間 稼 働 日 数　310 日
3. 年 間 稼 働 率　64.07 % (通所介護＋総合事業＋基準該当)
(57.08) % (通所介護)
(4.81) % (総合事業)
(2.18) % (基準該当)
4. 年 間 平 均 介 護 度　2.52 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	42	43	40	44	43	42	59	54	63	56	52	72	610
要介護 2	216	243	226	242	232	222	202	165	178	170	152	183	2,431
要介護 3	250	248	236	248	205	223	223	209	250	211	206	196	2,705
要介護 4	18	21	17	14	9	13	13	28	18	15	16	11	193
要介護 5	29	38	24	33	24	7	29	29	13	12	7	9	254
計	555	593	543	581	513	507	526	485	522	464	433	471	6,193
事業対象者	12	13	11	14	9	7	8	8	8	11	12	10	123
要支援1	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	0	47
要支援2	26	32	31	32	34	33	35	25	26	23	27	28	352
計	43	49	46	51	47	44	48	37	38	38	43	38	522
基準該当	21	19	20	22	14	21	21	20	20	18	19	22	237
計	21	19	20	22	14	21	21	20	20	18	19	22	237
合 計	619	661	609	654	574	572	595	542	580	520	495	531	6,952

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	2	0	0	1	2	2	1	3	2	0	5	18
契約終了者数	3	0	1	1	3	2	1	1	6	4	3	3	28
月末契約者数	60	61	67	67	66	65	64	70	72	74	72	69	－10

【利用者サービスの状況】

1．生きがいサービス

（1）行事

実施日	行事名	内容	参加者数	
R7.04.07 ～04.9	お花見会	ジュースで乾杯し、道具を使わないレクリエーションを行い、コミュニケーションの促進や脳の活性化に繋げながら楽しまれている。	利用者 職員	73名 21名
R7.07.07 ～07.9	七夕会	利用者様に短冊を書いていただき飾っている。七夕の由来をお話ししている。9日に菊風荘との交流会でレクリエーションを行う	利用者 職員	70名 22名
R7.08.21 ～08.23	夏祭り	利用者と神輿を担いだり、輪投げ、水ヨーヨー釣りなどの行い楽しまれている。	利用者 職員	77名 25名
R7.09.24 ～09.26	長寿を祝う会	祝電の披露やジュースでの乾杯を行い、記念品の贈呈からボランティアのアトラクションで盛り上がり、利用者の皆様楽しまれている。	利用者 職員	68名 19名
R7.10.18 ～10.21	運動会	ボッチャや仮装レースなどを行い最後に賞状も配布し楽しまれていた	利用者 職員	68名 17名
R7.10.24	芋煮会	防災釜を使用し、利用者様にも食材を切ってもらう。 昼食に芋煮を提供している。	利用者 職員	25名 5名
R7.12.15 ～12.17	クリスマス会	レクリエーションでベンチホッケーをしたり、プレゼントをもらったりして楽しまれている。	利用者 職員	61名 17名
R8.01.09 ～01.12	新年会	お屠蘇を紙コップで配り対応している。その後ボランティア方にアトラクションを披露をしていただき盛り上がっていた。	利用者 職員	68名 17名
R8.02.03 ～02.06	節分	節分の由来について話されている。年男年女の利用者様に袴を着用しての記念撮影と玉入れゲームなどを行い楽しまれていた。	利用者 職員	74名 16名
R8.03.04 ～03.06	ひな祭り	ひな祭りの由来について話されている。職員が着物を着て抹茶をたてて飲んで頂き、一緒にケーキバイキングを行い楽しまれていた。	利用者 職員	53名 19名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R7.04.7･05.1･2	法令遵守研修	施設長	職員10名
R7.4.28･5.12･7.4･3.23	施設設備研修	東和職員	職員13名
R7.5.7･9･10	入浴介助に関する研修	東和職員	職員11名
R7.5.22･26･6.9	介護事故防止研修(緊急時対応)	東和職員	職員7名
R7.05.23	感染予防研修①･BPC(災害時)研修①	東和職員	職員5名
R7.6.24･25	食中毒予防研修	東和職員	職員11名
R7.7.2･3･4	公用車運転操作研修	東和職員	職員11名
R7.07.16	新任職員研修	施設長	職員2名
R7.7･23･29･31	介護予防研修	東和職員	職員10名
R7.8.19･22･25･	医療研修･口腔ケア研修	東和職員	職員11名
R7.8.27･28	メンタルヘルス研修	東和職員	職員9名
R7.10.21R8 2.26･3.3	身体拘束廃止推進研修①･高齢者虐待防止研修①	東和職員	職員10名
R7.12.26	認知症基本研修	東和職員	職員4名
R7.12.27	感染予防研修②	東和職員	職員4名
R8.02.21	BCP(災害時)防災研修②	東和職員	職員3名
R8.03.03	プライバシー研修	東和職員	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R7.06.16	認知症カフェ研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員2名
R7.07.04	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R7.07.11	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R7.07.18	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市戦災復興記念館	職員1名
R7.07.19	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	宮城県介護福祉士会	仙台市戦災復興記念館	職員1名
R7.09.30	障害者虐待防止研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.10.07	社会福祉施設保険担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.12.23	令和7年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3金曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3月曜日	施設長・デイサービス職員

3. 委 員 会 開 催 状 況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実 施 回 数	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	12回	施設長・栄養士・介護職員
安全対策・苦情処理委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	13回	施設長・栄養士・介護職員
虐待防止・権利擁護委員会	虐待の有無の確認、虐待防止に向けた取り組みを行う。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	12回	施設長・相談員・看護師・介護職員
生産性向上・マニュアル検討委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	12回	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	4回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	12回	施設長・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての取り組みについて検討する。	4回	施設長・相談員・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	11回	施設長・相談員・介護職員

【施設機能の開放】

1．ボランティア・視察・見学・実習受入状況

（1）ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.09.24	フラ・ハウオリ	フラダンス	10名
R7.09.25	ちーむ盛り上げ隊	歌・踊り	5名
R7.09.26	登米市ボランティアの会	演芸	6名
R8.01.09	庭師芸人　植正まさとし様	演芸	5名
R8.01.10	千鳥会	演芸	6名
R8.01.12	大道芸ボランティア	マジック・腹話術・南京玉すだれ	4名

【今後の取り組み】

1．利用者の自立支援と重度化防止

①利用者が可能な限り自宅や地域において自立した生活が送れるよう、季節行事や活動をとおして身体状態の維持・改善に努めます。

②利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、自立した生活が送れるよう支援していきます。

2．利用者の尊厳の尊重

①利用者の意向をお聞きしたり、状態を把握しながらその人らしく生活して頂けるよう丁寧に対応させていただくと共に、行事、活動の実施、社会資源等も活用し、家族の協力も得ながら支援させていただきます。

②データ管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

3．サービス向上に向けた取り組み

①生産性向上委員会を中心に接遇に関するスローガンを掲げ、サービスの質の向上に努めます。

②利用者及び家族へのアンケートを実施し、アンケート結果をもとにサービスの改善を図っていきます。

③利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に対応し、早期解決と再発防止に努めます。

④介護現場における業務改善に資する取り組みの促進を図る観点から、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保に努めます。

4．職員の資質向上・働きやすい環境づくりへの取り組み

①施設内外の研修を計画し職員の業種や階層別に取り入れ、専門的知識、技術の習得を促進し、職員個々のキャリアアップと組織全体での質の向上に努めます。

②常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得の促進、産休育休、病休制度等、職員の働き易い職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保に繋げていきます。

③マニュアルの周知や研修を行いハラスメント対策を行い、メンタルヘルス等の研修も行い、相談し易い環境、体制を確立します。

④職員の負担軽減に資する業務改善等を通じた働きやすい環境作りに努めます。

5．地域包括システムの運営・推進

①新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防を行います。

②新型コロナウイルス感染症に関しては5類へ変更され、感染症BCP（業務継続計画）が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行い、基礎疾患を抱え重度化リスクの高いご利用者をお守りすべく福祉施設として対応します。

③高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化として、協力医療機関との連携を図り、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組みが実施出来るよう努めます。

④認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、医療機関・各関係機関と連携をしながら利用者の在宅生活を支えると共に、家族の身体的及び精神的負担の軽減も図ります。

⑤高齢者虐待防止についての取り組みとして委員会を通じて検討、改善を図り高齢者虐待防止に努めていきます。また、利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待についても研修等も行いながら職員全員で防止し、利用者の権利擁護に努めます。

⑥感染症や災害の発生に備え、防災設備や感染予防対策セットを点検整備します。また、業務継続計画(BCP)の見直しや職員への周知と訓練を行い、利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
⑦災害協定を締結している協力施設(萩風園)と連携し、災害時(水害等)の対応を行います。
⑧施設設備の開放や地域活動への参加をとおして、地域との交流を深めます。また、施設独自で地域の清掃活動を行うなど、積極的な地域貢献を進めます。
⑨全職員が利用者の個別性を十分に理解し、利用者の人権擁護のためのプライバシー保護や倫理等を含むコンプライアンスを徹底します。
⑩リスクマネジメント委員会において、定期的にヒヤリ事例や事故発生の原因分析と対策検討を行い、事故等の再発防止と予防に努めます。また、全職員で危険個所等の把握を行い、施設内に潜むリスクを予め回避出来るように努めます。

6．事業運営の安定性と持続性の確保
①職員全員が経営意識を持ち、利用状況（稼働率）や省エネを数値化し、事業の安定化に向けた取り組みを行います。

令和7年度
地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池金沢山60－5
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成23年4月18日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

【　基　本　方　針　】

地域密着型高齢者施設として、この地域の介護の受け皿となるべく、医療機関と連携を強化し、安心安全な暮らしが継続できる拠点づくりに取り組みました。協力医療機関と連携については昨年同様、連携会議にて協議を行い利用者の病状に合わせスムーズな対応や感染症対策研修への参加など連携の強化を継続しています。地域との連携についても地域包括支援センターと協力し住民を招いての認知症カフェを開催、サポータ養成講座や施設栄養士による栄養教室など充実した内容で学びの機会を提供しました。また地域住民と共同で沿道の除草作業を実施、環境整備に取り組みました。生産性向上の取組としては、介護業務を洗い出し課題を抽出、見守りロボットやお掃除ロボット、インカムを導入しています。インカム使用については、本格的な活用に向け進行中であり次年度には効率化に繋がるよう取り組みます。ロボットの活用では間接業務の負担軽減に効果が見られました。今年度は退所者が少なく目標値に近い稼働率を維持することができました。

【　重　点　項　目　】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

1）支援体制（地域包括ケア）の構築のため、嘱託医との間で協力医療機関連携会議を毎月1回回診時に実施しました。また協力医療機関（登米市立米谷病院）との医療連携体制会議を年1回（令和7年5月19日）に実施し、緊急時や新興感染症発生時の対応方法について協議しました。さらに東和・登米地域の地域包括支援センター、居宅支援事業所、介護事業所との連携のため地域ネットワーク会議に年1回（令和7年12月17日）参加しました。運営推進会議を年6回実施し、地域関係者、民生委員、行政担当者、地域包括支援センター職員等との情報共有や支援体制の構築のための協議を行いました。

2）今年度における看取り介護の対象者は4人で、現在まで3人をお見送りしました。看取り期におけるケアの質の確保のため、内部研修を年1回実施、ディスカンファレンスを3回行いました。また毎月1回ターミナル検討委員会においてケア内容の検討、情報共有等を行いました。感染症における専門的知識と技術の向上とよりよいケアについて協力医療機関（登米市立米谷病院）による感染症対策研修に参加しました。

3）認知症への対応力強化として、認知症介護実践者研修1名が参加修了し、施設においては認知症ケアについて内部研修を実施しました。

2. 自立支援・重度化の防止、サービスの質の向上

1）利用者個々の24hシートを作成し、サービス担当者会議、ケアカンファレンスで個別ケアの充実に向けた検討を進めました。ADL評価、口腔機能評価を年2回行い、LIFEのフィードバック情報をもとに分析評価し、個別ケアへ反映しました。

2）重度化防止のため、口腔ケアの実践が重要となるため歯科衛生士による口腔ケア研修を年2回（前期・後期）実施しました。

3）配慮された接し方や言葉遣いの徹底を目的とした取り組みとして「虐待防止・接遇における標語コンクール」を実施しました。活動報告書に記載欄を設け、利用者の感想、意見等を記載し、活動内容の評価分析に活用しました

4）認知症の状態に配慮したケアを進めるため、活動や行事において機能訓練の要素を取り入れたプログラムとし、効果測定はLIFEのフィードバック情報で検討しました。24hシートを活用し、共同スペースに集まる時間を把握、入浴におけるエスコート、活動へのエスコート、機能訓練等の実施時間を調整した実践を進めました。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り

1)インカム、お掃除ロボット、見守り介護ロボット増設、音声生成AI(オトノート)の活用により、介護職員等の間接業務を減らし(業務負担軽減)、直接業務にかかわる時間を作り出し(効率性を上げる)、業務負担の軽減を図りました。

2)生産性向上委員会において、業務の見える化、業務把握と課題の洗い出し、改善と効率性を高めることで業務改善につなげる取り組みを進めました。

3)マニュアル検討委員会においては、マニュアルの見直しを進め11件の見直しを行いました。

4)苦情はありませんでした。苦情・リスクマネジメント委員会は月1回開催し、ヒヤリハットなど必要な多くの情報を収集、分析、適切な対応策を考え介護事故を減らしました。

5)利用者満足度調査を年2回実施し、情報を収集、興味・関心チェックシートを活用し、行事や活動に反映する取り組みを進めました。

6)年次有給休暇5日の取得、労災事故ゼロの取り組みとして安全衛生教育、腰痛予防体操、危険個所の把握などの取り組みを進めました。

7)全職員、コンプライアンス、ハラスメント研修を受け法令遵守の意識を高めました。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

1)外部研修や内部研修は積極的に参加受講しました。OJT研修は計画性がなかったため次年度の課題とします。

【 利 用 状 況 】

1 年間延べ利用人員　12,076 名
2 年 間 稼 働 率　97.31% %
(目 標 稼 働 率　98.00 %)
3 年間平均介護度　4.09
4 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	259	265	270	279	279	270	275	270	279	279	252	279	3,256
要介護 4	342	395	404	410	431	358	359	357	322	353	336	372	4,439
要介護 5	343	341	330	341	341	360	403	376	390	389	364	403	4,381
計	944	1,001	1,004	1,030	1,051	988	1,037	1,003	991	1,021	952	1,054	12,076

5 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
退 所 者 数	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
月末入所者数	32	33	34	34	34	33	34	34	34	34	34	34	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.04.16	春まつり	入居者の交流を図り、ボランティアの演芸を見るなど楽しい時間を過ごしていただいています。また、桜の開花に合わせ園庭を散策し季節を感じていただいております。	入居者 29名 職 員 13名
R7.09.12	長寿を祝う会	長年の労に敬意を表し、長壽をお祝いしてます。新型コロナウイルスの感染対応としてユニット毎に式典となりましたが、記念撮影を行い家族にあてメッセージを添え送付しています。	入居者 32名 職 員 12名
R8.01.08	新年会	新年を祝い獅子舞や初詣、おみくじを行い正月の雰囲気を味わいながら共に楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 32名 職 員 11名

【短期入所者生活介護サービス】

1 年間延べ利用人員　　10 名
2 年間平均介護度　　4.90
3 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況
（1）内部研修

年月日	内容	講師（講演者）	参加者
R7.04.01	防災設備研修について(BCP含む)	ユニットリーダー兼介護福祉士	介護職員11名
R7.04.04	新任職員研修ついて	施設長	看護職員1名
R7.04.15	ユニットケア研修について	ユニットリーダー兼介護福祉士	介護職員6名
R7.05.05	夜間連絡体制オンコールについて	准看護師	介護職員5名
R7.05.05	看取りケアに関する研修について	准看護師	介護職員5名
R7.05.28	認知症介護基本研修について	介護福祉士	介護職員4名
R7.06.18	口腔ケア研修について	中江歯科　衛生士	介護職員4名
R7.06.19	食中毒予防研修について	管理栄養士	介護職員7名
R7.07.27	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員4名
R7.07.29	心肺蘇生法・AED取り扱い	株式会社サニクリーン東北	介護職員5名
R7.08.06	防犯研修(特殊詐欺防止・さすまた使用)について	登米警察署	介護職員5名
R7.08.21	白十字オムツ研修について	白十字	介護職員6名
R7.08.23	接遇研修について	介護福祉士	介護職員3名
R7.09.10	感染症予防研修(BCP含む)について	看護師	介護職員5名
R7.10.09	介護機器取り扱い研修について	ジェー・シー・アイ(株)	介護職員8名
R7.10.16	運営規定とコンプライアンスについて	施設長	介護職員9名
R7.12.17	口腔ケア研修について	中江歯科助手	介護職員7名
R7.12.25	ゾーニング研修(BCP含む)について	看護師	介護職員6名
R7.12.25	感染症予防研修(インフルエンザ)について	看護師	介護職員6名
R7.12.26	防災設備取り扱い研修について(BCP含む)	迫防災	介護職員9名
R8.01.26	見守りセンサー取扱い研修について	バイオシルバー	介護職員3名
R8.03.04	介護予防研修について	介護福祉士	介護職員4名
R8.03.04	身体拘束廃止事例検討研修について	介護福祉士	介護職員4名
R8.03.06	ダンベル体操について	レクリエーションインストラクター	介護職員8名
R8.03.08	介護事故防止研修について	介護福祉士	介護職員3名
R8.03.15	身体拘束廃止/虐待防止研修について	介護福祉士	介護職員4名
R8.03.25	プライバシー研修	生活相談員	介護職員8名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.06.19	クックチルってどんなもの？試食付きセミナー	株式会社ナリコマエンタープライズ	大崎市地域交流センター	職員1名
R7.07.01	第一回感染対策研修会	登米市立米谷病院院内感染対策委員会	登米市立米谷病院	職員1名
R7.07.04	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R7.07.07	認定看護師と学ぼう	栗原市在宅医療・介護連携支援センター	栗原市立栗原中央病院	職員1名
R7.07.07	生産性向上ビギナーセミナー	厚生労働省老健局高齢者支援課	オンライン	職員1名
R7.07.11	恵泉会新任職員研修	社会福祉法人恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟2階	職員1名
R7.07.11	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市市民活動サポートセンター	職員1名
R7.07.18	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市戦災復興記念館	職員1名
R7.07.19	介護福祉士養成施設実習指導者講習会	一般社団法人宮城県介護福祉会	仙台市戦災復興記念館	職員1名
R7.07.24	第一回感染対策研修会	登米市立米谷病院院内感染対策委員会	登米市立米谷病院	職員1名
R7.08.05	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.08.07	認定看護師と学ぼう	栗原市在宅医療・介護連携支援センター	栗原市立栗原中央病院	職員1名
R7.08.22	管内栄養士等研修会	宮城県東部保険事務所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R7.09.30	ユニットケアセミナー	日本ユニットケア推進センター	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R7.10.08	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R7.10.09	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R7.10.14	権利擁護推進員養成研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台弁護士会館	職員1名
R7.10.21	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R7.10.22	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
R7.11.08	メンタルヘルス講習会	社会福祉法人福利厚生センター	オンライン	職員1名
R7.11.18	アセスメントケア・ケア向上研修	宮城県東部保険事務所	宮城県石巻合同庁舎	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.12.17	宮城県DWATの役割について	宮城県社会福祉法人経営者協議会災害対策委員会	迫公民館	職員1名
R8.01.23	高齢者虐待防止研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R8.02.07	アセスメント研修会	宮城県ケアマネージャー協会事務局	オンライン	職員1名
R8.03.08	病院と地域をつなぐNPの役割	登米市NPプジェクト	オンライン	職員1名
R8.03.16	科学的介護情報システム説明会	厚生労働省老健局老人保健課	オンライン	職員1名

2 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　議　名	内　容	開 催 数	参　加　職　員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	36回	ユニット介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	5回	ユニットリーダー
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	13回	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	12回	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	5回	施設長・相談員・看護師・介護職員
連絡会議	各部署の代表者で情報共有や意見交換、懸案事項の検討を行っています。	9回	施設長・相談員・看護師・ユニットリーダー

(2) その他の会議

会　議　名	内　容	開 催 数	参　加　者
担当者会議	ケアプランの確認・情報共有	23回	入居者・家族・施設長・各部職員

3 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　容	開 催 数	参　加　職　員
施設指名委員会	見積もり合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人本部に内申を行います	10回	施設長、事務員、担当職員
虐待防止・身体拘束廃止推進委員会	虐待防止、身体拘束廃止に向けて啓発活動やケア方法の検討をしています。	12回	施設長、介護職員、看護師、相談員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	12回	施設長、介護職員、看護師、相談員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症の予防や研修、褥瘡予防について検討しています。	13回	施設長、介護職員、看護師、栄養士
サービス向上委員会	サービス評価、優先課題に向けた取り組み及び環境の整備を行います。	10回	施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。	5回	施設長、介護職員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行います。	11回	施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	12回	施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	4回	第3者委員、施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士
ターミナル検討委員会	入居者や家族に対し、最期までより良い支援を継続することを基本とし、体制の整備、看取り介護、振り返り、体制の改善を行います。	12回	施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士
見守りセンサー等有効活用検討委員会	導入機器が安全且つ有効に活用され、介護事故等が減少していることの確認、必要な分析、検討を行います。	4回	施設長、介護職員、看護師、相談員
生産性向上検討委員会	タイムスタディを実施し分析した結果、業務改善へ向けた取り組みを行います。	5回	施設長、介護職員、看護師、相談員、栄養士

【施設機能の開放】

1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

(1) 地域交流

年月日	名称	内容	来訪者数
R7.6.27	オレンジカフェ	地域住民を招き、地域包括支援センター職員による「認知症サポーター講座」と管理栄養士による講話を実施	15名

(2)ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.04.16	熊谷流登米支部	春まつりのアトラクション(舞踊)	6名
R7.05.29	和華彩流	舞踊の披露	3名

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.05.07 ～R7.10.11	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	32名
R7.6.4～6.24 R7.10.1～10.22	宮城県立支援学校女川高等学園	産業現場等における実習	1名	30名
		合計	3名	62名

【今後の取り組み】

1.地域包括ケアシステムの深化・推進
1)支援体制(地域包括ケア)の構築のため、嘱託医や協力医療機関との医療連携体制会議、地域包括支援センター・居宅介護事業所の専門職との地域ネットワーク会議、地域密着型施設として行政担当者、福祉関係者、地域住民等における運営推進会議により情報共有や連携により支援体制構築を進めます。
2)医療機関との連携は、嘱託医・協力医療機関と定期的に利用者の状況を共有し、夜間休日の相談、受診、緊急時の入院ができる等、利用者急変時の対応がスムーズに進められるよう取り組みます。看取り介護においては、嘱託医、協力医療機関と連携し、看取り期におけるケアの質の向上のため研修実施、ターミナル検討委員会においてケア内容等の協議を進めます。

2.自立支援・重度化の防止、サービスの質の向上
1)科学的介護(口腔・栄養・褥瘡予防・認知症・排泄・機能訓練)における一体的取組として、評価分析、LIFEのフィードバック情報を定期的に生産性向上委員会、サービス向上委員会、定期カンファレンスにおいて検討します。ADL評価・口腔機能評価・興味関心チェックシートと合わせ、24hシートに反映する統一した介護と個別ケアの実践を進めます。また生活空間の配慮や個々に応じたケアの実践に向けて、24hシートに基づいてユニットケアを進めます。
2)認知症の状態に配慮したケアの実践を進めるため、実践者研修や内部研修での学びと実践や認知機能の低下防止の活動プログラムの効果測定をサービス向上委員会及びグループ活動において進めます。認知症への対応力強化として、無資格の介護職員は認知症介護基礎研修の受講し、また専門性を高めるため認知症実践者研修、認知症ケア実践リーダー研修を受講し対応力強化とその人員配置及び加算取得に向けた取り組みを進めます。

3.良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場作り
1)インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、iPad活用による記録の簡素化、介護情報データの活用により業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を継続的に進めます。
2)生産性向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。間接的業務については、障害者雇用により分業化を進め、生産性向上を図ります。
3)安心安全な福祉サービスの提供のため、苦情・リスクマネジメント委員会において介護事故防止のため、ヒヤリハット事例の推進を図るための取組を進めます。マニュアルに基づいた実践研修を多く取り入れ、介護事故ゼロを目指して取り組みます。
4)利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行います。
5)年次有給休暇5日以上の確実な取得と労災事故ゼロの取組(安全衛生研修、腰痛予防、危険箇所の把握と改善)を進めます。
6)コンプライアンスガイドラインのセルフチェック項目により、自己分析を実践する。感情のコントロールを意識し、意思疎通をはかり、チーム組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境の維持改善に取り組みます。

4.介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
1)外部研修や伝達研修、内部研修を継続して取り組みます。OJT研修を計画的に実施し、ケア統一及び介護基本マニュアルに基づく基本的技術の習得、業務手順の確立を図りサービスの質の向上と効率を進めます。
2)認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員においては、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
3)日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
4)人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

令和7年度
地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷　事業報告

【　施　設　概　要　】

1）所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米川字寺内28－22
2）設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3）経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4）開　設　年　月　日　　平成23年4月18日
5）事業・利用定員

事　　業	利　用　定　員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

法人の理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念の下、24時間シートの活用で個々のニーズに応じたケアを提供することができました。
嘱託医師と連携しターミナル検討委員会では本人、家族に寄り添ったきめ細かなケアを実践、看取りケアの充実を図りました。
また、個々の栄養マネジメントの実施では、低栄養リスクのある入居者様へアプローチし健康状態の安定、維持に繋げることができました。
昨年好評であった自宅へのふるさと訪問や地域行事への参加、認知症カフェも再開し、入居者様が家族や地域の方と交流できる場が持てるよう取り組みました。

【　重　点　項　目　】

1　地域包括ケアシステムの深化・推進
- 嘱託医師と連携を図り、看取りケアの実践を行うことができました。さらには協力医療機関との医療連携体制会議では緊急時対応の確認を行い体制の構築に努めました。
- 地域運営推進会議、地区の防災訓練の参加、認知症カフェの開催で、地域との交流を図ることができました。
- 認知症への対応では、認知症介護リーダー研修、認知症介護実践者研修を受講し、認知症ケアの対応が強化でき質の高いケアに繋がるよう取り組みました。また、ユニットリーダー研修も受講でき次期リーダー育成に努めております。

2　自立支援・重度化防止に向けた対応
- 施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、24時間シートの作成で入居者様個々の生活に合わせた支援を実践し、自立支援に取り組みました。口腔衛生について、嘱託医、歯科衛生士の指導を受け口腔ケアを行い口腔内の健康、嚥下機能維持、向上に繋がるよう進めました。

3　良質な介護サービスと効率的な提供に向けた働きやすい環境づくり
- 生産性向上委員会において、課題抽出を行い5Sを意識した取り組みを行い環境整備に努めました。また、介護ロボット見守り機器、介護支援システム等（ICT）の活用で業務負担軽減を図りました。ユニット会議では、認知症対応の研修など各ユニットで研修テーマを出し合い定期的に勉強会を実施、ケアの振り返りを行っています。

4　制度の安定性・持続性の確保
- 生産性向上委員会において、課題抽出を行い5Sを意識した取り組みを行い環境整備に努めました。また、介護ロボット見守り機器、介護支援システム等（ICT）の活用で業務負担軽減を図りました。ユニット会議では、認知症対応の研修など各ユニットで研修テーマを出し合い定期的に勉強会を実施、ケアの振り返りを行っています。

5　感染症や災害への対応力強化に向けた取組
- 新興感染症対策として、感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築できるよう取り組みました。

6　制度の安定性・持続可能性の確保
- 感染症対策を講じ、感染症発症なく安心した日常生活を送ることができました。災害対策・感染症対策のBCPの見直しを行い、より実効性のある物に仕上げるため計画的に基づく研修と訓練を実施しました。人材育成においては、法人内の介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員初任者研修の講師派遣し人材育成に貢献できました。
また、登米市事業の家族介護者交流研修会に講師として参加し地域貢献の一役買うことができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　　12,232 名
2. 年 間 稼 働 率　　98.57 %
（目 標 稼 働 率　　98.00 %）
3. 年間平均介護度　　4.00

4. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	173	217	210	217	217	210	217	210	217	217	187	207	2,499
要介護 4	630	589	570	589	602	579	631	625	651	639	566	616	7,287
要介護 5	210	248	240	247	217	192	186	180	186	186	168	186	2,446
計	1,013	1,054	1,020	1,053	1,036	981	1,034	1,015	1,054	1,042	921	1,009	12,232

5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	6
退 所 者 数	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	6
月末入所者数	34	34	34	33	34	32	34	34	34	34	34	33	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.07.28	夏祭り会	祭りを通して懐かしい思い出を共有し入居者様同士のコミュニケーションを図っています。	利用者 34名 職 員 9名
R7.09.12	長寿を祝う会	入居者様のご長寿を家族と一緒に喜び、祝いの式典を開催しています。余興では施設長の三味線演奏と職員による踊りを披露しています。	利用者 32名 職 員 17名
R7.11.19	芋煮会	実りの秋を感じていただきながら芋煮を食べ、入居者様同士の交流を深めています。	利用者 31名 職 員 8名
R7.11.19	認知症カフェ	認知症の方やその家族、地域住民、福祉専門職などだれもが集える場所を提供し、悩みや相談、情報交換を行っています。	利用者 3名 地域住民 19名 職 員 10名
R7,11,21	はっとフェスティバル	職員のはっと摘みなどの調理を見学し、入居者様同士の交流を図りながら郷土料理を楽しんでいます。	利用者 34名 職 員 5名
R7.11.25	そば打ち	そば打ち実演を見学し、その場で打ったそばを、ざるそばにして召しあがっていただいています。	利用者 28名 職 員 7名
R7.12.26	正月飾り	無病息災を願い、良い年を迎えられるよう、入居者様と職員が一緒にみずの木に飾りを吊るして正月飾りを行っています。	利用者 19名 職 員 4名
R8.02.03	節分、豆まき	一年の厄を祓い、無病息災と幸せを願い豆まきを行っています。	利用者 33名 職 員 5名
R8.2.2～2.8	水かぶり鑑賞会	地域の伝統行事、水かぶりの映像を鑑賞し、懐かしく感じていただきながら気分転換を図っています。	利用者 33名 職 員 4名
R8.03.02	さくら幼稚園交流会	子どもたちの元気な様子や踊りの披露、交流を通して気分転換を図っています。	利用者 18名 職 員 6名
R8.03.12	100歳のお祝い会	家族を招待して、入居者様と、職員の100歳をお祝いしています。	利用者 20名 職 員 12名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員　　35 名
2. 年間平均介護度　　3.54
3. 月別利用状況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	6	0	0	4	3	0	13
要介護 3	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	7	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	16
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	0	0	0	15	0	6	0	0	4	3	0	35

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
   (1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師(講演者)	参加者
R7.04.02	新任職員研修	施設長、看護師、ユニットリーダー	1名
R7.04.16	見守り機器取り扱い研修	ユニットリーダー	15名
R7.04.16	BCPシミュレーション研修(手洗い・感染予防)	看護師	6名
R7.04.09	防災研修(フローチャート・連絡体制)	介護福祉士	4名
R7.04.16	コンプライアンス・ハラスメント研修	施設長	14名
R7.04.30	腰痛予防研修	准看護師	7名
R7.05.28	BCPシミュレーション研修(防災)	ユニットリーダー	8名
R7.05.28	認知症研修	ユニットリーダー	8名
R7.05.21	消防設備研修	ユニットリーダー	17名
R7.06.05	事故防止研修	介護福祉士	7名
R7.06.11	BI研修	生活相談員	7名
R7.06.25	食中毒防止及び感染予防研修	管理栄養士	17名
R7.06.25	熱中症予防研修	看護師	7名
R7.07.02	介護技術　オムツ研修	白十字・あかね福祉	7名
R7.07.09	感染対策「施設の中で感染を広めないために」	看護師	7名
R7.07.17	バーセル・インデックス研修	作業療法士	8名
R7.07.23	身体拘束廃止及び虐待防止研修	介護福祉士	5名
R7.08.27	看取り研修	華足寺　住職	16名
R7.08.28	プライバシー研修	生活相談員	7名
R7.08.28	OJT研修	施設長	7名
R7.08.28	安全運転管理者等講習	施設長	7名
R7.09.24	接遇研修	介護福祉士	5名
R7.10.08	褥瘡予防研修	准看護士	7名
R7.10.08	感染症机上訓練	看護師	7名
R7.10.09	人権擁護について	人権擁護委員	11名
R7.10.22	メンタルケア研修	介護福祉士	8名
R7.10.22	ユニットケア研修	介護福祉士	8名
R7.11.27	救命救急講習会	看護師	9名
R7.12.24	事故防止研修	介護福祉士	6名
R8.01.14	感染症対策 「吐物処理について」	看護師	7名
R8.02.04	身体拘束廃止及び虐待防止研修	介護福祉士	6名
R8.02.25	看取り研修	看護師	4名
R8.03.04	服務規程研修	施設長	12名
R8.03.25	介護技術研修	介護福祉士	6名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.05.12・13	ユニットリーダー研修	ユニットケア推進センター	オンライン	職員1名
R7.04.25	人事考課研修	社会福祉法人恵泉会	法人本部	職員1名
R7.4.28、～5.29	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	オンライン	職員1名
R7.06.13	リハビリテーションと栄養について	登米市栄養士会	登米市合同庁舎	職員1名
R7.06.16	共生社会と認知症カフェの役割	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.06.30	生産性向上ビギナーセミナー	厚生労働省	オンライン	職員1名
R7.7.8～7.11	ユニットリーダー実地研修	ユニットケア推進センター	ルグネット岩ケ崎	職員1名
R7.7.1、7.24	蛍光塗料を用いた手指消毒、手洗い研修	登米市立米谷病院	米谷病院	職員4名
R7.07.10	普通救命講習	登米地区地域医療対策委員会	登米市消防本部	職員1名
R7.07.29	指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻市合同庁舎	職員1名
R7.08.07	生産性向上フォローアップセミナー	厚生労働省	オンライン	職員1名
R7.08.22	レジリエンス研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.08.22	管内栄養士会研修	宮城県石巻保健所	石巻市合同庁舎	職員1名
R7.09.02	登米市介護サービス事業者集団指導	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.9.4・5・17・18	認知症介護実践者研修	宮城県	介護研修センター	職員1名
R7.09.25	他事業支所業務体験研修（交換研修）	社会福祉法人恵泉会	若草園	職員1名
R7.09.26	石巻・登米在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県石巻保健所	登米市合同庁舎	職員1名
R7.10.07	認知症対応研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.10.07	口腔ケアの必要性とポイント研修	宮城県介護研修センター	介護研修センター	職員1名
R7.10.07	社会福祉施設保険担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.10.10	高齢者肺炎予防研修　嚥下の基礎と口腔ケア	石巻地域肺炎ネットワーク	石巻市赤十字病院	職員1名
R7.10.14	ケアマネジャー協会登米支部研修	ケアマネジャー協会登米支部	中田改善センター	職員1名
R7.10.14	養介護施設従事者等による高齢者虐待研修	宮城福祉オンブズマンネット「エール」	オンライン	職員1名
R7.10.10	褥瘡研修「褥瘡発生、悪化を予防しよう」	登米市	登米市民病院	職員1名
R7.11.11	令和7年度地域課題情報交換会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.12.04	令和7年度家族介護者交流研修会講師派遣	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.12.09	安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	中田改善センター	職員1名
R7.12.12	福祉サービスの苦情解決に関する研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.12.12	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市民病院	職員1名
R7.12.17	宮城県DWAT(災害派遣福祉チーム)の役割について	宮城県社会福祉協議会	迫公民館	職員1名
R7.12.17	令和7年度登米地区連絡協議会合同研修会	宮城県老人福祉協議会	迫風園	職員1名
R7.12.2、R8.1.22	蛍光塗料を用いた手指消毒、手洗い研修	登米市立米谷病院	米谷病院	職員4名
R8.01.20	福祉用具活用研修	宮城県介護研修センター	オンライン	職員2名
R8.01.23	高齢者虐待防止の基本について	登米市	南方庁舎	職員1名
R8.01.26	認知症実践リーダー研修	宮城県	介護研修センター	職員1名
R8.02.13	感染対策の基本について理解を深める	サラヤ株式会社メディカル事業本部	オンライン	職員4名
R8.02.13	福祉現場におけるリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R8.03.13	東北ブロック感染症対策研修会	一般社団法人日本環境感染学会	オンライン	職員1名
R8.01.20	福祉用具活用研修	宮城県介護研修センター	オンライン	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	実施回数	参加職員
ユニット会議(3ユニット)	業務課題、問題の検討、24hシートの見直し	各12回	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討	12回	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等についての検討	12回	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明	6回	施設職員、登米市、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を基に入居可否の検討	6回	各セクション職員
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	15回	施設長、介護支援専門員、各部代表
モニタリング	ケア・サービスに関する協議	65回	施設長、介護支援専門員、各部代表
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討	12回	施設長、栄養士、調理員、SV、各委員

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
R7.11.04	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	実施回数	参加職員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修計画し実行	6回	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	5回	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直しの作成	5回	施設長、各委員
感染症・褥瘡予防対策検討委員会	感染症・褥瘡の予防対策についての検討	4回	施設長、各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	12回	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	4回	施設長、各委員、外部委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み	4回	施設長、各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	13回	施設長、各委員、購入担当者
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	10回	施設長、各委員、ユニット職員
生産性向上委員会	介護の価値を高めるため業務改善へ向けての取り組み	12回	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.09.19	東和よさこいサークル	よさこい、フラダンス演舞、マジックショー	8名
R7.10.25	Bigねっと	よさこい演舞	6名
R7.12.11	公益財団法人宮城県文化振興財団	電子ピアノ、フルート、チェロの3重奏	5名
R8.03.02	学校法人さくら学園認定こども園 さくら幼稚園	遊戯、歌の披露、交流会	22名
計			41名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R7.5/7～9/3	宮城県登米総合産業高等学校	介護実習Ⅱ	1名	16名
計			1名	16名

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

① かかりつけ医（嘱託医）による定期的な診察（回診）は基より、急変時の相談・対応ができるよう連絡方法や対応方法について確認を行う等連携を強化していきます。また、新興感染症発生時の対応等、協力医療機関との連携体制の構築に努めていきます。

② 入居者様の意思及び人格を尊重し生活に対する意向を踏まえ、アセスメント、課題分析、ケアプラン作成、モニタリングまで質の高い公正中立なケアマネジメント提供していきます。

③ 看取り介護に対する入居者様、家族の意向を踏まえかかりつけ医（嘱託医）、看護職員、生活相談員、介護職員、介護支援専門員、管理栄養士が共同で入居者様がその人らしく生き、その人らしい最期が迎えられるよう支援を継続していきます。

④ 新興感染症等の予防は基より発生時の対応について、業務継続計画（BCP）訓練や研修を行い対応力を強化していきます。

⑤ 高齢者虐待防止について、虐待防止・身体拘束防止委員会が中心となり、虐待防止に資する研修や虐待の芽チェックリストを定期的に実施し高齢者虐待防止を推進します。

⑥ 認知症のある方の尊厳を守り、本人のペースを大事に安心した生活が送れるよう継続して取り組みを行っていきます。研修の受講で認知症介護に対する理解と技術の向上を図ります。

⑦ 認知症カフェを開催し、地域、社会とつながりを持てるよう取り組みます。

2. 自立支援・重度化防止に向けた対応

① 入居者様一人一人の個別機能訓練、口腔管理、栄養管理を一体的に取り組みます。

② 入居者様の自立支援・重度化防止に係る取り組みとして、施設サービスの質を常に向上させていくために、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルにより、質の高いサービスを提供する体制を維持していきます。また、LIFEにて入居者様一人一人のデータを有効に活用していきます。

③ 24時間シートを作成し、本人が「できる事」「支援が必要な事」を明確にし入居者様一人一人が、その人らしい自立した生活が送れるよう支援します。

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

① 生産性向上委員会を中心に、入居者様の安全並びに介護サービスの質の確保、職員の負担軽減や効率的なサービス提供に資する方策を検討していきます。

② 法人の第三者評価で抽出した改善項目について、検討を行い改善に向け全職員で共有し取り組んでいきます。

③ 介護ロボットや入居者に合わせた見守り機器、介護支援システム等（ICT）を活用しサービスの質の向上と業務負担の軽減を図ります。

④ ユニットの特徴を活かし、入居者様、職員間において、親和性の高い関係を構築できるよう各ユニット間の勤務体制に係る取り扱いを明確にしていきます。

⑤ 職員一人一人が意欲と自信をもって働けるように、研修等を通じてハラスメント対策を継続して行っていきます。

⑥ 施設内研修や外部研修に参加し職員の能力を引き上げるとともに、先を見通すことができる人材を養成していきます。

⑦ 人事考課制度において、職員一人一人が掲げた目標を達成し、更なるステップに進めるようにするとともに、その能力を伸ばしながら次世代を担う職員養成をおこないます。

4. 制度の安定性・持続性の確保

① 災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、消防計画や自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づいた研修、訓練の実施を進めます。

② 地区の防災訓練に参加し地域連携を図ります。

③ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、目標稼働率維持や省エネ、経費節減に向けた取り組みを進めます。

④ ほたるの郷開設15年目であり、施設設備の不具合や老朽化が進んでいることから、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員で共有しながら事業を展開していきます。

⑤ 介護福祉士養成実習指導施設として、資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを受入、次世代の介護の担い手の養成と人材確保に繋げます。

⑥ 法人のホームページや宮城県介護サービス情報の公表制度など、Webサイトを通じて施設の情報発信を行います。

⑦ マニュアル検討委員会において、ほたるの郷の各種マニュアルを定期的に見直しを行い全職員に共有、理解し業務にあたれるよう継続していきます。

令和7年度
恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成5年3月15日
5. 利　用　定　員　　45 名

通所介護・日常生活支援総合事業通所型サービスは、介護保険法に定める基準に基づき設置・運営を行いました。また、基準該当生活介護は、障害者総合支援法に基づき設置・運営を行いました。

ご利用者や在宅介護するご家族のニーズを十分満たすことが出来るよう要介護状態になった場合においても、ご利用者が可能な限り住み慣れた地域、居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が送れることを念頭に置き支援しました。ご利用者やご家族が利用を望む限り、看護師や多職種で協力し受け入れ態勢を整え利用していただきました。ご利用者の在宅生活を支えると共に、在宅介護をされているご家族に寄り添い、急なスポット利用なども柔軟に受け入れることで身体的及び精神的負担の軽減を図ることに努めました。

また、重度や障害のある方を積極的に受け入れ、職員の介護技術の向上、知識等のスキルアップを図り自己啓発に努めました。

ご利用者の体調管理やリスク管理を行うと共に感染症や災害が発生した場合には、事業継続計画（BCP）をもとにサービス提供ができるよう訓練や研修を実施しました。

新たな試みとして、長時間のデイサービスに抵抗がある方や機能訓練を重視したい方に、半日（機能訓練・入浴）または短時間利用の受け入れを検討し取り組みをはじめました。利用契約につながるよう実施内容等を継続して検討します。

オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催や季節の行事（夏祭り）にて施設を開放することにより、事業所に対して理解していただくことで、地域から信頼され今まで以上に地域に根ざした施設運営を目指しました。

今後も在宅生活を支援する施設として、家族や居宅事業所、医療関係者等との連携を図り、ご利用者が安心、安全に利用できるよう質の高いサービスを提供できるようサービスを行います。

【　重　点　項　目　】

1. 在宅生活の継続・・・個別機能訓練加算Ⅰイ、個別機能訓練加算Ⅱを取得し、身体機能の維持向上に向け機能訓練に力を入れ実施しました。ボディスパイダー（運動機器）を使用し、機能訓練の内容を厚くしたことで男性ご利用者が増えてきました。前年度より男女割合の比率で男性ご利用者が22.9%から27.3%と4.4%上昇していました。新規加算取得者もあり加算取得者は全利用者の50%前後をキープしました。ご利用者が機能訓練に対して興味関心が持てるよう実施方法を工夫したり、楽しく機能訓練を実施することで新規加算取得者を増やし、且つ、継続実施していけるよう環境作りを行いました。今後も加算取得者を増やし、在宅生活を継続するために精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指しました。

2. オレンジカフェ「えん」の開催・・・感染状況を確認しながら、2回開催することが出来ました。1回は東和・登米地域包括支援センターの職員の方々による認知症についての劇を行いました。利用者ご家族や地域の方の参加は少なかったものの、その日のご利用者と職員が認知症について一緒に学ぶことが出来ました。2回目は認知症予防の食事の講座や足湯、ボディスパイダーの体験を実施し好評でした。2回とも近隣にパンフレットを配布しましたが、なかなか参加までには至らなかったため、今後も継続していくことで事業所に対しての理解が得られるよう努めます。地域の方々が気軽に立ち寄れるような施設づくりを目指しました。

3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・感染症の状況を見ながらキッズつぼみ、恵はあとと七夕やクリスマス、ひな祭りなど季節の行事での交流会を実施しました。また、日頃から中庭で遊ぶ子供たちや、遠山荘のテラスで遊ぶ子供たちとの触れ合いや遊んでいる姿を眺めたり声を聞いているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。

4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・同じ日に同様の介護ミスをしてしまう事が続くときがありました。リスクマネジメント委員会にて再発防止のため検証は行ってきましたが、今後も介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い、改めて再発防止に努めていきます。また事故に伴う情報の周知や改善策の徹底を素早くきちんと職員に伝達し共通理解をしていきます。公用車（車両）の事故はありませんでした。ご利用者宅、道路状況などの共有を図り事故防止に努めました。また、運転手と同乗している介護職員と連携を図り、必ず降車して誘導することを徹底しました。

5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めました。稼働率を上げ収入を増やすことを目指しましたが、終結が多くなり、稼働率、収入ともに上がらない状況でした。重度のご利用者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得や機能訓練の重点化だけでなく、職員の介護技術の向上と施設機能の専門性を深め、効果的なサービスを提供することでご利用いただけるよう努めました。今後は機能訓練と入浴を実施する半日利用や短時間利用を希望される方も積極的に受け入れ、70歳代、60歳代のご利用者の獲得と安定的な経営を目指します。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　10,400 名
2. 年 間 稼 働 日 数　309 日
3. 年 間 稼 働 率　74.79 % (通所介護＋総合事業)
　(74.56) % (通所介護)
　(0.23) % (総合事業)
4. 年間平均介護度　2.59 (通所介護)
5. 月 別 利 用 状 況　(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	124	143	140	168	182	181	181	171	190	175	166	174	1,995
要介護 2	298	281	235	280	274	267	280	283	302	244	229	287	3,260
要介護 3	252	278	235	260	272	244	251	245	236	209	211	248	2,941
要介護 4	137	114	92	114	94	93	105	145	126	117	114	124	1,375
要介護 5	101	80	79	70	66	59	42	37	42	78	71	72	797
計	912	896	781	892	888	844	859	881	896	823	791	905	10,368
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	8	2	0	0	0	0	0	2	4	4	4	24
要支援2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
計	8	8	2	0	0	0	0	0	2	4	4	4	32
合 計	920	904	783	892	888	844	859	881	898	827	795	909	10,400

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	2	3	6	0	4	0	3	8	4	1	3	37
契約終了者数	8	6	4	2	1	2	2	1	5	4	2	4	41
月末契約者数	87	83	82	86	85	87	85	87	90	90	89	88	－4

【ご利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
(1) 行事

実 施 日	行 事 名	内 容	参 加 者 数
R7.04.11～ R7.04.22	桜外出(8日間)	桜の見学、ドライブ	利用者 64名 職 員 18名
R7.04.15～ R7.04.30	チューリップ外出(7日間)	チューリップの見学、ドライブ	利用者 50名 職 員 16名
R7.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯，足湯	利用者 31名 職 員 0名
R7.05.12～ R7.05.30	初夏の新緑ドライブ(9日間)	新緑の見学、買い物(東和、三滝堂方面)	利用者 60名 職 員 18名
R7.05.21	創立記念カラオケ喫茶	カフェの実施、カラオケ	利用者 37名 職 員 10名
R7.06.17～ R7.07.05	紫陽花見学(7日間)	紫陽花の見学(チャチャワールド、大嶽山)	利用者 15名 職 員 13名
R7.06.25	レクリエーション大会	レクリエーション(新聞レク2種目)、体操	利用者 33名 職 員 6名
R7.07.07	七夕交流会	キッズつぼみ余興，七夕ゲーム	利用者 36名 職 員 13名
R7.07.24	VR体験	VR体験	利用者 2名 職 員 1名

R7.08.05	合同夏祭り	ボランティア演目（清水明様），出店（ヨーヨー，射的），かき氷，やきそばなど	利用者 40名 職　員 18名
R7.08.22 R7.08.27	蓮見学ドライブ	蓮の見学、ドライブ	利用者 25名 職　員 8名
R7.08.21	外食行事	外食ドライブ(鉄兵衛佐沼)	利用者 4名 職　員 2名
R7.09.10 R7.09.11 R7.09.12	長寿を祝う会	ボランティア演目、年祝い紹介、祝い品贈呈(3日間実施)	利用者 93名 職 員 48名
R7.09.20	とよま秋祭り見学	山車見学、かき氷・麦茶提供	利用者 32名 職　員 12名
R7.09.24 R7.09.29	外出行事	買い物外出(生協加賀野店)	利用者 6名 職　員 4名
R7.10.29	ミニ運動会	仮装リレー、玉入れ競争、筒通しリレーなど	利用者 30名 職　員 16名
R7.11.08	とよま文化祭見学	製作作品の展示、文化祭見学	利用者 10名 職　員 4名
R7.11.12 R7.11.13 R7.11.14	外出行事	紅葉見学、登米市歴史博物館「火縄銃の魅力」見学	利用者 19名 職 員 6名
R7.11.26	百寿お祝い会	ボランティア，祝い品贈呈	利用者 33名 職　員 14名
R7.12.03	外出行事	初詣外出(津島神社)	利用者 6名 職　員 2名
R7.12.13	ボランティア慰問	ボランティアによる舞踊披露	利用者 37名 職　員 12名
R7.12.19	クリスマス交流会	キッズつぼみ余興、職員による余興(ハンドベル)	利用者 27名 職　員 16名
R7.12.22	ゆず湯	ゆず湯、足湯	利用者 41名 職　員 0名
R7.12.25	クリスマス会	ボランティアによる舞踊披露、ケーキの提供	利用者 39名 職　員 15名
R8.01.05 R8.01.06 R8.01.14	新年の行事	お屠蘇配り、クッキング、新年会（ボランティア余興）など(3日間実施)	利用者 112名 職 員 48名
R8.01.20	外出行事	登米市歴史博物館「火縄銃の魅力」見学	利用者 4名 職　員 2名
R8.01.21	外出行事	初詣外出(津島神社)	利用者 4名 職　員 2名
R8.02.13 R8.02.14	バレンタインカフェ	バレンタインカフェ(2日間実施)	利用者 69名 職 員 26名
R8.03.01	百寿お祝い会	ボランティア，祝い品贈呈	利用者 40名 職　員 15名
R8.03.03	ひな祭り交流会	キッズつぼみ余興、レクリエーション(風船噴火リレー)	利用者 29名 職　員 10名

【その他の利用者サービス】

1．年間延べ利用人員　　205　名
2．年 間 稼 働 日 数　　309　日
3．年　間　稼　働　率　　1.47　％

4. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
基準該当生活介護	区分1													0
	区分2										4	10	12	26
	区分3													0
	区分4	8	7	6	7	8	6	8	5	6	7	8	8	84
	区分5	9	9	8	9	10	9	10						64
	区分6					3	3	5	4	4	4	5	3	31
	計	17	16	14	16	21	18	23	9	10	15	23	23	205

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.05.21	車両誘導研修	介護福祉士	6名
R7.05.22	車両誘導研修	介護福祉士	4名
R7.05.23	車両誘導研修	介護福祉士	2名
R7.05.28	車両誘導研修	介護福祉士	3名
R7.05.26	感染症予防研修	看護師	14名
R7.05.27	感染症予防研修	看護師	11名
R7.06.17	食中毒予防研修	栄養士	14名
R7.06.18	食中毒予防研修	栄養士	3名
R7.07.28	健康教室「熱中症予防について」	看護師	8名
R7.07.29	健康教室「熱中症予防について」	看護師	6名
R7.07.25	リスクマネジメント研修	介護福祉士	4名
R7.07.30	リスクマネジメント研修	介護福祉士	5名
R7.07.31	リスクマネジメント研修	介護福祉士	4名
R7.08.19	法令遵守に関する研修	施設長	5名
R7.08.26	法令遵守に関する研修	施設長	7名
R7.08.29	法令遵守に関する研修	施設長	7名
R7.09.25	入浴研修	介護福祉士	6名
R7.09.30	入浴研修	介護福祉士	5名
R7.10.03	入浴研修	介護福祉士	1名
R7.10.16	救命救急研修	登米市消防署	2名
R7.11.13	火災通報装置取り扱いに関する研修	迫防災	4名
R7.12.01	火災通報装置取り扱いに関する研修	迫防災(動画伝達研修)	6名
R7.12.02	火災通報装置取り扱いに関する研修	迫防災(動画伝達研修)	4名
R7.11.25	権利擁護(高齢者虐待防止・身体拘束廃止)研修	管理者	4名
R7.12.09	権利擁護(高齢者虐待防止・身体拘束廃止)研修	管理者	4名
R7.12.16	権利擁護(高齢者虐待防止・身体拘束廃止)研修	管理者	6名
R7.12.18	権利擁護(高齢者虐待防止・身体拘束廃止)研修	管理者	4名
R7.12.15	健康教室「薬の副作用について」	看護師	7名
R7.12.16	健康教室「薬の副作用について」	看護師	8名
R7.12.08	認知症研修	介護福祉士	3名
R7.12.09	認知症研修	介護福祉士	4名
R7.12.11	認知症研修	介護福祉士	4名
R7.12.30	認知症研修	介護福祉士	3名
R8.01.26	健康教室「感染症予防について」	看護師	11名
R8.01.23	介護実践研修「おむつ交換」	介護福祉士	3名
R8.01.29	介護実践研修「おむつ交換」	介護福祉士	3名
R8.02.28	健康教室「食と健康管理について」	栄養士	6名
R8.03.04	健康教室「食と健康管理について」	栄養士	7名
R8.03.27	介護保険制度の理解	管理者	5名
R8.03.30	介護保険制度の理解	管理者	6名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.05.29 ～ R7.10.24	令和7年度「介護職　中堅職員研修」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R7.06.06	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(初任者向け研修)	登米市	南方町	職員1名
R7.06.16	令和7年度登米市認知症カフェ研修会	登米市	南方町	職員1名
R7.06.30	令和7年度認知症キャラバン・メイト養成研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R7.07.10	令和7年度「高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修」	宮城県老人福祉施設協議会	Web研修	職員1名
R7.07.10	救命救急講習会	登米地区地域医療対策委員会	迫町	職員1名
R7.08.22	令和7年度「生活相談員研修」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R7.08.22	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待防止研修)	登米市	南方町	職員1名
R7.09.05	「高齢者・障害者虐待防止」についての研修会	宮城県グループホームマネジャー協会石巻支部	石巻市	職員1名
R7.10.14	令和7年度宮城県高齢者権利擁護推進研修②「権利擁護推進員養成研修」	宮城福祉オンブズネット「エール」	Web研修	職員1名
R7.11.12	令和7年度宮城県高齢者権利擁護推進研修③権利擁護事例検討会	宮城福祉オンブズネット「エール」	Web研修	職員1名
R7.11.28	令和7年度「アセスメント・ケア向上研修会」	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R7.12.03	令和7年度登米地区地域ネットワーク会議	登米市東和・登米地域包括支援センター	登米町	職員1名
R7.12.11	令和7年度デイサービスセンター管理者等意見交換会	宮城県老人福祉施設協議会デイ部会	石巻市	職員1名
R7.12.12	令和7年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	Web研修	職員1名
R7.12.17	登米地区連絡協議会合同研修会	迫地域包括支援センター	迫町	職員1名
R7.12.23	令和7年度宮城県高齢者権利擁護推進研修④「看護職員研修」	宮城福祉オンブズネット「エール」	Web研修	職員1名
R8.01.24	令和7年度介護職種の技能実習指導員講習	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	年12回	全職員
ケア会議	行事やケアの内容見直し業務連絡の共通理解と周知徹底	年12回	生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	年12回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	年8回	生活相談員
各種部会	法人内の各部門別の会議にて法人全体として意思の統一を図る	月1回～2ヵ月に1回	各種職員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	年12回	生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委　員　会　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	年12回	管理者・リスクマネジメント委員会

業務改善(生産性向上)委員会	介護サービスの質の向上に向けた検討、改善	年10回	管理者・業務改善(生産性向上)委員会
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	年11回	管理者・感染褥瘡検討委員会
高齢者虐待 身体拘束廃止検討委員会	高齢者虐待防止・身体拘束廃止に向けての検討	年12回	管理者、高齢者虐待 身体拘束検討委員会
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	年11回	褥瘡予防検討委員会
研修委員会	職員の資質向上を図りサービスの質的向上に繋げる	年12回	管理者・研修委員会
給食委員会	給食についての検討	年12回	給食委員会・委託業者
防災委員会	防災についての検討	年4回	防災委員会
マニュアル検討委員会	各マニュアルの見直し、検討	年2回	管理者・マニュアル検討委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.08.05	清水明(清水バンド)様　御一行	バンド演奏＆歌	4名
R7.09.10	日本郷土民謡協会・登米支部	民謡	5名
R7.09.11	オカリーナ・ミモザ	オカリナ演奏	7名
R7.09.12	羽衣の会	日本舞踊・芝居	3名
R7.11.26	羽衣の会	日本舞踊	1名
R7.12.13	ひまわりの会	舞踊等	5名
R8.01.14	くだり坂MTB	踊り・体操	8名
R8.03.02	ボランティア歌舞団	歌と踊り	7名
	合計		25名

2. 認知症カフェ　プチ・ルポ「えん」開催

発行日	内容	講師	参加人数
R8.02.17	「認知症について」(劇)	東和・登米地域包括支援センター職員	57名
R8.03.15	「食事で認知症を予防しましょう」	栄養士　跡部紗緒里	22名
実施回数	2回	延べ参加者人数	79名

【今後の取り組み】

1. ご利用者が重度の介護状態になっても、住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ、必要に応じた個別リハビリ等を提供します。
2. オレンジカフェ(認知症カフェ)を開催し事業所を開放することで、遠山荘をより理解していただくと共に地域全体で認知症の理解を深めます。また、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。
3. 隣接するサービス付高齢者向け住宅「恵はあと」、恵泉会ヘルパーステーション、事業所内保育所「キッズつぼみ」との連携または交流を継続実施し、生きがい作りの場を提供します。
4. ご利用者が基礎疾患を抱え重症化のリスクがあることから、ご利用者一人ひとりの健康状態を把握し担当ケアマネジャーや主治医等との連携を図り、状態の変化に早めに気付くことで重症化を防ぐよう努めます。また、職員間での情報共有や研修を実施することにより介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを実施していきます。
5. 職員に対し施設内外の研修を計画し、知識、技術のスキルアップに努めます。また、看護師の持続的な配置と職員の技術向上に伴い、重度や障害のある方等も積極的に受け入れることでご利用者確保を目指すと共に、節水・節電を心掛け経費削減に努めます。
6. 新型コロナウイルス感染症に関しては、第5類へ変更され、事業継続計画(感染症BCP)が義務化となったことに伴い、BCPの随時見直しと、それに基づいた研修を行いご利用者の安全安心な生活を確保できるよう努めます。また、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化リスクがあるため、他の感染症同様に福祉施設として今後の国や県からの通知等に合わせて対応します。
7. 非常災害対策として、災害が発生した場合におけるご利用者の安全確保体制や避難方法等を定めた計画を策定し、定期的に研修や訓練を実施し、災害発生後においても事業継続計画(BCP)に従いご利用者へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備していきます。

令和7年度
恵泉会デイサービスセンターほんわか　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211－5
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成21年　3月15日
5. 利　用　定　員　　10 名

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することが出来ています。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組むことが出来ました。
創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られました。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂けました。季節の移り変わりを感していただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供出来ました。交流面に於いては、中田保育園との交流会も実施することができ、行事においても計画通りに実施出来ました。また、運営推進会議を2回開催し、委員の方々より直接話を聞くことが出来ました。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供ができました。今年度は、感染症や、ご利用者の状態低下により施設入所等が重なり安定した利用とまでは行かず、年間稼働率77.77％と当初予定していた稼働率を達成出来ませんでした。職員研修においては一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めることが出来ました。

【　重　点　項　目　】

1. ご利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又ご利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供が出来ました。
2. サービス会議やモニタリング等でご利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供が出来ました。
3. 担当者会議においてご利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネジャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、ご利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることが出来ました。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることが出来ました。変化のあった際は家族やケアマネジャーに迅速に連絡して対応することが出来ました。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供が出来ました。おやつは健康状態に配慮し、バラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことが出来ました。
6. タオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事が出来ました。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ（柔道整復師によるマッサージ）の実施で身体機能の維持を図る事が出来ました。
7. 地域のボランティアを招いての交流は、感染対策を継続しながら計画した行事を提供することが出来ました。
又、運営推進会議で2回開催し、ほんわかの様子を伝え地域の方々やご家族にも伝える事が出来ました。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めました。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことが出来ました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　2,403 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　309 日
3. 年 間 稼 働 率　　77.77 ％　（通所介護・総合事業）
　　76.60 ％　（通所介護）
　　1.17 ％　（総合事業）
4. 年間平均介護度　　2.62 （通所介護）

5. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	26	23	27	30	34	32	31	25	32	23	23	32	338
要介護 2	30	36	41	50	53	40	47	49	37	41	47	40	511
要介護 3	98	98	95	105	98	96	107	104	111	105	100	115	1,232
要介護 4	42	29	27	27	15	19	15	14	25	24	23	25	285
要介護 5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	197	186	190	212	200	187	200	192	205	193	193	212	2,367
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	6	8	7	8	7	36
計	0	0	0	0	0	0	0	6	8	7	8	7	36
合　計	197	186	190	212	200	187	200	198	213	200	201	219	2,403

6. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	2	1	9
契約終了者数	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	7
月末契約者数	16	16	17	17	17	17	19	20	19	19	21	20	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R7.4.26	春のすごろく散歩	春にちなんだイラストや写真、お題を盛り込んだ大きなすごろくシートで、すごろくを行いました。	利用者　7名 職　員　3名
R7.5.3 R7.5.5	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂きました。	利用者　15名 職　員　4名
R7.6.18	ラダーゲッター大会	ラダーゲッターというスポーツ・レクリエーションを通して、身体機能の維持向上とコミュケーションの促進を図りました。	利用者　8名 職　員　4名
R7.7.8	七夕会	七夕の由来や日本伝統行事への理解を深めながら笹飾りなど共同作業を通して利用者同士のコミュニケーションを図りました。	利用者　8名 職　員　5名
R7.8.18	夏祭り	夏祭りの模擬店や屋台の雰囲気を味わい楽しんで頂きながら、利用者様同士の交流を図りました。	利用者　9名 職　員　5名
R7.8.29	音楽交流会	外部ボランティアの講師をお招きし、音楽に合わせて身体を動かしたり歌ったりする事で身体機能の維持向上を図りました。	利用者　9名 職　員　4名
R7.9.11 R7.9.12	長寿を祝う会	ご長寿様の式典を執り行い職員でお祝いすると共に、御祝い膳を食べたり、ボランティア団体をお招きし余興を鑑賞されながら楽しい時間を過ごされました。	利用者　18名 職　員　10名
R7.10.17	ゴルフ大会	ゲームを通して心身機能の維哉向上、また、利用者同士のコミュニケーションを図りました。	利用者　9名 職　員　4名
R7.11.19	レクリエーション大会	レクリエーションを通して利用者同士の交流を図ると共に脳の活性化と身体維持向上を図りました。	利用者　9名 職　員　3名
R7.12.23 R7.12.25	クリスマス会	他の利用者様と親睦を深め、クリスマスの雰囲気を感じていただきました。	利用者　19名 職　員　8名
R7.12.16	中田保育所交流会	中田保育所の園児の皆さんが来所され、交流を通じて繋がりを深めていただきました。	利用者　8名 職　員　4名
R8.1.14 R8.1.16	新年会	新しい年の訪れをともに喜び、コミュニケーションを図り楽しんでいただきました。	利用者　19名 職　員　8名
R8.2.03 R8.2.04	節分会	一年間の無病息災と幸せを願う伝統行事である節分をレクリエーションを通して楽しんでいただききました。	利用者　16名 職　員　8名
R8.3.3	ひな祭り会	春の訪れを感じながら桃の節句をお祝いし楽しんでいただきました。	利用者　10名 職　員　3名

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.5.21	新任研修	ほんわか職員	職員1名
R7.6.10	食中毒に関する研修	ほんわか職員	職員2名
R7.7.29	介護実践に関する研修	ほんわか職員	職員4名
R7.819 R7.8.22	法令遵守(コンプライアンス)研修	ほんわか職員	職員5名
R7.10.14 R7.11.12 R7.11.25	身体拘束虐待防止(前期)に関する研修	ほんわか職員	職員4名
R7.10.30	リスクマネジメントに関する研修	ほんわか職員	職員3名
R8.2.16	介護実践(入浴)に関する研修	ほんわか職員	職員4名
R8.2.17	身体拘束虐待防止(後期)に関する研修	ほんわか職員	職員4名
R8.2.25	認知所ケアに関する研修	ほんわか職員	職員3名
R8.3.12 R8.3.16	自然災害発生時におけるBCP研修及び机上訓練	ほんわか職員	職員5名
R8.3.25 R8.3.27	新型コロナウイルス感染症発生時における BCP研修及び訓練	ほんわか職員	職員5名

（2）外部研修

年　月　日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.9.5	登米市中田・石越地域高齢者ネットワーク会議	中田・石越地域包括センター	中田農村環境改善センター	職員1名
R7.11.12	宮城県高齢者権利擁護推進研修	特定非営利活動法人宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R7.12.11	令和7年度介護従事者向け研修モチベーションアップ講演会	岩手県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R7.12.1～16	認知症介護基礎研修e-ラーニング	認知症介護研究・研修仙台センター	オンライン	職員1名
R8.3.13	東北ブロック感染対策研修会	一般社団法人日本環境感染学会	オンライン	職員1名

2．会 議 開 催 状 況

（1）定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	年7回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災委員会	令和7年度消防計画書について	R7.4.16	職員4名
	通報訓練実施・総合防災訓練について	R7.5.14	職員5名
	令和7年度総合防災訓練、消火訓練実施について	R7.6.13	職員4名
	防災教室について	R7.7.11	職員4名
	防災教室、避難訓練(火災)について	R7.8.15	職員3名
	防災教室、避難訓練(火災)について	R7.9.9	職員4名
	防災教室実施、不審者対応訓練について	R7.10.16	職員3名
	避難訓練(火災)実施、不審者対応訓練について	R7.11.13	職員3名
	不審者対応訓練、BCP訓練について	R7.12.15	職員3名
	不審者対応訓練、BCP訓練について	R8.1.15	職員4名
	不審者対応訓練実施、BCP訓練について	R8.2.10	職員3名
	BCP訓練、防災教室(自然災害、火災)について	R8.3.11	職員4名
研修委員会	令和7年度年間施設内外研修計画について	R7.4.17	職員2名
	コミュニケーション研修について	R7.5.9	職員3名
	食中毒予防研修について	R7.6.18	職員3名
	介護実践研修について	R7.7.29	職員3名
	法令遵守研修について	R7.8.22	職員3名
	身体拘束虐待防止・プライバシー保護に関する研修	R7.9.17	職員3名
	リスクマネジメント研修について	R7.10.24	職員3名
	感染症対策について	R7.11.19	職員3名
	認知症研修について	R7.12.18	職員3名
	BCPマニュアル図上訓練(感染)について	R8.1.20	職員3名
	苦情解決に関する研修について	R8.2.17	職員3名
	4月の研修について	R8.3.19	職員3名
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び事故の定義と分類について	R7.4.25	職員3名
	前月の事故報告の検証及び介助方法の見直し	R7.5.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び公用車取り扱い、乗車前点検について	R7.6.24	職員4名
	前月の事故報告の検証及び4月～6月事故報告集計、危険箇所の確認	R7.7.23	職員3名
	前月の事故報告の検証及び介助方法の見直し	R7.8.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び危険個所と介助方法の見直し	R7.9.24	職員3名
	前月の事故報告の検証及び7月～9月事故報告集計、危険箇所の確認	R7.10.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び危険個所と介助方法の見直し	R7.11.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び危険個所と介助方法の見直し	R7.12.22	職員3名
	前月の事故報告の検証及び10月～12月事故報告集計	R8.1.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び送迎時等の交通マナーについて	R8.2.28	職員3名
	前月の事故報告の検証及び危険個所と介助方法の見直し	R8.3.23	職員3名

生産性向上委員会	令和7年度事業計画、重要事項説明書変更、ケース記録方法について	R7.4.16	職員4名
	生産性向上委員会について	R7.5.14	職員5名
	活動計画、ケース記録方法について	R7.6.13	職員4名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画について	R7.7.11	職員4名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画について	R7.8.15	職員3名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R7.9.9	職員4名
	サービス評価、職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R7.10.16	職員3名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R7.11.13	職員3名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R7.12.15	職員3名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R8.1.15	職員4名
	斉菱評価報告、職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、チラシ作成について	R8.2.10	職員3名
	職員のタイムテーブルの見直し、個別活動計画、について	R8.3.11	職員4名
褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R7.4.30	職員4名
	状況確認と対応について	R7.5.28	職員3名
	状況確認と対応について	R7.6.24	職員4名
	状況確認と対応について	R7.7.23	職員3名
	状況確認と対応について	R7.8.28	職員3名
	状況確認と対応について	R7.9.24	職員3名
	状況確認と対応について	R7.10.28	職員3名
	状況確認と対応について	R7.11.28	職員3名
	状況確認と対応について	R7.12.22	職員3名
	状況確認と対応について	R8.1.28	職員3名
	状況確認と対応について	R8.2.28	職員3名
	状況確認と対応について	R8.3.23	職員3名
感染症対策検討委員会	新型コロナウイルス感染状況及び簡易検査について	R7.4.17	職員4名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.5.9	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.6.18	職員3名
	感染予防対策、バルサン消毒実施について	R7.7.29	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.8.22	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.9.17	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.10.24	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.11.19	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R7.12.18	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R8.1.20	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R8.2.17	職員3名
	利用者の感染症状況と感染対策について	R8.3.19	職員3名

身体拘束廃止検討委員会	身体拘束、虐待防止、研修計画について	R7.4.16	職員4名
	身体拘束、虐待防止について	R7.5.14	職員5名
	身体拘束、虐待防止、職員アンケートについて	R7.6.13	職員4名
	身体拘束、虐待防止、職員アンケートについて	R7.7.11	職員4名
	身体拘束、虐待防止について	R7.8.15	職員3名
	身体拘束、虐待防止、職員アンケート結果について	R7.9.9	職員4名
	身体拘束、虐待防止、内部研修について	R7.10.16	職員3名
	身体拘束、虐待防止について	R7.11.13	職員3名
	身体拘束、虐待防止について	R7.12.15	職員3名
	身体拘束、虐待防止、職員アンケートについて	R8.1.15	職員4名
	身体拘束、虐待防止、内部研修について	R8.2.10	職員3名
	身体拘束、虐待防止について	R8.3.11	職員4名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R7.8.29	リトミック研究センター認定音楽教室 みゅーじっくさろん	音楽交流会にて音楽療法による音楽教室	1名
R7.9.11	登米市社会福祉協議会	長寿を祝う会にて演芸披露	4名
R7.9.12	登米市社会福祉協議会	長寿を祝う会にて演芸披露	4名
R7.12.16	中田保育園　園児、先生	交流会にて歌や踊りなどの披露	18名
R8.1.14	ほたるの郷　佐藤智鶴施設長	新年会にて三味線演奏	1名
R8.1.16	登米市社会福祉協議会	新年会にて歌や踊りなどの披露	3名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
計			0名	0名

【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所を目指します。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指します。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指しま
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供していきます。
5. 目標稼働率90%以上を達成するよう努めます。

令和7年度
恵泉会ヘルパーステーション　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成17年4月15日

利用者個々の有する能力に応じ、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援しました。退院後、在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護支援専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めてきました。また、恵はあと、遠山荘、とよま介護支援センターと、共通利用者の支援がより円滑かつ効果的に行われるよう情報共有と連携し対応を進めました。

障害者サービスにおいて、在宅で日常生活を営むことができるよう、自立に向け相談や助言など一人ひとりにあわせた援助を行いました。

【　重　点　項　目　】

1. 良質なサービスを提供するために、手順書の作成と同行訪問でサービス内容の確認・注意点などを細かく指導しています。また、質の高いサービスが提供できるよう、外部研修や内部研修に取組み訪問介護職員の専門性の向上に努めました。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護支援専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行いました。
3. 感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合でも必要なサービス提供が継続できるよう想定した机上訓練を実施したことで、職員の対応意識の向上と連携体制の確認ができました。

【　利　用　状　況　】

1. 年間延べ利用人員　　5,043　名
2. 年 間 稼 働 日 数　　365　日
3. 年 間 平 均 介 護 度　　3.09　（訪問介護）
4. 月 別 利 用 状 況

（ 延べ利用者数 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	61	55	50	51	52	56	57	53	62	63	71	85	716
要介護 2	82	101	111	106	136	143	129	101	101	100	88	92	1,290
要介護 3	93	68	52	52	26	22	33	43	38	34	29	28	518
要介護 4	68	64	79	88	67	58	71	79	102	107	91	106	980
要介護 5	65	110	103	88	77	87	112	100	94	85	76	85	1,082
計	369	398	395	385	358	366	402	376	397	389	355	396	4,586
要支援1	11	12	10	12	11	10	12	13	11	12	6	7	127
要支援2	23	14	9	12	13	11	12	22	13	13	12	12	166
事業対象者	20	23	15	17	19	13	15	8	8	10	8	8	164
計	54	49	34	41	43	34	39	43	32	35	26	27	457
合　計	423	447	429	426	401	400	441	419	429	424	381	423	5,043

5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	2	2	3	2	4	1	2	5	1	4	1	28
契約終了者数	5	4	1	1	0	4	1	4	2	1	6	4	33
月末契約者数	45	43	44	46	48	48	48	46	49	49	47	44	－5

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員　　1,134 名
2. 年 間 稼 働 日 数　　365 日
3. 月 別 利 用 状 況　　（延べ利用者数）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	6	7	6	8	7	6	7	7	7	7	6	2	76
	区分2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	区分3	7	5	4	4	1	0	1	0	0	0	0	0	22
	区分4	27	31	32	31	30	30	38	38	41	37	38	41	414
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	50	46	52	58	51	52	61	52	47	45	43	64	621
	計	91	89	94	101	89	88	107	97	95	89	87	107	1,134
	合　計	91	89	94	101	89	88	107	97	95	89	87	107	1,134

4. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	17
月末契約者数	25	25	25	25	9	10	10	10	10	10	10	10	－16

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
（1）内部研修

年 月 日	内　　容	講師（講演者）	参　加　者
R7.04.15	コンプライアンス研修について	ヘルパーステーション職員	職員5名
R7.05.16	緊急時・災害時の見直しについて	ヘルパーステーション職員	職員4名
R7.06.18	身体拘束、高齢者・障害者虐待防止について	ヘルパーステーション職員	職員4名
R7.07.18	感染症対策の強化BCPの見直しについて	ヘルパーステーション職員	職員4名
R7.08.18	食中毒の予防・蔓延防止	ヘルパーステーション職員	職員5名
R7.08.27	登録ヘルパー研修会（救急救命・熱中症について）	登米市消防署津山出張所	職員12名
R7.09.11	苦情対応・リスクマネジメントについて	ヘルパーステーション職員	職員5名
R7.10.17	身体拘束廃止、高齢者・障害虐待について	ヘルパーステーション職員	職員5名
R7.11.18	ハラスメントについて	ヘルパーステーション職員	職員5名
R7.12.22	「個人情報とプライバシー」	ヘルパーステーション職員	職員4名
R8.01.14	介護予防・要介護進行予防について	ヘルパーステーション職員	職員4名
R8.02.18	登録ヘルパー研修会（感染症BCP机上訓練、感染症予防・嘔吐物処理研修）	ヘルパーステーション職員	職員12名
R8.02.18	認知症の理解・ケアの基本	ヘルパーステーション職員	職員5名
R8.03.23	リスクマネジメントについて	ヘルパーステーション職員	職員4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.06.06	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.06.19	令和7年度障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	法人本部	職員1名
R7.07.28	令和7年度指定介護保険サービス事業者集団指導	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
R7.07.30	中高齢期の発達障害とその対応	宮城県	オンライン	職員1名
R7.08.22	令和7年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.10.07	令和7年認知症対応研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.11.18	令和7年度社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県	ハートフルセンター	職員1名
R7.12.12	令和7年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県	オンライン	職員1名
R8.03.25	令和7年度障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	法人本部	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議・委員会

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	月1回延べ12回	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回延べ12回	介護福祉士
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月1回延べ12回	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回延べ12回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する。	年4回延べ4回	介護福祉士
リスクマネジメント・事故防止委員会	事故報告の検証と訪問介護での介護事故について事例などを基に検証・周知する	月1回延べ12回	介護福祉士
人権擁護・権利擁護委員会	介護における高齢者の権利擁護について周知する	年6回延べ6回	介護福祉士
身体拘束・虐待防止委員会	虐待防止、身体拘束適正化への理解を深める	月1回延べ12回	介護福祉士

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び他事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努めます。また、併設されている恵はあと・とよま介護支援センター・キッズつぼみとの連携を図り防災・避難訓練についても協力していきます。

2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者が同行し良いサービス提供が出来るよう指導を行います。また,手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにします。

3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスが提供できるように積極的に研修会に参加し、訪問介護員のキャリアアップに努めます。また、登録ヘルパーの確保・育成し、サービス提供の現場に送り出せるようにします。

令和7年度
恵泉会介護支援センターいきいき　事業報告

【　施　設　概　要　】

1．所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2．設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3．経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4．開　設　年　月　日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

・職員一人ひとりがストレスなく心身共に気持ち良く働けるよう職場環境つくりに心がけました。事業所内での声がけ、雰囲気作りを行うと共に、計画的な年休取得に配慮し心身のリフレッシュを図ることで体調を崩す職員が出ることなく事業運営ができました。

・主任介護支援専門員が中心となりケアプランチェックや法令に基づいた助言をおこなうことで、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで、利用者本位を意識し自立に向けた質の高い支援を提供できるよう努めてきました。中途配属となった介護支援専門員の知識やスキルを向上させられるよう育成にも注力しました。

・利用者が地域での生活を継続できるよう必要に応じて登米市福祉事務所、各地域包括支援センター等に相談や報告を行うことで、連携を図り支援することができました。また、医療機関とは入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め退院後も利用者が地域での生活を継続できるように連携を図り支援することができました。

・研修の年間計画に沿った各種研修だけでなく、計画以外での研修に参加することで、専門的知識を深めることができました。受講内容については、事業所内で開催している情報伝達会議で職員へ報告し、各職員のスキルアップにもつなげることができました。

・各種委員会については毎月定期的に開催することができました。業務改善に向けてICTの活用、BCPに沿った訓練や研修の開催、利用者アンケート、介護支援専門員業務チェックの実施、身体拘束の適正化と虐待防止等の検討を行い充実した委員会となりました。

・地域包括支援センター主催の地域ネットワーク会議への参加、他法人の居宅介護支援事業所との合同研修会を開催することにより、情報交換や連携が強化され、お互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、包括支援センターと連携し、担当の介護支援専門員ひとりに負担がかからないように随時状況を把握、管理者や主任介護支援専門員を中心として、事業所が一体となり支援にあたりました。

・介護予防支援については、地域包括支援センターからの受託に加え、可能な限り直接契約を行い要支援と認定された際も切れ目のないサービス利用が継続できるよう支援にあたりました。

・特定事業所医療介護連携加算を取得する事業所として、医療依存度の高い利用者、終末期の利用者を積極的に受け入れ、各関係機関と連携を図り本人や家族の意向を踏まえ自宅で安心して過ごせるように支援に努めました。

【　利　用　状　況　】

※月遅れ含む

1．月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	97	100	97	94	102	104	102	110	112	112	108	112	1,250
女	159	157	161	158	163	169	169	170	172	172	174	170	1,994
計	256	257	258	252	265	273	271	280	284	284	282	282	3,244

2．月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	4	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	36
要支援2	7	9	9	9	7	7	6	6	9	8	7	8	92
要介護1	37	40	38	39	37	41	44	47	47	45	47	55	517
要介護2	81	76	83	81	87	89	92	86	90	85	78	78	1,006
要介護3	68	69	65	61	69	66	62	72	67	69	74	69	811
要介護4	40	36	35	36	40	44	40	42	44	48	47	45	497
要介護5	19	24	25	23	22	23	24	25	24	26	26	24	285
計	256	257	258	252	265	273	271	280	284	284	282	282	3,244

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	16	10	8	15	21	11	14	8	12	14	5	13	147
契約終了者数	15	4	10	5	7	8	11	4	9	11	9	17	110

【利用者ｻｰﾋﾞｽの状況】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	47	49	48	46	54	51	56	55	57	54	52	48	617
訪問入浴	12	14	14	15	15	12	13	13	15	14	13	10	160
訪問看護	58	61	55	55	61	62	61	62	65	62	59	58	719
通所介護	138	139	140	137	145	144	144	144	139	140	135	137	1,682
通所リハ	23	24	23	25	26	24	25	25	25	24	25	24	293
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	173	173	174	176	190	194	202	205	207	208	198	196	2,296
短期生活	34	38	39	35	40	38	34	40	50	46	40	37	471
短期療養	3	5	3	4	4	7	6	9	4	5	7	5	62
認知通所介護	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	29
地密通所介護	33	31	32	33	40	40	43	44	51	51	52	52	502
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	7
予防訪問リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防通所リハ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	22
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	11	12	12	12	10	10	9	9	10	10	9	9	123
訪問型サービス	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	30
通所型サービス	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	4	4	22
計	542	556	550	548	595	591	602	615	633	626	601	588	7,047

【 認 定 調 査 状 況 】

1．認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	14	10	7	5	10	9	7	6	9	6	5	8	96

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	35
要支援2	5	5	5	6	6	6	5	6	6	5	5	5	65
計	6	6	7	9	9	9	8	9	10	9	9	9	100

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	2	2	3	4	4	4	4	5	6	6	6	6	52
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	2	2	2	3	3	3	2	2	2	1	1	1	24
	南方町	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	6	7	9	9	9	8	9	10	9	9	9	100

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33
通所型サービス	2	2	3	5	5	5	4	5	6	6	6	6	55
計	5	5	6	8	8	8	7	8	9	8	8	8	88

【利用者ｻｰﾋﾞｽの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師・事例提供者	参加者
R7.06.11	個人情報保護について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	7名
R7.07.02	令和7年度新任研修	恵泉会介護支援センター 施設長 恵泉会介護支援センター 管理者	1名
R7.07.14	倫理及び法令遵守、ハラスメントについて	恵泉会介護支援センター 施設長	8名
R7.08.18	感染症・災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	9名
R7.09.12	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門 恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	7名
R7.10.07	他事業所との合同研修会 ヤングケアラーについて	登米市福祉事務所子育て支援 課課長補佐	8名
R7.11.12	事例検討会	恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	9名
R8.01.14	改善委員会で今年度検討した内容について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	8名

R8.02.12	認知症に関する研修会	登米市迫地域包括支援センター 管理者 主任介護支援専門員 主任介護支援専門員	9名
R8.03.11	GoogleWorkspaceの利用方法について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	9名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参加者
R7.06.05	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.07.01	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.07.10	令和7年度介護認定調査員新任研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.07.10	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JA宮城登米西部南方店会議室	職員1名
R7.07.23	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	登米市米山・南方地域包括支援センター	中津山公民館	職員3名
R7.08.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.08.06	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	登米市米山・南方地域包括支援センター	南方公民館	職員4名
R7.08.21	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台銀行ホールイズミティ21	職員1名
R7.09.02	令和7年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.09.05	高齢者・障害者虐待防止についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会石巻支部	マルホンまきあーとテラス	職員1名
R7.09.24	運営推進会議	認知症対応型通所介護事業所はさまデイサービスセンター	はさまデイサービスセンター	職員1名
R7.09.26	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	迫公民館	職員1名
R7.09.26	令和7年度石巻・登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県石巻保健所	登米合同庁舎	職員1名
R7.10.01	令和7年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.10.02	迫圏域居宅介護支援事業所研修	登米市迫地域包括支援センター	迫保健センター	職員2名
R7.10.08	登米市薬剤師会協同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JA宮城登米西部南方店会議室	職員1名
R7.10.10	令和7年度高齢者肺炎予防研修会	宮城県石巻保健所	石巻赤十字病院	職員2名
R7.10.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.11.20	令和7年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.12.03	令和7年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員2名
R7.12.07	令和7年度介護認定調査員現任研修	登米市	電子メール回答	職員8名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.12.12	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市民病院	職員2名
R8.01.23	令和7年度高齢者虐待防止研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名

R8.01.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	Web	職員1名
R7.02.24	登米市糖尿病性腎症重症化予防講演会	登米市四師会	ホテルサンシャイン佐沼	職員1名
R8.03.10	感染予防についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
R7.12.11	感染症発生時における業務継続計画(BCP)訓練	介護支援専門員 佐藤さゆり	恵泉会本部研修室	8名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎、利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項等を含めたケアマネジメント手法の確認と共有	毎月1回開催
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回開催
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内の周知を図る	毎月1回開催

(2) その他の会議

年 月 日	内 容	開催地	出 席 者
R7.12.16	令和7年度迫圏域ネットワーク会議	登米市迫保健センター	職員1名

3. 委員会開催状況

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
改善委員会	各種マニュアル、業務の改善および見直し	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	満足度調査、業務チェックの実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応、BCPの作成等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【 今 後 の 取 り 組 み 】

令和6年度より特定事業所医療介護連携加算の改定によりターミナルマネジメント加算が15件以上となり前々年度は16件の取得でしたが、前年度は更に6件増の22件となり8年度も医療介護連携加算を取得することが可能となりました。近年癌と診断される利用者が増加傾向にある中で今後もターミナルマネジメントの依頼先として、選ばれる事業所となれるよう関係各所と良好な関係性を保ち連携を図っていきたいと思います。

一方で新規軽度者の依頼が増加する傾向がみられているため、特定事業所加算Ⅰの要件クリアに向け法人内居宅介護支援事業所と連携を図り中重度利用者の割合を常に50%以上でキープできるように努めていきます。

令和8年度は生産性向上に向けた取り組みのひとつであるGoogleドライブを使用する事でこれまで行われていた紙媒体での稟議決済をドライブ内で稟議決済が受けられるようになり、共有ファイルを作ることで書類整理や共有での編集が可能となります。事務的処理が多い介護支援専門員にとって、作業の効率化を図れるよう生産性向上委員会を中心に取り組んでいきたいと考えております。

令和7年度
恵泉会介護支援センターらくらく　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成19年4月1日

【　重　点　項　目　】

ハラスメント対策を実践し、職員一人ひとりが心身共に健康で、意欲を持って仕事に取り組める職場作りに全職員で取り組みました。

アセスメント・課題分析から適切なニーズをとらえ、利用者の自立に向けた支援が行えるよう、主任介護支援専門員を中心に人材育成に取り組みました。

登米市地域包括ケアシステム推進の為、各関係機関や団体、医療機関との連携を図り、地域のニーズに沿って支援するよう取り組みました。

各種研修会へ参加し在宅緩和ケア・認知症・難病等疾患の知識等を深め、専門職としての資質向上に取り組みました。

各種委員会を充実させ、感染症・災害対策の強化、高齢者虐待防止、身体拘束廃止等の適正化に向けた取り組みました。

地域包括支援センターや他法人運営の居宅介護支援事業所との事例検討会を計画し、質の高いケアマネジメントを推進しました。

支援困難事例については、担当介護支援専門員に負担がかからないように事業所全体で対応し、関係機関の担当者とも連携し利用者の生活を最後まで支えられるよう取り組みました。

登米市及び地域包括支援センターと連携を図り、介護予防支援の円滑な実施に取り組みました。

【　利　用　状　況　】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	57	61	62	66	64	62	62	61	63	62	63	60	743
女	122	127	123	118	119	120	118	122	121	125	125	123	1,463
計	179	188	185	184	183	182	180	183	184	187	188	183	2,206

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	1	1	1	1	2	2	2	1	0	1	0	14
要支援2	6	5	5	6	6	6	6	7	6	5	5	5	68
要介護1	57	57	62	60	60	60	60	57	58	59	61	61	712
要介護2	69	73	69	70	74	73	71	76	75	72	74	71	867
要介護3	27	29	30	30	25	24	24	25	28	30	29	29	330
要介護4	12	15	12	10	10	11	12	11	12	17	13	11	146
要介護5	6	8	6	7	7	6	5	5	4	4	5	6	69
計	179	188	185	184	183	182	180	183	184	187	188	183	2,206

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	11	6	9	7	8	9	2	3	5	7	3	4	74
契約終了者数	2	6	3	13	6	4	2	2	2	2	5	5	52

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	35	36	36	32	30	31	31	30	32	33	33	32	391
訪問入浴	8	8	8	8	5	5	5	5	5	6	5	6	74
訪問看護	24	26	25	23	20	19	20	20	22	23	23	20	265
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
通所介護	97	100	101	101	95	91	93	94	92	94	93	87	1,138
通所リハ	9	10	12	10	13	13	15	14	13	13	14	14	150
短期生活	15	20	14	15	12	9	12	7	9	8	11	11	143
認知短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	106	108	107	110	107	106	107	104	107	112	114	113	1,301
地域密着通所	30	33	34	34	31	33	35	39	43	45	44	43	444
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防通所介護	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	27
計	327	344	340	336	316	310	322	318	328	338	341	330	3,950

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	10	4	3	8	2	2	3	4	1	4	5	3	49

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	6	6	5	7	6	6	8	7	7	6	6	6	76
要支援2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
計	10	10	10	12	11	11	13	12	12	10	11	11	133

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	4	4	4	5	5	5	7	7	7	7	7	7	69
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	4	4	4	5	4	4	4	3	3	3	3	3	44
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	10	10	12	11	11	13	12	12	10	11	11	133

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	2	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	31
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	31

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	8	9	10	10	10	10	12	11	11	10	10	10	121
計	8	9	10	10	10	10	12	11	11	10	10	10	121

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

（1）内部研修

年月日	内容	講師・事例提供者	参加者
R7.06.11	個人情報保護について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	5名
R7.07.14	倫理及び法令遵守、ハラスメントについて	恵泉会介護支援センター 施設長	5名
R7.08.18	感染症・災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	5名
R7.09.12	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	5名
R7.10.07	他事業所との合同研修会　ヤングケアラーについて	登米市福祉事務所子育て支援課 課長補佐	5名
R7.11.12	事例検討会	恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	5名
R7.12.11	感染症BCP・感染症予防研修	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R8.01.14	改善委員会で今年度検討した内容について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	5名
R7.02.12	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R8.03.11	GoogleWorkspaceの利用方法について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主催者	開催地	参加者
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員4名
R7.07.01	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R7.08.21	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台銀行ホールイズミティ21	職員1名
R7.09.02	令和7年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R7.09.05	高齢者・障害者虐待防止についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会石巻支部	マルホンまきあーとテラス	職員1名
R7.09.11	令和7年度登米市自立支援個別ケア会議	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方庁舎	職員3名
R7.10.01	令和7年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員2名
R7.10.02	迫圏域居宅介護支援事業所研修	登米市迫地域包括支援センター	迫保健センター	職員2名
R7.10.10	令和7年度高齢者肺炎予防研修会	宮城県石巻保健所	石巻赤十字病院	職員2名
R7.11.20	令和7年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所	登米市南方庁舎	職員1名
R7.12.03	令和7年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員1名
R7.12.07	令和7年度介護認定調査員現任研修	登米市	電子メール回答	職員4名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員1名
R7.12.12	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市民病院	職員1名
R8.01.23	令和7年度高齢者虐待防止研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	Web	職員1名
R8.03.10	感染予防についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市民病院	職員1名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主催者・講師	開　催　地	参 加 者
R7.06.24	令和7年度安全管理者講習	宮城県公安委員会	登米祝祭劇場	1名
R7.11.05	令和7年度第46回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	4名

2. 会 議 開 催 状 況

(1)定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2)その他の会議

開 催 日	内　　容	開 催 地	出 席 者
R7.7.23	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	中津山公民館	職員1名
R7.8.6	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方公民館	職員1名
R7.12.16	迫地域高齢者ネットワーク会議	登米市迫保健センター	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内　　容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
業務改善委員会	業務改善、各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

昨年度に引き続き市内の地域包括支援センターと連携し介護予防支援のマネジメント委託を受けるとともに、要介護状態にある方々の相談を積極的に受入れ、本人の持つ力や家族の介護力、社会資源を活用しその方が自宅で自立した日常生活が営めるよう、継続して支援することは基より、介護支援専門員として職員一人ひとりが心身共に健康で、意欲を持って仕事に取り組める職場作りとハラスメント対策を全職員で取り組みます。

主任介護支援専門員を中心に、アセスメント、課題分析、ケアプランの原案作成、担当者会議開催まで柔軟に対応できる人材育成に取り組みます。

登米地域の事業として、各関係機関や団体、医療機関との連携を図り、地域包括ケアシステム推進と地域のニーズに沿って支援していきます。

導入しているICT（例：GoogleworkspaceやAIによる記録の要約作成等）を効率的に使用し業務改善を行い、利用者と向合う時間を増やしていきます。

令和7年度
恵泉会東和介護支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市東和町米谷字新細待井2
2. 設　置　主　体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成24年4月1日

【　重　点　項　目　】

・ケアマネジャー特有のストレスを溜め込まないよう、風通しの良い職場環境づくりに努めました。計画的な年休取得を促進し、心身のリフレッシュを図った結果、年間を通して体調不良者が出ることもなく、安定した事業運営を継続できました。

・主任介護支援専門員を中心に、ケアプランチェックや法令に基づく助言指導を実施しました。個々のスキルアップを図ることで、利用者の自立支援に資する高品質なサービスを提供できました。また、特定事業所加算取得事業所として、実務研修実習生1名を受け入れ、後進の育成にも貢献しました。

・登米市福祉事務所や地域包括支援センター等と緊密に連携し、迅速な相談・報告体制を構築しました。利用者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、多機関と協力して支援にあたりました。

・個々のスキルアップを図るため、外部研修に積極的に参加しました。内部研修では、法定研修の確実な実施に加え、他法人との合同研修を開催。地域の模範事業所を目指し、組織全体の資質向上に努めました。

・各種委員会を毎月開催し、BCP（業務継続計画）の訓練や研修、利用者アンケート、身体拘束適正化・虐待防止研修など、多岐にわたる活動を計画的に遂行しました。

・地域包括支援センター主催の地域ネットワーク会議や介護支援専門員研修への出席、他法人との合同研修を通じ、地域全体のケアの質向上に寄与しました。

・困難事例への対応については担当者一人に負担が集中しないよう、随時情報共有を行い、主任介護支援専門員を中心とした「チーム体制」で支援にあたりました。

・介護予防支援については、地域包括支援センターからの受託に加え、可能な限り直接契約を推進しました。要支援状態になっても切れ目のない支援を提供できるよう、継続的な関わりを重視しました。

【　利　用　者　状　況　】

1. 月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	40	39	42	41	42	42	45	44	45	56	45	53	534
女	88	91	87	85	90	92	90	88	91	96	94	96	1,088
計	128	130	129	126	132	134	135	132	136	152	139	149	1,622

2. 月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
要支援2	4	2	4	3	3	5	5	6	5	6	6	6	55
要介護1	24	25	27	30	32	33	33	31	31	35	29	31	361
要介護2	40	42	43	38	37	38	40	40	43	49	48	48	506
要介護3	39	41	38	33	39	36	34	35	39	41	35	40	450
要介護4	11	12	11	14	15	16	19	16	13	16	16	17	176
要介護5	8	6	5	7	5	5	3	3	4	4	4	6	60
計	128	130	129	126	132	134	135	132	136	152	139	149	1,622

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	8	3	4	10	3	6	5	7	7	8	4	67
契約終了者数	2	6	3	2	5	5	3	7	2	6	3	8	52

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	19	19	18	18	19	18	16	17	19	20	18	18	219
訪問入浴	6	5	5	4	4	4	3	4	6	6	7	5	59
訪問看護	12	16	14	16	20	18	18	17	17	18	22	19	207
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	50	53	55	53	54	56	62	58	63	65	64	65	698
通所リハ	17	17	16	15	15	15	15	14	11	12	13	13	173
福祉用具	77	78	77	74	76	78	78	75	77	81	84	81	936
短期生活	20	29	20	18	19	21	22	18	18	22	19	19	245
短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知通所介護	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	17
地密通所介護	31	33	31	34	34	35	35	32	32	31	32	33	393
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	5	5	4	4	5	5	6	6	5	6	6	6	63
訪問型サービス	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	13
通所型サービス	2	3	3	2	2	3	3	3	2	3	3	3	32
計	242	261	246	241	251	257	262	250	255	269	272	266	3,072

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	4	3	2	4	2	3	4	2	1	2	4	2	33

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	1	1	1	1	1	2	2	3	2	2	2	2	20
要支援1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	31
要支援2	6	6	6	5	5	4	5	5	4	5	6	5	62
計	9	9	9	8	9	9	10	11	9	10	11	9	113

2．市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	7	7	7	7	8	8	9	9	8	9	10	8	97
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	8
	市外	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	計	9	9	9	8	9	9	10	11	9	10	11	9	113

3．予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

4．総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	31
通所型サービス	6	6	6	5	6	7	8	9	7	8	8	6	82
計	9	9	9	8	9	9	10	11	9	10	11	9	113

【利用者サービスの向上】

1．職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内容	講師・事例提供者	参加者
R7.06.11	個人情報保護について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	4名
R7.07.14	倫理及び法令遵守、ハラスメントについて	恵泉会介護支援センター 施設長	3名
R7.08.18	感染症・災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R7.09.12	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R7.10.07	他事業所との合同研修会 ヤングケアラーについて	登米市福祉事務所子育て支援課 課長補佐	3名
R7.11.12	事例検討会	恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R7.12.11	感染症発生時における業務継続計画(BCP) 訓練	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R8.01.14	改善委員会で今年度検討した内容について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名
R8.02.12	認知症に関する研修会	登米市迫地域包括支援センター 管理者 主任介護支援専門員 主任介護支援専門員	3名
R8.03.11	Google Workspaceの利用方法について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	3名

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主催者	開催地	参 加 者
R7.05.20	令和7年度介護認定調査員新任研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.06.05	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	中田改善センター	職員3名
R7.08.21	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	イズミティ21	職員1名
R7.09.02	令和7年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.09.05	高齢者・障害者虐待防止についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会石巻支部	マルホンまきあーとテラス	職員1名
R7.09.16	2025年度第1回医療従事者等支援難病研修会	東北大学病院	Web	職員1名
R7.11.20	令和7年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所	登米合同庁舎	職員1名
R7.12.04	令和7年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員2名
R7.12.07	令和7年度介護認定調査委員現任研修	登米市	電子メール回答	職員3名
R7.12.10	2025年度第2回医療従事者等支援難病研修会	東北大学病院	Web	職員1名
R8.01.16	令和7年度登米市内介護支援専門員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R8.03.04	身体障害の理解啓発セミナー	宮城県リハビリテーションセンター	Web	職員1名
R8.03.10	感染予防についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市民病院	職員1名
R8.03.11	東和・登米圏域介護支援専門員研修会	東和・登米地域包括支援センター	登米市 東和庁舎	職員4名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主 催 者 ・ 講 師	開　催　地	参 加 者
R7.11.05	令和7年度恵泉会職員研修大会	恵泉会	水の里ホール	3名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	開　　催　　地	出 席 者
R7.11.04	令和7年度東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
改善委員会	マニュアル・業務の改善および見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応、BCPの作成等に関する事	月1回	施設長、管理者、各委員
虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

令和8年度（2026年度）は、2024年度の介護報酬改定から2年が経過し、次なる2027年度（令和9年度）の制度改正を見据えた「準備と実行」の重要な年になります。少子高齢化の加速、生産年齢人口の急減、そして独居高齢者・認知症高齢者の増加という現実に立ち向かうため、居宅介護支援事業所にはこれまで以上に質の高いケアマネジメントと経営の効率化が求められています。変化を恐れず、テクノロジーを味方につけ、専門性の高いサービスを提供し続けられるように努めていきます。

①自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの徹底
　単なるサービスの調整から脱却し、利用者の「できること」に着目したICF（国際生活機能分類）ベースのアセスメントを強化します。
②医療・介護連携と多職種協働の高度化
　入退院時における医療機関との情報共有をより迅速・密接に行い、在宅療養へのスムーズな移行を実現します。
③ICT導入による生産性向上とDXの推進
　ケアマネジャーの事務負担を軽減し、利用者と向き合う時間を最大化します。
④地域共生社会への貢献とネットワーク構築
　フォーマルサービスだけでなく、インフォーマルな地域資源（ボランティア、近隣住民の助け合い）をプランに積極的に組み込みます。

令和7年度
恵泉会とよま介護支援センター　事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777番地
2. 設 置 主 体　　社会福祉法人恵泉会
3. 経 営 主 体　　社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日　　平成25年5月1日

【 重 点 項 目 】

・職員の心身の健康については、ケアマネジャー特有の精神的負荷に配慮し、風通しの良い相談体制を整備しました。また、計画的な有給休暇の取得を促進し、リフレッシュを図ったことで、体調不良による欠員を出すことなく安定した運営を実現できました

・人材育成については、今年度新たに1名の新任介護支援専門員が配属となったことから、主任介護支援専門員が中心となり、ケアプランチェックや法令に基づいたきめ細かい助言を行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。

・地域包括ケアシステムの推進については、必要に応じて登米市福祉事務所や各地域包括支援センター等に相談や報告を行い、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れように支援を行いました。

・職員の資質向上に向け、外部研修への積極的な参加により専門スキルの習得を推進いたしました。内部研修においては、法定研修の着実な実施に加え、他法人との合同研修会を主催するなど、地域の模範的事業所として研鑽に努めました。

・各種委員会については、義務化された委員会を含め、年間を通じて月例開催を徹底いたしました。BCPの策定や職員研修、利用者アンケートの実施など各計画に基づいた具体的な活動を推進し、適切な事業所運営に努めました。

・地域包括支援センターおよび他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会の開催を通じ、相互の連携強化に努めました。これらの活動により、関係機関との情報共有を密にするとともに、地域全体としての資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、担当ケアマネに対して主任ケアマネを中心とした相談・助言の支援を行い、担当ケアマネが問題を一人で抱え込まないようフォローし、事業所全体として困難ケースへの支援にあたりました。

・介護予防支援の提供にあたり、委託・直接契約の形態を問わず柔軟な受け入れ体制を整備いたしました。要支援・要介護状態を問わず一貫したマネジメントを維持することで、状態変化に応じた継続的な支援が推進でき、利用者にとって利便性の高い「途切れない支援」を実践いたしました。

【 利 用 者 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	47	48	49	50	44	47	49	53	51	51	48	47	584
女	106	113	109	108	109	111	113	111	113	110	105	109	1,317
計	153	161	158	158	153	158	162	164	164	161	153	156	1,901

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	2	2	2	3	2	2	2	2	21
要支援2	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	34
要介護1	38	41	44	42	44	44	47	51	51	52	53	53	560
要介護2	50	50	49	52	51	51	49	47	52	52	49	50	602
要介護3	34	37	34	34	31	33	36	36	34	30	24	25	388
要介護4	19	20	19	19	18	19	21	19	18	17	19	20	228
要介護5	7	8	7	6	4	6	5	6	5	6	4	4	68
計	153	161	158	158	153	158	162	164	164	161	153	156	1,901

3．契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	8	4	6	4	2	5	7	8	7	3	3	7	64
契約終了者数	6	3	2	6	3	2	4	7	5	7	7	8	60

【 利用者サービスの状況 】

1．サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	36	37	37	36	37	39	38	38	36	36	33	30	433
訪問入浴	5	4	4	4	3	5	5	5	3	3	4	4	49
訪問看護	26	27	26	27	25	26	28	25	23	24	22	21	300
訪問リハ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
通所介護	86	85	83	83	81	80	78	80	79	77	68	65	945
通所リハ	7	7	7	8	7	8	9	9	8	8	7	7	92
福祉用具	102	102	103	104	98	102	102	108	105	105	98	96	1225
短期生活	20	20	24	21	19	22	21	24	21	13	15	18	238
短期療養	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地密通所介護	46	46	47	48	52	52	52	53	52	52	52	51	603
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	4	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	50
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	2	2	3	3	2	2	2	3	2	2	2	2	27
計	338	337	342	342	332	343	342	353	336	327	308	301	4,001

【 認定調査状況 】

1．認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	5	2	3	3	3	2	1	3	3	3	3	3	34

【介護予防支援利用状況】

1．介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	6	6	8	8	9	8	10	10	10	10	10	11	106
要支援1	1	3	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	27
要支援2	4	4	5	4	5	5	6	5	5	6	5	6	60
計	11	13	14	14	16	15	18	17	18	19	18	20	193

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防対象件数	迫町	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	8	8	10	10	12	11	14	13	13	14	13	15	141
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	米山町	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	11	13	14	14	16	15	18	17	18	19	18	20	193

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	44
通所型サービス	11	9	11	11	13	13	13	15	16	17	16	18	163
計	14	12	14	15	17	17	16	19	20	21	20	22	207

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内　　容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R7.04.08	令和7年度新任研修	恵泉会介護支援センター 施設長 恵泉会とよま介護支援センター 管理者	1名
R7.06.11	個人情報保護について	恵泉会とよま介護支援センター 管理者	3名
R7.07.14	倫理及び法令遵守、ハラスメントについて	恵泉会介護支援センター 施設長	4名
R7.08.18	感染症・災害時BCPについて	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R7.09.12	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員 恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R7.10.07	他事業所との合同研修会　ヤングケアラーについて	登米市福祉事務所子育て支援課 課長補佐	4名
R7.11.12	事例検討会	恵泉会東和介護支援センター 主任介護支援専門員 恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R8.01.14	改善委員会で今年度検討した内容について	恵泉会介護支援センターいきいき 主任介護支援専門員	4名

R8.02.12	認知症に関する研修会	登米市迫地域包括支援センター 管理者 主任介護支援専門員 主任介護支援専門員	4名
R8.03.11	GoogleWorkspaceの利用方法について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主催者	開催地	参 加 者
R7.05.20	令和7年度介護認定調査員新任研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.06.05	登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.07.01	登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.07.10	登米市薬剤師会共同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JA宮城登米西部南方店 会議室	職員1名
R7.08.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.08.21	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台銀行ホールイズミティ21	職員1名
R7.09.02	令和7年度登米市介護サービス事業者等集団指導	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.09.05	高齢者・障害者虐待防止についての研修会	宮城県ケアマネジャー協会石巻支部	マルホンまきあーとテラス	職員1名
R7.09.26	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	迫公民館	職員1名
R7.10.01	令和7年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.10.03	令和7年度宮城県難病相談支援センター医療講演会	宮城県難病相談支援センター	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.10.08	登米市薬剤師会協同研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JA宮城登米西部南方店会議室	職員1名
R7.10.14	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.11.20	令和7年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県石巻保健所	登米市 南方庁舎	職員1名
R7.12.03	令和7年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員1名
R7.12.07	令和7年度介護認定調査員現任研修	登米市	電子メール 回答	職員3名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市中田農村環境改善センター	職員2名
R7.12.12	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	登米市民病院	職員1名
R8.01.16	令和7年度登米市内介護支援専門員等研修会	登米市	登米市 南方庁舎	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	Web	職員1名
R7.03.24	登米市糖尿病性腎症重症化予防講演会	登米市四師会	ホテルサンシャイン佐沼	職員1名
R8.03.01	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市民病院	職員1名
R8.03.11	令和7年度東和・登米圏域介護支援専門員研修会	登米市東和・登米地域包括支援センター	東和総合支所	職員2名

(3) その他の研修

年 月 日	内　　容	主催者・講師	開　催　地	参 加 者
R7.12.11	感染症発生時における業務継続計画(BCP)訓練	介護支援専門員 佐藤さゆり	恵泉会法人本部 2階研修室	4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会　議　名	内　　容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	開　催　地	出 席 者
R7.07.23	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	中津山公民館	職員2名
R7.08.06	令和7年度米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方公民館	職員2名
R8.12.03	令和7年度登米地域ネットワーク会議	登米総合支所	職員2名

3. 委員会開催状況

委　員　会　名	内　　容	開　催　日	参　加　職　員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
改善委員会	マニュアル・業務の改善および見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応、BCPの作成等に関する事	月1回	施設長、管理者、各委員
虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

昨年度は、給付管理延べ件数が前年度比100件増、月平均140件と目標を大きく上回る実績を収めることができました。
利用者の動向として、新規依頼の重度者が減少する一方、軽度者の受け入れが増加しておりますが、これは将来の状態変化を見据えた「継続的な支援」につながり、早期から信頼関係を構築することで、利用者のQOL向上のみならず、中長期的な事業運営の安定化に直結するものと捉えています。

令和8年度においても、法人内の各サービス事業所と連携を図りながら、この良好な実績を維持し、安定的かつ健全な事業経営を継続できるよう努力していきます。あわせて、急務となっている後進の育成と専門性の向上に注力し、引き続き「地域から選ばれる事業所」として、質の高い事業を提供できるよう努めていきます。

令和7年度
登米市迫地域包括支援センター　事業報告

【　施　設　概　要　】

1. 所　　在　　地　　宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設　置　主　体　　登米市
3. 経　営　主　体　　社会福祉法人　恵泉会
4. 開　設　年　月　日　　平成18年4月1日

迫圏域では独居、身寄りや支援者がいない高齢者が多いことから、権利擁護や生活困窮の相談件数が多くみられました。令和7年度は迫圏域地域ケア会議を3回、関係者調整会議は3件開催し、成年後見市長申し立てについては1件となっていました。迫圏域の居宅介護支援事業所を対象として「身寄りのいない方・生活困窮者の方の支援」をテーマとした研修会を行いました。また、迫地域高齢者ネットワーク会議を開催し、迫圏域の通所介護支援事業所と居宅介護支援事業所を参集し、関係機関と情報交換とネットワークの構築を図りました。

【　重　点　項　目　】

1. 認知症サポーター養成講座や出前講座などにより一層の認知症への理解と啓発を地域に拡げるとともに、認知症カフェや交流会を通じて認知症の相談窓口や地域で支える体制の構築を推進してきました。
2. 積極的に地域に出向き、出前講座や地域のネットワークを活用し、支援が必要な高齢者の把握に努め、介護予防活動につながる働きかけをしてきました。
3. 新型コロナウィルス感染症予防対策を行い、5類への変更となっていますが、ご利用者が基礎疾患を抱え重症化するリスクを抱えていることから他の感染症同様に今後の国や県の通知に合わせ訪問や事業の開催を行いました。

【　利　用　状　況　】

1. 相　談　事　業

(1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	93	109	117	101	131	108	105	121	112	79	118	88	1,282
来所	38	45	40	47	49	39	23	33	40	45	19	40	458
訪問	192	184	189	236	215	205	218	200	207	182	200	220	2,448
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	323	338	346	384	395	352	346	354	359	306	337	348	4,188

(2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	235	244	255	265	265	244	250	255	268	227	254	211	2,973
家族	40	33	54	67	67	69	47	50	42	39	60	14	582
ケアマネ	10	28	25	23	24	18	23	18	22	21	9	7	228
サービス事業所	3	5	12	2	9	8	13	11	3	4	9	8	87
医療機関	14	9	5	7	7	9	3	6	6	7	2	6	81
民生委員・区長	7	2	5	7	11	0	1	7	10	1	4	3	58
社協	2	1	2	1	0	2	2	0	0	0	1	6	17
行政関係	13	8	3	6	14	7	13	7	7	11	12	6	107
その他	5	11	2	5	5	3	3	0	3	8	3	9	57
計	329	341	363	383	402	360	355	354	361	318	354	270	4,190

(3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	94	95	74	111	124	107	78	118	100	72	89	83	1,145
	実態把握	1	2	18	17	22	4	5	9	9	0	1	1	89
	認知症関係	4	5	8	7	17	6	22	2	16	6	17	16	126
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	虐待関係	2	0	0	9	10	7	1	6	2	3	0	0	40
	成年後見関係	2	5	9	1	1	4	1	1	1	0	0	0	25
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	7	1	16
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防ケアマネジメント	要支援・事業対象者	218	222	215	234	209	224	228	217	228	223	221	244	2,683
	福祉サービス	2	3	4	3	3	2	2	3	2	1	1	0	26
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括的・継続的ケアマネジメント	ケアマネジメント支援	0	6	13	1	2	2	6	1	3	0	1	3	38
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	6	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20
計		323	344	354	383	388	361	345	357	361	306	338	348	4,208
予防給付関係	給付管理件数	194	197	193	199	200	207	206	205	210	209	210	206	2,436
	(内委託件数)	24	25	26	27	27	29	32	34	35	36	36	35	366
計		194	197	193	199	200	207	206	205	210	209	210	206	2,436

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R7.04.02	恵泉会新人職員研修	迫包括職員	職員1名
R7.07.25	災害時・感染症発生時における業務継続に向けた研修(委員会同時開催)	迫包括職員	職員3名
R7.07.25	高齢者虐待防止研修(委員会同時開催)	迫包括職員	職員4名
R7.07.25	感染症対応研修(委員会同時開催)	迫包括職員	職員4名
R7.07.25	迫地域包括支援センター内部研修(コンプライアンス、高齢者虐待防止研修)	迫包括職員	職員1名
R7.10.15	サービス向上・苦情処理委員会	法人本部	職員1名
R7.11.05	恵泉会職員研修大会	鎌田敏	職員2名
R8.02.12	認知症研修・認知症地域支援推進員の役割と活動	迫包括職員	恵泉会居宅介護支援センター職員

(2) 外部研修

年 月 日	内　　容	主　催　者	開 催 地	参　加　者
R7.04.28	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.07	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.08	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.13	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.14	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.21	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.27	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.05.29	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R7.06.05	令和7年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.06.16	令和7年度認知症カフェ研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.06.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	登米市	農村環境改善センター	職員1名
R7.06.30	宮城県キャラバンメイト養成研修	宮城県保健福祉部長寿社会政策課	みやぎハートフルセンター	職員1名
R7.07.01	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市・登米市民病院・宮城県ケアマネジャー協会	南方庁舎	職員1名
R7.07.10	令和7年度登米市薬剤師会・宮城県ケアマネジャー協会登米支部合同研修会	宮城県ケアマネジャー協会	JAみやぎ登米西部南方庁舎会議室	職員1名
R7.07.16	令和7年度宮城県地域包括支援センター職員等研修会	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R7.08.13	令和7年度宮城県地域包括支援センター職員等研修会	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R7.08.19	令和7年度認知症地域支援推進員研修(新任)	宮城県	ZOOM	職員1名
R7.08.20	令和7年度認知症地域支援推進員研修(新任)	宮城県	ZOOM	職員1名
R7.09.08	登米市障がい福祉支援者サポート事業「動機」づけ面接	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.09.26	令和7年度石巻・登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会	宮城県	迫合同庁舎	職員1名
R7.10.01	令和7年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R7.10.07	令和7年度認知症対応研修	登米市	南方庁舎	職員2名
R7.11.20	令和7年度登米地域難病患者支援者研修会	宮城県	迫合同庁舎	職員1名
R7.12.08	令和7年度宮城県地域包括支援センター職員等研修会	宮城県社会福祉士会	ZOOM	職員1名
R7.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	中田農村改善センター	職員1名
R7.12.12	令和7年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市・登米市民病院・宮城県ケアマネジャー協会	登米市民病院	職員1名
R7.12.17	令和7年度老人福祉施設協議研修会	登米支部	迫風園	職員2名
R7.12.17	令和7年度高齢者虐待防止研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R8.01.27	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会　　議　　名	内　　容	開 催 日	参　加　職　員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第4火曜日 年間12回	管理者他1名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日 年間12回	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開 催 日	内　　容	場　　所	出　　席　　者
R7.04.08	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R7.04.21	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R7.04.23	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.04.23	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎	職員1名
R7.04.23	職種別事業推進会議（主任介護支援専門員）	南方庁舎	職員2名
R7.05.01	職種別事業推進会議(看護師)	南方庁舎	職員1名
R7.05.08	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R7.05.22	デイサービスこころの森運営推進会議	デイサービスこころの森	職員1名
R7.05.23	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員3名
R7.05.26	デイサービスこころ運営推進会議	デイサービスこころ	職員1名
R7.05.28	デイサービスきらり運営推進会議	デイサービスきらり	職員1名
R7.05.28	迫関係者調整会議	迫支所相談室	職員1名
R7.05.29	迫関係者調整会議	迫支所相談室	職員1名
R7.06.10	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R7.06.11	若年性認知症当事者家族交流会	南方公民館	職員1名
R7.06.12	はさま和話輪推進研修会	迫公民館	職員2名
R7.06.16	認知症カフェ研修会	南方庁舎シアターホール	職員1名
R7.06.18	認知症啓発活動　ケアガイドブック配布	調剤薬局・歯科医院	職員1名
R7.06.18	認知症啓発活動　ケアガイドブック配布	調剤薬局・歯科医院	職員1名
R7.06.20	認知症当事者、家族、支援者交流会(打ち合せ)	はさまデイサービスセンター	職員1名
R7.06.25	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員3名
R7.06.27	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R7.07.08	はさま和話輪推進研修会	迫公民館	職員2名
R7.07.17	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員2名
R7.07.22	職種別事業推進会議（主任介護支援専門員）	南方庁舎	職員2名
R7.07.29	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.08.05	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R7.08.20	令和7年度アルツハイマーデーオレンジドンキー打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R7.08.27	Cafeみなみかぜ(南風園・南寿荘オレンジカフェ)	南風園食堂	職員2名
R7.08.27	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.09.02	令和7年度登米市介護サービス事業者集団指導	南方庁舎	職員1名
R7.09.11	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員1名
R7.09.11	職種別事業推進会議（主任介護支援専門員）	南方庁舎	職員2名
R7.09.14	出前講座(森東表地区敬老会)	森東表集会所	職員2名
R7.09.17	はさま和話輪推進研修会打合せ	迫保健センター	職員2名
R7.09.19	アルツハイマーデー啓発活動	生協加賀野店	職員2名
R7.09.24	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎	職員1名

R7.09.25	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R7.09.25	癒しの音楽カフェ	長沼ボートクラブ場　クラブハウス	職員3名
R7.09.26	認知症サポーターステップアップ講座打ち合わせ	南方庁舎図書館	職員1名
R7.09.29	認知症サポーター養成講座・オレンジカフェ	グランヴィア	職員2名
R7.09.30	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R7.10.02	迫圏域居宅介護支援事業所研修	迫保健センター	職員2名
R7.10.08	認知症サポーター養成講座・いきいき元気学園	迫公民館	職員2名
R7.10.09	はさま和話輪推進研修会	迫公民館	職員2名
R7.10.10	あんディ・まめスポ運営推進会議	あんディ・まめスポ	職員1名
R7.10.14	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎図書室	職員1名
R7.10.23	RUIカフェ（迫風園・翠風荘オレンジカフェ）	迫風園	職員2名
R7.10.23	自立支援型個別ケア会議打ち合わせ	南方庁舎	職員1名
R7.10.31	迫関係者調整会議	迫支所3階会議室	職員2名
R7.11.05	認知症サポーターステップアップ講座	南方庁舎	職員1名
R7.11.06	北方小学校キャップハンディ体験打ち合わせ	北方小学校	職員2名
R7.11.07	出前講座（JAまごころ）打ち合わせ	JAまごころ	職員2名
R7.11.10	足之助運営推進会議	足之助	職員1名
R7.11.11	令和7年度地域課題情報交換会	南方庁舎	職員1名
R7.11.12	出前講座（JAまごころ家族向け介護教室）	JAまごころ	職員2名
R7.11.14	講話（北方小学校キャップハンディ体験・認知症について）	北方小学校	職員2名
R7.11.20	はさま和話輪推進研修会	迫公民館	職員2名
R7.11.20	自立支援型個別ケア会議	南方庁舎	職員1名
R7.11.21	デイサービスきらり運営推進会議	デイサービスきらり	職員1名
R7.11.26	迫関係者調整会議	迫支所第4委員会室	職員1名
R7.11.27	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R7.12.04	令和7年度家族介護者交流研修会	南方庁舎	職員1名
R7.12.09	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎図書室	職員1名
R7.12.10	デイサービスこころの森運営推進会議	デイサービスこころの森	職員1名
R7.12.12	若年性認知症当事者家族交流会	南方公民館	職員1名
R7.12.16	迫圏域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員3名
R7.12.17	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R7.12.19	認知症初期集中支援チーム打ち合わせ	八木小児科	職員1名
R7.12.19	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R7.12.23	認知症初期集中支援チーム員会議	南方庁舎	職員2名
R7.12.23	主任介護支援専門員研修会打ち合わせ	南方庁舎	職員2名
R7.12.24	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R8.01.16	職種別事業推進会議（主任介護支援専門員）	南方庁舎	職員2名
R8.01.20	関係者調整会議	総合支所会議室	職員2名
R8.01.22	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R8.01.27	職種別事業推進会議（社会福祉士）	南方庁舎	職員1名
R8.01.29	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R8.02.10	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎図書室	職員1名
R8.02.17	認知症サポーター養成講座（横丁）	横丁集会所	職員2名
R8.02.17	認知症啓発活動ケアパスについて（横丁）	横丁集会所	職員2名
R8.02.26	RUIカフェ（迫風園）・認知症啓発活動	迫風園	職員1名
R8.02.26	出前講座（登米市統計調査員）	迫公民館	職員2名
R8.03.04	認知症ステップアップ講座	シアターホール	職員1名
R8.03.04	地域ケア会議	登米市民病院	職員2名
R8.03.09	職種別事業推進会議（保健師・看護師）	南方庁舎図書室	職員1名
R8.03.10	関係者調整会議	利用者様自宅	職員2名

R8.03.13	職種別事業推進会議(社会福祉士)	南方庁舎図書室	職員1名
R8.03.17	足之助運営推進会議	足之助	職員1名
R8.03.19	認知症サポーター養成講座(JAまごころ)	JAまごころ	職員2名
R8.03.23	デイサービスこころ運営推進会議	デイサービスこころ	職員1名
R8.03.25	迫関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R8.03.26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R8.03.27	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名

【今後の取り組み】

1. 認知症について一層の普及と啓発を図るとともに、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、正しい認知症への理解を深め、共生できる地域支援の体制の構築を図っていきます。
2. 地域へ積極的に出向き閉じこもり、フレイル等の懸念のある高齢者を見出し、状況に合わせた支援を行うとともに、支援が必要な高齢者の把握に努め、介護予防活動につながる働きかけを図っていきます。
3. ご利用者様が基礎疾患を抱え重症化のリスクを抱えていることから、他の感染症同様に今後の国や通知に合わせた訪問や事業を行っていきます。

令和7年度
サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

【 施 設 概 要 】

1) 所 在 地　宮城県登米市登米町寺池馬場埣777
2) 設 置 主 体　社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体　社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日　平成28年2月1日
5) 事業・利用定員

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

令和7年度は稼働率が90%を上回り、例年に比べて安定した運営を行うことが出来ました。ご入居者の体調が比較的安定して推移し、入院や退去が少なかったことです。恵はあとが開所して10周年を迎え、近年は70代の比較的若い入居者の割合が徐々に増加しており、自立度の高い方の入居が進み、入居者の傾向にも変化が見られるようになりました。広報活動に伺っても係わる事業所等が増え、登米地域においてもサービス付き高齢者向け住宅の理解や認識が広がっているものと感じます。

ご入居者は70代前半から90代後半と年齢・身体状況も様々で、それぞれの生活スタイルを尊重しながら支援を行いました。ご友人・ご家族との交流や趣味活動へ参加するなど自由にそれぞれのペースで自立した生活を送って頂きました。

開設から年数経過に伴い、設備の維持管理やメンテナンスを実施しました。また災害時を見据えた避難訓練や対応体制など入居者の安心安全に向けての取り組みを行いました。

令和8年度も広報活動やご入居者・地域の方々との信頼関係を深めることで、経営面の安定に繋げていきます。

1. 入居者の自主性の尊重
ご入居者ひとりひとりのライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。

2. 新型コロナウイルス等感染症対策
令和7年度は1年を通してご入居者に感染症の発生がなく過ごすことが出来ました。ご入居者においては通院・外出・面会等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、感染防止の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗いなどを呼び掛け、食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温、食後のテーブルやイスの除菌を行いました。面会、外出では感染対策として健康チエック表での確認をご入居者・ご家族にお願いをしながら、交流の機会を大切にしてきました。

3. 健康の保持
ご入居者より体調不調の訴えがあった場合は、バイタルを測定し、ご家族へ連絡、迅速な対応を心がけました。また、訪問看護・訪問診療への連絡のほか、遠山荘看護師に体調不良の相談や対応をお願いするなど対応しました。身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族やケアマネジャーなど関係機関に連絡、情報の共有をし、安心に繋がるように努めました。

4. 避難訓練等の実施
地震や火災などの災害に備えて総合防災訓練や夜間想定の避難訓練、BCPの図上訓練を実施したほか、職員は不審者対応として刺股の使い方や緊急搬送の電話のかけ方・救急救命訓練を実施し、安心安全に向けての取り組みを行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員　11,943 名
2. 年 間 稼 働 率　90.89 %
3. 月別利用状況　（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自 立	270	248	240	248	251	256	248	239	235	248	224	248	2,955
要支援1	60	62	37	31	31	30	31	30	31	31	28	31	433
要支援2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護 1	219	279	270	294	310	284	310	300	309	310	280	276	3,441
要介護 2	262	248	270	279	279	330	248	239	248	248	224	222	3,097
要介護 3	120	113	90	108	127	120	155	150	106	99	101	93	1,382
要介護 4	0	0	0	0	0	0	62	60	58	31	28	31	270
計	961	981	937	991	1,029	1,050	1,085	1,048	1,018	998	913	932	11,943

4. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
新規入所者数	0	2	0	2	2	0	0	0	2	1	0	0		9
退 所 者 数	1	1	1	0	0	0	0	2	3	0	1	3		12
月末入所者数	31	32	31	33	35	35	35	33	32	33	32	29		－3

【利用者サービスの状況】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

R7.06.25	個人情報の取り扱い研修	管理者	職員3名
R7.07.30	防犯対策研修	登米警察署	職員2名
R7.08.03	虐待・認知症研修	管理者	職員2名
R7.10.16	救急救命研修	登米消防署	職員1名
R8.02.15	感染症対策訓練	管理者	職員3名
R8.03.22	コンプライアンス研修	管理者	職員10名

2. 会 議 開 催 状 況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	年11回	管理者・生活相談員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
R7.04.07	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.04.24	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.07.10	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.07.17	入居者申込者についての審査(3件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.11.12	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師
R7.12.01	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	参事・管理者・看護師

R7.09.11	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R8.03.07	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	避難訓練等の計画	年4回	管理者・遠山荘・キッズつぼみ
感染症対策委員会	感染症対策指針の確認、感染症の発生状況	年2回	管理者・生活相談員
虐待防止委員会	虐待防止のための指針、マニュアル整備、研修の実施など	年2回	管理者・生活相談員
研修委員会	内部研修の計画と実施	年2回	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	年2回	管理者・生活相談員
マニュアル検討委員会	マニュアルの検討、見直し	年1回	管理者・生活相談員

【 今 後 の 取 り 組 み 】

1. 住み慣れた思い出のある自宅を離れ「恵はあと」での生活をはじめられた方々に、これからの人生を「恵はあと」に入居して良かったと思っていただける支援を目指していきます。

2. ご入居者、ご家族、担当ケアマネジャーと相談をし、必要に応じて外部サービスとも連携をするなど、安心して長期間住むことができるようにすすめてまいります。

3. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催などにより、自助・共助・公助の仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。併設しているキッズつぼみ・恵泉会とよま介護支援センター・恵泉会ヘルパーステーションとの連携に努め、BCP(事業継続計画)の図上訓練も行います。

4. 感染症拡大防止について、国や県の情報や指示のもと、対応します。感染症対策を行いながら、面会・外出・外泊などご家族や地域住民との交流の機会を大切にしていきます。

5. 広報活動の工夫をし、ご入居者の獲得に努め、入居率のアップと安定した経営を目指します。
職員の配置については必要な時間帯にパート職員を配置し、ヘルパーの兼務をするなど効率的な業務を行い経営の改善に努めます。

6. 入退去時の物件状況の確認をご入居者と連帯保証人・職員の双方で行い、退去時の原状回復等のトラブルにならないようにしていきます。

令和７年度
旧南方保育所建物解体　事業報告

１．整備の概要

恵泉会では、南方保育所の「幼保連携型認定こども園」への移行を計画し、令和５年度から事業を進めてきました。

令和６年度は、令和７年４月１日の開園に向けて、条件付き一般競争入札を実施し建築施工業者を選定、関連する外構工事や植栽工事を実施、また各種備品等を購入しました。

令和７年度は、「幼保連携型認定こども園」移行事業の最終年度として新築移転後の旧南方保育所建物の解体工事に向けての施工業者の選定を行い、関連する補助申請等の諸手続きを進めてまいりました。

２．整備にかかる事業内容

（１）解 体 建 物　　旧南方保育所建物
（２）解 体 場 所　　宮城県登米市南方町山成前１０７４－２
（３）建 築 構 造　　鉄筋コンクリート・鉄骨造スレート・合金メッキ鋼板ぶき平家建
（４）延 床 面 積　　５８４．７２㎡
（５）補 助 金 名　　登米市認定こども園等施設整備補助金
（６）補　助　額　　２０，８６３，０００円
（７）事 業 費 等　　◇解体工事費　　３８，８３０，０００円
　　◇設計監理費　　２，３９８，０００円
　　４１，２２８，０００円

（８）施 工 期 間 等

○解体工事
①入札公告日　　令和７年　７月１５日
②入札実施日　　令和７年　８月　７日（制限付き一般競争入札）
　　※落札候補者の資格書類を審査し落札者を決定
③請負業者名　　株式会社　只野組（登米市豊里町新田町１９３－４）
④契約年月日　　令和７年　８月　８日　締結
⑤着工年月日　　令和７年　８月　９日
⑥完成年月日　　令和８年　１月３０日

○設計監理業務
①委託業者名　　株式会社　関・空間設計（仙台市青葉区本町２－１－８）
②業 務 期 間　　令和７年７月４日～令和８年２月１０日

３．事業計画と建物解体までの経緯

令和４年１０月１４日	南方保育所「幼保連携型認定こども園」事業移行について 令和４年度第６回理事会において承認
令和５年５月３０日	南方認定こども園新築工事設計業者選定に係るプロポーザルを実施
令和５年６月１６日	南方認定こども園新築工事設計業務委託契約締結
令和６年１月２５日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金協議書を登米市福祉事務所子育て支援課に提出
令和６年２月６日	認定こども園建設予定地（南方町新高石浦155-1,155-2、156-1）の農地転用について宮城県より許可
令和６年３月８日	南方認定こども園建設予定地の地権者と土地売買契約締結
令和６年３月１５日	南方認定こども園建設予定地の所有権移転登記完了
令和６年３月２９日	南方認定こども園新築工事実施設計　完了
令和６年６月１４日	南方認定こども園新築工事入札公告
令和６年６月２８日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金（内示）
令和６年７月８日	南方認定こども園新築工事　入札会
令和６年７月１２日	南方認定こども園新築工事　請負契約締結 南方認定こども園新築工事　監理業務委託契約締結
令和６年７月１３日	南方認定こども園新築工事　着工
令和６年８月３０日	南方認定こども園外構工事　請負契約締結
令和６年９月１２日	南方認定こども園　厨房機器・備品購入契約締結
令和６年１１月２１日	南方認定こども園　植栽工事請負契約締結
令和７年２月上旬	南方認定こども園　事務備品等購入契約締結
令和７年２月７日	令和６年度就学前教育・保育施設整備交付金（追加内示）
令和７年３月１１日	南方認定こども園新築建物 建築検査・消防検査・監理者検査
令和７年３月１４日	南方認定こども園新築建物　施主検査
令和７年３月１５日	南方認定こども園新築建物　竣工
令和７年４月１日	幼保連携型認定こども園　供用開始
令和７年７月１５日	旧南方保育所建物解体工事　入札公告
令和７年８月７日	旧南方保育所建物解体工事　入札会
令和７年８月８日	旧南方保育所建物解体工事　請負契約締結
令和７年８月９日	旧南方保育所建物解体工事　着工
令和８年１月３０日	旧南方保育所建物解体工事　竣工 登米市へ南方保育所用借地を返還し事業完了

令和7年度　ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

【法　人　総　括】

①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
件数	218	1,193	174	1,585	100.0%
介護・支援ミス	25	289	13	327	20.6%
転倒	29	170	29	228	14.4%
その他	50	86	15	151	9.5%
転落	30	108	9	147	9.3%
内出血	2	120	4	126	7.9%
自傷	2	90	2	94	5.9%
投薬ミス	9	45	31	85	5.4%
食事提供ミス	27	53	3	83	5.2%
私物返し忘れ	4	63	4	71	4.5%
皮膚裂傷・擦過傷	1	56	8	65	4.1%
加害行為	3	41	12	56	3.5%
施設外飛び出し	16	14	14	44	2.8%
異食	8	28	0	36	2.3%
器物破壊	2	6	15	23	1.5%
連絡ミス	4	13	5	22	1.4%
送迎・訪問	3	6	7	16	1.0%
誤嚥	2	5	3	10	0.6%
設備不良	1	0	0	1	0.1%
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	218	1,193	174	1,585	100.0%

【事故分類がその他の主な内容】
・服薬の渡し忘れ
・販売商品の値段間違い（就労支援事業所）
・フォーレの自己抜去
・利用者歩行中の脱力・座り込み
・サービス提供票の確認ミス
・利用者私物の取り違え
・保険適用外の軽易な車輌事故・操作ミス

②苦情処理

	苦情処理
合計	0

Ⅰ．受付方法

来所	0
電話	0
訪問	0
文書	0
その他	0
計	0

Ⅱ．苦情の分類

ケアの内容	0
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理（遺産・遺言）	0
その他	0
計	0

Ⅲ．第三者委員関連（申出人の希望）

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	0
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	0